

令和5年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」
沖縄・観光分野における有機的高専連携プログラム開発・実証事業

事業報告書

2024年2月

学校法人 KBC学園 インターナショナルリゾートカレッジ

本報告書は、文部科学省の専修学校による地域産業中核人材養成事業による委託事業として、学校法人KBC学園インターナショナルリゾートカレッジが実施した、令和5年度「沖縄・観光分野における有機的高専連携プログラム開発・実証事業」の成果をとりまとめたものです。

目次

第1部 事業の概要と令和3・4年度の取組み

1 事業の概要	
1.1 実施体制	1
1.2 事業の趣旨	2
2 令和3年度の活動	
2.1 第一回連携プログラム開発検討委員会	3
2.2 第二回連携プログラム開発検討委員会	4
3 令和4年度の活動	
3.1 第一回連携プログラム開発検討委員会	6
3.2 第二回連携プログラム開発検討委員会	7
3.3 第三回連携プログラム開発検討委員会	9

第2部 令和5年度の活動

1 令和5年度スケジュール	
1.1 連携プログラム開発協議会の開催	11
1.2 実証授業の開催	12
1.3 プログラム開発	12
1.4 コーディネーター業務	12
2 第一回連携プログラム開発検討委員会	
2.1 貝志川商業高等学校職業イメージ変容調査・プログラム評価	
2.1.1 航空業界に関する興味度と理解度	13
2.1.2 航空業界職業イメージの変容	15
2.1.3 「大変そう思う」を選んだ職業イメージ	23
2.1.4 講義前後での職業イメージ変容度	24
2.1.5 はじめて知ったこと・聞いたこと	25
2.1.6 特に印象に残ったこと	28
2.1.7 話しを聞いてみたい仕事や職業	31
2.1.8 感じたこと・思ったこと	33
2.2 南部商業高等学校プログラム評価	
2.2.1 授業理解度	37
2.2.2 効用度	37
2.2.3 授業評価	38
2.2.4 はじめて知ったこと・聞いたこと	39
2.2.5 特に印象に残ったこと	41
2.2.6 話しを聞いてみたい仕事や職業	43
2.2.7 感じたこと・思ったこと	44
2.3 高校生の職業意識に関する調査（前期）	
2.3.1 調査概要	46
2.3.2 進路について保護者との会話	47
2.3.3 希望する職業を決めているか	48
2.3.4 仕事・働くことのイメージ	49
2.3.5 「とてもそう思う」働くことのイメージ	52
2.3.6 職業を選ぶにあたり重視すること	53
2.3.7 「とても重要」な職業選択要素	59
2.3.8 希望する勤務地	60
2.3.9 仕事に関する意識・考え	61

2.3.10	「とてもそう思う」仕事に関する意識	67
2.4	委員意見	68
3	第二回連携プログラム開発検討委員会	
3.1	具志川商業高等学校職業イメージ変容調査・プログラム評価	
3.1.1	ホテル・ブライダル業界に関する興味・理解度	70
3.1.2	ホテル・ブライダル業界職業イメージの変容	72
3.1.3	「大変そう思う」を選んだ職業イメージ	80
3.1.4	講義前後での職業イメージ変容度	81
3.1.5	はじめて知ったこと・聞いたこと	82
3.1.6	特に印象に残ったこと	85
3.1.7	話しを聞いてみたい仕事や職業	88
3.1.8	感じたこと・思ったこと	90
3.2	南部商業高等学校プログラム評価	
3.2.1	語学を活用する職業に関する興味・理解度	93
3.2.2	語学を活用する職業に関するイメージの変容	95
3.2.3	「大変そう思う」を選んだ職業イメージ	103
3.2.4	講義前後での職業イメージ変容度	104
3.2.5	はじめて知ったこと・聞いたこと	105
3.2.6	特に印象に残ったこと	107
3.2.7	話しを聞いてみたい仕事や職業	109
3.2.8	感じたこと・思ったこと	110
3.3	観光人材育成の為に産学連携の在り方 意見交換	112
4	第三回連携プログラム開発検討委員会	
4.1	事業後半に向けた観光人材育成にかんする意見交換	113
5	第三回連携プログラム開発検討委員会以降に実施・取りまとめた 実証授業・職業意識調査	
5.1	具志川商業高等学校プログラム評価	
5.1.1	語学を活用する職業に関する興味・理解度	114
5.1.2	語学を活用する職業に関するイメージの変容	116
5.1.3	「大変そう思う」を選んだ職業イメージ	124
5.1.4	講義前後での職業イメージ変容度	125
5.1.5	はじめて知ったこと・聞いたこと	126
5.1.6	特に印象に残ったこと	128
5.1.7	話しを聞いてみたい仕事や職業	130
5.1.8	感じたこと・思ったこと	132
5.2	具志川商業 航空・ホテル・ブライダル・語学の職業イメージの比較	
5.2.1	大変そう思うと答えた職業イメージの比較	135
5.2.2	授業後大きく変容した職業イメージの比較	137
5.3	高校生の職業意識に関する調査（具志川商業前後）	
5.3.1	調査概要	139
5.3.2	進路について保護者との会話	139
5.3.3	希望する職業を決めているか	140
5.3.4	仕事・働くことのイメージ	141
5.3.5	「とてもそう思う」働くことのイメージ	144
5.3.6	職業を選ぶにあたり重視すること	145
5.3.7	「とても重要」な職業選択要素	151
5.3.8	希望する勤務地	152
5.3.9	仕事に関する意識・考え	153
5.3.10	「とてもそう思う」仕事に関する意識	159
5.4	南部商業高等学校プログラム評価	

5.4.1	語学を活用する職業に関する興味・理解度	160
5.4.2	語学を活用する職業に関するイメージの変容	162
5.4.3	「大変そう思う」を選んだ職業イメージ	170
5.4.4	講義前後での職業イメージ変容度	171
5.4.5	はじめて知ったこと・聞いたこと	172
5.4.6	特に印象に残ったこと	173
5.4.7	話しを聞いてみたい仕事や職業	174
5.4.8	感じたこと・思ったこと	175
5.5	高校生の職業意識に関する調査（南部商業前後）	
5.5.1	調査概要	177
5.5.2	進路について保護者との会話	177
5.5.3	希望する職業を決めているか	178
5.5.4	仕事・働くことのイメージ	179
5.5.5	「とてもそう思う」働くことのイメージ	182
5.5.6	職業を選ぶにあたり重視すること	183
5.5.7	「とても重要」な職業選択要素	189
5.5.8	希望する勤務地	190
5.5.9	仕事に関する意識・考え	191
5.5.10	「とてもそう思う」仕事に関する意識	197

資料

アンケート用紙	198
---------	-----

議事録

第1回プログラム検討委員会	203
第2回プログラム検討委員会	210
第3回プログラム検討委員会	218

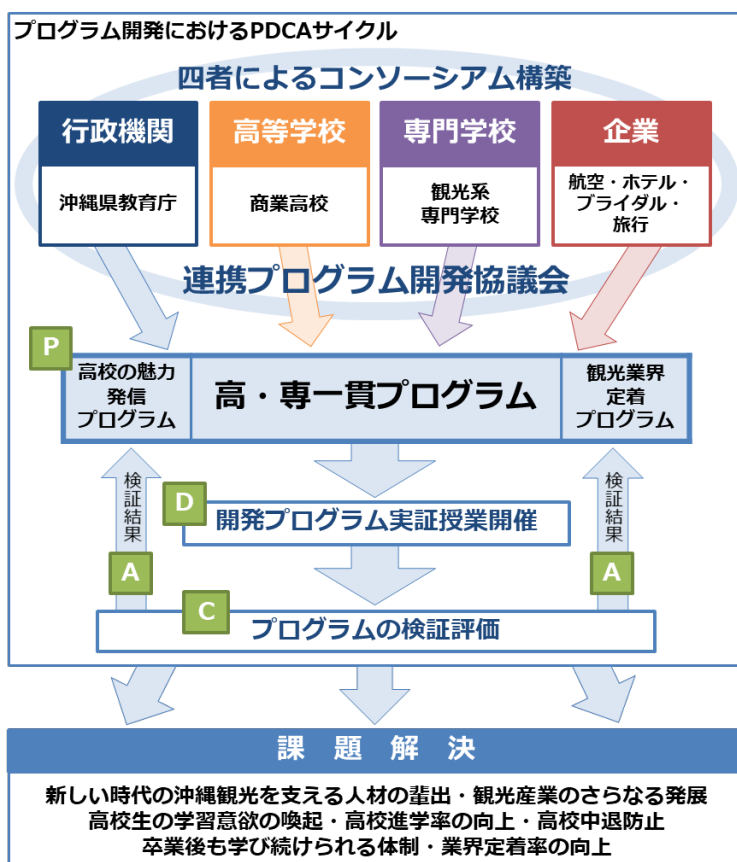
第1部 事業の概要と令和3・4年度の実践

1 事業の概要

1.1 実施体制

行政機関、高等学校、企業、専門学校四者によるコンソーシアムを構築。「連携プログラム開発協議会」を設立し、高・専一貫プログラムの計画を立案する。

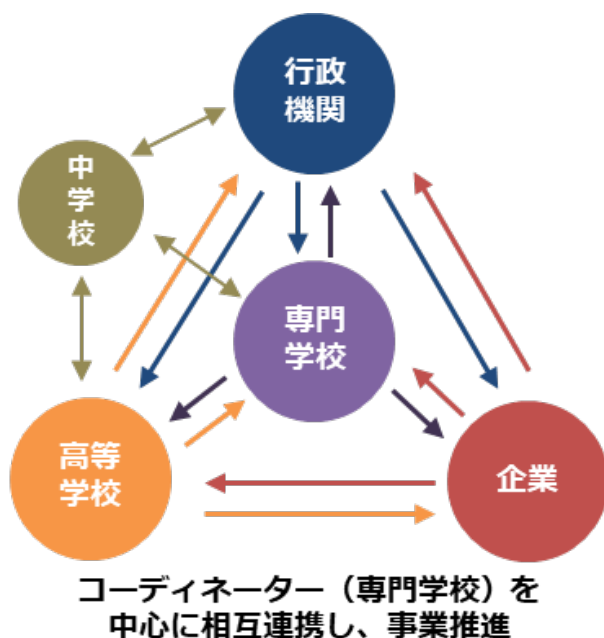
計画を基に開発プログラム実証授業を開催し、プログラムの検証評価委員会によってプログラムの評価を行う。検証結果を基に新たな計画に反映させ実証授業を行う。このPDCAサイクルを有機的に機能させ、実効性・教育効果の高い連携プログラムを開発する。



1.2 事業の趣旨

開発プログラムは「高校生」「専門学校生」はもちろん、高校と専門学校の前後に位置する「中学生」及び「社会人」も包括する。時系列に見ると、中学と高校の橋渡しとして「高校の魅力発信プログラム」を開発。開発プログラムにより中学生にとっても魅力的な高校となり、地域課題である高校進学率の向上、高校中退防止に繋げる。次に、高校と専門学校で5年かけて学ぶ「高・専一貫プログラム」を開発。共通目標と一貫したカリキュラムを構築し、県経済をけん引する沖縄の観光産業を支える専門人材を育成する。そして、専門学校卒業後も学び続けられる体制づくりとして「観光業界定着プログラム」を開発。離職を減らし、観光業界への定着率を向上する。卒業生の業界での活躍は高・専一貫プログラムで学ぶ高校生と専門学校生の身近な将来像であり、将来像の明確化は共通の目標設定や一貫したカリキュラムの重要な要素となる。

開発プログラムにより沖縄の自然や文化等ソフトパワーを生かした高付加価値の新しいツーリズムが開拓されること、そして、沖縄の自然や文化を守りながら沖縄が世界から選ばれる持続可能な観光地となることに寄与したい。



2 令和3年度の活動

2.1 第一回連携プログラム開発検討委員会（令和3年11月10日）

本事業主旨概要説明と事業の目的・ビジョンの共有を行った。また、各現場の「インターンシップの現状と可能性」の意見交換を行った。

高校からはコロナ禍の影響でキャリア関係行事の再開を望む声、企業からは中高大によってインターンシップの捉え方に差があること、専門学校からは、学ぶ意義を伝えるプログラムを期待しているという意見が挙がった。

<インターンシップの現状に関する情報共有等>

（高等学校）

「観光ビジネス」科目は、教科書は発行されていないため、どのような内容で授業を組み立てるか未定の部分がある。県内の観光に関する学科において「観光ビジネス」の教科書を活用するのは、令和5年度以降となるであろう（2年次を想定しているため）。コロナ禍の影響で今まで企業や専門学校が行っていた授業や講話が実施できていないので（高校側からすると）インターンシップなどの機会提供はありがたい。

（企業）

インターンシップについて、中学生は職業体験といわれている。中学、高校、大学生と（学年の違いによって）学んでいる内容や知識のベース、プログラムの違いによって（インターンシップ）のとらえ方に差がある。まだ知らない世界を生徒たちに伝えること、知るきっかけをつくることが重要。

（専門学校）

地域、社会との連携が重要であり、学んだこと、身についたものが社会にどのようにつながっていくか実体験につながることを期待している。

プログラムでは「学ぶ意義」を伝えてほしい。勉強が実際の仕事につながっていることを知ると学習意欲向上につながる。インターンシップ実施に対し、学校側はこの点を重視している。

2.2 第二回連携プログラム開発検討委員会（令和4年2月9日）

ヒアリング調査結果報告と検討、プログラム開発方針の検討を行った。

本来、就業「体験」をするインターンシップが実際は「アルバイト」や「見学」になっていることが多く、目的が不明確になっている現状が明らかになった。そのため、就業「体感」をさせるジョブシャドーイングを取り入れるなど、インターンシッププログラムの見直しを図る必要性が確認された。

<ヒアリング調査検討>

実施状況

2021年12月24日 10:00~11:00	東京都教育庁	訪問
2021年12月24日 13:00~14:00	東京都町田工業高等学校	訪問
2022年1月27日 14:00~15:00	沖縄県具志川商業高等学校	web
2022年1月29日 11:00~11:40	観光系大学	web

（高等学校）

空港やウエディング関係のジョブシャドウイングは生徒も喜ぶと思う。今後ともお願いしたい。

（企業）

ジョブシャドウイングの受け入れ実績は当社ではない。小学生を対象に空港の業務を見る見学会の実績がある。ジョブシャドウイングの前例はないがインターンシップより受け入れやすいと思う。平等にすべての学生を受け入れるには良いと個人的に感じる。

ジョブシャドウイングとしての受け入れ実績はないが、就業体験等は積極的に受け入れている。小学生から高校生まで問い合わせがあった時に現場に行ってもらい担当者からの説明、企業、仕事内容を見てもらうといったことをしているので、結果的にジョブシャドーイングに近い形になっているのではと思う。

ジョブシャドウイングは高校生や大学生を対象に積極的に実施。例えばフロントにいきなり立って窓口業務を行うのは難しい。「今日は見えていて」と伝え、ここで何をしているか、どのように接客しているか感じてもらい、メモを取らせている。あえて「シャドーイング中」といったバッチを付け、お客様にもわかるようにしている。

営業職などホテルの裏側をなかなか見ることはないの、あえて座ってもらい電話を取る姿などを見学する取り組みを昨年度から実施。コロナの影響などもあったので、今までと違う方法でインターンシップを取り組み始めたところ。

(専門学校)

これからインターンシップなど体験型の活動の在り方が大きく変わるのではないかとの実感がある。仕事の在り方が変わる中で、いつまでもリアルな方法ではないと思うが、高校生にとっては実際に見る、肌で感じることに大きな意義があると思う。保護者や先生以外の大人と関わる感覚、挨拶や意見などコミュニケーションの取り方や「働くこと」などを学ぶ機会が大切だと思う。事業実施によるデータ等を分析しながらインターンシップの在り方について、現在検討しているところである。

<令和4年度プログラム開発方針の検討>

(高等学校)

多くの業種、学校の方に協力して頂きながら生徒の職業観育成、進学・就職といった進路決定まで手伝って頂けると助かる。高校には指導要領があるので、カリキュラムをさわることは難しいと思うが航空業界やプライダグ業界など観光に携わる業界が業種に関わらず、若い世代にどこまでできるか、もてなすことができるかと思う。

高校生は漠然としてリゾート、観光といった学科に入学してくる。業種までは絞れていない子がたくさんいると思う。小学生向けにはジョブシャドウイングやキッズニアといった施設で職業体験できる機会がある。高校生にも専門学校へ行く前に業種を知るこのような体験ができればと考えているが、この高専連携の取り組みがよい機会になるのではと思う。

生徒が体験活動等を通じて学ぶ価値が大きい。知識を得ても実際に体験しないと腑に落ちないので、どのように体験する機会を作るかが課題。インターンシップが実施できていない中、学校からは実施してほしいとの声が多い。現状としてできる状況でないのだからこれに代わる方法を考えるなかであって、生徒にとって体験できる学びが大切であると痛感している。

学習指導要領では、勤労観や職業観について説明がされていない。勤労観は日常生活で育成することができるが、職業観、職業理解は学校や地域などの協力を得ながら育成していく必要がある。業種の理解など1つの企業とっても会計や営業などいろいろな部署がある。それらの理解がまだ足りていないと感じることもあるので職業理解に力を入れてほしい。それらを踏まえると企業の協力は非常に大切で、それをつなぐ専門学校の力とが一体的になったプログラムができれば、よい方向で人材が育成できると考えている。

(企業)

例えば旅行業に興味のある子たちに対しては、関係する施設の割引。ホテルに興味のある子に対しては特別な割引料金などをし、魅力をもっと知ってもらうきっかけが重要。

企業の意見として、自分の目で見て判断することが大事であることを伝えてほしい。短期的にはなるが、自分の学校の卒業生の働く姿、活躍している姿を見られると少なからず影響を受けると思う。先輩の働く姿を見せる機会を増やしたり、卒業生が働く企業の担当者が講話を行うなどリアルな現場の声を届けられる機会がもっとあってもよいと感じている。

仕事を通じて初めて知ること、業界の苦勞、失敗など生の声を伝えることが大事と思う。実際の空港の雰囲気、定時運行を守る緊張感など、見て肌で感じないとわからない部分もある。学生にとって職業講話などの後にジョブシャドウイングとつなげていくことに意味があり、やはりこの業種を目指したいと気持ちにもなると思う。

(専門学校)

5年間の学びに対し、どうモチベーションを維持していくか。その対応として検定等もあると思うが、沖縄の観光施設等をもっと知ってもらい、仕事を始めたとき自身の体験を元に観光客に対して生きた情報を伝えられるよう、若い子たちに対し観光施設やホテル・空港を利用してもらい施策も面白いと思う。

ジョブシャドウイングがとっても入りやすいと思った。インターンシップは業種や業態によって受け入れがしにくい期間がある。専門学校としては参加前の事前学習や事後の振り返りで職業教育を踏まえた連携ができるのではないかと考えた。

観光業を学びたいと専門学校へ入学してきたら、地元の人が沖縄の良さを実感できる機会が少ないので、沖縄の良さをプラスした知識を知ることによって新しい価値観を知る人材育成や業界とのミスマッチを防ぐことで長く業界に貢献してもらえと思う。企業と連携した体験学習を進めていければと思う。

3 令和4年度の活動

3.1 第一回連携プログラム開発検討委員会（令和4年8月26日）

令和4年度事業計画とキャリアプランニング能力向上教材（職業図鑑）プロトタイプの意見交換を行った。

調べ学習や職業講話では限られた業種になるので、多様な業種の動画があると非常に助かる。聞き取る力、メモをとるスキルもつく。

イメージをしやすくするため可能であれば働く場面を取り入れたものにして欲しい、話し方や話しのまとめ方に気づける教材にして欲しい、求めるスキルは職種によっても違うしスキル自体も変化しているので動画の更新をやって欲しいなどの意見が挙がった。

（高等学校）

インターネットでの調べ学習や職業講話などを取り入れて、学校でも職業の説明は普段から心がけて行っているが限られた業種しかできていない。このような動画を見ながらメモをまとめていくものは、ベルアテンダント以外の業種でもできるととてもいい教材になると思う。教科書ではなかなか調べることができないことが教材としてであると非常に学校としては有難く、助かる。

動画と質問が一致しており、生徒たちもまとめられると思う。しかし生徒によって注力して聞きたい所が異なるので、次の質問を聞き逃してしまうこともあるかもしれない。その場合は巻き戻してもう一度聞くなど自分たちで工夫してカバーすることができると思う。インタビューの合間や背景でも構わないので、実際に働いている様子や動きが見えるのもっとイメージがしやすくなると思う。言葉だけではなかなか想像することができない子もいるので、動きのある場面も見られると良いのでは。

インタビューで答えの後に理由を述べていた。社会人としての話し方を気づかせる質問等もあるとこれらの範囲も学ぶことができると思うので検討してもらいたい。

（企業）

聞いた話をまとめて伝えられるスキルは良いことなので、いいトレーニングになると思った。今の若い世代は文字より映像から情報を得ることに慣れている。映像教材は若い世代に合っており良いと思った。

インタビューに集中して聴く質問と、それとは別のまとめに使える質問とが分かれている点がメモに集中し過ぎないので良い。メモを記入するためのストップ時間が長いと、前半の部分を忘れてしまうので、適度に短くして最後にまとめる時間を調整してもいいかもしれないと思った。

働いている様子が動画で視聴できるという点が一番良いと思った。コロナ禍の影響でインターンシップをなかなか受け入れてもらえない状況が続いている。言葉だけでなく、映像で見ることができると全然印象が違うと思う。

この動画を視聴した高校生たちが就職するのは3～4年後になる。今と求められるスキルが変わっているかもしれない。人事担当より勉強しておいてほしいこと、業界で求められるものなどを事前にアドバイスできるものが入っていると、さらに高校生が目指す職業に対し明確な気持ちとなり企業も魅力を十二分に伝えることができると考えながら視聴していた。

（専門学校）

インタビューで仕事の経験を11年目と答えていた。目標の1つである3年以内の離職率低下やインタビューで一番つらかった時期が3年目と答えていた点を考えると、高校生に年代が近い、経験5年目程度の人に対してつらかった時期の乗り越え方などを質問して入れてはどうか。また憧れを抱かせることができる年齢の近い世代の方が、職業に対する意欲にもつながるのではないかと思った。

必要な資格に関する部分があったが、取得に向けていつ頃からどのようなことを行ったか、進学先の決め方などの質問もあると良いのでは。

高校生に職業講話を行う際、魅力を感じて理解してもらいたいと考えている。インタビューを受ける人や企業がその点を意識しているかによって、話す内容が変わってくると思う。高校生が職業のどの点に魅力を感じるのか、企業がアピールしたい点、専門学校の教員が魅力として伝えられる点を双方向で確認したうえで動画制作を進めないと、高校生へ魅力が伝わる内容にならないと思う。

3.2 第二回連携プログラム開発検討委員会（令和4年12月16日）

実証授業報告の意見交換と、採用活動・就職・定着状況の情報共有と意見交換を行った。

高校観光系学科は定員割れしており、高卒就職が減っている中、接客業希望者も減っている。
今、観光業は新卒・中途採用共に全く人が集まらない上に離職率も高い。売上は望めても人がいないので営業ができない状況で非常に深刻。現状を打開するため様々な対策を試行錯誤している。

<実証授業実施状況>

2022年7月11日	具志川商業高等学校2年	ホテル・ブライダル業界
2022年10月24日	具志川商業高等学校2年	語学・留学
2023年1月30日	具志川商業高等学校2年	空港とグランドハンドリング

（高等学校）

どちらの授業も給与や休日など現実的な点を意識している生徒にとって、不安な点も質問でできたことがよかった。自分たちが教えるだけではなく、来てもらい話をしてもらおうメリットは非常に大きいと感じる。

（専門学校）

グランドハンドリングはイメージがつきやすいと思う。クイズなどを取り入れ、充実した授業にしたい。空港で働くことについて、高校生のイメージやどう思っているかなども事前を知っておきたい。情報を交換しながら進めたい。

<採用・教育・定着活動状況の意見情報交換>

（高等学校）

今年度リゾート観光科では、観光系の専門学校への進学者3名。外语・国際ビジネス系で8名程度いる。就職者は3年ほど前までは学校全体で7~8名いた。今年は3名程度で内定者1名。もともと就職希望者は多くなかったが、さらに減っている感じはある。

中学生の興味や関心について直接質問したことはないが、リゾート観光科への希望者は減っており定員割れとなっている。希望して入学する生徒は、将来観光系で就職したい気持ちは高いがそれが結びついていくのは難しい状況。中学生を含め、生徒全体が不安を抱えている感じがある。

もともと全体的に進学者が多く、就職は1/3。コロナ禍で観光系が打撃を受けていることを知り、接客業より事務系の希望者が増えている。最近は人と関わる仕事より、コンピュータ系を選ぶ傾向があるのではと感じる。この点は我々の課題でもある。

（企業）

この2年で旅行業全体の約3割が他業種に流出したデータが共用されている。マスコミによる観光業への不安がある報道などもあり、中途採用の求人を行っても応募者は低いのが現状。

インターンシップなどを通じて地道にイメージを払拭している状況。高校生への実証授業と関連付けて企業側がどう連携するかなど地道にやっていきたい。

合同説明会でも観光部門のブースにはなかなか来てくれない。そもそも合同説明会自体にも人が来なくなっていると感じる。おそらく学生も「リモート慣れ」をしており、リモートですべてを決めている。これが接客離れも加速させているのではと感じる。

キャリア教育の一環で小中校へ出向き、観光の魅力を伝えることを行っている。ある学校でコロナ禍により影響を受けた業界の調べ学習を行っていた。子どもたちへ知らず知らずの間に影響を与えているのではと感じた。魅力を伝えることを地道に行っていくしかないと思う。

ホテル業界では人材不足がはなはだしい。コロナ禍の影響で他業種への流出が一定の割合でいる。新規開店のホテルも続いており、少ないパイを取り合っている状態で非常に厳しい。

部門によっても採用のしやすさに差がある。もともとレストラン部門は不足していたが、調理関係はまったくいない状況。オープンできず、止む無く定休日を設けている。売り上げはあっても人がいないので営業することができない現実がおこっている。逆に事務やIT系は多い。

ブライダル業界でも今年のエントリー数はとくに減っている。求人企業からもホテル・ブライダル部門の求人はほぼゼロに近いと言われ、IT、金融、通信が多い。安定志向になっているという話があった。本格的に動きが見られ始める3月ごろに向け、意欲付けを行っている。弊社でもコロナショックが深刻な課題。大学や専門学生向けにアルバイトからブライダル分野に触れてもらうことに力を入れ、現在70名ほどのアルバイト生がいる。アルバイト生からエントリーへ繋げる流れを作っている状況。

アルバイトを禁止している学校もあると思うが、高校生にもアルバイトという早い段階で就業体験をしてほしい。特にブライダル分野はホテルなどに比べて身近な存在ではないので、少しずつ結婚式の楽しさを知ってもらうなどから始めていきたいという考え、インターンシップよりアルバイトに力を入れている状況。弊社の実績や教育支援、育成方法などをアピールするほか、アルバイト生でも等級制度やインセンティブを付けて、アルバイト以上に企業という意識を持って働けるようにしている。

空港でも人材の確保に苦戦。今年は8月から12月にかけて採用を行っているが例年に比べてだいぶ落ち込んでいる。離職率も3年目から上昇。コロナ禍で入職した人がこんなにも忙しいとっていなかったというイメージの違いから退職してしまう。入社しても一定の割合で退職してしまっている。

県内外で説明会を行っているが、ゼロのこともある。他と同様、苦勞している状況。人によって興味の差が大きい。空港見学希望などにはなるべく答えるようにして、将来弊社に入社するかどうかは関係なく、観光業界全体に興味を持ってもらえる取り組みを行っている。

インターンシップは再開したいが、現場の体制が優先となるので受け入れてきていない状況。高校生のアルバイト制度はなく、契約社員として採用している。

(専門学校)

本校の学生就職状況は、ほとんどが観光業界で内定率90%。例年に比べて進路変更者は少なかったと感じる。今年は観光関連の求人が多かったことや、学生たちも早めに就職活動に動いたことが理由ではないかと思う。

去年の卒業生がコロナ禍の影響を大きく受けた。自分自身の将来を積極的に考えて行動していた点が効果として上げられると思う。また途中から航空業界が回復し始めたことで意識を再認識でき今年は90%以上が航空業界に就職。他業界へ就職した1名は、もともとその分野にも興味があり、そちらに進んだ。ここ数年、給与面より「働きがい」で就職を選んでいる学生が多い。

観光業界の魅力を伝え続けることに責任を感じながら進めている。

昨年と大きく変わったと感じる点として、今年はある程度インターンシップが実施することができたこと。去年の卒業生はインターンシップを経験できなかったこともあり例年より他業種への就職が多かった。働きがいでの就職先を決めることが増えていることを考えると職業の魅力を伝えるほか、現場実習の重要性を感じた

就職媒体を使ってもなかなか集めることが難しいので、個別で対応するようにしている。その際に必ず「なぜ観光業界に希望したのか」「観光業界で就職することに不安はないか」「友人や両親からは応援されているか」などを聞くようにしている。反応を示す人は自信を持っていてブレない。

(全般)

以前、入社式の様子をオンラインで発信し、保護者が視聴できるようにした。弊社の代表メッセージを直接伝えた。

小学校でキャリア教育を行った際、その時間の一部が両親の参観日になっており非常に効果が高いと思った。これらを通じて、観光業界の魅力を直接伝えられる機会があればよいと思う。

アフター・コロナを見据えている。東京で就職した卒業生の話によると、レストラン部門では人手がないため、人材を集約して「オープン店」「クローズ店」と日によって営業日を分けて対応。

インターンシップとは別に、大規模なディナーショーで現場実習ができる取り組みを実施。企業には交通費のみを負担してもらい、客へのサービスを学生が行う内容。

3.3 第三回連携プログラム開発検討委員会（令和5年1月20日）

令和4年度開発教材の意見交換と、令和5年度の実践の意見交換を行った。

教材は、インタビューを受けた社員にとっても自分の仕事を見直すよい機会になった。企業や職種によってオペレーションや感じていることは違うので、多くの動画（職業図鑑）を作りたいという意見が挙がった。

次年度は今年度までの事業の継続と中学校への実践を強化すること、インターンシップなどの実践時期は業種によって異なるので調整が必要ということを確認した。

<令和4年度開発教材の意見交換>

（高等学校）

系統的に作られており、高校生が集中して視聴できる取り組みができており非常によい。

各企業を論理的、客観的に理解することができていいと思った。視聴後の変容調査で可視化できる点がいい。これをきっかけに企業側では、より立体的に理解を深めた生徒がインターンシップや企業訪問で先輩から話を聞くことができ、さらに理解を深めることができると思った。

変容調査では多くの質問に答えることで、生徒も今まで気づけなかった興味や関心に気づくのではないかと感じた。早く授業に取り入れてみたい。動画にすることで、見返しが興味を持ったものをもう一度見るといった効果的な使い方もできて良いと思った。

（企業）

動画制作に応じた社員から、どう見られているか、どうあるべきかを見直すことができる良い機会になったという感想があった。普段、学生たちからの声を聞くと制服を着用している姿など表面的な憧れからといったものも多い。華やかな部分だけではなく大変なこともあるが、そこを乗り越えた先にやりがいを感じることができることを知ってもらえれば良いと思ったので、出演した社員には飾ることなく、自分の意見を思った通りに答えてほしいと伝えた。高校生がこの業界に興味を持ってもらえるきっかけになれば幸い。

インタビューはあくまでも個人の感想で、業界全体の声ではない点に不安ではある。本音と建て前というか、こちらと現場の考えが異なるなど良くも悪くもプラスとマイナスの部分が見えるのではないかと感じる。個人のフィルターを通してあるので客観性に不安が残る。同じ業種で複数あればより良いと思う。テキストは作りこまれていて良いと感じる。

企業によっては、モノや職種の呼び方、オペレーションが変わってくると思う。いろいろな企業や専門学校に視聴してもらい追加できれば良いと思う。若い人たちに職業を知ってもらえる教材としては良いものができたと思う。

（専門学校）

テロップが入っているなど以前に比べわかりやすくなっており非常に良い。インタビューされる方の話し方や表情に注目させるなど普段自分たちが行っている授業とは異なる視点もあり、職業に対して憧れを抱かせると感じた。またワークシートも虫食いにすることでしっかり聞こうという意識につながるのによいと思う。

初めに観光業界全体を知り、次に具体的にになっていくという流れでわかりやすく非常によい教材であると感じる。視聴後に実際に職場見学に行けば、より理解度が深まると思う。教材としては非常に有効。

動画という点は伝わりやすく非常に良いと思った。現代の若い世代は確実に動画の方がわかりやすいというのが圧倒なので、テキストと動画が一体化しているのは本当に良い。

<令和5年度の取組みの意見交換>

(高等学校)

職業理解ガイダンスとして、引き続き講話は新2年生に向けて実施したいと考えている。以前の委員会で相談させてもらった企業見学をもっと入れていきたい。施設見学のほかジョブシャドウイングを通じて、実際に現場で働く先輩を見せてもらうことは企業から学校に来て話してもらえるものとは違うので取り入れてほしい。

専門学生との交流も取り入れたい。年齢の近い先輩から進路選択の話聞くことで、選択の幅を広げることができると思う。

春頃からコロナ禍の制限に対し、ひと段落しそう。インターンシップが再開できれば良いと思う。企業のみならずはぜひ受け入れをお願いしたい。先日、県立高校の推薦倍率が公表された。観光系の学校は昨年度に比べ全体的に減少している点が気になる。せっかく良いプログラム制作を行っているので、次年度は具志川商業高での取組みを通じて「こんなことが学べる」ということを中学校側に発信していきたい。先生たちの忙しさもわかるが、中学生に発信してもらえればと思う。

中学生での高校選びは、ある意味で初めての職業選択ではないかと考えると、外間委員の発言は重要であると思う。今回、文科省がこのプログラムを採択した理由として、中学校から企業までの四者間を繋ぐという点を評価してもらえたと考えている。我々も中学校に対し、観光業の魅力や観光に関する知識を具志川商業高で学べることを伝えることができればと思う。

(企業)

企業として中高生に向けたプログラムの手伝いが出来るといった事として、当社の若手社員が職業に関して客観的に話ができる準備を行い、学校など外部でのイベントに協力できないかと考えている。

沖縄は7~8月はトップシーズンとなるのでこの時期でも受け入れは難しい。10月~11月はインターンシップ、中学生の職場体験を受け入れている期間となるので時期的に良い。2月も比較的受け入れは可能であるが、プロ野球やサッカー選手などのスポーツキャンプが行われるのでホテルによっては難しいかもしれない。秋口、または6月頃での実施は非常に良い。プライダル分野は10~11月がトップシーズンになると思うので、そこはまた業種によって異なると思う。

空港関係も7月からはかなり忙しい繁忙のシーズンに入っていくのでインターンシップやジョブシャドウイング等の受け入れは難しい。今後の採用、業界に興味を持ってもらうという点に関しては出来るだけ早く、多く受け入れたいという気持ちはあるので、出来るだけ調整を行いたいと思う。弊社では過去に小学校に出向き「航空教室」を行っていたので、そういった機会も設けられればと思う。去年、一昨年はコロナ禍で実施することができなかったが今後実施できるのであれば中学生を対象に出向いて、興味を持ってもらえるきっかけになれば良いと思う。

(専門学校)

コロナ禍により修学旅行の中止、行動の規制、空港やホテルの利用減少によって楽しい旅行の機会が減ってしまった。楽しい旅行を通じて、CAや空港スタッフ、ホテルスタッフなどに憧れるきっかけが減少したことが中高生の進路にも影響していると思う。あと数年は尾を引いてしまうと印象を受けている。観光系を目指す中学生が減っているとのことだったが、観光系を希望して進学した生徒が確実に観光分野で進学・就職できる仕組み作りも重要と思う。自分たちも観光分野への就職確立について改めて考えていきたい。

高校時代のインターンシップを通じて本校へ入学した事例がある。高校と企業の連携は専門学校にとってもプラスになる。また企業から本校への入学を勧めたという出来事もあるので、連携という流れは非常に良い。

数年前に実施した際は、動画等の教材もまだ浸透していなかったが、今回は委員会を通じて映像教材の効果について聞いていたので、OC用の映像などを高校生がより身近に感じられるよう再編集して準備を進めていきたい。

第2部 令和5年度の活動

1 令和5年度スケジュール

時期	連携プログラム開発協議会	高校向け実証授業	プログラム開発 (オンライン教材) (キャリア教材)	コーディネーター 業務
5月		実証授業		
6月		カリキュラム開発		
7月		実証授業		高校・行政・企業への周知、連携プログラム開発協議会運営 連携校、連携企業の開拓
8月	第1回開催			
9月				
10月		実証授業	(キャリア教材)	
11月	第2回開催	実証授業	(キャリア教材) (オンライン教材)	
12月		実証授業	(キャリア教材) (オンライン教材)	
1月	第3回開催	実証授業	(キャリア教材)	
2月				事業報告書作成

1.1 連携プログラム開発協議会の開催

高等学校、行政、専門学校、企業の四者による高専連携プログラム開発に向けた協議会を発足、プログラム開発に向けた委員会を開催する。ヒアリング調査の分析、課題及びニーズ整理、開発内容の選定を行う。

また、開発プログラムの課題整理、導入に向けた手順を整理する。

第1回委員会（8月開催）：今年度スケジュール紹介、開発プログラム概要

第2回委員会（11月開催）：実証授業開催報告、開発プログラム紹介

第3回委員会（1月開催）：今年度成果報告、次年度方向性確認

<連携プログラム開発協議会委員>

氏名	所属・職名	役割等	都道府県名
1 金城 寛史	沖縄県立具志川商業高等学校 教諭	委員	沖縄県
2 外間 勝	沖縄県教育庁県立学校教育課 産業教育班 指導主事	委員	沖縄県
3 立石 公平	学校法人静岡理工科大学静岡インターナショナル・エア・リ ゾート専門学校教務課長	委員	静岡県
4 山城 秀康	株式会社国際旅行社 取締役総務部長	委員	沖縄県
5 高橋 俊博	タピック沖縄株式会社 コンイチホテル南城 管理部 戦略人事課長	委員	沖縄県
6 内間ゆり絵	沖縄ワタベウェディング株式会社人事総務グループ 人材開 発チーム マネージャー	委員	沖縄県
7 金城かおり	JAL スカイエアポート沖縄株式会社 地域事業推進室 室 長	委員	沖縄県
8 知念 賢志	学校法人KBC学園 インターナショナルリゾートカレッジ 事務局長	委員長	沖縄県
9 新里 玲子	学校法人KBC学園 インターナショナルリゾートカレッジ 教務課長	委員	沖縄県
10 宮城 良之	学校法人KBC学園 インターナショナルリゾートカレッジ 教務課長	委員	沖縄県
11 吉原亜矢子	学校法人KBC学園 インターナショナルリゾートカレッジ 教務課長	委員	沖縄県
12 細谷 麻衣	学校法人KBC学園 インターナショナルリゾートカレッジ 就職課主任	委員	沖縄県
13 田村 明子	学校法人KBC学園 インターナショナルリゾートカレッジ 教務課主任	委員	沖縄県
14 仲宗根 真	学園本部 経営企画室 部長	事務局	沖縄県
15 玉城 薫	学園本部 地域創生室 教材開発担当	委員	沖縄県

1.2 実証授業の開催

具志川商業高校にて実証授業を開催（令和5年5月、7月、10月、令和6年1月予定）

高校1年生向け：1回開催

高校2年生向け：4回開催

インターナショナルリゾートカレッジにて実証授業を開催（令和5年12月予定）

専門学校生向け：年1回開催

1.3 プログラム開発

観光分野職業理解ための高校生向けキャリア教育教材制作（50分授業×3コマ分）
キャリア教育のための観光業界周知インタビュー動画制作（5セット）

1.4 コーディネーター業務

連携校・連携企業の開拓、高等学校・行政・企業の橋渡し

2 第一回連携プログラム開発検討委員会

令和5年度事業計画の検討、実証授業結果報告と検討、沖縄の観光業を取り巻く環境についての意見交換を行った。

2.1 具志川商業高等学校 職業イメージ変容調査・プログラム評価

実施概要

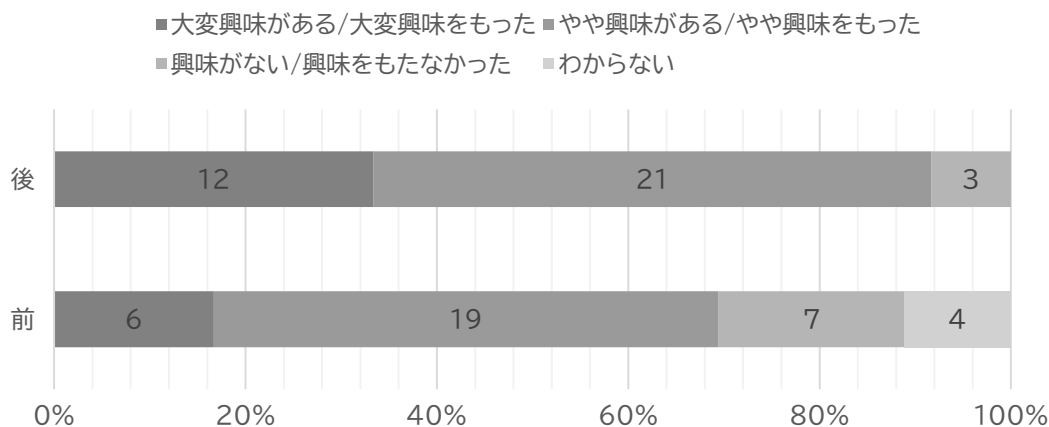
日時 令和5年7月20日 9:20~10:20
対象 沖縄県立具志川商業高等学校リゾート観光科 2年生
人数 36名
講師 インターナショナルリゾートカレッジ 崎山さとみ先生
内容 航空業界について

2.1.1 航空業界に関する、興味度と理解度

2.1.1.1 「この仕事に興味がありますか？/興味をもちましたか？」

「大変興味をもつ」生徒が6人から12人に2倍になった。「わからない」生徒がゼロになり、職業選択判断の材料になった。興味関心度は、31ptから45ptに上昇した。

興味関心度は「大変興味がある/大変興味をもった」を2点、「やや興味がある/やや興味をもった」を1点とし回答数を乗じた。

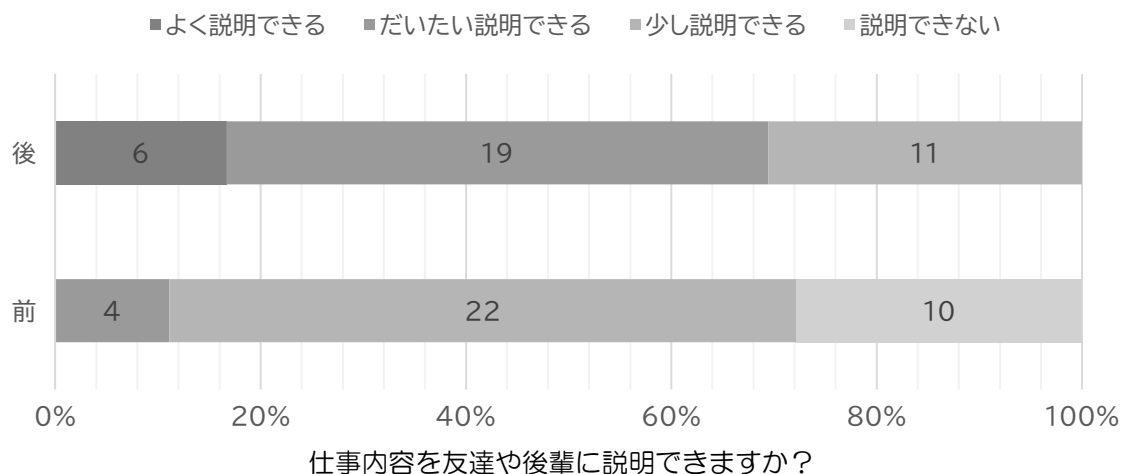


この仕事に興味がありますか？/興味をもちましたか？

2.1.1.2 「仕事内容を友達や後輩に説明できますか？」

説明できなかった生徒が10人いたが、ゼロになった。よく説明できる、だいたい説明できる生徒が4人から25人になった。理解（説明）度は、30ptから67ptに上昇した。

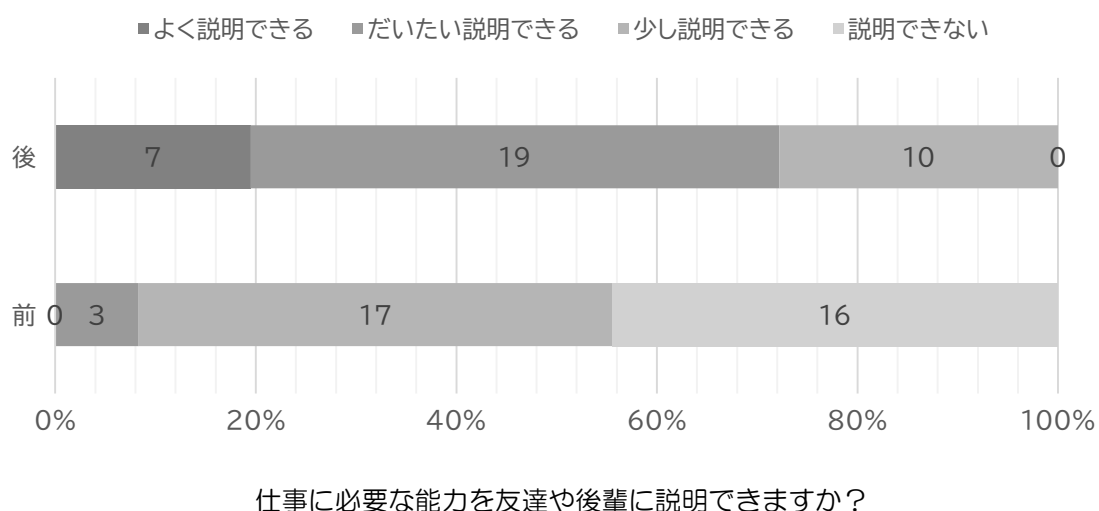
理解（説明）度は「よく説明できる」を3点、「だいたい説明できる」を2点、「少し説明できる」を1点とし回答数を乗じた。



2.1.1.3 「仕事に必要な能力を友達や後輩に説明できますか？」

説明できなかった生徒が16人いたが、ゼロになった。よく説明できる、だいたい説明できる生徒が3人から26人になった。理解（説明）度は、23ptから69ptに上昇した。

理解（説明）度は「よく説明できる」を3点、「だいたい説明できる」を2点、「少し説明できる」を1点とし回答数を乗じた。

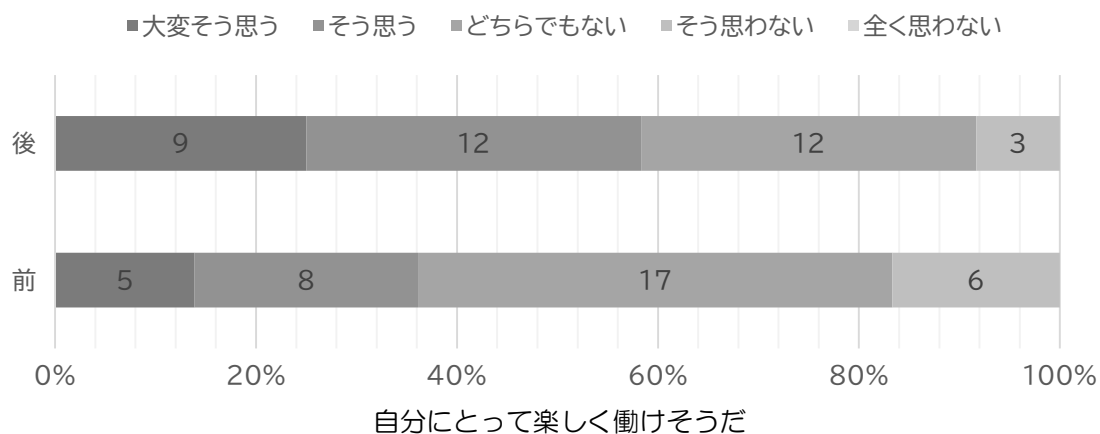


2.1.2 航空業界職業イメージの変容

2.1.2.1 「自分にとって楽しく働けそうだ」

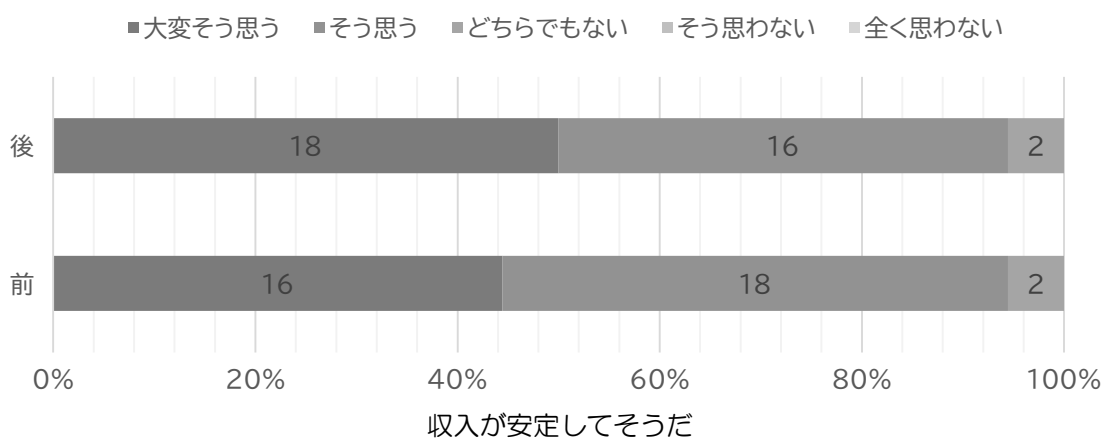
ポジティブな意見を持つ生徒が13人から21に増えた。
職業イメージ度は、12ptから27ptに上昇し、大きく変化した。

職業イメージ度：「大変そう思う」を2点、「そう思う」を1点、「どちらでもない」を0点、「そう思わない」を-1点、全く思わないを-2点とし回答数を乗じた。



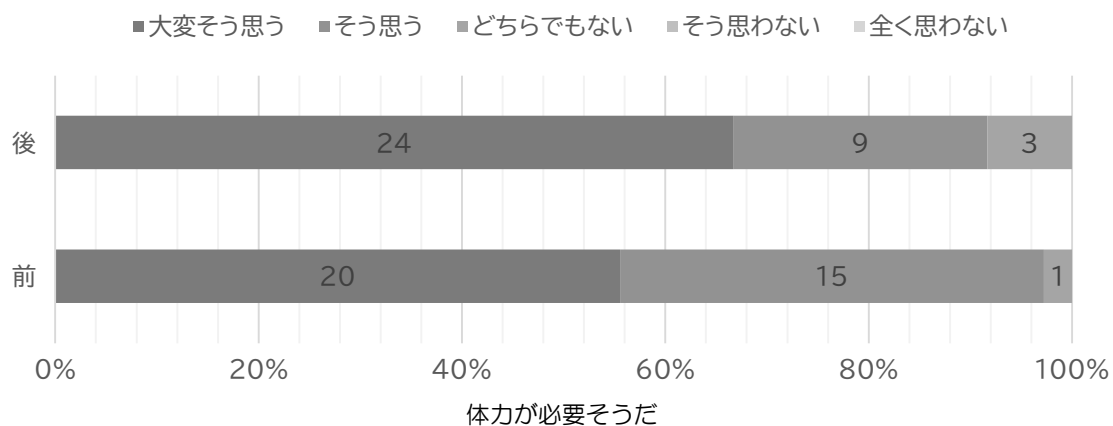
2.1.2.2 「収入が安定してそうだ」

イメージに大きな変化はなかった。
職業イメージ度は、50ptから52ptに上昇した。



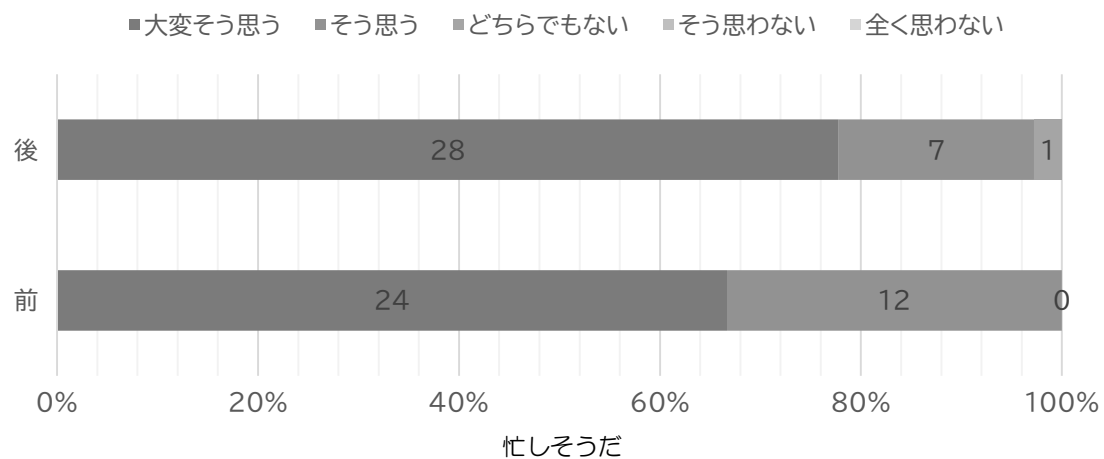
2.1.2.3 「体力が必要そうだ」

大変そう思う生徒が20人から24人になった。
職業イメージ度は、55ptから57ptに上昇した。



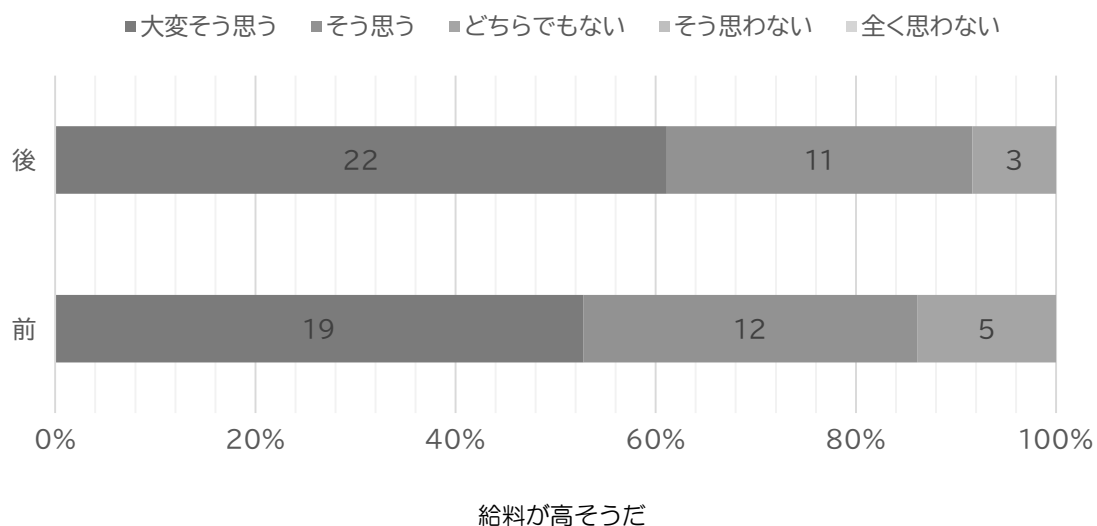
2.1.2.4 「忙しそうだ」

大変そう思う生徒が24人から28人になった。
職業イメージ度は、60ptから63ptに上昇した。



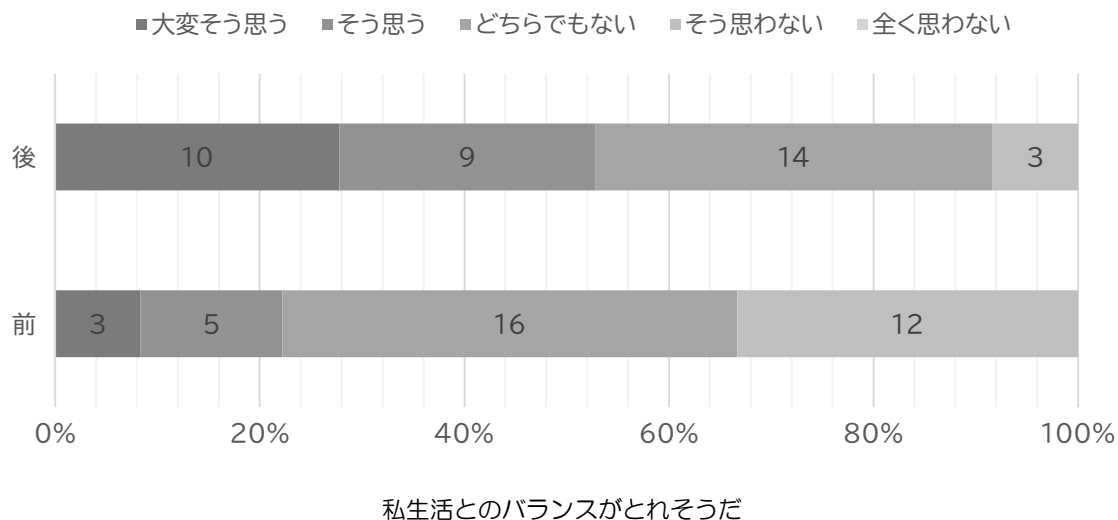
2.1.2.5 「給料が高そうだ」

ポジティブなイメージを持つ生徒が31人から33人に増えた。
職業イメージ度は、60ptから63ptに上昇した。



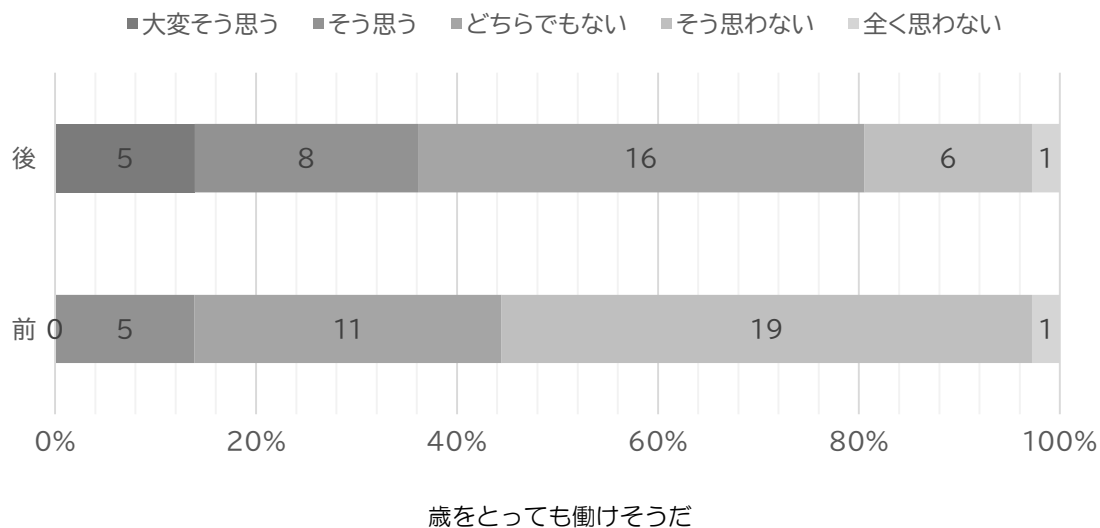
2.1.2.6 「私生活とのバランスがとれそうだ」

ポジティブなイメージを持つ生徒が8人から19人に増えた。
ネガティブなイメージを持つ生徒が12人から3人に減少した。
職業イメージ度は、-1ptから26ptに上昇し、大きく変化した。



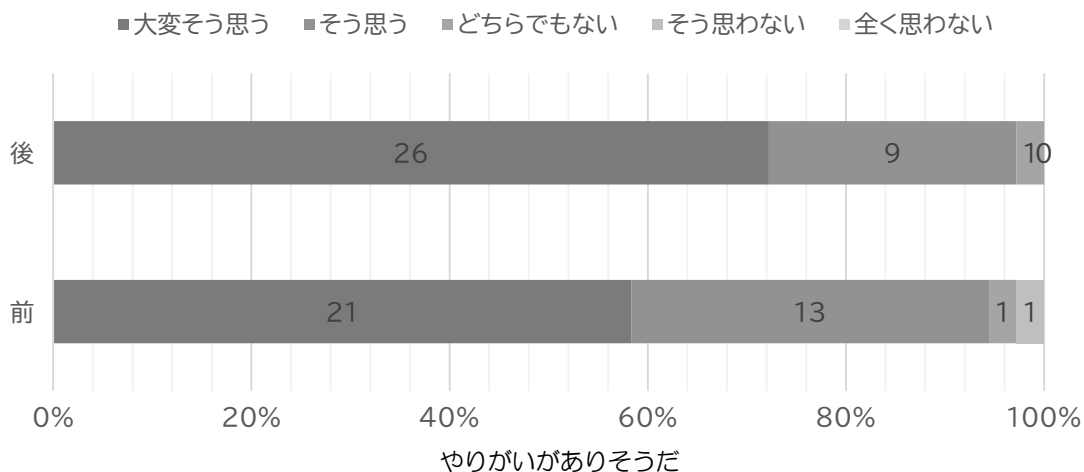
2.1.2.7 「歳をとっても働けそうだ」

ポジティブなイメージを持つ生徒が5人から13人に増えた。
ネガティブなイメージを持つ生徒が20人から7人に減少した。
職業イメージ度は、-16ptから10ptに上昇し、大きく変化した。



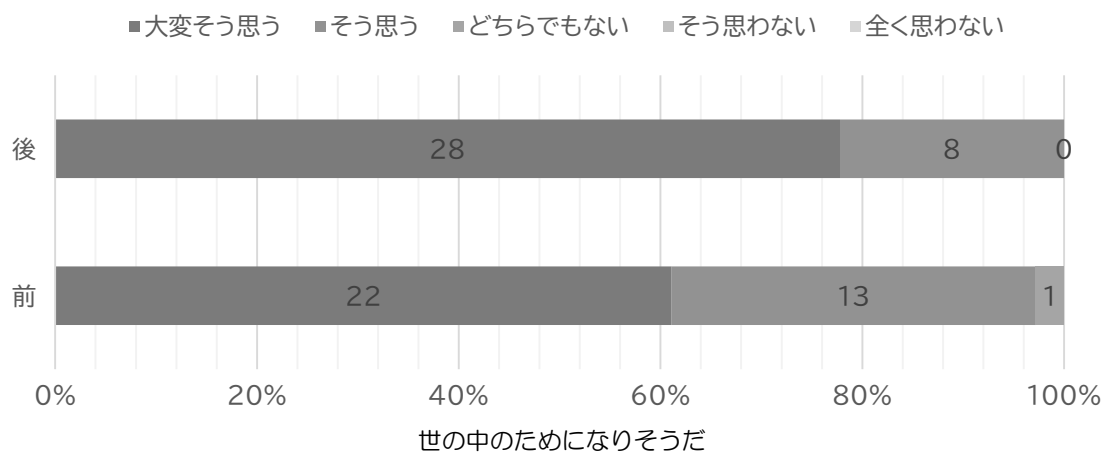
2.1.2.8 「やりがいがありそうだ」

大変そう思う生徒が21人から26人に増えた。
職業イメージ度は、54ptから61ptに上昇した。



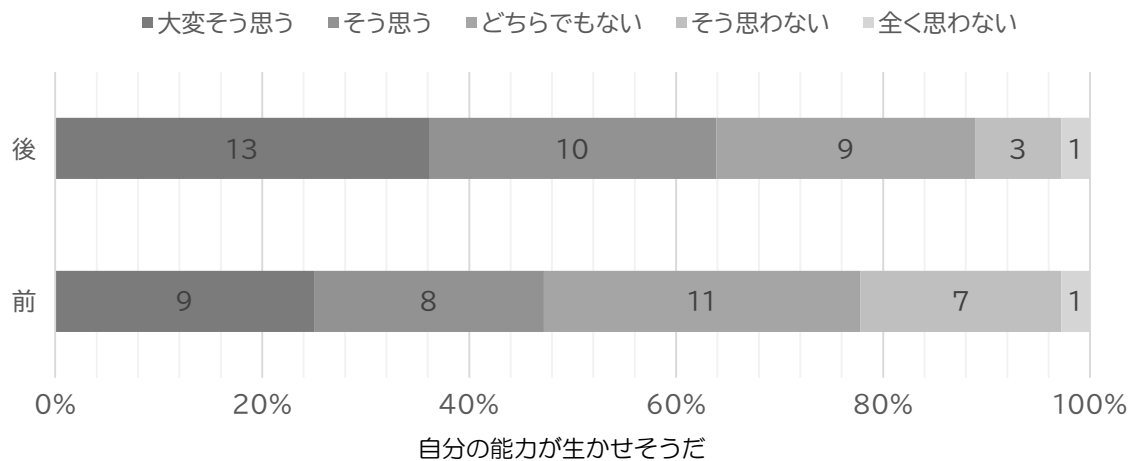
2.1.2.9 「世の中のためになりそうだ」

大変そう思う生徒が22人から28人に増えた。
職業イメージ度は、57ptから64ptに上昇した。



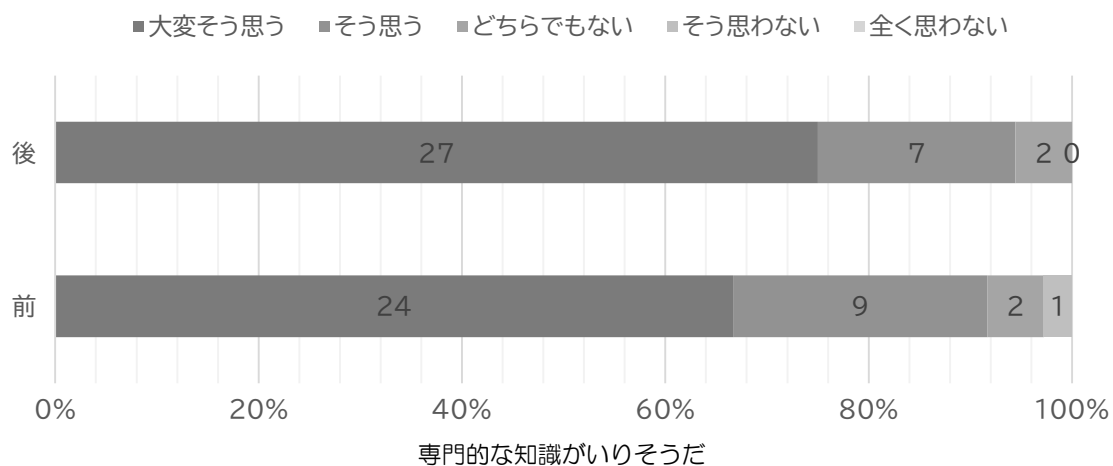
2.1.2.10 「自分の能力が生かせそうだ」

ポジティブなイメージを持つ生徒が17人から23人に増えた。
職業イメージ度は、17ptから31ptに上昇した。



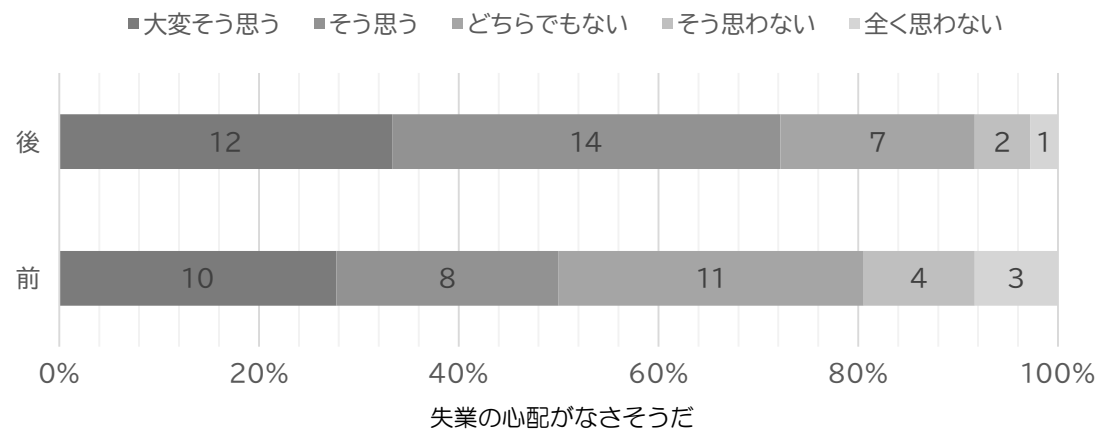
2.1.2.11 「専門的な知識がいきりそうだ」

大変そう思う生徒が24人から27人に増えた。
職業イメージ度は、56ptから61ptに上昇した。



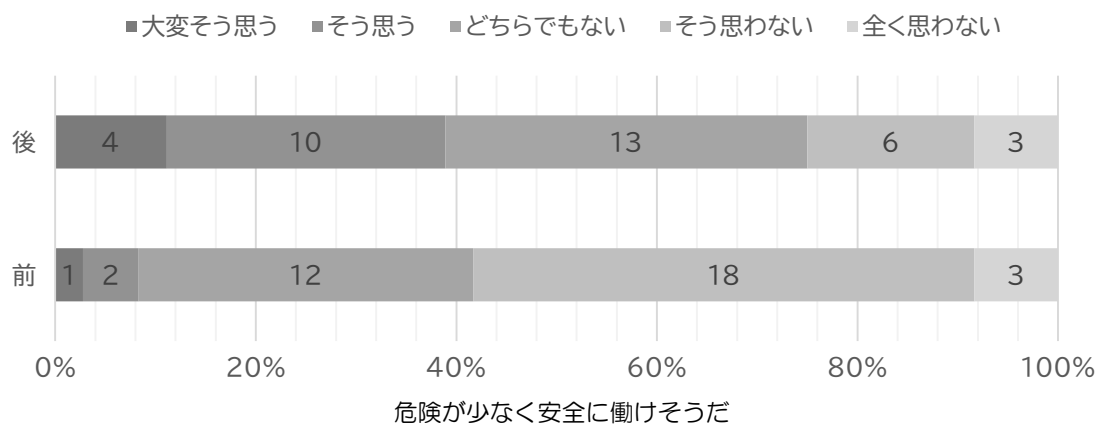
2.1.2.12 「失業の心配がなさそうだ」

ポジティブなイメージを持つ生徒が18人から26人に増えた。
ネガティブなイメージを持つ生徒が7人から3人に減少した。
職業イメージ度は、18ptから34ptに上昇した。



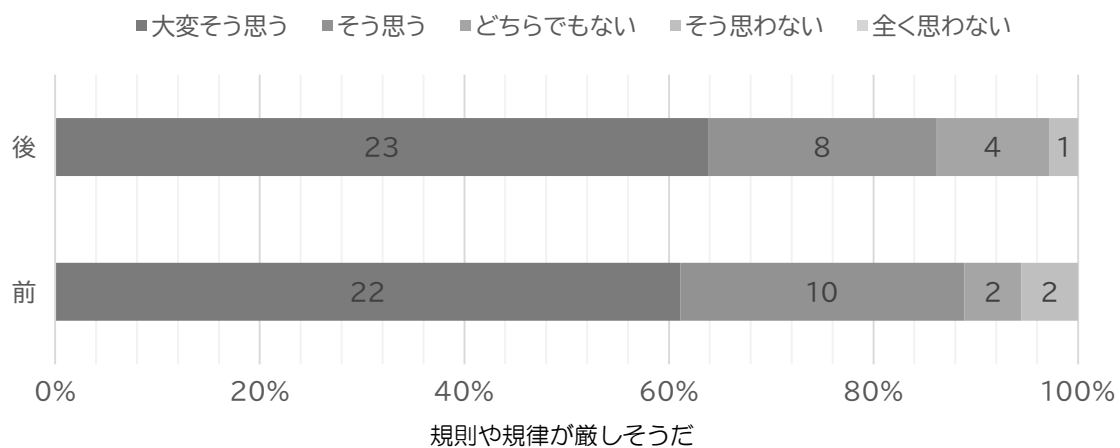
2.1.2.13 「危険が少なく安全に働けそうだ」

ポジティブなイメージを持つ生徒が3人から14人に増えた。
ネガティブなイメージを持つ生徒が21人から9人に減少した。
職業イメージ度は、-20ptから6ptに上昇した。



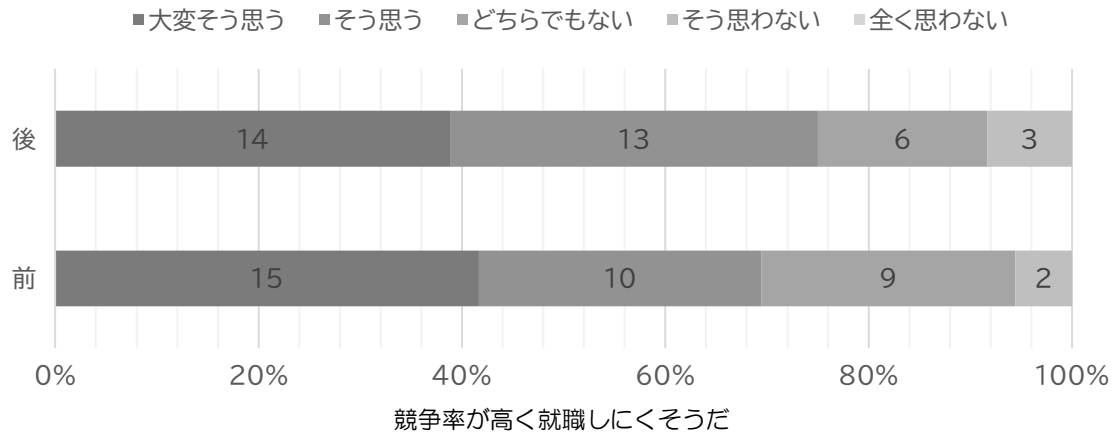
2.1.2.14 「規則や規律が厳しそうだ」

イメージに大きな変化はなかった。
職業イメージ度は、52ptから53ptに上昇した。



2.1.2.15 「競争率が高く就職しにくそうだ」

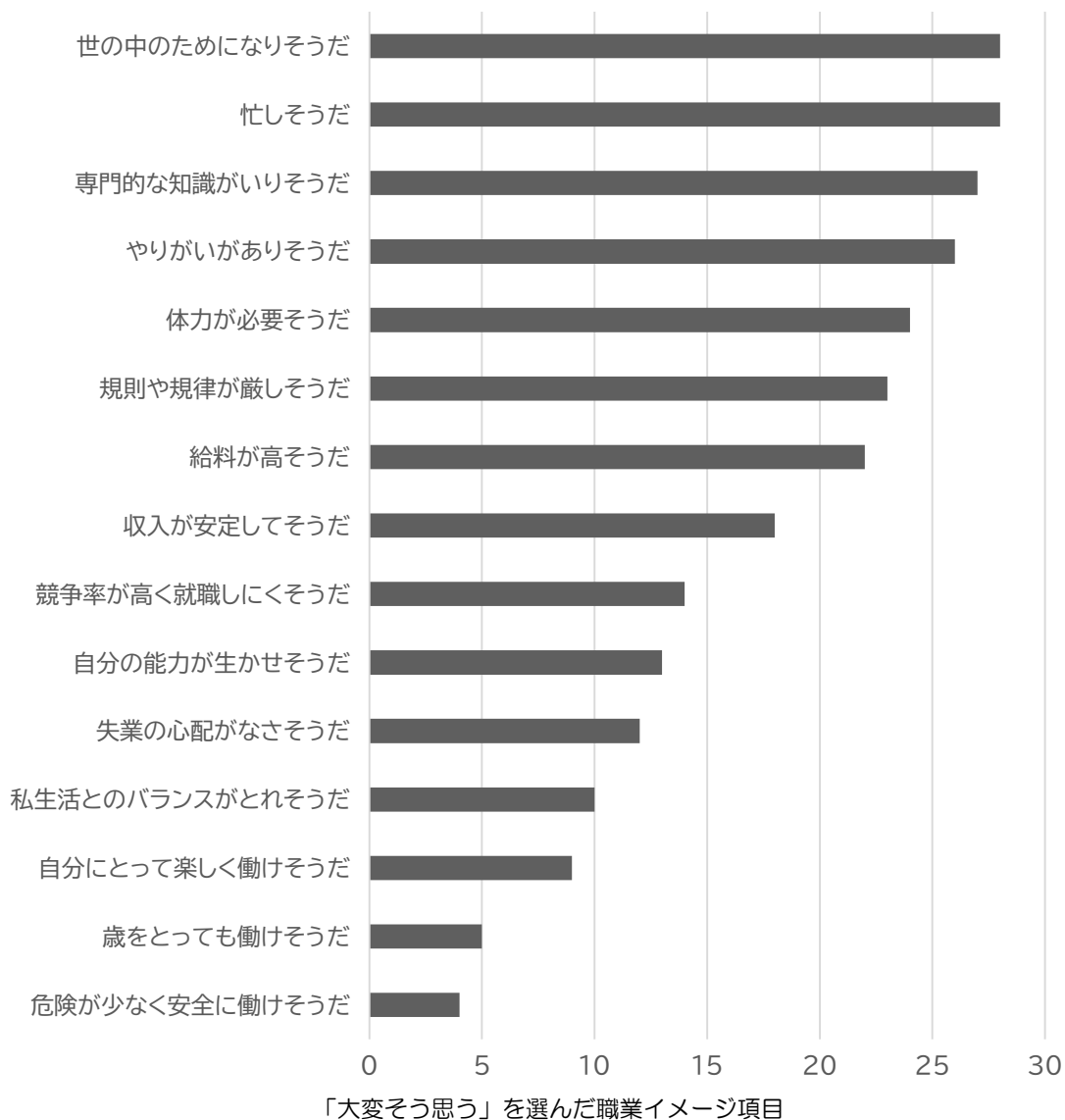
イメージに大きな変化はなかった。
職業イメージ度は、38pt で変化がなかった。



2.1.3 「大変そう思う」を選んだ職業イメージ項目

講義後、航空業界に持つ職業イメージとして70%以上（25人以上）が「大変そう思う」を選んだのは、「世の中のためになりそうだ」「忙しそうだ」「専門的な知識がいりそうだ」「やりがいがありそうだ」だった。

50%以上（18人以上）が「大変そう思う」を選んだのは、「体力が必要そうだ」「規則や規律が厳しそうだ」「給料が高そうだ」「収入が安定しそうだ」だった。

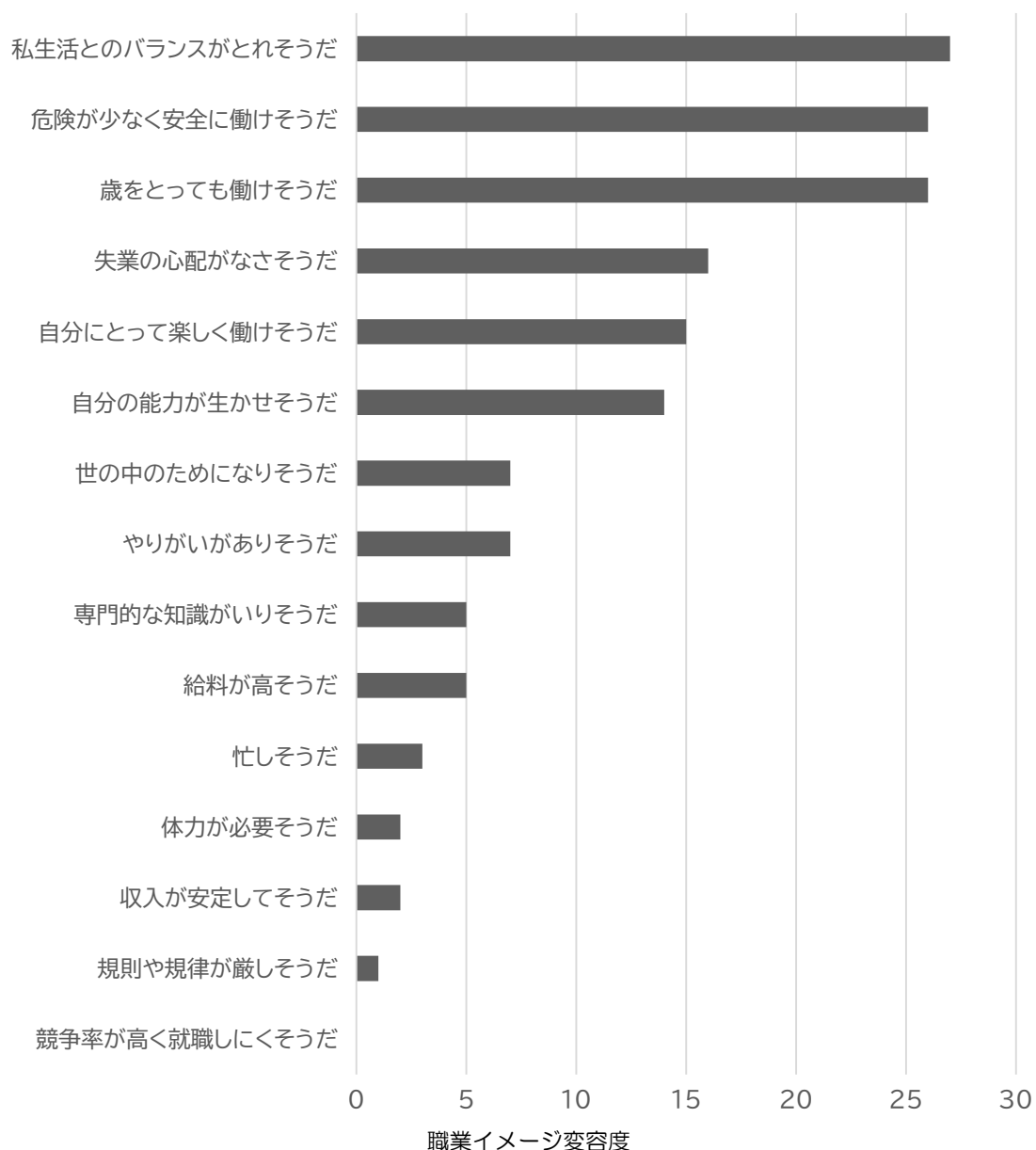


2.1.4 講義前後での職業イメージ変容度

職業イメージが大きく変容した項目グループは、「私生活とのバランスがとれそうだ」、「危険が少なく安全に働けそうだ」、「歳をとっても働けそうだ」だった。

職業イメージが中程度に変容した項目グループは、「失業の心配がなさそうだ」「自分にとって楽しく働けそうだ」「自分の能力が生かせそうだ」だった。

職業イメージが変化しなかった項目グループは、「競争率が高く就職しにくそうだ」「規則や規律が厳しそうだ」「収入が安定してそうだ」「忙しそうだ」だった。



2.1.5 今日の講義・講話の中で『はじめて知ったこと、はじめて聞いたこと』

※誤った漢字や送り仮名、ひらがな表記などは訂正せず、可能な限り原文に近い形で表しています。
※ひとりひとりの記述は掲載の順番を変えて、「--」で区切っています。

今日の講話を聞いてはじめて知ったことは、グラウンドスタッフの方たちはロビーでも働らいているけど、バックオフィスでも仕事をしているということがわかった。

--

理解ガイダンスで、エアライン分野で他にも沢山の職業があってすごいなって思ったのが接客ができるようにスキルを上げたり、i pad や無線を使っていつでも対応ができるように準備をしているのが素敵だなって思いました。

--

キャビンアテンダントはメガネをつけてはいけないことがわかった。

--

メガネをつけたらだめなこととひこうきは800km であごくこと風のにったら1000km までうごくこと知ってすご。と思った。

--

エアラインは空港でやとわれるのではなく、エアラインの会社に入社して空港で仕事する

--

飛行機の時速が800km なのがおどろいた。石垣に行くまで1時間もかからないと言っていたのが印象的だった。

--

エアラインとは、人・物を航空機に乗せて目的地に届ける運送業者のことを言う。

--

- ・国境を越えた許認可事業なため安全・安心である。
- ・就航地に新しいイベントを作るなど、地域貢献している。
- ・飛行機のスピードは800キロも出る。
- ・B787（中型ジェット）300億円で買える。

--

航空のことで、やっぱりうら側は、戦じょうとって、そうなんだなって思いました。グラウンドスタッフはめがねがきんしで、お客さんにひがいがあたるから、だめってはじめてしりました。たしかにメガネの人は見たことないって思いました。

--

今日お話を聞いて、グラウンドスタッフのお仕事はチェックインだけでなく、ロビーサービスやゲート業務もあると初めて知りました。キャビンアテンダントは優雅にお仕事をしているように見えるけど、実はとても忙しく、たいへんなお仕事だとわかりました。

--

初めて知った事が多かったです。仕事分野も、何をするのかも、たくさんのお仕事がある中で、役割が一つ一つあって、たくさん仕事をこなすことが多くて、大変だなと知ったし、キャビンアテンダントさんは、紙一枚でもおちないように気をつけているという事におどろきました。こんな細かい所まで、お客さんに気を使っているんだなと知りました。

--

グラウンドスタッフにバックオフィスというのがあって、無線で話したりする。

--

グラウンドスタッフの中にも細かい仕事は沢山あってそれも全部沢山訓練していて、お客様に不快な気持ちをさせないようにとても努力していることがとても凄くておどろいた

--

- ・飛行機は時速800km、風があると1000kmで走行する。
- ・めがねはかけることが禁止されている所が多い。（乱気流などでとんでしまう可能性があるから）
- ・国の法とつながっており、航空法の適用と許認可制
- ・那覇空港に水族館を設置するなど様々なプロジェクトを立てている。

--

私が今日の講話を聞いてとても忙しそうなお仕事だと思いました。初めて知ったことは、5つ星ホテルとファーストクラスがあるという事です。私は、5つ星ホテルよりも、少し落ち着きのあるファーストクラスの方がいいなと思いました。

--

グラウンドスタッフは、持ち物けんさだけではなく、チェックインやロビーサービスを行っている。ロビーは、無線でつながって（※原文ママ）パイロットと話をしながら接客をする。とっても大変そう！！

--
飛行機は800kmで、めがねはとんだりしたらあぶないからつけたらだめ。コンタクトはいい。日本の航空会社は世界でいちばん、対応がいい。

--
航空会社には、たくさんの種類があるということが知れた。

--
高校生のうちから、国語力や、自律・尊重・創造力を意識することが大切だと知ることができました。

--
キャビンアテンダントは、めがねを禁止されていて、その理由としては乱気流などでメガネが飛んでケガすることあるのでダメということでした。他にも意外のきびしい部分があると疑問にもありました。

--
就航地に新しいイベントを作るなど地域貢献をしている！という事をはじめて知りました。空港や飛行機などだけで仕事があると思っていたので、その地域ごとにイベントを作るというのはビックリしました！！

--
ラウンジで有名人にあうことがあるとはじめて知った。バックオフィスでパイロットと無線をつながっていると知った。

--
機内とかで出てくるものは機内の中で調理をしていることをはじめて知りました。

--
グラウンドスタッフの中にも、さまざまな、やくわりがあり、安全に、飛行機が利用できるようなとり組みが沢山ありました

-
- 飛行機のスピードは、だいたい800キロで。
 - いっぱい資格を取る

-
- 表だけではなく、裏で働くバックオフィスというものがある。
 - ファーストクラスは、飛行機に乗る前から違う。
 - 飛行機1台買うのに300~500億かかる。
 - 空港や航空機などを扱うときには、法律で許可を得る必要がある。
 - キャビンアテンダントでも、サービス業務や、保安業務で分かれている。→お客様が心停止したら、緊急着陸する。

--
飛行機の中型が約300億くらいするという事後、カチコチのものを温めたりするからよくやけどとかをはじめてきました。

--
バックオフィス
メガネ禁止
風があれば1000kmもでる
月・金・土・日は忙しい（特に）

--
めがねはつけない事。
乱気流などでメガネが飛ぶしケガするのをふせぐため。

--
キャビンアテンダントは、めがね禁止っていうのを初めて知ってびっくりしました。

--
1つの航空機に乗客が500人乗るという事と、キャビンアテンダントは、500人分の食べ物を一っきに温めてお客様に出さないといけないという事また、有名人の方が来た時に、パパラッチなどの人に雇われている場合は、グラウンドスタッフが対応しなければならない。飛行中乗客がたおれていたりした場合は、医者を探して、あぶない場合はきんきゅうちゃくりくする。

-
- 飛行機は時速800km、風にのると1000kmまで速くなる。
 - 曜日に合わせて接客の仕方が変わる。→月曜日・金曜日はサラリーマンが単しんふにんで来ることが多いため

2.1.6 今日の講義・講話の中で『特に印象に残ったこと』

※誤った漢字や送り仮名、ひらがな表記などは訂正せず、可能な限り原文に近い形で表しています。
※ひとりひとりの記述は掲載の順番を変えて、「--」で区切っています。

特に印象に残ったことは、「仲間」「チームワーク」「笑顔で明るく」という言葉がとても印象に残った。確かにキャビンアテンダントの方たちやグランドスタッフの方たちはいつも丁寧にニコニコしていてとても元気をもらえたのを覚えています。

--

1903年人も人類初飛行進化を続けるエアラインがすごいなって思いました。初めて知ったことは羽田空港には神社があると聞いてびっくりしました。

--

グイズ型式でやるからわかりやすかったし一番印象に残っているのは飛行機を買うのにすごいお金がかかることがわかりました。

--

空港が水ぞくかんができてめっちゃひろくなるというえいそうがすごくて印象に残った。

--

安全性が高い

--

華やかに見えるキャビンアテンダントの裏側には、たくさんの苦勞と努力があるのがすごく印象的だった。

--

空航内で働いている人達は、安全性を第一に考えて働いていると聞いて、とても責任感がある仕事だなと思いました。

--

- ・「仲間」「チームワーク」「笑顔で明るく」
- ・自律・尊重・創造力を意識する
- ・グローバルな仕事
- ・特別な時間とビジネスを支える仕事
- ・お客様の笑顔を作るやりがいのある仕事

--

芸能人とかがくる時しょうぼうがはいそうてふつうにみれていいなってとてもおもいました。いままでは英語のう力をあげるって思ってた 国語が大事だった

--

キャビンアテンダントの方々は、とてもくねんしてて、もしもの時にそなえているのだとわかりました。また、お客様の笑顔を作り、特別な時間とビジネスを支えるとても重要な仕事なんだと印象に残りました。

--

未来のなは空港というビデオを見て、こんなにキレイでステキで、夢があふれた空港の実現をめざしているんだと、すごく興味をもちました。いつか本当にこんな場所ができるのかなと思うと、すごく楽しみだし、訪れた人たちみんなが最高の思い出を作ることができるなと思いました

--

実際、心ばい停止になった人がいて、そこの医者がいて助かった。航空業かいはお客様のニーズにこたえるため変化し続けている。

--

ラウンジ業務で自分の割り当て場じゃないのに芸能人が来るからウロウロしてるの面白いなと思った

--

- ・お客様の笑顔をつくる仕事であること。
- ・夢や希望をのせて仕事している
- ・人様に貢献できているとやりがいを感じる。

--

講話をきいて印象に残ったことは空航の人はメガネをつけてはいけないというところがとても印象に残りました

--

クイズです。GS、CAに関する問題で、CAが身につけてはいけないメガネ。それは、自分のためにも、お客様のためにもなるので、とっても印象に残った。

--

大変そうなイメージしかなかったけど、芸能人に会えたりだとか、いがいと楽しそうな所もたくさんあっていいと思った。

--

ファーストクラスに乗ってみたいと思った。

--

機内ではメガネを持ち込んだらダメなことが時に印象に残りました。

--

グランドスタッフは、キャリアをつんだらスキルを上げることができると聞いて、スキルを上げることによって自分自身のレベルも上げることができると感じました

--

ドラマである「この中にお医者様はいらっしゃいませんか」が現実にも存在しているという事がとても印象に残りました。

--

キャビンアテンダントは、めがねをかけずにコンタクトレンズを着用する

--

ラウンジとかにたまに有名人とか来ているときはラウンジでの仕事じゃないひととかも近くをウロチョロ？していたりするという話が印象に残りました。

--

CAは、メガネを付けられないなど、様々な豆知識
飛行着は、300億円ほど、時速800kmなど。

--

月・金はビジネスマンが多い。土日は観光客が多い。

--

・飛行機の中で心停止した方がいたら、緊急着陸し、心停止した方を降ろして、また目的地まで飛行するという事。

- ・飛行機1台買うのに、300~500億かかるということ。
- ・沖縄では、今空港をより良いものにするための活動が行われている。
- ・パイロットの話を聞きながら接客したりしている。
- ・いつでも対応ができるように、タブレットを持ち歩いている。

--

グランドスタッフのお仕事の話が特に1番印象に残りました。無線でパイロットとかいわをしているのとかもすごいなと思いました。

--

月・金・土日は特に忙しい
国・数・英のテストがある
国語能力も必要

--

飛行機のスピードが800kmだったこと。

--

グランドスタッフとかにも、色々な役割りなどがある

--

私が特に印象に残った事は、乗客がたおれたりした時に、すぐに、キャビンアテンダントの人が医者を探したりとか、対応する所です。

--

小型ジェットが300億だったので大型ジェットは何億かかるのか気になりました。

--

お客様の笑顔のために、一人一人への気配りを行い、いざというときの判断をまちがえないために、日ごろから勉強をしていくことが大切というところが印象に残った。大切なお客さまを守るために努力をしていくことがカッコイイとおもい、印象に残った。

--

グランドスタッフは女性だけではなく男性も多くなっている
チェックインの人はいろいろなお客様に対応できないといけないことが印象に残りました。

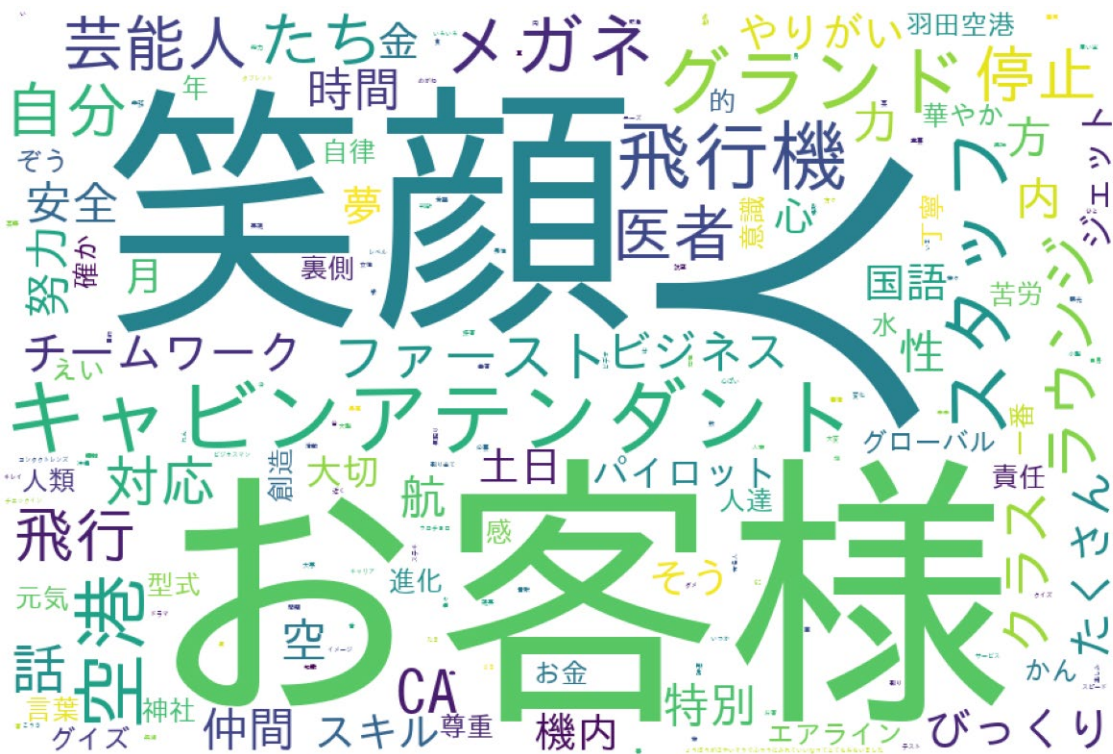
--

キャビンアテンダントの方が機内食を500人分を温めたり、飛行機が1000億以上もしたり、とてもびっくりすることがありました。

--

ファーストクラスは、ひこうきだけがファーストクラスってことではなく、もう、空港内から色々とサービスがある。

多くの生徒に印象に残ったことは、「お客様の笑顔をつくる仕事」だった。



2.1.7 話しを聞いてみたい仕事や職業

※誤った漢字や送り仮名、ひらがな表記などは訂正せず、可能な限り原文に近い形で表しています。
※ひとりひとりの記述は掲載の順番を変えて、「--」で区切っています。

美容関係のお仕事

--

ネイリスト

--

公務員

--

歯科衛生士

--

メイクアーティスト、スタイリスト

--

けいさつかん、ほうにかんするやつ

--

パイロット、ディスパッチャー

--

保育士、シェフ、パイロット

--

経営、英語関係

--

保育士、けいえい者社長、けいさつ。弁護士 Youtuber

--

ブライダル関係（ウエディングプランナーなど!）、心理カウンセラー

--

保育士などなど

--

航空関連 IT 会社、パイロット

--

通訳とか

--

ホテル業

--

美容関係の仕事

--

通訳の方

--

通訳、翻訳、基地の中で働いてる人

--

シェフ、バーテンダー、パティシエ、べんごし

--

保育士

--

ブライダル関係、ヘアメイクアップアーティスト、美容部員

--

銀行員→事務関係の仕事の方

--

保育士

--

ホテルのフロントスタッフ、英語を扱う職業

--

保育士、ホテルマン

--

ホテル業、ブライダル業

--
ホテル業
--
医療系で働いてる人、保育士
--
看護師
--
栄養士、消防士

<話を聞いてみたい仕事や職業（希望職種とは無関係）>

保育士	7	航空関係	2	心理カウンセラー	1
英語を使う仕事	5	経営者	2	銀行員（事務系）	1
美容系	5	フライダル	2	基地で働いている人	1
ホテル	5	飲食系	2	IT会社	1
公務員（警察・消防など）	4	看護師	2	Youtuber	1
弁護士など法律に関わる仕事	3	歯科衛生士	1		
パイロット	3	栄養士	1		

2.1.8 今日の講義・講話を聞いて、『感じたこと、思ったこと』

※誤った漢字や送り仮名、ひらがな表記などは訂正せず、可能な限り原文に近い形で表しています。
※ひとりひとりの記述は掲載の順番を変えて、「--」で区切っています。

今回の講話で思ったことは、グランドスタッフやキャビンアテンダントの仕事は、「チームワーク」が一番大切だということがわかった。また、国家資格をもったプロ集団の方と聞いて確かにと思った。グランドスタッフの方たちは、無線で情報を聞きながら、私たちに対応をしてくれているときいてとても感謝でしかないと考えた。このような方たちがいるからこそ、安全で安心で、すてきな旅ができるんだなとわかった。

--

エアラインの中にも沢山の職業があってチェックイン・ロビーサービスは接客ができるように色々なスキルを上げたり、i pad や無線をつけいつでも対応がとれるように準備をしているのを聞いて私のために分からなくならないようにしているのがいいなって思いました。仕事するうえで自律・尊重・創造力を意識するのが大事と今日の話で分かりました。

--

CA さんはお客さんに笑顔で話しているときも耳につけるやつから情報とかきいてて本当にすごいと思った。あと、ひこうきの中の上のにもつとところも絶対落とさないように何回もかかんにんしてありがとうと思った。

--

やっぱり自分にはこの仕事は向いていないと感じた

--

今日の講義（※原文ママ）を聞いて感じた事は、色々な人が協力し合って航空会社が成り立っているのだと感じた。大変な事や辛い事がたくさんありそうだけど、とてもやりがいを感じられる職業で魅力を感じた。

--

空航（※原文ママ）内で働いている人達は、安全性を第一に考えお仕事をしていると知り、とても責任感のあるかっこいい仕事だなと思いました。また、話す力や聞く力がないと上手くいく仕事ではないなと思いました。

--

今日の講話を聞いて、エアラインがチームワークを感じて仕事ができるのが魅力ということを知りました。空港のお仕事には、お客様の安全と笑顔が大切であることが分かりました。仕事内容を聞いてとても大変だと感じましたがやりがいがあると思い、いいお仕事だと考えました。私の進路を考える機会ができてとてもうれしかったです。

--

今日、じっさいにはたらいっていた人から話を聞きましたけどやることとかすべきこと（※原文ママ）がリアルに聞けました。見ためとかお客さんじゅうしにしているところとかすごいなって思いました。安全性を一番だいにして最しゅうは人形がチェックしてほんとにじゅうだいなしごとだなんてまた攻めて（※原文ママ）かんじました。

--

飛航機（※原文ママ）はふねや電車ではできない生鮮食品を運んだり、高い所にのぼったり、速く移動できるなど生活であるとても便利な乗り物だと思いました。イベントを作って地域に貢献する事もとても印象に残りました。

--

こんなにお客さんに対しての思いや気づかいがステキな職業なんだなと思いました。私達は、これからは必ず飛行機というものを利用していくと思うので、日頃から感謝を忘れずに、これからはせいいっぱいの笑顔とかんしゃをみなさんにむけられるようにしていきたいと思いました。一人一人がそれぞれの仕事を全うする姿がものすごくカッコよかったし、私達が普段旅行に行っているのも、決してあたり前のことじゃないんだなと気づくことができました。

--

グランドスタッフやキャビンアテンダントはとても華やかなイメージがあったけど、その裏では過酷でとても大変だと知り、実際にこの仕事をしていた崎山さんの話を聞いて、色々なお客様としゃべるため、英語や言葉、国語力を高め、何事にもチャレンジや挑戦をすることは自分の未来につながるんじゃないかと思いました。今日はお忙しい中、私たちのためにありがとうございました

--

自分が思っていたよりも沢山の細かい仕事があって、沢山の努力をしていて凄いなと思った。CA などになる

にはまず、基礎からということだったので、今自分にできることをきちんとしようと思いました。

--
凄く華やかな印象のある仕事だけど、その分裏側では数えきれない程の苦労や努力があるんだなと感じました。その分、お客様の夢や希望を乗せて、お客様の笑顔や貢献できて、（※原文ママ）身近にやりがいの感じることでできるとても良い仕事だなと思いました。命を預かりながらも、人様の為に尽くすお仕事ってとても格子良くて（※原文ママ）、素晴らしいなと感じました。

--
今日の講話を聞いて自分の将来の仕事はしっかり決めたいなと思いました。空航（※原文ママ）で有名人に会えるのはとてもうらやましいなと思いました。給料の高い仕事について、いい家庭を開きたいです。幸せになる。♡

--
CA や GS、エアラインの人達はいそがしいだけではなくて、航空を楽しめる。本当に忙しいと思うけど、チームワークをいかしながら航空関連の会社をできる。語学を学びながら大変だと思うけど、そういう経験も大切だと思った。

--
日本の飛行機は安心してのれるなと思った。ファーストクラスとかのってみたいと思った。

--
崎山さとみさんの話を聞いて航空会社はお客様の笑顔をつくるためたくさんの工夫などし（※原文ママ）考えられており、大事なお仕事でとてもすごいと思いました。最初はあまり興味がなかったけど少し興味をもちました。

--
今日の講話を聞いて、エアラインの職業についてどんな仕事なのかや仕事内容について理解することができました。この職業は、大変なことも多いけど、その分やりがいがある仕事なんだなと思い、話を聞いて、興味をもちました。そして今後の自分の進路についても考えることができたので今回の講話はとてもいい機会になったなと思いました。

--
今日の講話のお話を聞いて、エアライン、グラウンドスタッフ、キャビンアテンダントの事について沢山知ることができました。GS と CA は沢山の人の特別な時間とビジネスを支える仕事と聞いてとてもやりがいがあるすばらしい仕事だと思いました。お客様の笑顔を作るやりがいのある仕事であり、自分自身もいい人になれると思いました。笑
自分にあっただスピードで色々なことを挑戦できるのがいいと思いました

--
グラウンドスタッフやキャビンアテンダントを含め、エアライン業界で働いている方々は常にお客様を安全にサポートし、笑顔を作るやりがいのあるとっても素敵なお仕事！！だと分かりました♡たくさんの人の特別な時間とビジネスを支える超大事なお仕事だけあっていろいろなスキルが求められていて大変！だからこそ！キラキラしてみんなの憧れる存在になるのかな？と思いました！！本当にかっこいい！スゴイ！！忙しい中、講話をしていただき本当にありがとうございました。とても勉強になり、将来についてより考えるきっかけになりました♡

--
今日の講話を聞いて、グラウンドスタッフの魅力に気づきました。今の時代は、電子機器が多くなっていて、グラウンドスタッフはあまり仕事がないのかと思っていただけ、全然そんなことなく、グラウンドスタッフにもキャビンアテンダントにはない魅力があるのだと感じました。

--
やっぱり CA とかグラウンドスタッフとか航空の仕事は大変だけどやりがいのある仕事なんだなと思いました。

--
家族旅行などでよく利用するくこうではさまざまな人たちが関わって（※原文ママ）いることが知れたので、もっと安心して飛行機にのれるなと思いました。今日は、貴ちゃんな話を、ありがとうございました。

--
・空港会社はほとんどがサービス業でお客様の命を預かっているから、ひとつのミスもゆるされないから、1つ1つの作業が大事になっていくことがわかった。

--
今日の講話を聞いて、バックオフィスや、飛行機1台買うのに、300~500億円かかるように、飛行機1台が飛ぶため、私達が海をこえるまでに、沢山のひととお金が動いているということ（※原文ママ）が分かり、旅行に行けるありがたさを感じました。また、グラウンドスタッフは、私が思っている以上に、沢山の

仕事をしていて、沢山の工夫がされていることにもおどろきました。

--

講話をきく前まではあまりきょうみとかはなかったけど講話をきいてからはすこしやってみたいな人を笑顔にすることはたのしそうだなと思いました。

--

自分ものすごく CA や GS に興味があるんですけど、ラウンジスタッフのふんいきもいいなと思いました。ですが、やっていける自信がないので、その職につくかはまだ決めれていません。やはりすごいと思ったのは、機内の上部のお荷物は紙 1 つ残さないところです。こういうきっちりしたところもすきです。

--

崎山さとみさんの話をきいて前回もいたような（※原文ママ）講話をきいたけど、前回よりも高校生むけらしくエアラインの事をくわしく知ることができました。

--

今日、エアラインの話を聞いて一つ一つに色々な役割りがあってとても楽しそうで、やりがいのある職業だと思ったし、お客様へのおもてなしとかサービス精神がすごいと思いました

--

今日の講話を聞く前は、キャビンアテンダントの方は、乗客がのっている時ただ 1 都（※原文ママ）にのっているだけ（※原文ママ）とっていたけど、500 人もの人の食べ物やけとするぐらいがんばっていき温めたり、何かおきた時の対応、グラウンドスタッフの方は、有名人の方のパパラッチの対応とか、外国人の人や国内の人車いすの方などさまざまな人への対応、また、10 分前に 500 人の人が乗客するために（※原文ママ）迷っている人やトイレに入ってきて（※原文ママ）いない人の対応などをしていて、私が思っている以上に私たちの安全やかいてき性を守ってくれていてかっこいい職業だなと今日の講話で感じました。そして、キャビンアテンダントや、グラウンドスタッフの職業にも興味をもてました。

--

エアラインは人と物を航空機にのせて目的地にとどけるといことから何種類もの職業があり、そのなかでも業務の種類も多いということがわかりました。

--

今回の講話では、エアラインビジネスについて、知ることができました。私たちが思っていた華やかな仕事のうらでは、お客様をおもてなしするために大変で忙しくしていることがわかりました。お客様の笑顔のために、一人ひとりへ気配りをし、いざというときには大きな判断をし、ミスがないように行うことが大切だと感じました。そのためにあたり前のことをあたり前のように行っていくことが成長につながっていくことがわかりました。それが今の私たちに必要だと感じました。

--

CA についてのイメージが変わりました。思った以上に大変だけどやりがいがあるなど自分が思ってたよりもというのが多くて少しビックリしました。あとほかにも知らないことを知れてよかったです。

--

航空業界について学んで感じたことは、とても忙しそうで、色々な方に対応していかないといけないので、大変そうだなと思いました。航空業界に入るために、国語力のコミュニケーションや、何ごとにもチャレンジしていくことと、学校に行くというあたりまえのことをやっていくことが大事で努力していくのが大事と分かりました。

--

・キャビンアテンダントやグラウンドスタッフになるには、まず、あたり前のことができてないといけない。それと、学校（高校）で取得できる資格をたくさんとる。とりあえず、成績が大事ということ。をすごく分かりました。

・仕事にはやりがいがあって良いかも知れませんが、話を聞くかぎり私にはあまり向いていないと感じました。でも、すごく楽しそうではあります。

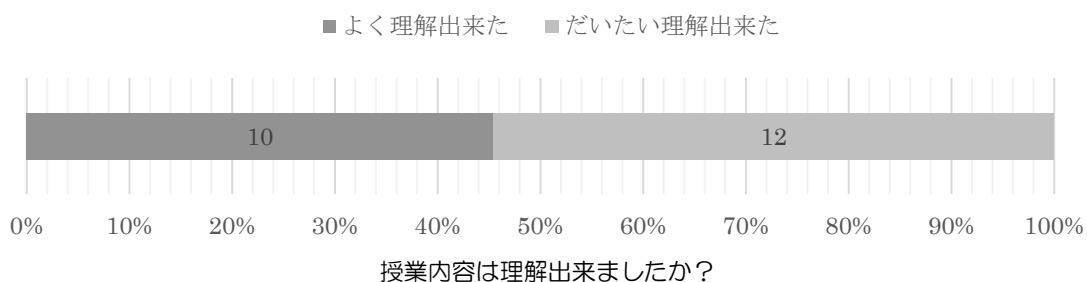
2.2 南部商業高等学校 実証授業（プログラム）評価

実施概要

日時 令和5年7月10日 13:50~15:40
対象 沖縄県立南部商業高等学校 観光クリエイト科 2年生
人数 22名
講師 インターナショナルリゾートカレッジ 知花賢志、田村明子先生
内容 「観光業の魅力」について

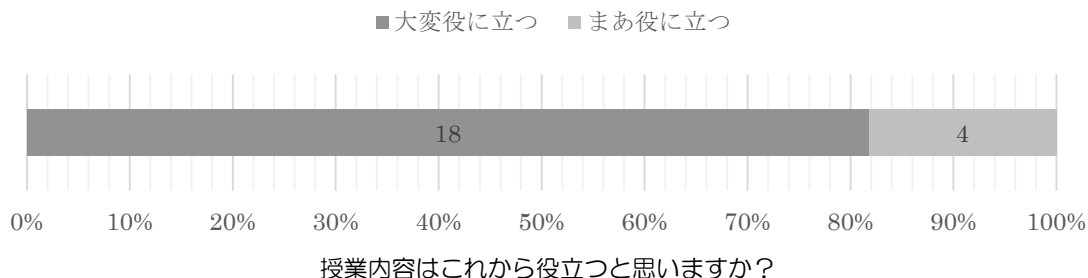
2.2.1 「授業の内容は理解出来ましたか？」

100%の生徒が肯定的（「よく理解出来た」「だいたい理解出来た」）な評価をした。（4.46）



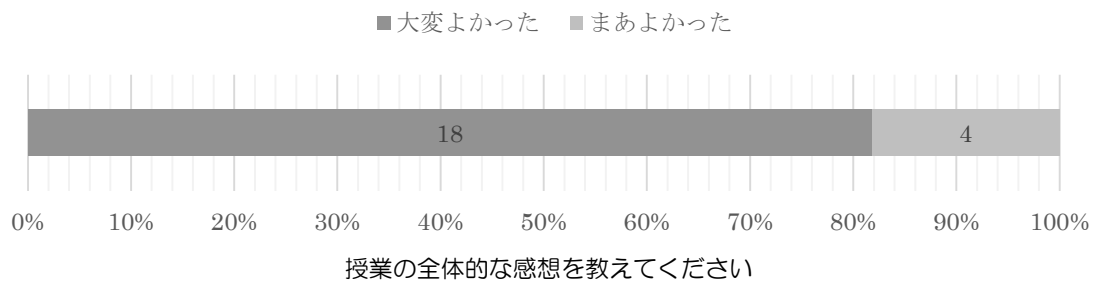
2.2.2 「授業の内容は、これから役に立つと思いますか？」

100%の生徒が肯定的（「大変役に立つ」「まあ役に立つ」）な評価をした。（4.82）



2.2.3 「授業の全体的な感想を教えてください」

100%の生徒が肯定的（「大変よかった」「まあよかった」）な評価をした。（4.82）



2.2.4 授業を受けて、「はじめて知ったこと、はじめて聞いたこと」を記入してください。

※誤った漢字や送り仮名、ひらがな表記などは訂正せず、可能な限り原文に近い形で表しています。

- 沖縄観光業界の現状では、人材不足なんだと初めて知りました。
- 那覇空港は世界最高水準の国際リゾート・ビジネス空港を目指している。
- 空港が2050年までには新しくなること。
- 課題→経験者が辞めてしまい、回っていないこと。
- R4に結婚式を挙げた人がめっちゃ多いと初めて知りました。
- 働く人がいない。
- くうこうがかわるとか、ホテルがたっていくとか現状（いまの沖縄観光業）が3つあった。
- 人がいないんだーっておもった。初めてわかった。
- 那覇空港が大きくなったり、新しいホテルがたくさんできたりするのがはじめて聞いてびっくりしました。
- 空港を拡張しようとしている。
- 沖縄の職は1つの職にかかわらず全体的に働く人の割合が減ってきてるのがビックリしました。
- 空港が大規模になること。那覇空港は2050年に利便性の高い「世界最高水準の国際リゾート・ビジネス空港」になる予定。
- 今の業界の現状について色々知りました。高校時代にやらなければいけないことなど今やらなくちゃいけないことを知れた。
- 私は、沖縄の観光業が人材不足なことをはじめて知った。
- 沖縄の観光業は人が少ないということをはじめて知りました。
- 今、沖縄で働く人が少ないということを知った。
- 初めて知ったことは、観光業界はそこで働いていた人たちが減っていった給料上げたりしてもまた人手不足ということを知りました。
- 観光業の現状を知った。
- 沖縄が人手不足なのは知っていたけど、人手不足になることによって、どうなるのか、沖縄の未来を聞いて、見てかなり深刻なじょうきょうだと知りました。
- 那覇空港が2050年に向けて改築される。
- 観光客の増加
- 沖縄県で人手不足で問題とされていることがわかった。2050年くらいに完成される予定の那覇空港拡張整備促進連合があることを知った。

2.2.5 授業を受けて「特に印象に残ったこと」を記入してください。

※誤った漢字や送り仮名、ひらがな表記などは訂正せず、可能な限り原文に近い形で表しています。

- コロナ前は、ハワイをこえたことがあるときいてビックリしました。
- 観光業は人手が少ない。新しいホテルとリゾートが出来ている。
- 空港が高級リゾートホテルみたいになる計画
- 那覇空港をよりよくするための動画。人数が足りていない。(仕事の)
- 沖縄は働く人がいないと知ってどこの仕事もそうなんだと印象に残りました。
- 働くということが残った
- くこうが2025年にかわる
- 動画すごかった。しょうらいじょーとーなの造ってほしい
- 今、働く人が減っていて沖縄の魅力が伝わってなく、そのための課題でこうゆう意見もあるんだなと思った。
- リゾートホテルがどんどんつくられていっている。
- 今日初めて知ったことは、求人倍率が沖縄は2023で1.02と、とても低くビックリしました。
- 那覇空港が変わる。新しいホテルがオープン。
- 今の業界の現状
- なは空港は2050年に利便性の高い空港作りを目指していること
- 沖縄の観光業について
- どうしたら働く人が増えるのかを考えるのがたのしかった。
- 課題を解決する方法をグループで話し合っ、他のグループでの意見も聞いて各グループの意見が違って色々考えがあって良いなと思った。
- 観光業の現状を知ってチームメイトと話し合っ課題や解決策をまとめたことが特に印象に残ってます。今のうちからやっておくべきことを今のうちにやっておこうと思いました。
- どうしたら働く人がふえるのか、その対策だったり、考えるのが難しすぎて頭がパンクしそうだった。
- 今の沖縄の観光業について(人手不足で経済がまわらない)
- 働く人がいない
- 新しいリゾートホテルがたくさんつくられていっている。

名詞では、「リゾートホテル」がたくさん建設されていること、「沖縄」の「観光業」の「課題」について「グループ」で「意見」を出し合ったこと、「那覇空港」を変える計画があること、「観光業」は「人手不足」であることが多く挙がっている。



2.2.6 今後、授業で取り上げて欲しい仕事内容や職業に必要なことなどがあれば自由に書いてください。

※誤った漢字や送り仮名、ひらがな表記などは訂正せず、可能な限り原文に近い形で表しています。

- 観光業について
- まだ将来どんな仕事につきたいとかはないけど、どこの仕事でも、言葉づかいを正しくするや、電話するとか共通してやることは身につけたい。仕事のマナーなど。
- 電話の言葉づかい。
- 保育士かびょうし
- 医療の仕事について知りたい。医者のお話したい
- 保育のことについて知りたい。
- 今後働くうえで身につけたいことは、他国のげんごを話せるようになりたい。プログラミングを身につけたい。
- 美容の仕事について知りたい。
- ホテル
- 世界の経済。経営についての話。
- 外国の方と関わりたいのですが英語が苦手です。
- もっといろんな仕事について知りたい。
- 働くうえでのマナーとルールについて
- 自分に合った環境でできる仕事をしたい。
- 精神的なメンタル？を強くする為の講座を受けたいです！社会でやっていけるメンタルが欲しいです。
- 観光業に必要な資格。プライダル業について。
- 電話が苦手です
- 各仕事のメリットデメリット。大学とせんものちがいと良さなど

授業で取り上げて欲しい仕事（希望職種とは無関係）

観光系	3	医療系	1
保育士	2	IT	1
美容系	2	経営	1

授業で取り上げて欲しい仕事に必要なことなど

電話、仕事のマナーやルール、メンタルを強くする講座など

2.2.7 授業を受けて、感じたことや思ったこと、など自由に書いてください。

※誤った漢字や送り仮名、ひらがな表記などは訂正せず、可能な限り原文に近い形で表しています。

- 沖縄の観光業の人手不足について調べてみたいと思いました。
- 高校がんばらないとなーと思った。
- 将来についてあまり考えていなかったから、考えようと思える機会になれて良かった。
- 将来に役立つと思いました。
- 今日はかだいをかいつするほうほうを考えてみました。働く人がいないをかだいにみんなでどんなしたら働く人がふえるか考えました。
- グループのみんなで考えることができたし、しらなかったのがしれたり
- 大人が仕事の時にしてる会議？とかってこれより難しいのかなって思うとすごいなーって
- コロナが増えていて観光業で人が少なくなっているのために色々な課題や解決をグループに分かれて考えることが出来たので良かったです。
- 将来働く上で自分は沖縄の求人倍率を高めるようにしたいと感じたし、自分が楽しいと思えて、誰かを笑顔にできる職につきたいです。
- 今日は、沖縄の空港について今まで知らなかったことや、沖縄の課題の解決法などをグループで考えることができた。
- 将来のことについてあまり考えていなかったけど考えないといけないことを知れてよかった。
- 友だちと話し合ったことのない課題について話し合うことができて、良い授業になった。また、このような授業を増してほしいです。想像力が高まる気がして楽しかった。
- もっと色々沖縄の観光について学びたいです！！
- グループで沖縄の課題について考えて、自分たちの解決策を見つけるのがたのしかったです。もっと沖縄について知りたいのでこういう授業をふやしてほしい。
- 観光業界の現状について知れたし、高校生のうちにやることを聞けたので、今後は、話していたことを意識して自分の進路を決めていきたいなと思いました。
- 今日、観光業についてたくさん勉強したけどすべてのことは理解できなかったけど、友だちと話し合ったりして自分たちでも課題や解決策を考えることができたのがすごいなと思いました。観光業や他の職業もたくさん困っていると分かりました。
- 改めて、沖縄の状況を知って、やばいな、どうにかしたいなと思った。未来の2050年予定の那覇空港のモデルよりも、今をまずどうにかしたいと思った。これをきに、どんな仕事があるか見てみようと思います。
- 今の沖縄は、賃金が少なかったり、人手不足だったり、経済がまわっていないので、とても大変だと思った。私のバイト先も似たような状況なので、なんとか改善してほしい。私が就職するころには、少しでも改善してほしいと思った。
- 大人にも将来の夢があっていいことだと思った。
- 沖縄にはさまざまな問題があるなか、社会は沖縄をよくするために色々考え、それに取り組んでいっているんだなと思い、すごいと感じました。

2.3 高校生の職業意識に関する調査（前期）

2.3.1 調査概要

2.3.1.1 調査の目的

令和5年度「沖縄・観光分野における有機的高専連携プログラム開発・実証事業」の教育効果測定をするために、高校生の職業意識がプログラム前後の変化を調査する。また、独立行政法人国立青少年教育振興機構「高校生の進路と職業意識に関する調査報告書-日本・米国・中国・韓国の比較-」の調査項目を一部取り入れ、全国の高校生と比較する。

2.3.1.2 調査方法等

	南部商業高校	具志川商業高校	国立青少年教育振興機構
調査時期	2023年7月/2月	2023年7月/2月	2022年9~2023年1月
有効回答数	23/	36/	4822
調査方法	集団質問紙法	集団質問紙法	集団質問紙法
調査地域	-	-	全国21地域28校

2.3.1.3 調査対象基本属性

	南部商業高校	具志川商業高校	国立青少年教育振興機構
男女比	男4% 女96%	男0% 女100%	男47% 女50%
学年	1年：0% 2年：100% 3年：0%	1年：0% 2年：100% 3年：0%	1年：38.8% 2年：31.4% 3年：29.5%

2.3.1.4 南部商業・具志川商業高校プログラム前調査

南部商業高校

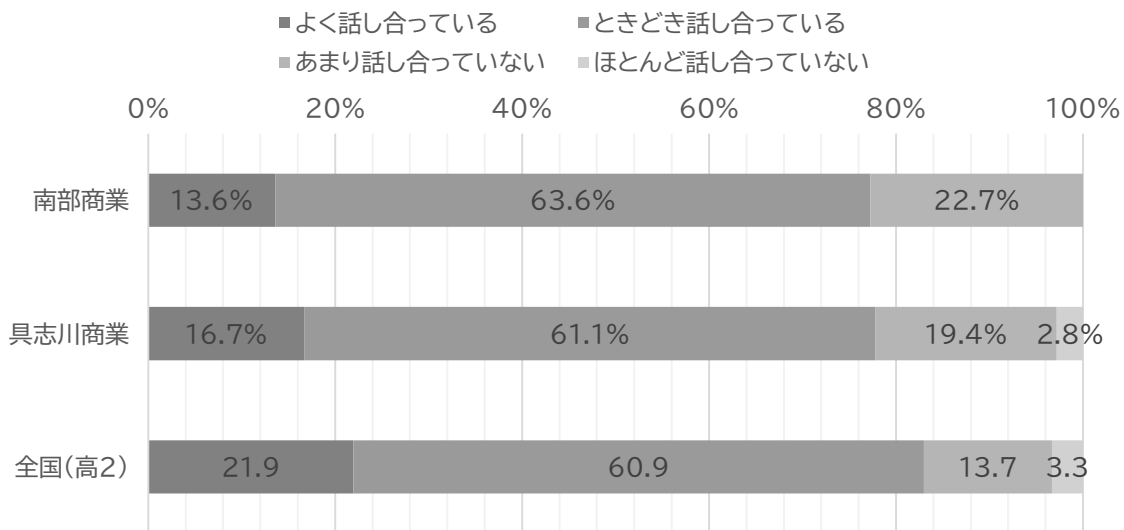
日時 7月10日
対象 観光コース 2年生
人数 23名（男1女22）

具志川商業高校

日時 7月20日
対象 リゾート観光科 2年生
人数 36名（男0女36）

2.3.2 将来の生き方や進路についての保護者との会話

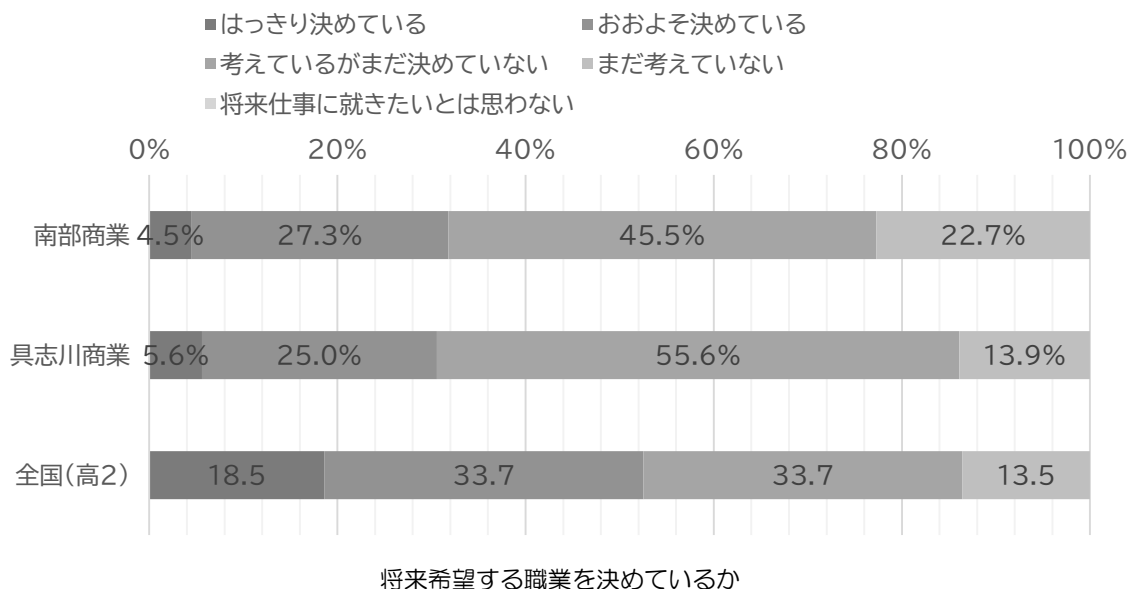
将来の生き方や進路について保護者と「よく話し合っている」「ときどき話し合っている」と回答した割合は約8割だった。また、全国と比較すると「よく話し合っている」が低かった。
※全国データは、高校2年生のデータ



将来の生き方や進路についての保護者との会話

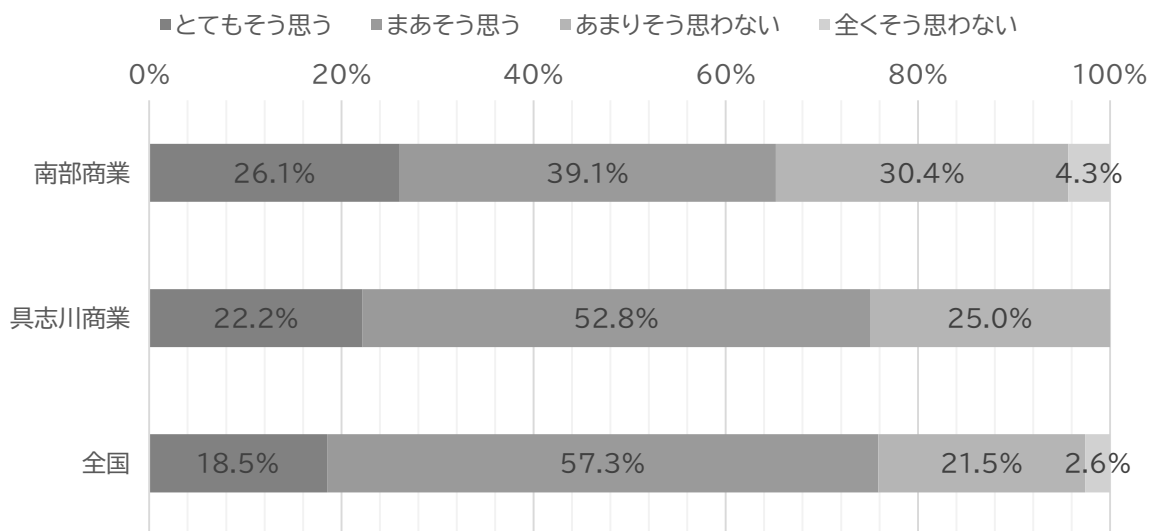
2.3.3 将来希望する職業を決めているか

将来希望する職業を、「はっきり決めている」「おおよそ決めている」と回答した割合は約3割だった。全国の半数以上（52.2%）に対し低かった。
※全国データは、高校2年生のデータ



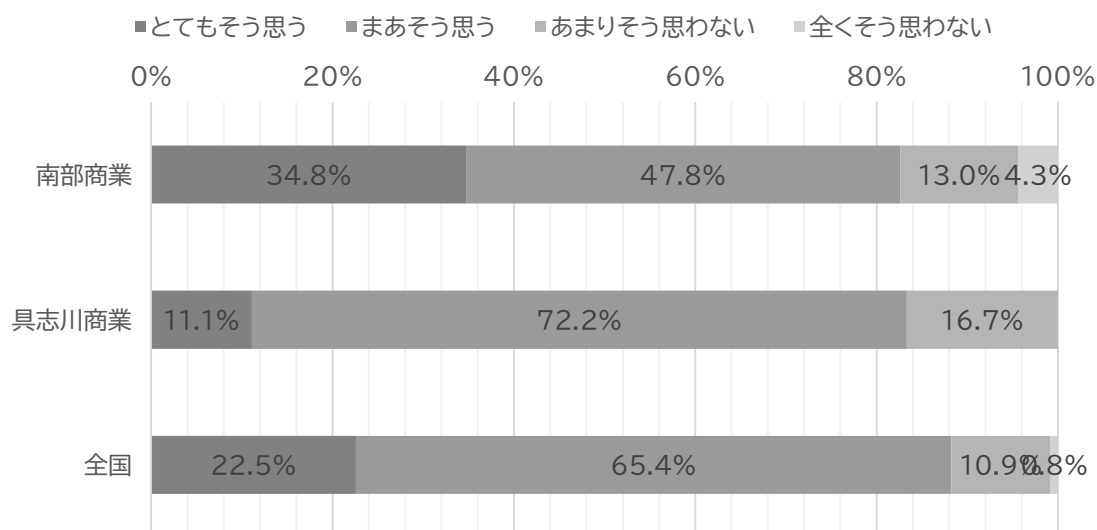
2.3.4 「仕事」「働くこと」のイメージ

「楽しい」について、「とてもそう思う」が全国と比較すると多い。南部商業は、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」が34.7%で、全国（24.1%）より多かった。
※全国データは、男女比調整データ



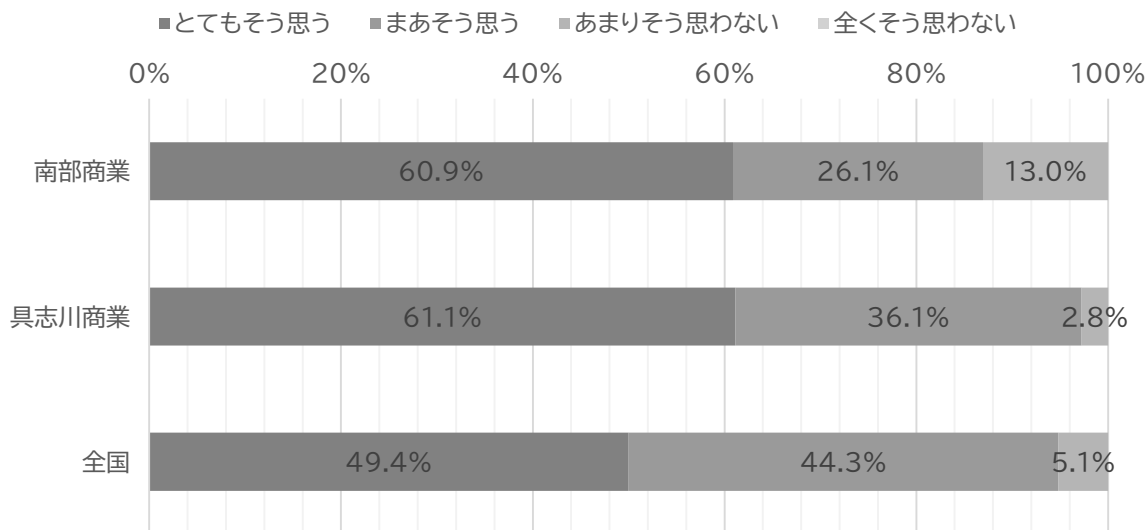
「仕事」「働くこと」のイメージ：「楽しい」

「苦しい」について、「とてもそう思う」が全国と比較すると多かった。南部商業は「とてもそう思う」が多く、具志川商業は「とてもそう思う」が少なかった。
※全国データは、男女比調整データ



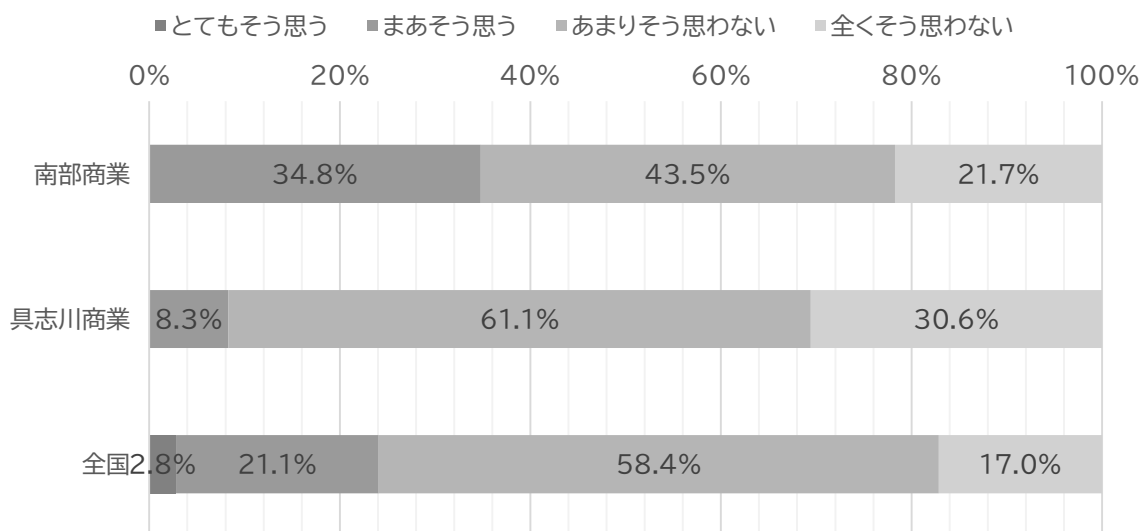
「仕事」「働くこと」のイメージ：「苦しい」

「やりがいがある」について、「とてもそう思う」が全国と比較すると多かった。南部商業は、「あまりそう思わない」が13.0%だった。
※全国データは、男女比調整データ



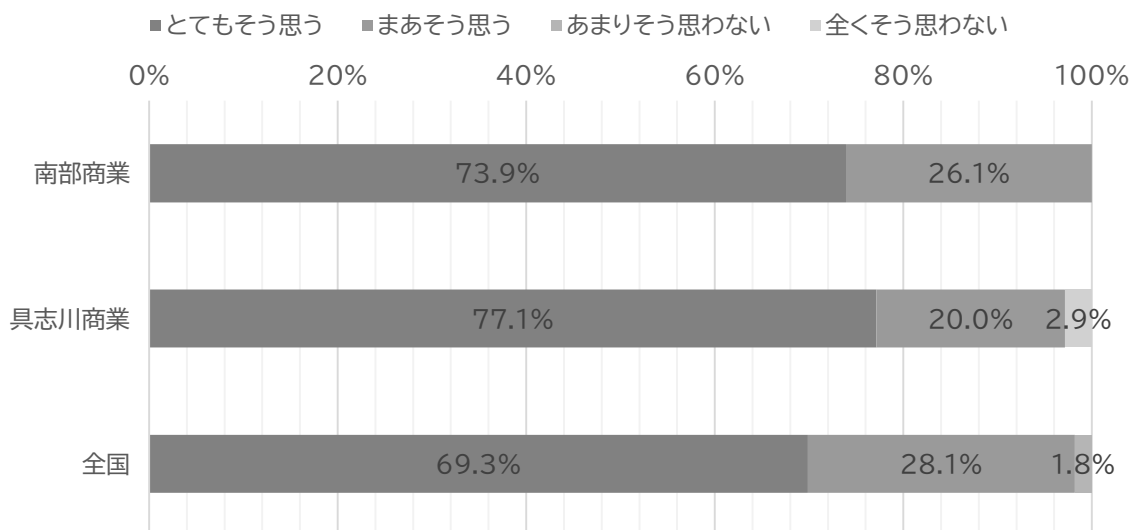
「仕事」「働くこと」のイメージ：「やりがいがある」

「つまらない」について、南部商業は、「まあそう思う」が3分の1（34.8%）だった。具志川商業は8.3%で少なく、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」が9割を超えた。
※全国データは、男女比調整データ



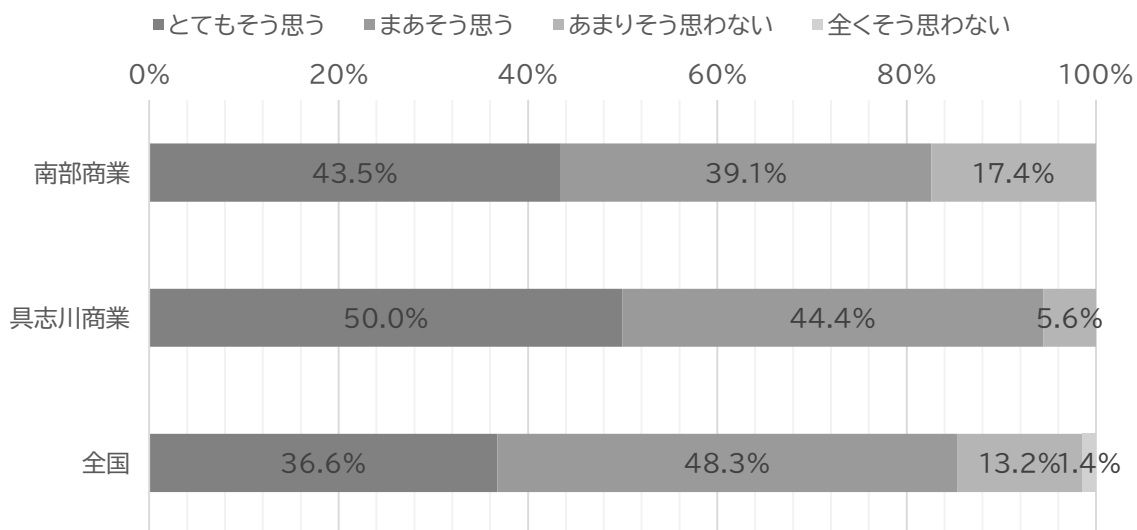
「仕事」「働くこと」のイメージ：「つまらない」

「生活のため」について、「とてもそう思う」が全国より多かった。
※全国データは、男女比調整データ



「仕事」「働くこと」のイメージ：「生活のため」

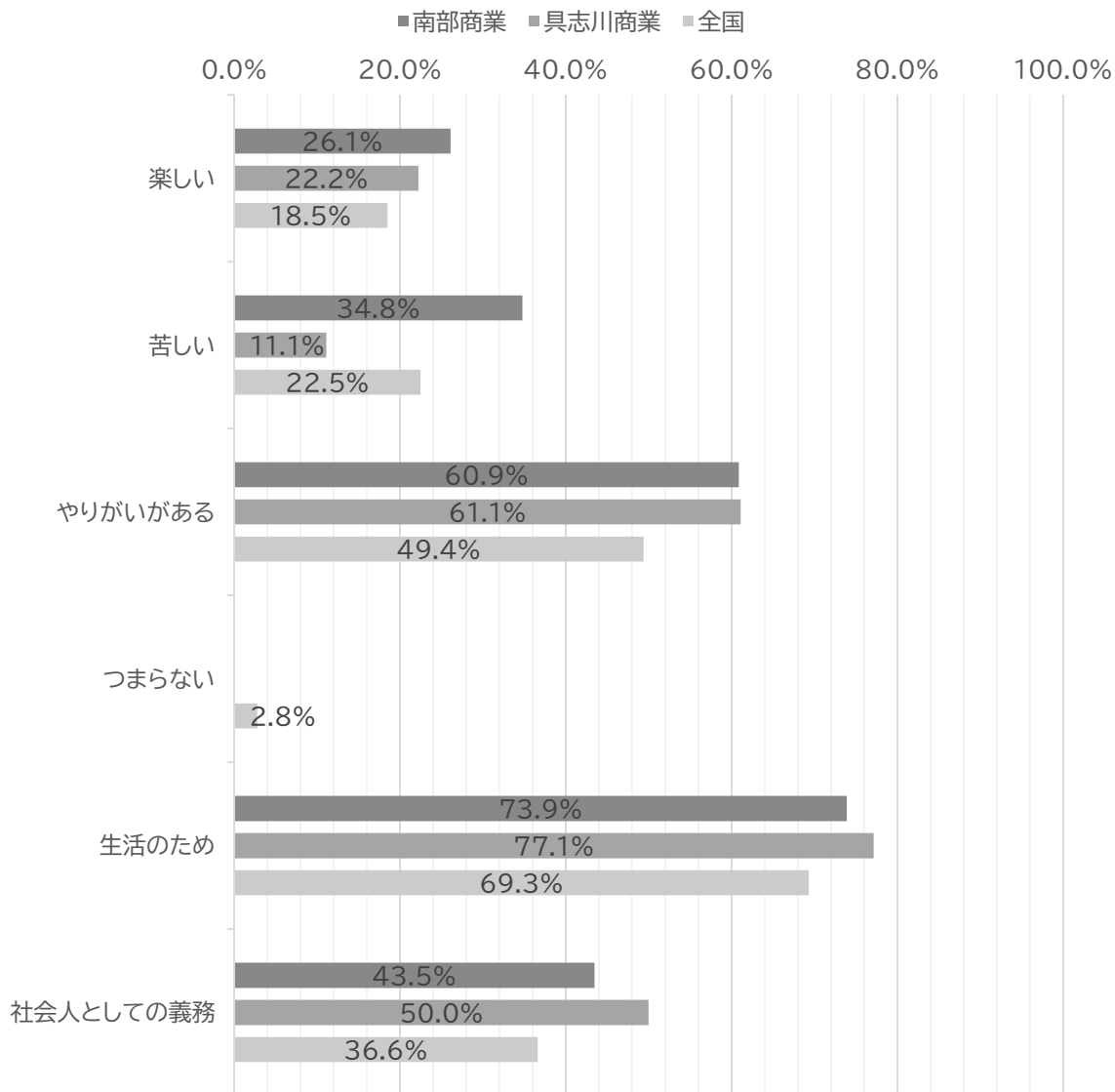
「社会人としての義務」について、「とてもそう思う」が多く、具志川商業は50%だった。
※全国データは、男女比調整データ



「仕事」「働くこと」のイメージ：「社会人としての義務」

2.3.5 働くことのイメージの6項目について、「とてもそう思う」と回答した割合をまとめた。

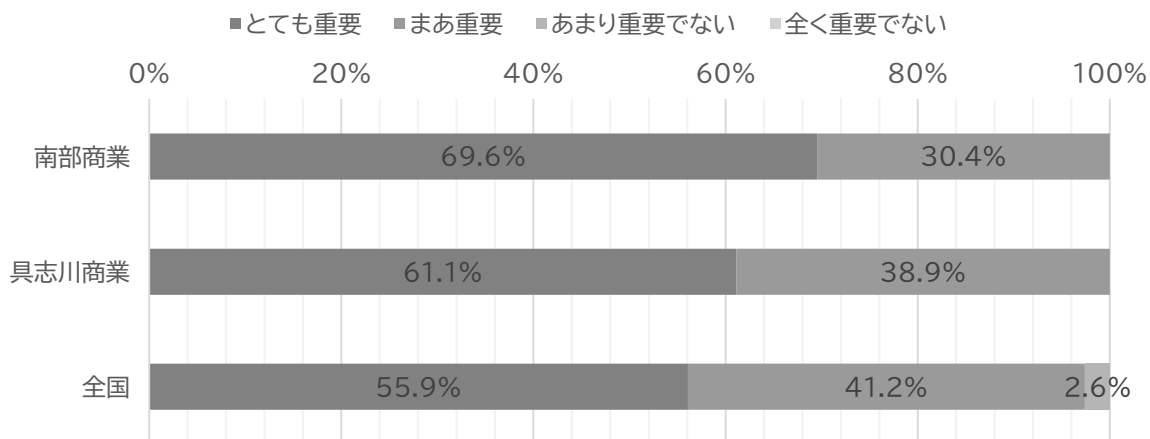
南部商業は、「生活のため」、「やりがいがある」「社会人としての義務」「苦しい」「楽しい」という順番で全国と同じだった。具志川商業は、「楽しい」が「苦しい」を上回った。南部商業の、「苦しい」は全国の1.5倍だった。
※全国データは、男女比調整データ



「仕事」「働くこと」のイメージで「とてもそう思う」と回答した割合

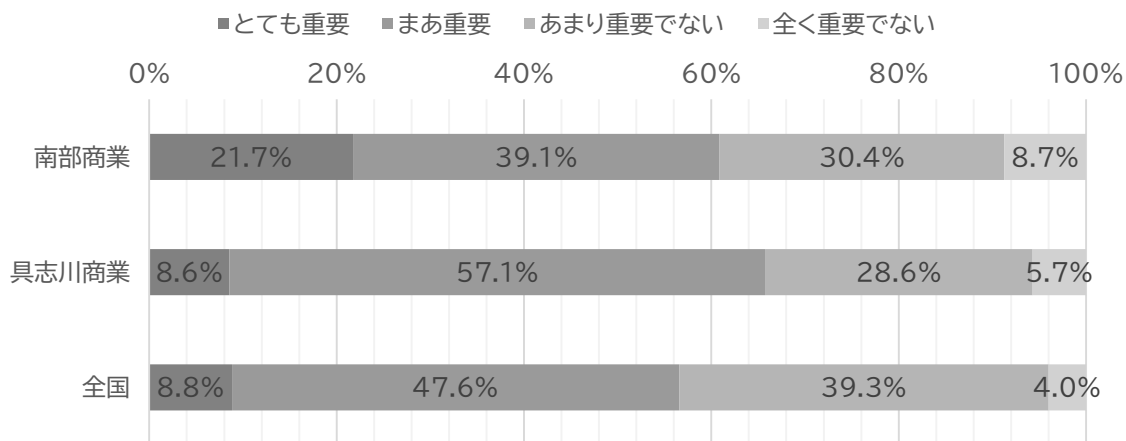
2.3.6 職業を選ぶにあたって重視すること

「収入」について、「とても重要」が全国（55.9%）と比較すると多かった。
※全国データは、男女比調整データ



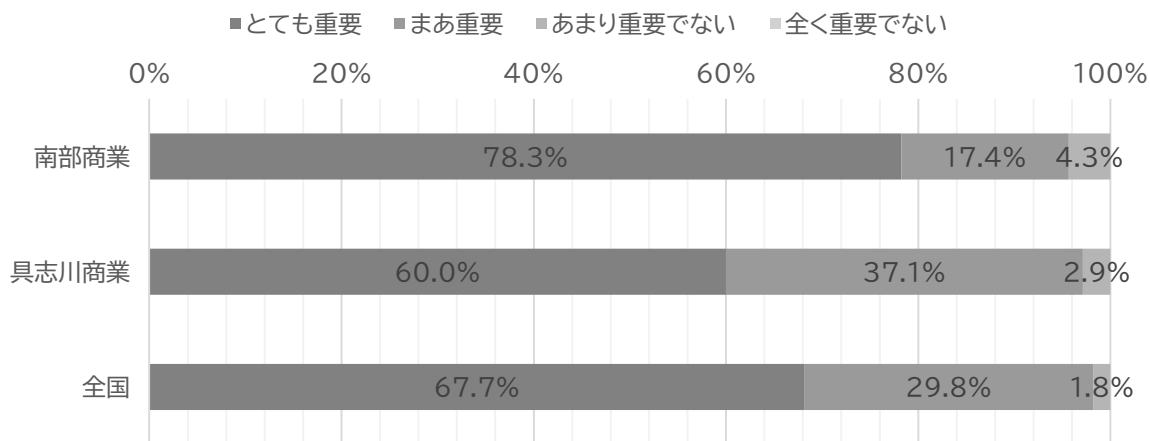
職業を選ぶにあたって重視すること：「収入」

「社会的地位」について、南部商業は「とても重要」が21.7%で全国（8.8%）と比較すると2.4倍多かった。「とてもそう思う」「まあそう思う」は全国より多かった。
※全国データは、男女比調整データ



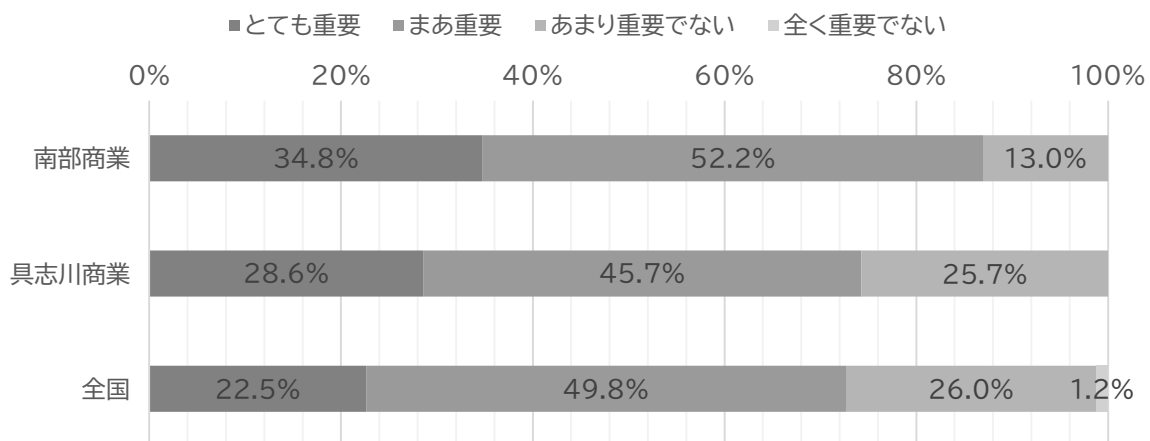
職業を選ぶにあたって重視すること：「社会的地位」

「安定性」について、南部商業は「とても重要」が78.3%で全国（67.7%）と比較すると多かった。
※全国データは、男女比調整データ



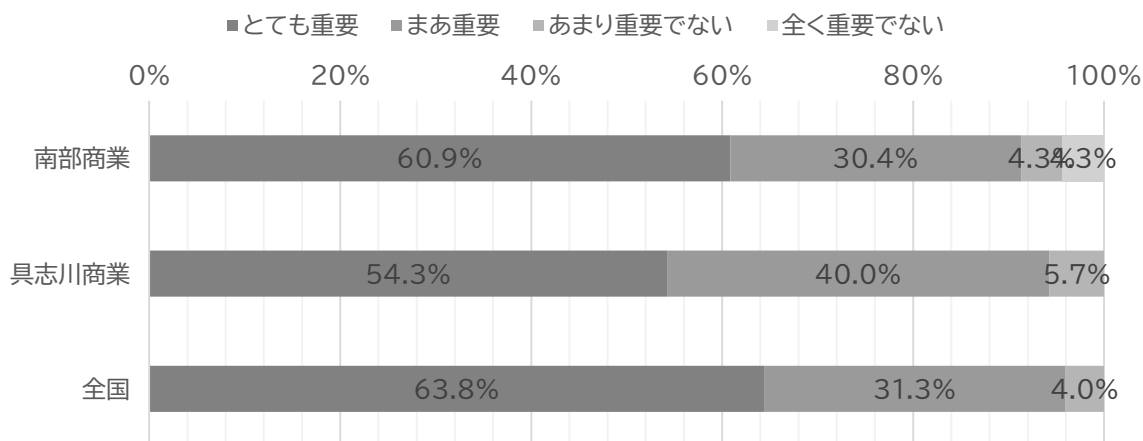
職業を選ぶにあたって重視すること：「安定性」

「仕事の内容ややり方を自分で決められる」について、「とても重要」が全国（22.5%）と比較すると多かった。南部商業は、「やや重要」と合わせると87.0%になり、全国（72.3%）と比較して多かった。
※全国データは、男女比調整データ



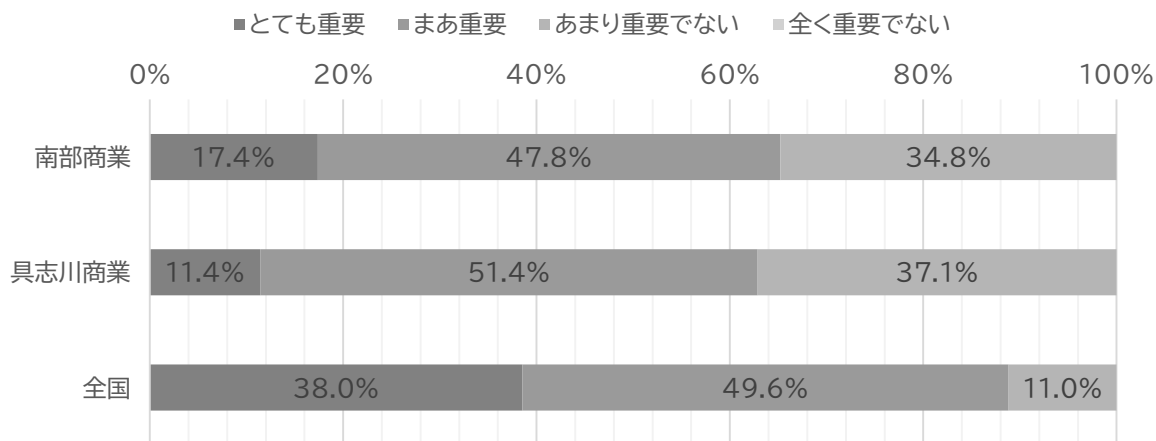
職業を選ぶにあたって重視すること：「仕事の内容ややり方を自分で決められる」

「自分の興味や好みに合っていること」について、「とても重要」は全国と比べ低かった。
※全国データは、男女比調整データ



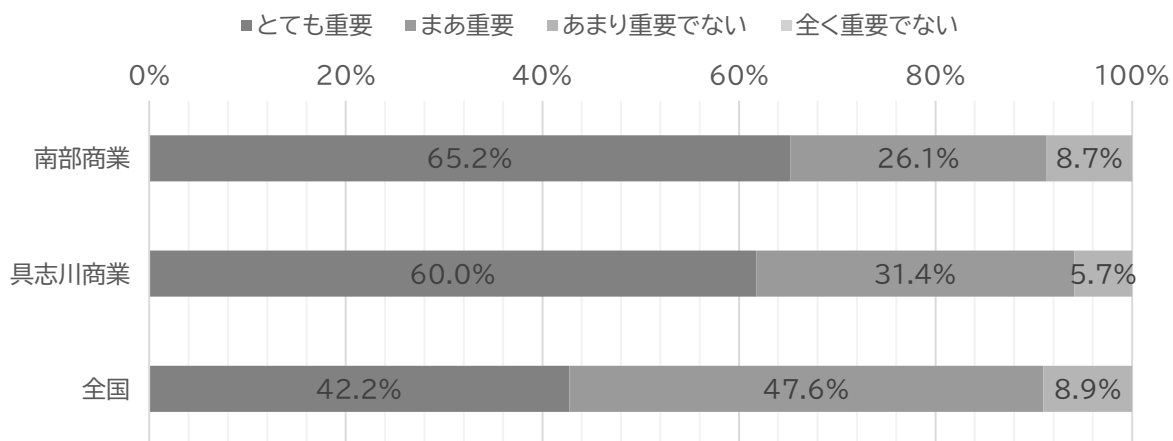
職業を選ぶにあたって重視すること：「自分の興味や好みに合っていること」

「働く時間を自由に決めること」について、「とても重要」が全国（38.0%）と比較して半分以下だった。また、「あまり重要でない」は全国の3倍以上だった。
※全国データは、男女比調整データ



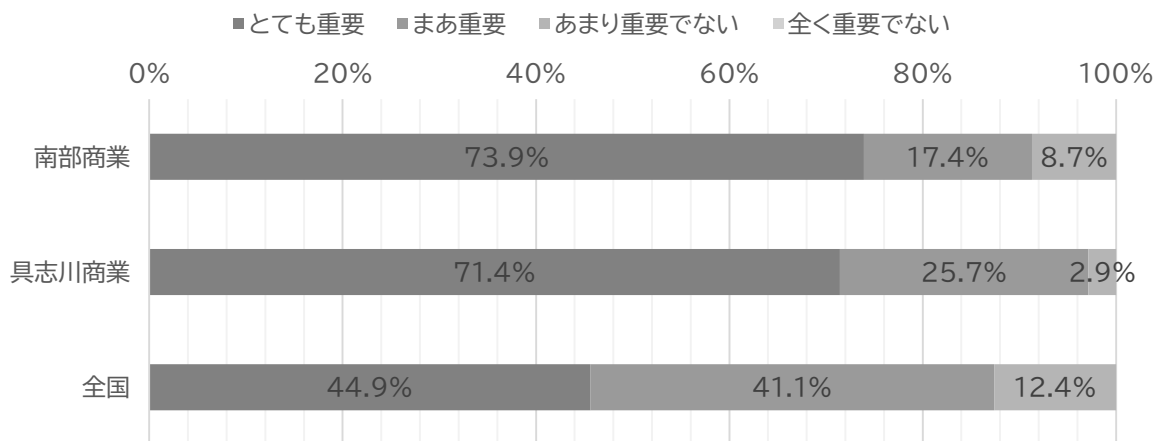
職業を選ぶにあたって重視すること：「働く時間を自由に決めること」

「能力を発揮できること」について、「とても重要」が6割を超え、全国（42.2%）と比較して1.5倍だった。
※全国データは、男女比調整データ



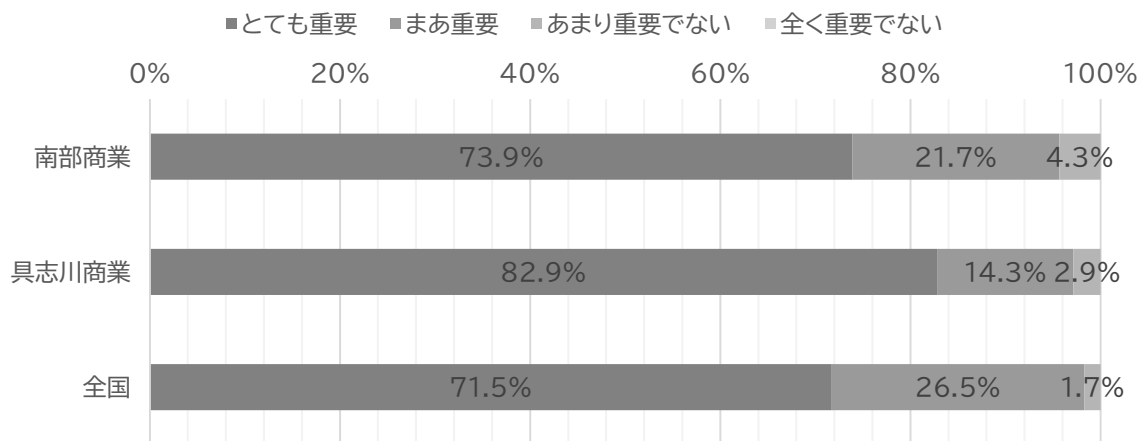
職業を選ぶにあたって重視すること：「能力を発揮できること」

「社会や人のために役立ち貢献できること」について、「とても重要」が7割を超え、全国（44.9%）と比較して1.5倍を超えた。
※全国データは、男女比調整データ



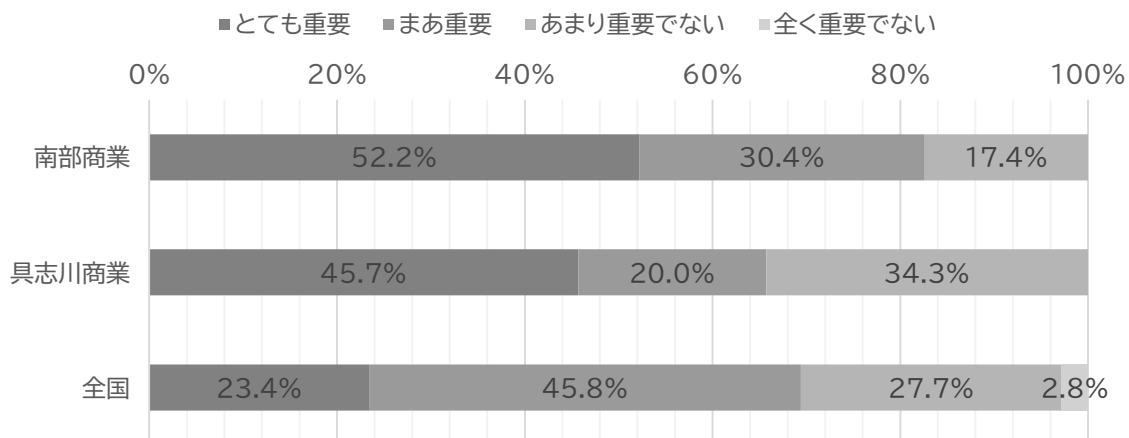
職業を選ぶにあたって重視すること：「社会や人のために役立ち貢献できること」

「働きやすいこと（仕事の環境）」について、「とても重要」が全国より高かった。
※全国データは、男女比調整データ



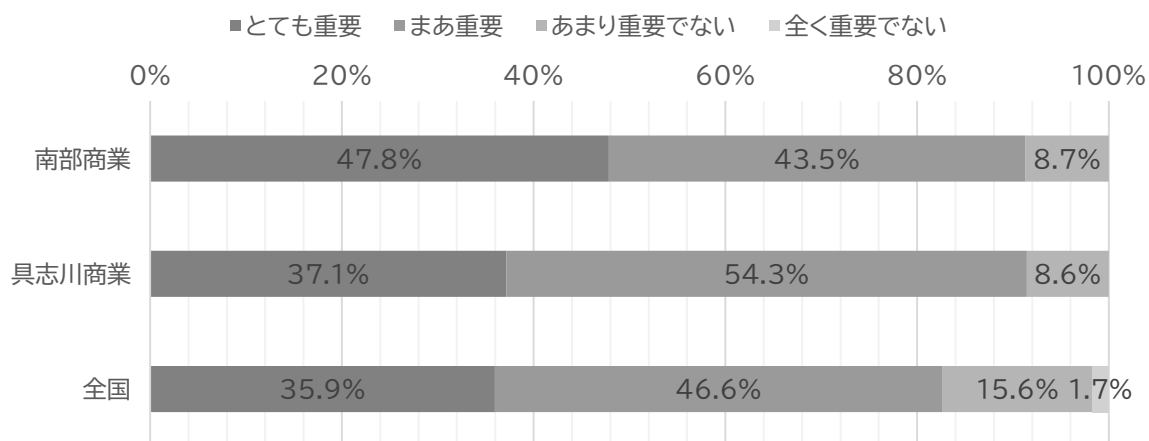
職業を選ぶにあたって重視すること：「働きやすいこと（仕事の環境）」

「新しいことにチャレンジできること」について、「とても重要」が全国（23.4%）の2倍以上だった。
※全国データは、男女比調整データ



職業を選ぶにあたって重視すること：「新しいことにチャレンジできること」

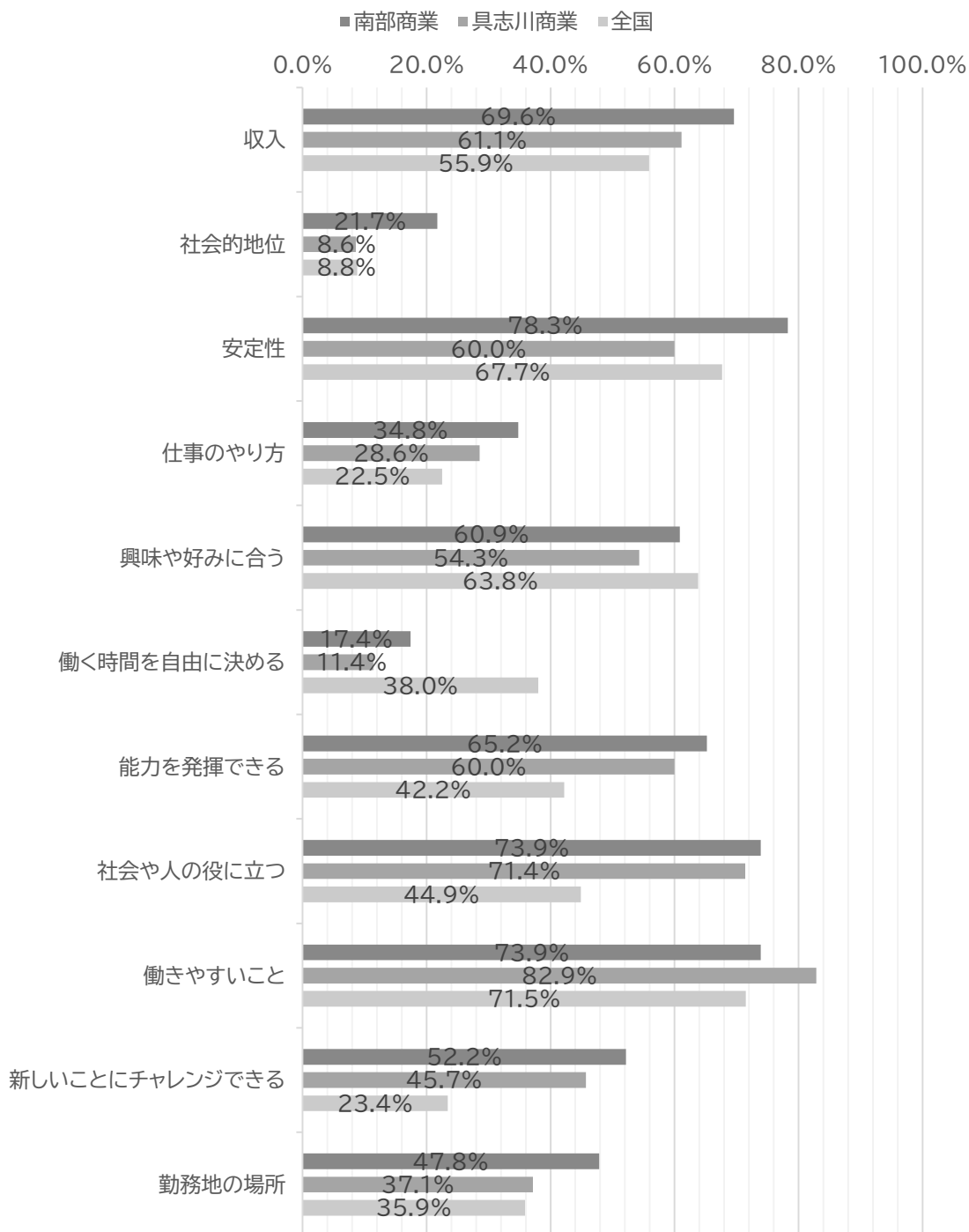
「勤務地の場所」について、南部商業は「とても重要」が47.8%だった。具志川商業とともに、「やや重要」と合わせると9割を超えた。
※全国データは、男女比調整データ



職業を選ぶにあたって重視すること：「勤務地の場所」

2.3.7 職業を選ぶ際に重視することの11項目について、「とても重要」と回答した割合

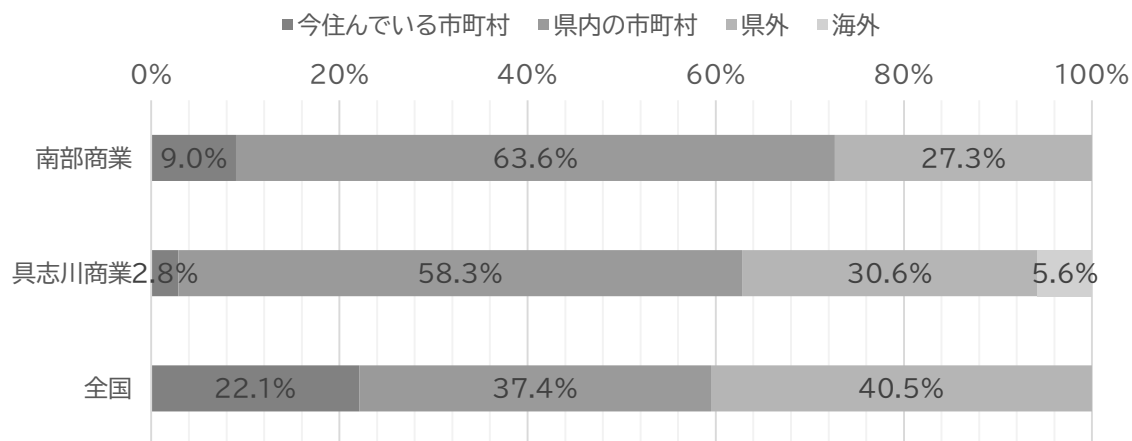
南部商業は「安定性」が一位、具志川商業は「働きやすいこと」が一位だった。「社会や人の役に立つ」「能力を発揮できる」項目が全国の1.5倍高く、「働く時間を自由に決める」は全国を大きく下回った。
※全国データは、男女比調整データ



職業を選ぶにあたって重視することで「とても重要」と回答した割合

2.3.8 希望する勤務地

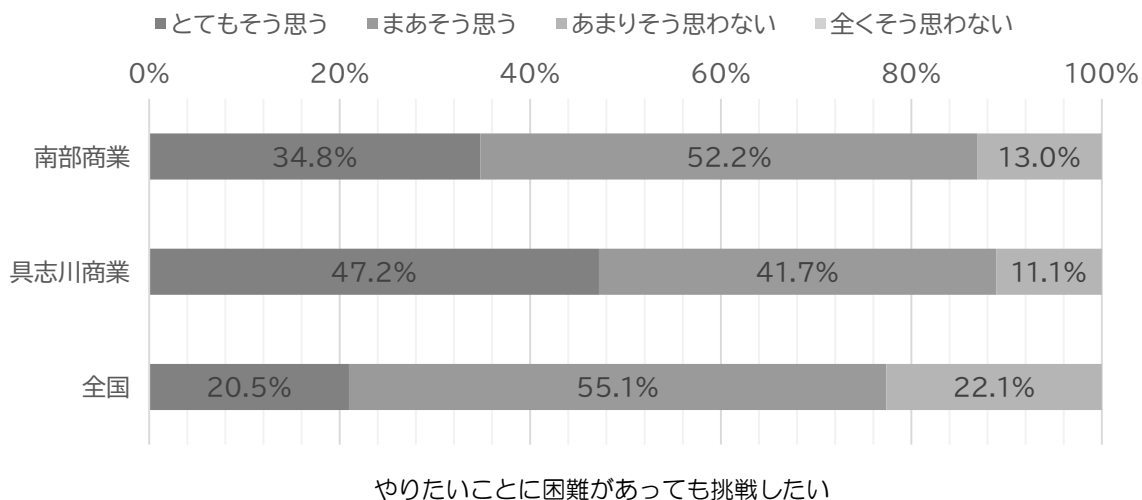
「希望する勤務地」について、「今住んでいる市町村」は低く、「県内の市町村」が高かった。県内就職を6割以上が希望しており全国と比較して県内志向が強い。
※全国データは、男女比調整データ



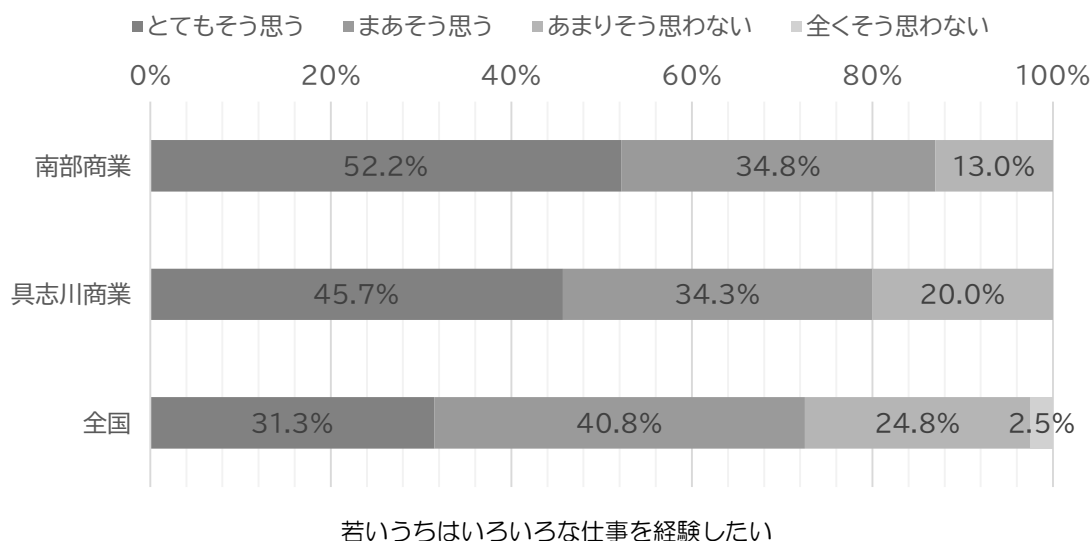
希望する勤務地

2.3.9 仕事に関する意識・考え

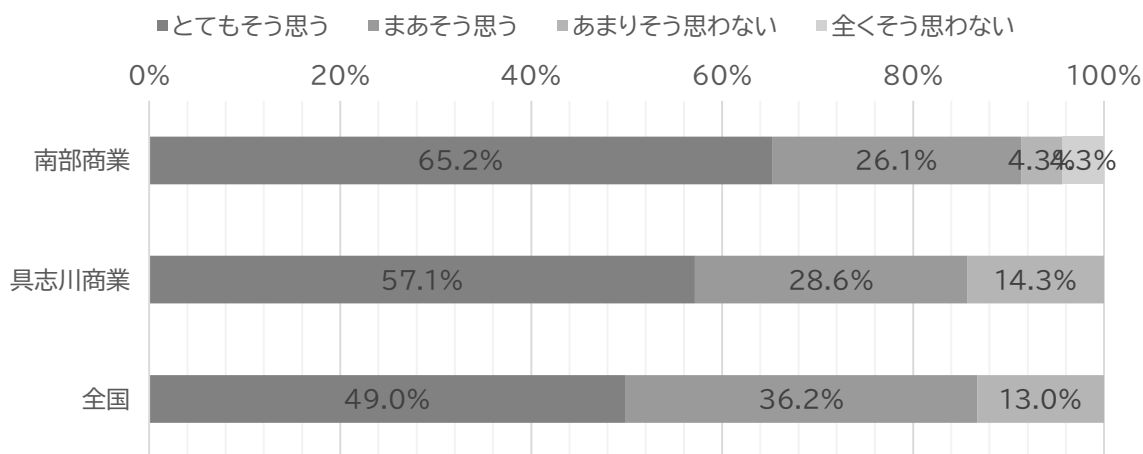
「やりたいことに困難があっても挑戦したい」について、「とてもそう思う」が具志川商業 47.2%、南部商業 34.8%で、全国（20.5%）と比較して多い。
※全国データは、男女比調整データ



「若いうちはいろいろな仕事を体験したい」について、「とてもそう思う」が南部商業 52.2%、具志川商業 45.7%で、全国（31.3%）と比較して多い。
※全国データは、男女比調整データ

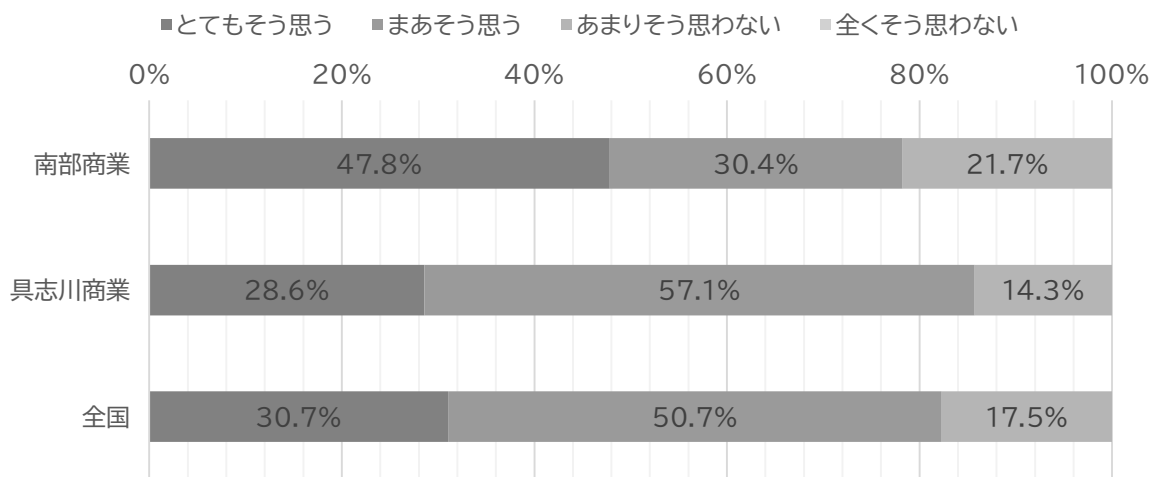


「暮らしていける収入があればのんびり暮らしたい」について、「とてもそう思う」が南部商業65.2%、具志川商業57.1%で、全国（49.0%）より多かった。
※全国データは、男女比調整データ



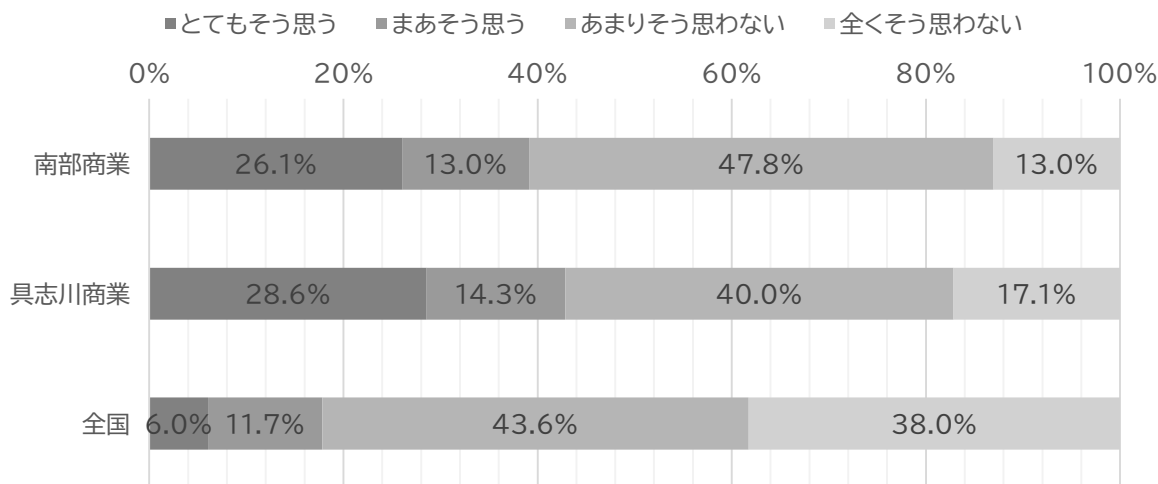
暮らしていける収入があればのんびり暮らしたい

「仕事よりも自分の趣味や自由な時間を大切にしたい」について、「とてもそう思う」が南部商業47.8%で、全国（30.7%）の1.5倍だった。
※全国データは、男女比調整データ



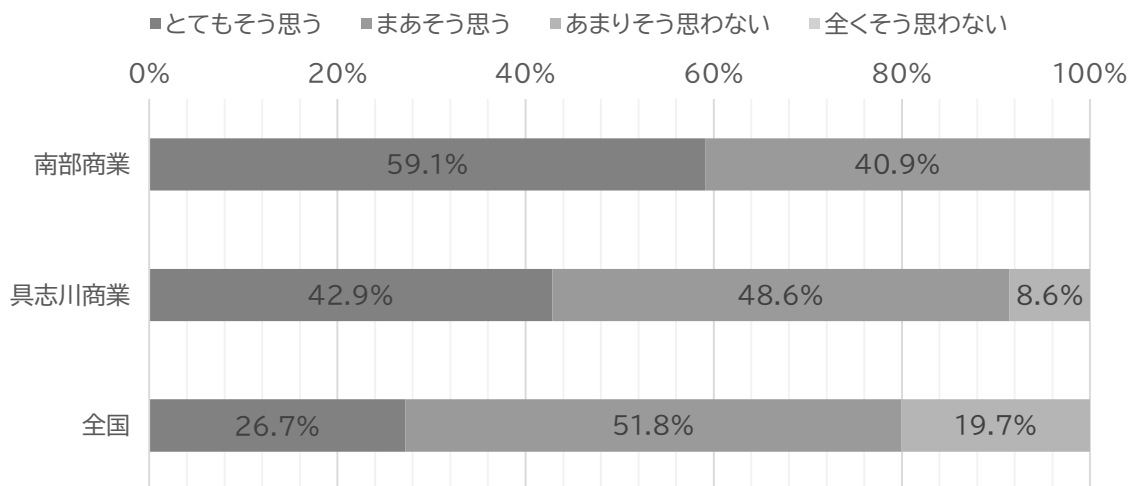
仕事よりも自分の趣味や自由な時間を大切にしたい

「自分の会社や店を作りたい」について、「とてもそう思う」が南部商業 26.1%、具志川商業 28.6%だった。「まあそう思う」を合わせると両校約 40%で、全国（17.7%）の2倍以上だった。
※全国データは、男女比調整データ



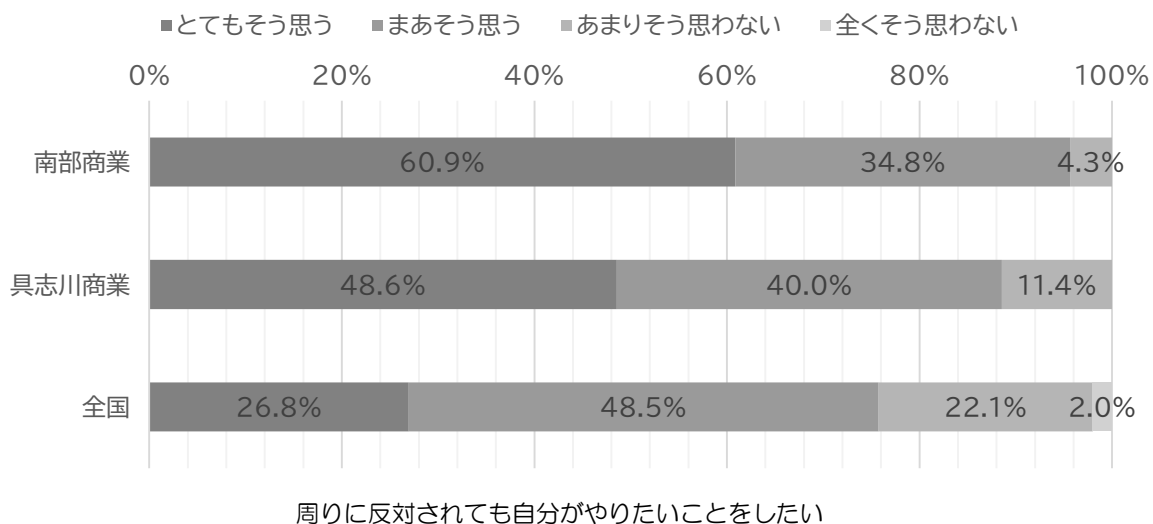
自分の会社や店を作りたい

「学歴より技術や技能を身につけることが大事だ」について、「とてもそう思う」が南部商業 59.1%、具志川商業 42.9%で、全国（26.7%）を大きく上回った。
※全国データは、男女比調整データ

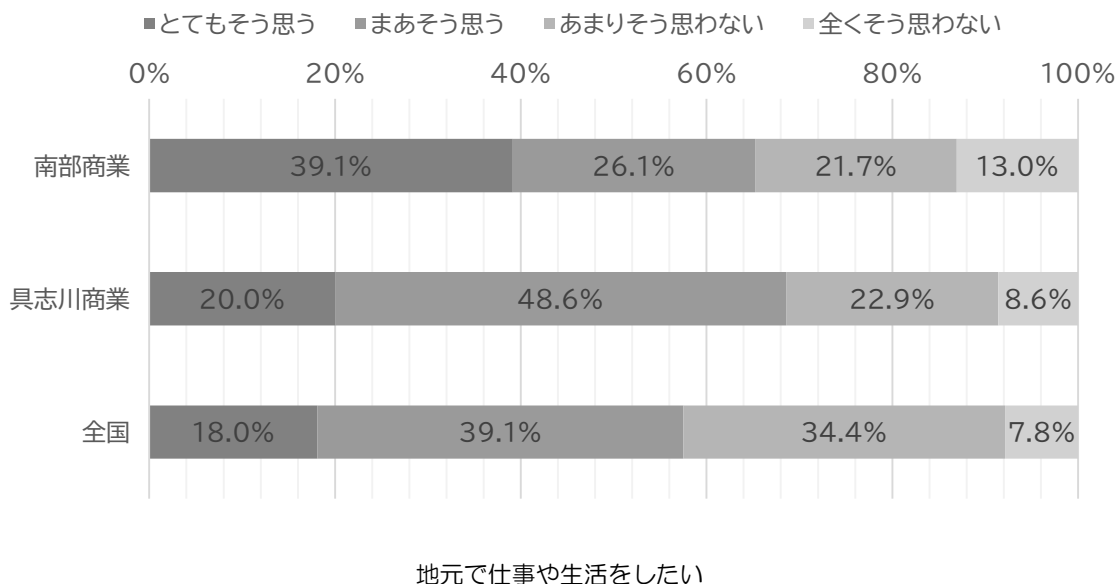


学歴より技術や技能を身につけることが大事だ

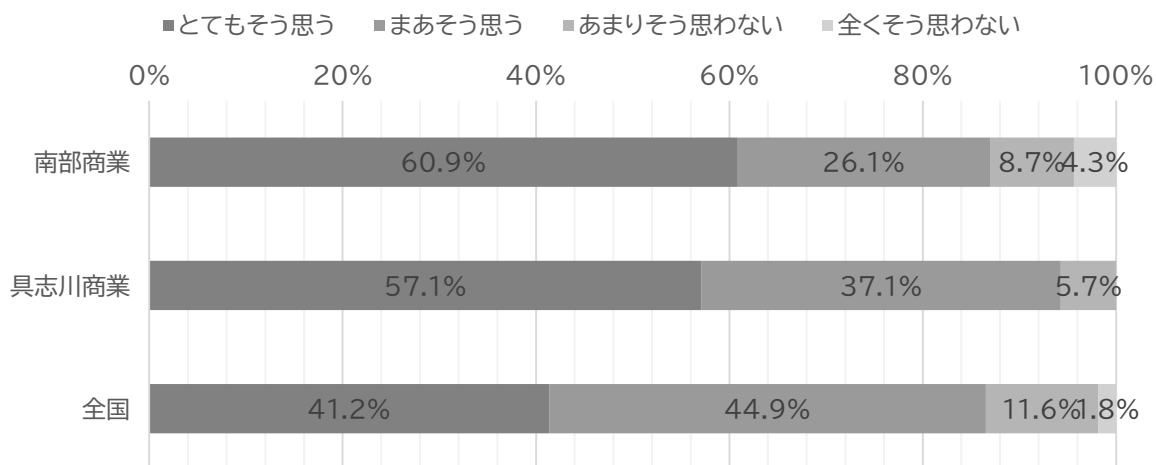
「周りに反対されても自分がやりたいことをしたい」について、「とてもそう思う」が南部商業60.9%、具志川商業48.6%だった。全国（26.8%）を大きく上回った。
※全国データは、男女比調整データ



「地元で仕事や生活をしたい」について、「とてもそう思う」が南部商業39.1%で、全国（18.0%）の2倍だった。
※全国データは、男女比調整データ

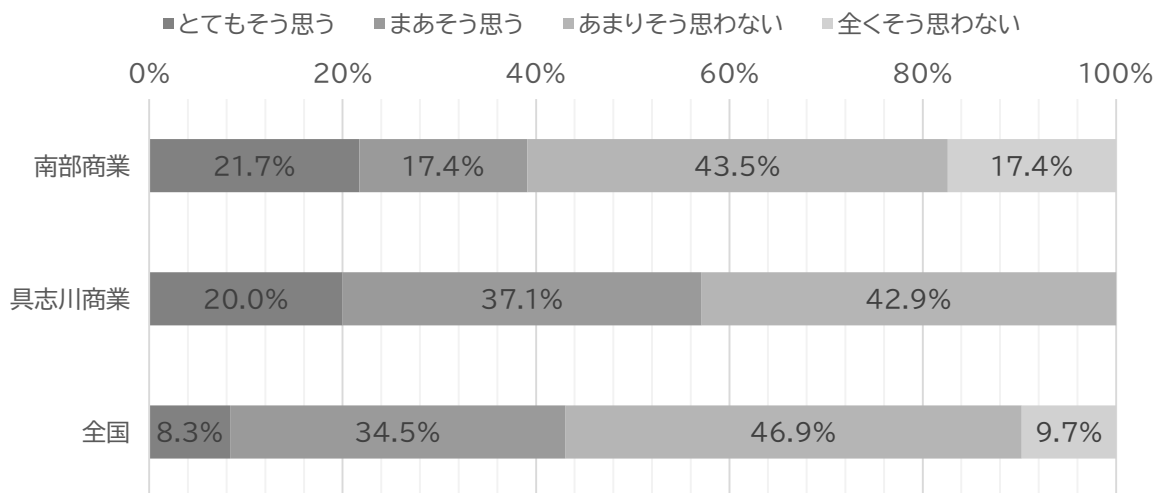


「社会に役立つ仕事をしたい」について、「とてもそう思う」が両校約60%で、全国(41.2%)の1.5倍だった。
※全国データは、男女比調整データ



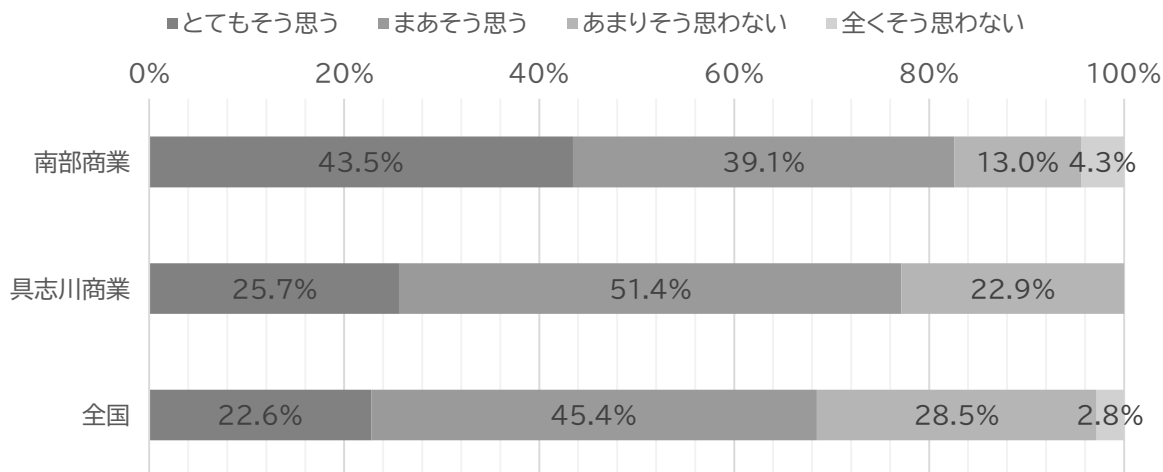
社会に役立つ仕事をしたい

「できるだけ高い地位につきたい」について、「とてもそう思う」が両校約20%で、全国(8.3%)の2.5倍だった。「まあそう思う」を含めると具志川商業で6割近かった。
※全国データは、男女比調整データ



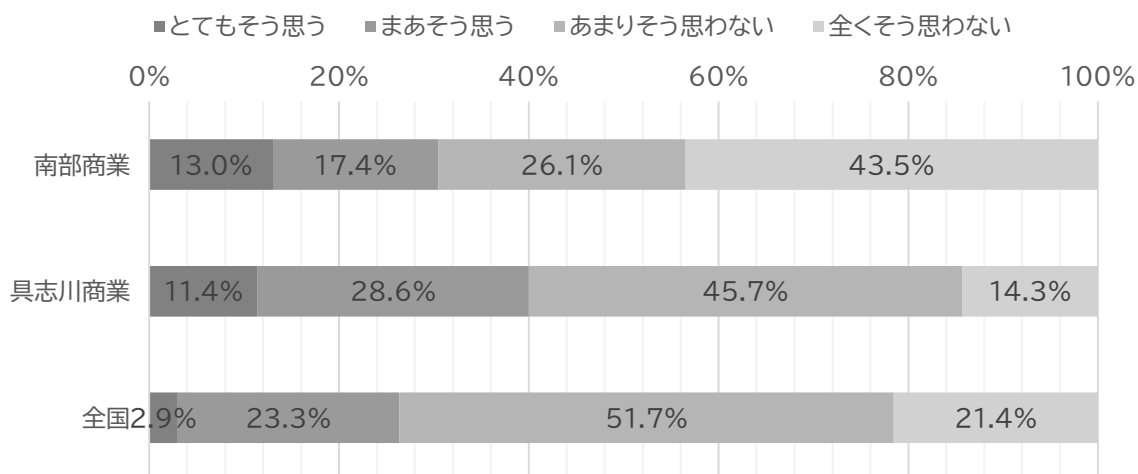
できるだけ高い地位につきたい

「よりよい職場があれば積極的に転職した方がよい」について、「とてもそう思う」が南部商業43.5%で、全国（22.6%）の2倍だった。
※全国データは、男女比調整データ



よりよい職場があれば積極的に転職した方がよい

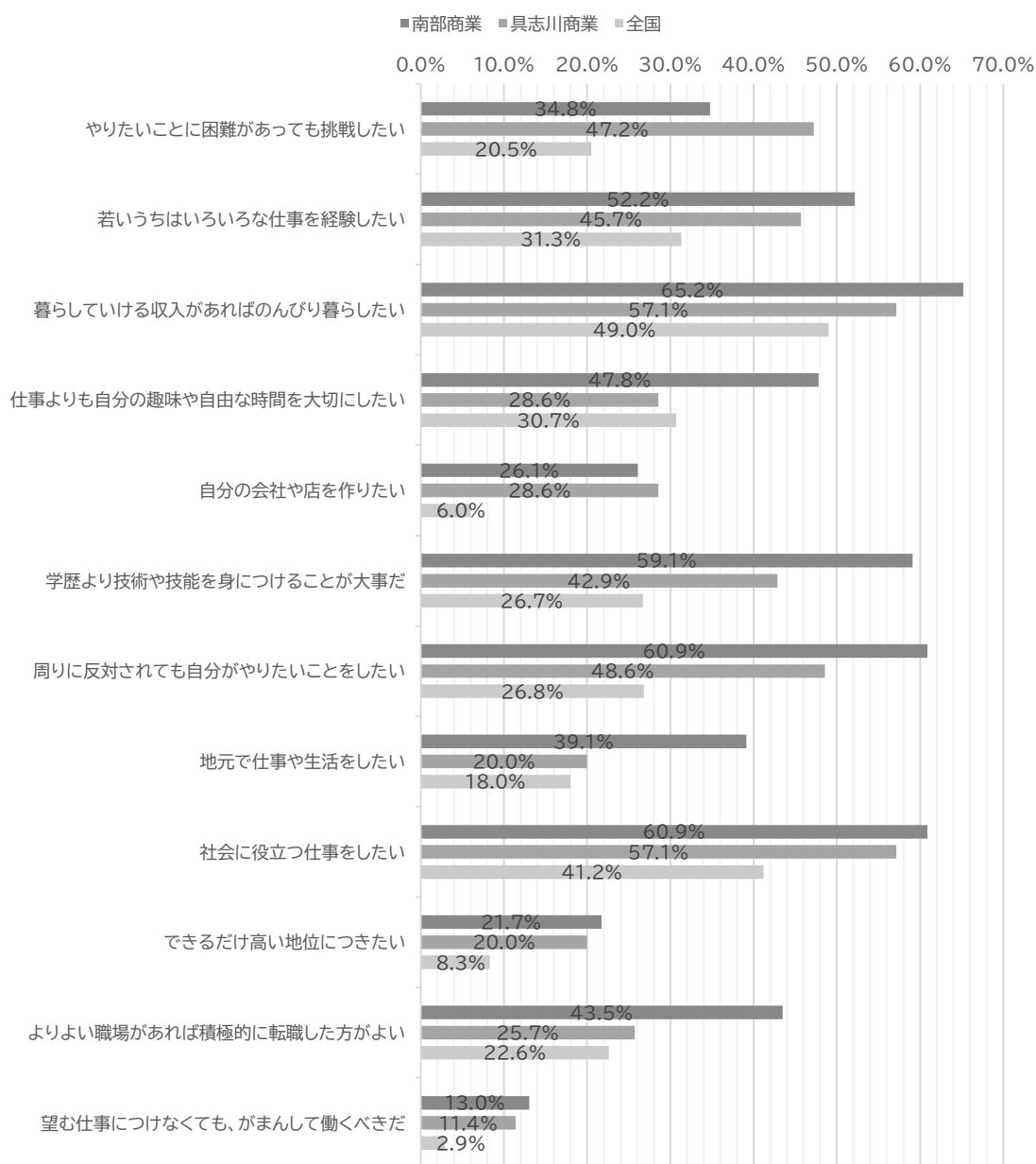
「望む仕事につけなくても、がまんして働くべきだ」について、「全くそう思わない」が南部商業43.5%で、全国（21.4%）の2倍だった。一方、「とてもそう思う」が13.0%で全国（2.9%）と比較して4倍だった。
※全国データは、男女比調整データ



望む仕事につけなくても、がまんして働くべきだ

2.3.10 仕事に関する意識・考えの12項目について、「とてもそう思う」と回答した割合をまとめた。

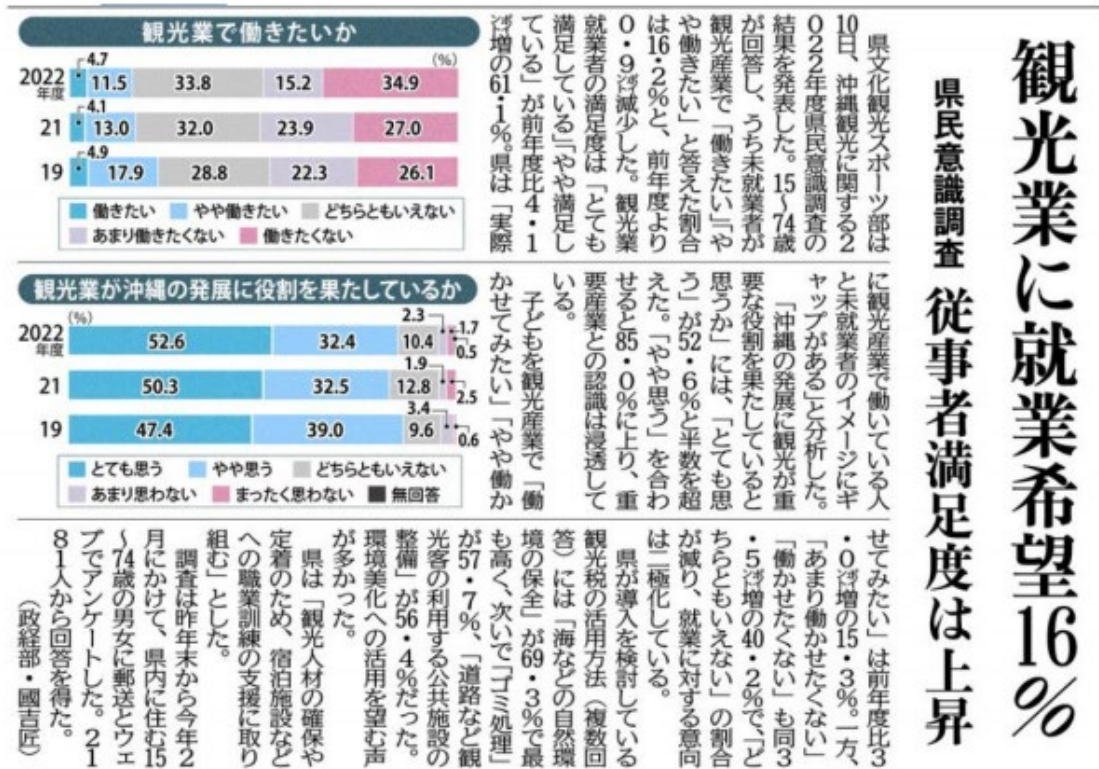
両校の共通の特徴として、全国と2倍以上の差がある項目は、「自分の会社や店を作りたい」、「望む仕事につけなくても、がまんして働くべきだ」、「できるだけ高い地位につきたい」だった。
 約1.5倍以上の差がある項目は、「やりたいことに困難があっても挑戦したい」、「若いうちはいろいろな仕事を体験したい」、「学歴より技術や技能を身につけることが大事だ」、「周りに反対されても自分がやりたいことをしたい」だった。
 「暮らしていける収入があればのんびり暮らしたい」「社会に役立つ仕事をしたい」は全国より高かった。



仕事に関する意識・考えで「とてもそう思う」と回答した割合

2.4 委員意見

朝刊 2023/08/11(金)



参考資料出典：沖縄タイムス

県内の高校でもこれほど結果が異なるのかと感じた。とても貴重な良いデータだと思う。

数字を見てみると、現実が見えている一方で夢心地的な部分もあり、理想と現実がボンヤリと感じていると感じた。

観光業界からボロボロと人材が抜けてしまっているのは本当に強く感じている。私たちからも他の業界から観光業へ人を呼ぶことも大切なのではと思う一方、人材不足は仕方のない部分もあるので外国人や障がい者採用などチャンネルを増やし働き手を増やすことは重要だと人事担当として感じる。

積極性や人前で話ができるようになったという人間性的なものは劇的な変化が見られることはあると思うが、職業意識における劇的な変化はあまりないかもしれない。

当社の人材確保について話をすると、今年の辞退率は下がった。安定という点を比較された場合、どうしても負けてしまうという現状は今までと変わっていない。また親に反対されて辞退するケースも数名いた。

高校生が大学進学理由の1つとして初任給の違いがあると思う。しかし結局は就活で同じレベルで見に行くので初任給の段階で分ける必要は無いと思った。

採用では希望人数が集まらないのが現状。入社後3〜4年目が次のステップを考えるボーダーラインと

なることが多いので、そこをどう乗り越えてもらうかが課題となっている。

意識が高い子ほど、業界や給与面を気にしていない場合が多い。就職活動が遅かった人は給与面などで判断する割合が高いかもしれないが、やはりキャリア意識の高い子ほど、給与や土日休みといった点はそこまで考えていないというのが高い印象。

アンケートの結果からも沖縄の高校生は働く意欲や自身の可能性を社会に活かしたいという熱い希望があるが、人材不足＝誰でもよいのではという考えもある。職業や就業価値の低下を感じるので、観光業に関する職業の価値をどう高めていくかが重要と思う。

アンケート結果で保育士や美容師の業界に関して聞いてみたいという意見が多かった。観光業を目指して進学した高校生がなぜ観光業以外の業種に目を向けているのか考えていかないと観光系の学校や業界に進んでくれないと考えてしまう。

Z世代と呼ばれる子どもたちは自分に興味のある情報が中心になりがちである。ITやICTの情報分析も興味や関心により限られた情報しか送ってこない。他の情報量が不足している状態で職業別講話を受講し、新たに知ることや興味を持つ。これが観光業界から他の業界へ進むきっかけやその逆になる状態が続いていると思う。

マルチメディアやテレビを通じて観光業を伝える取り組みはとても良いが、コロナ禍での空港利用者の減少、ホテルのキャンセルといった負のイメージが保護者層に強くインプットされてしまい、再度そのような状況になった場合、仕事がなくなってしまうかもという話が保護者からあったと高校生から聞いたことがある。このようなイメージを払拭していかないと観光業はどんどん低迷してしまうので、こちらから興味を持ってもらえる取り組みを積極的に発信していきたいと思う。

3 第二回連携プログラム開発検討委員会

実証授業結果報告と検討、キャリア教育に関する意見交換を行った。

3.1 具志川商業高等学校 職業イメージ変容調査・プログラム評価

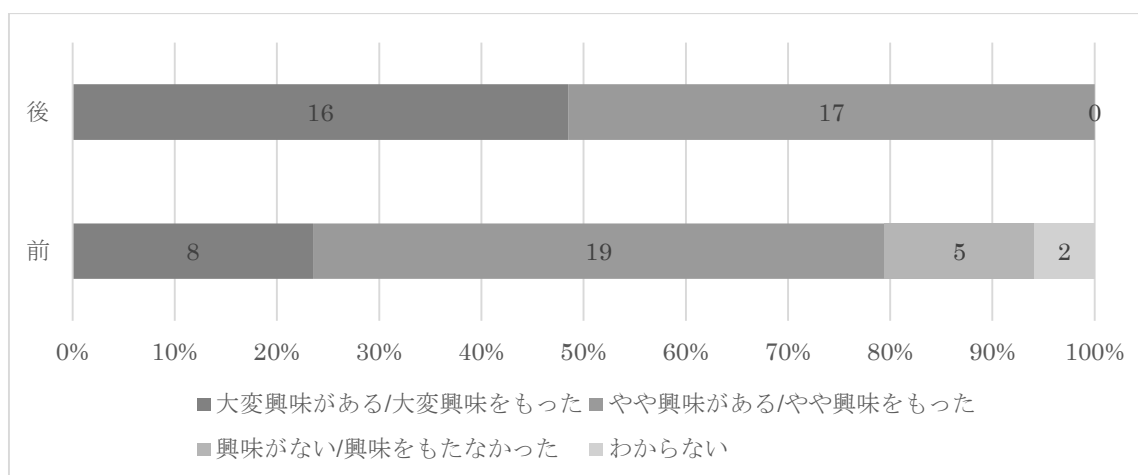
実施概要

日時 令和5年10月26日 9:20~10:20
対象 沖縄県立具志川商業高等学校リゾート観光科 2年生
人数 34名
講師 インターナショナルリゾートカレッジ 田村明子先生
内容 ホテル・ブライダル業界について

3.1.1 ホテル・ブライダル業界に関する、興味度と理解度

3.1.1.1 「この仕事に興味がありますか？/興味をもちましたか？」

「大変興味をもつ」生徒が8人から16人に2倍になった。「わからない」生徒がゼロになり、職業選択判断の材料になった。興味関心度は、35ptから49ptに上昇した。
興味関心度は「大変興味がある/大変興味をもった」を2点、「やや興味がある/やや興味をもった」を1点とし回答数を乗じた。

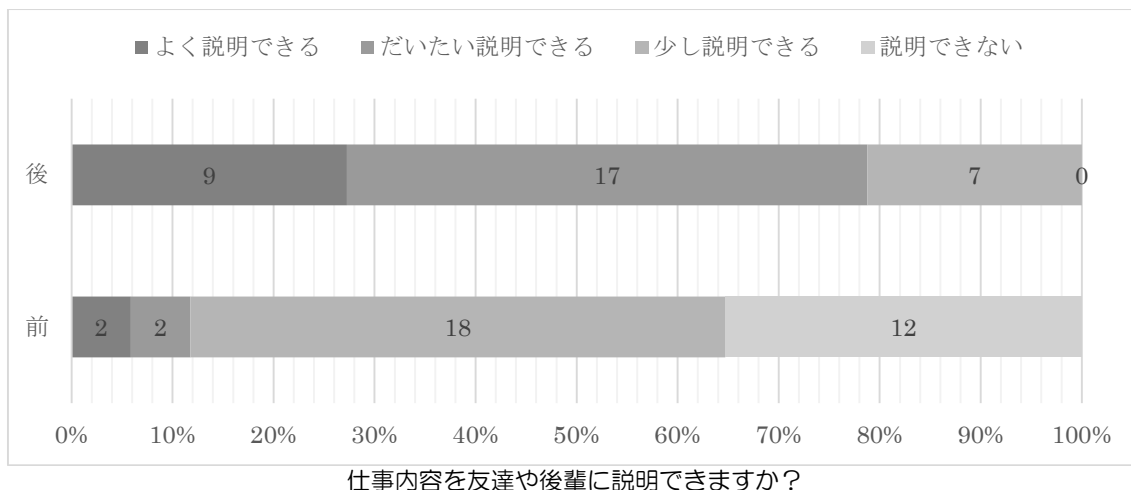


この仕事に興味がありますか？/興味をもちましたか？

3.1.1.2 「仕事内容を友達や後輩に説明できますか？」

説明できなかった生徒が12人いたが、ゼロになった。よく説明できる、だいたい説明できる生徒が4人から26人になった。理解（説明）度は、28ptから68ptに上昇した。

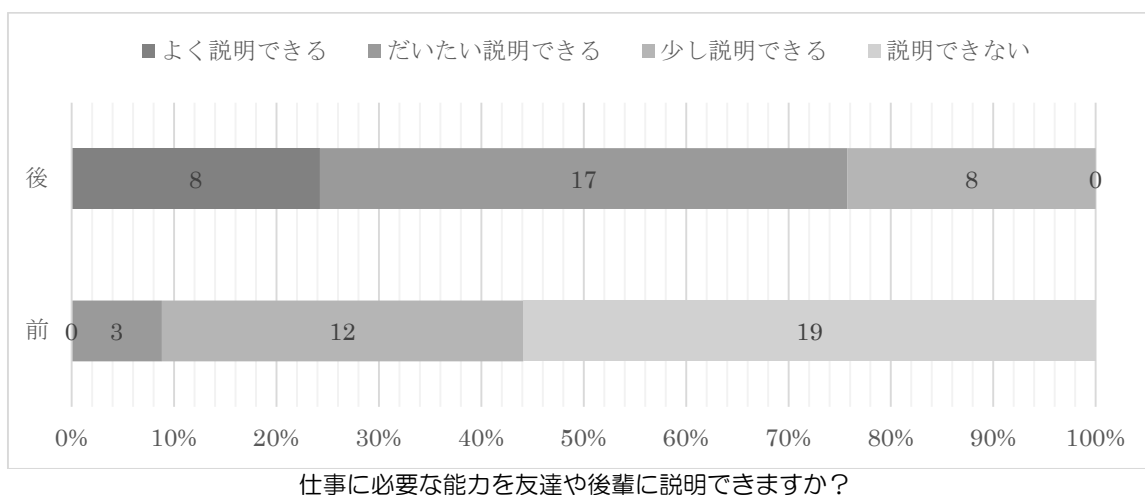
理解（説明）度は「よく説明できる」を3点、「だいたい説明できる」を2点、「少し説明できる」を1点とし回答数を乗じた。



3.1.1.3 「仕事に必要な能力を友達や後輩に説明できますか？」

説明できなかった生徒が19人いたが、ゼロになった。よく説明できる、だいたい説明できる生徒が3人から25人になった。理解（説明）度は、18ptから66ptに上昇した。

理解（説明）度は「よく説明できる」を3点、「だいたい説明できる」を2点、「少し説明できる」を1点とし回答数を乗じた。

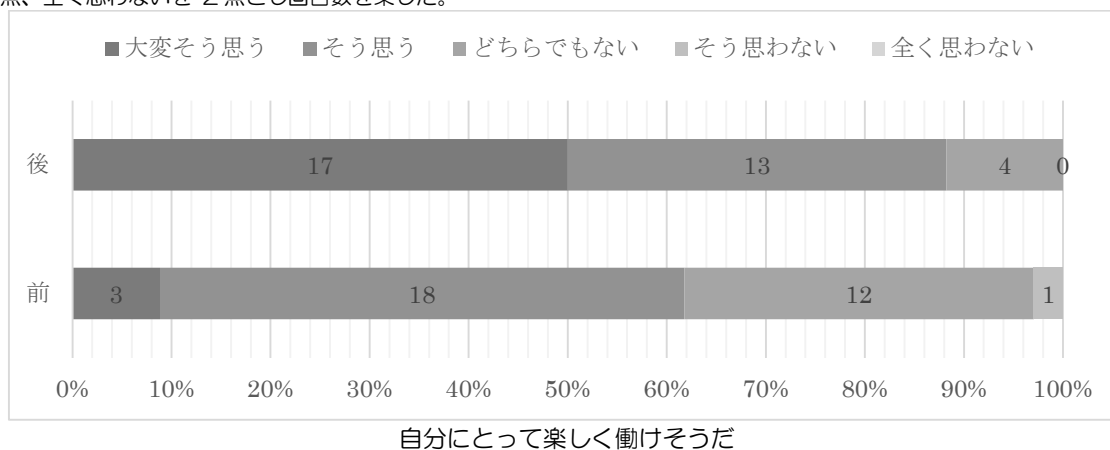


3.1.2 ホテル・ブライダル業界職業イメージの変容

3.1.2.1 「自分にとって楽しく働けそうだ」

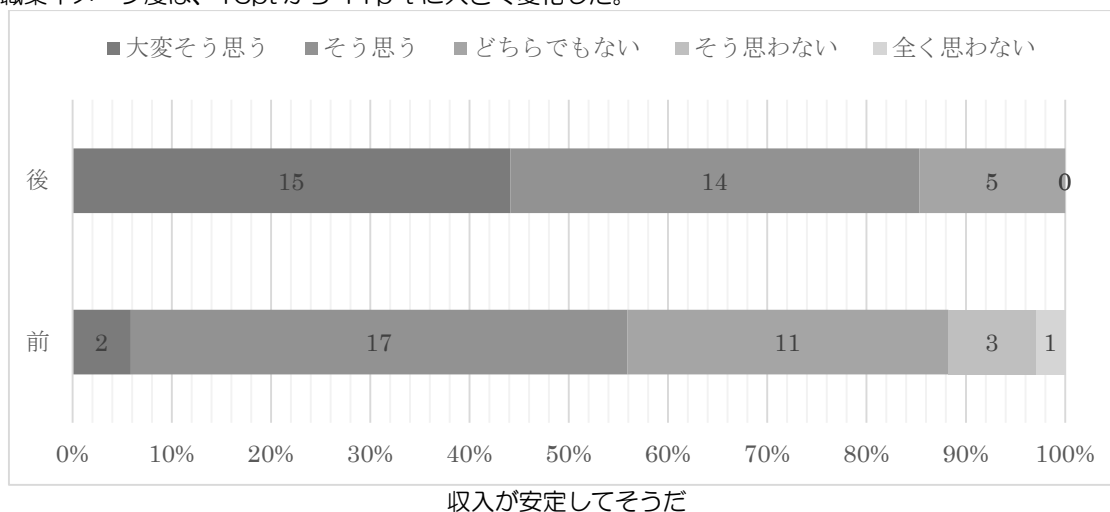
ポジティブな意見を持つ生徒が21人から30人へ増えた。
職業イメージ度は、23ptから47ptに上昇し、大きく変化した。

職業イメージ度：「大変そう思う」を2点、「そう思う」を1点、「どちらでもない」を0点、「そう思わない」を-1点、全く思わないを-2点とし回答数を乗じた。



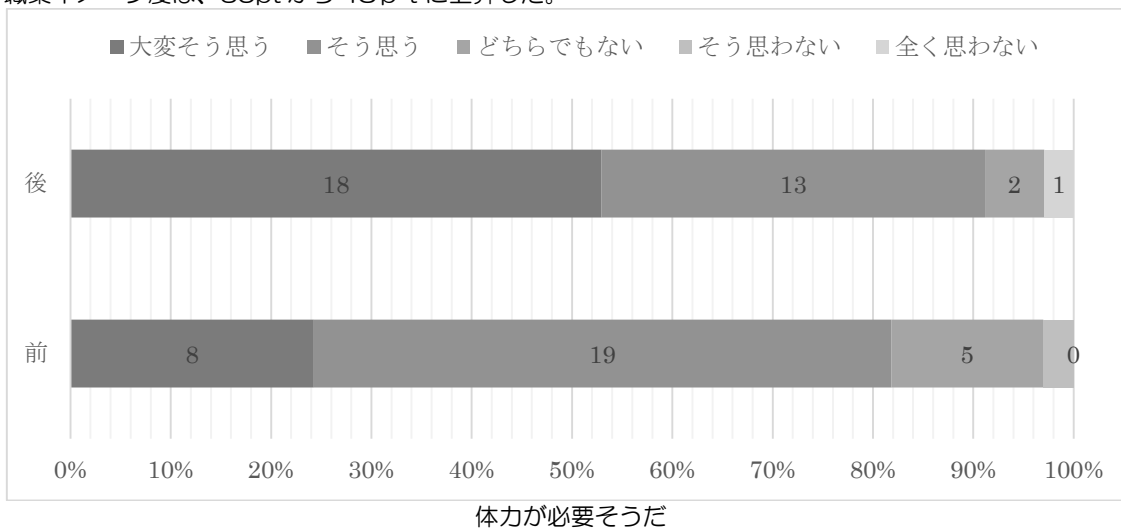
3.1.2.2 「収入が安定してそうだ」

ポジティブな意見を持つ生徒が19人から29人へ増えた。
職業イメージ度は、16ptから44ptに大きく変化した。



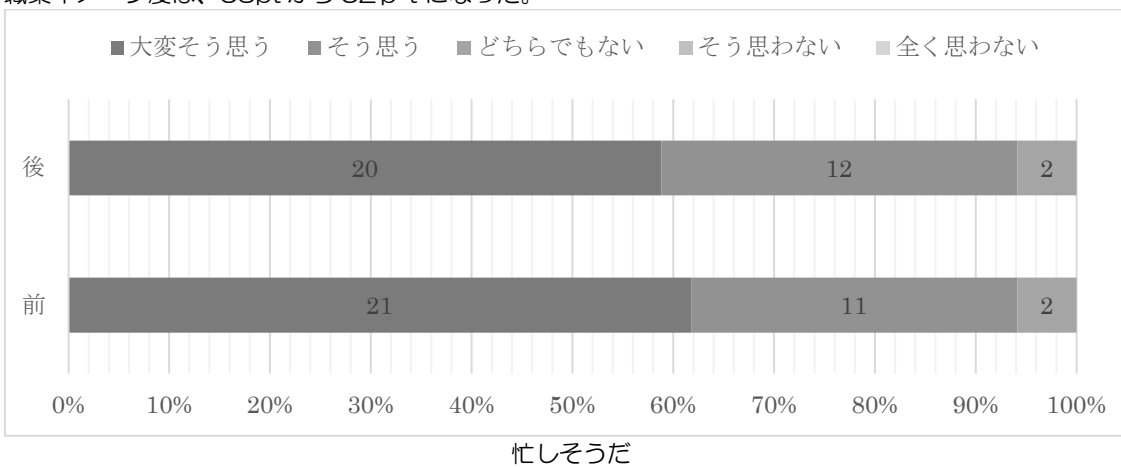
3.1.2.3 「体力が必要そうだ」

大変そう思う生徒が8人から18人になった。
職業イメージ度は、35ptから48ptに上昇した。



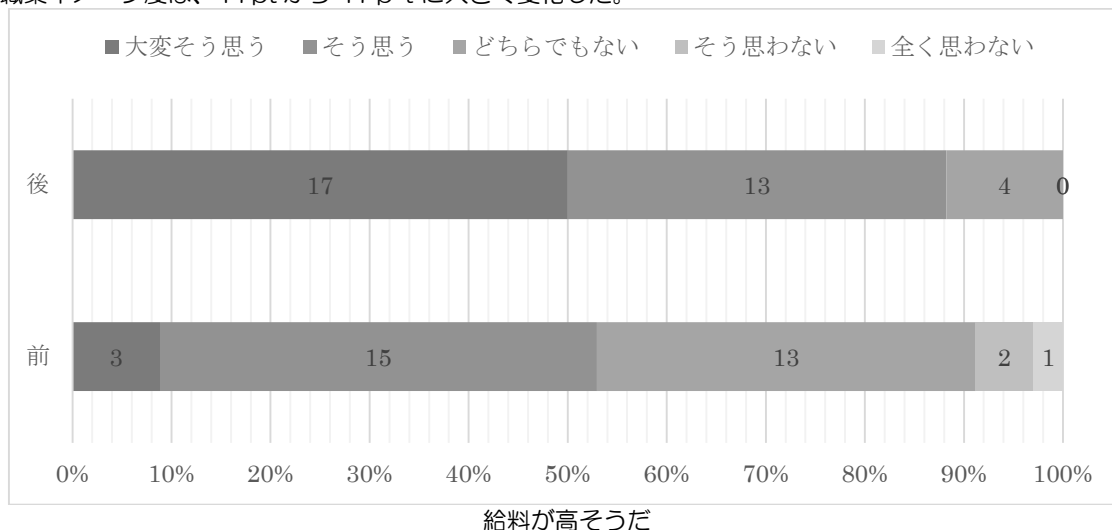
3.1.2.4 「忙しそうだ」

イメージに変化がなかった。
職業イメージ度は、53ptから52ptになった。



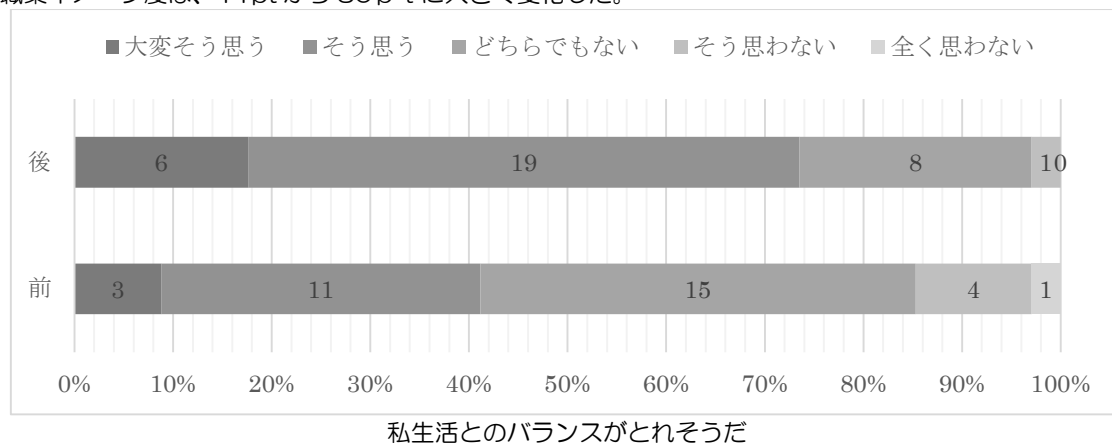
3.1.2.5 「給料が高そうだ」

ポジティブなイメージを持つ生徒が18人から30人へ増えた。
職業イメージ度は、17ptから47ptに大きく変化した。



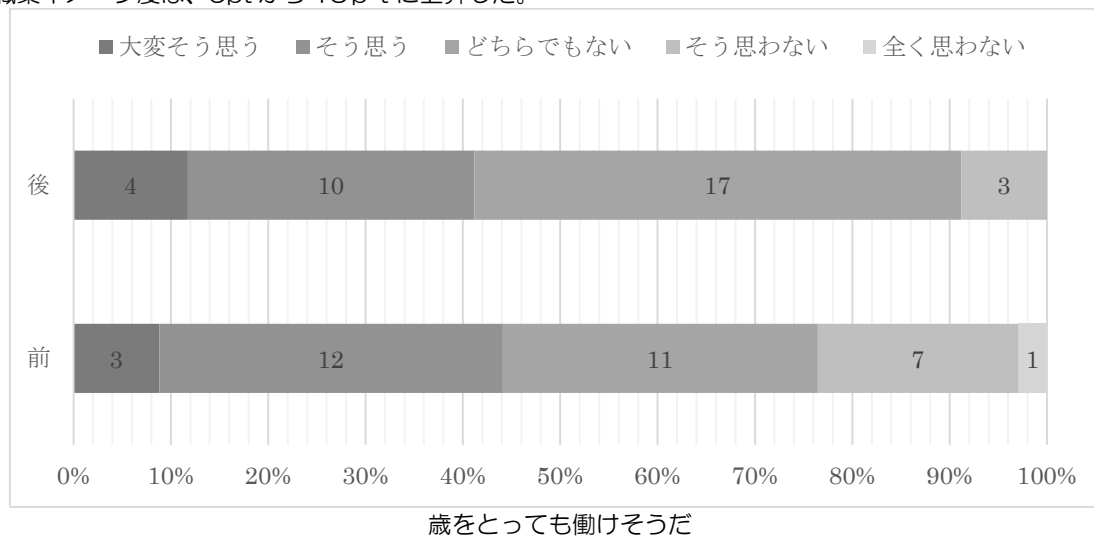
3.1.2.6 「私生活とのバランスがとれそうだ」

ポジティブなイメージを持つ生徒が14から25人へ増えた。
ネガティブなイメージを持つ生徒が5人から1人に減った。
職業イメージ度は、11ptから30ptに大きく変化した。



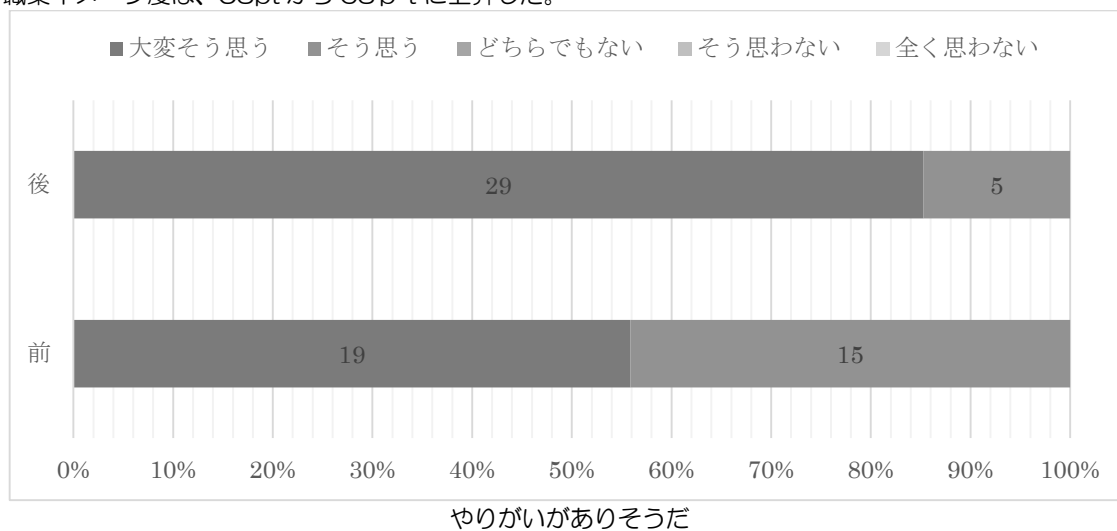
3.1.2.7 「歳をとっても働けそうだ」

ネガティブなイメージを持つ生徒が8人から3人に減少した。
職業イメージ度は、9ptから15ptに上昇した。



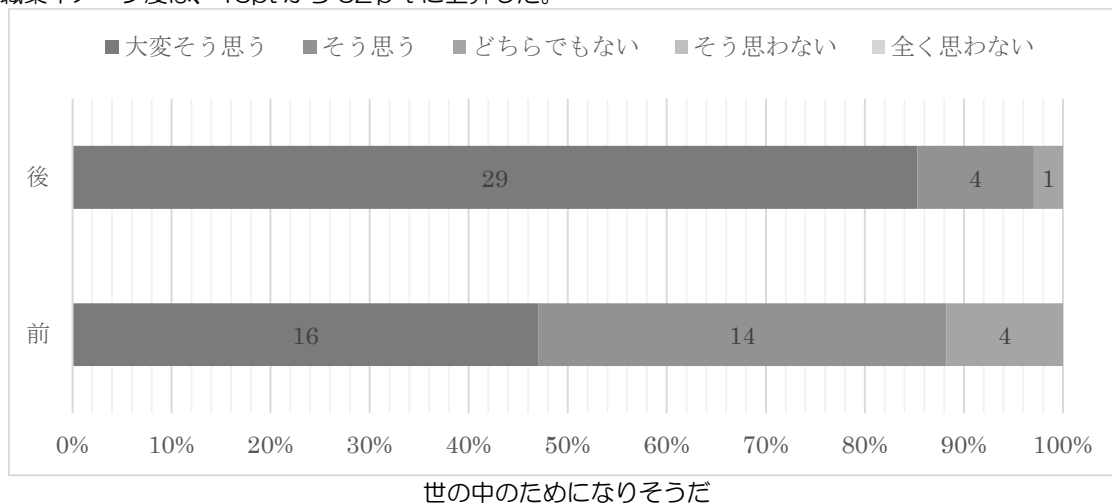
3.1.2.8 「やりがいがありそうだ」

大変そう思う生徒が19人から29人に増えた。
職業イメージ度は、53ptから63ptに上昇した。



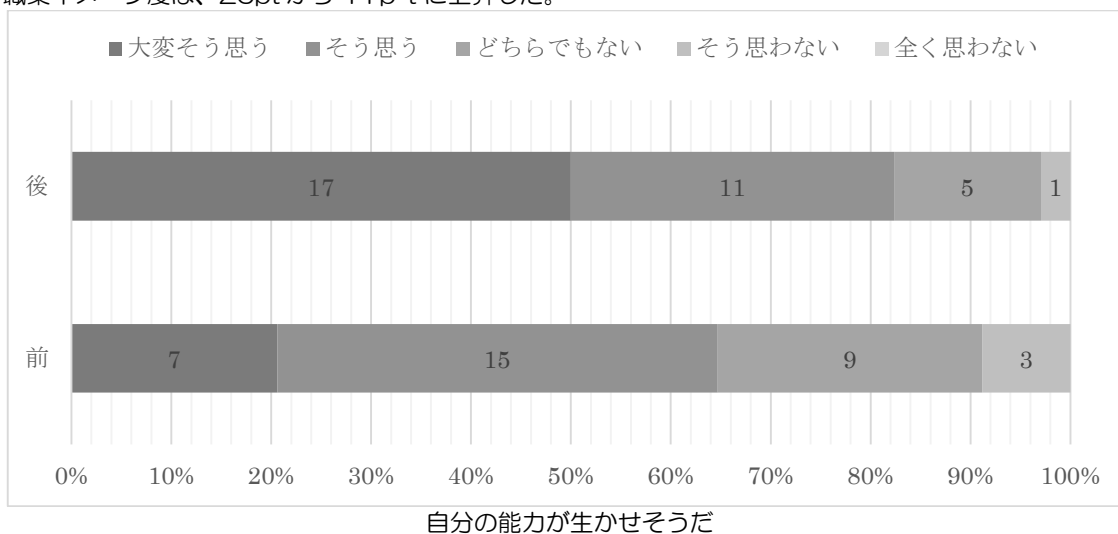
3.1.2.9 「世の中のためになりそうだ」

大変そう思う生徒が16人から29人へ増えた。
職業イメージ度は、46ptから62ptに上昇した。



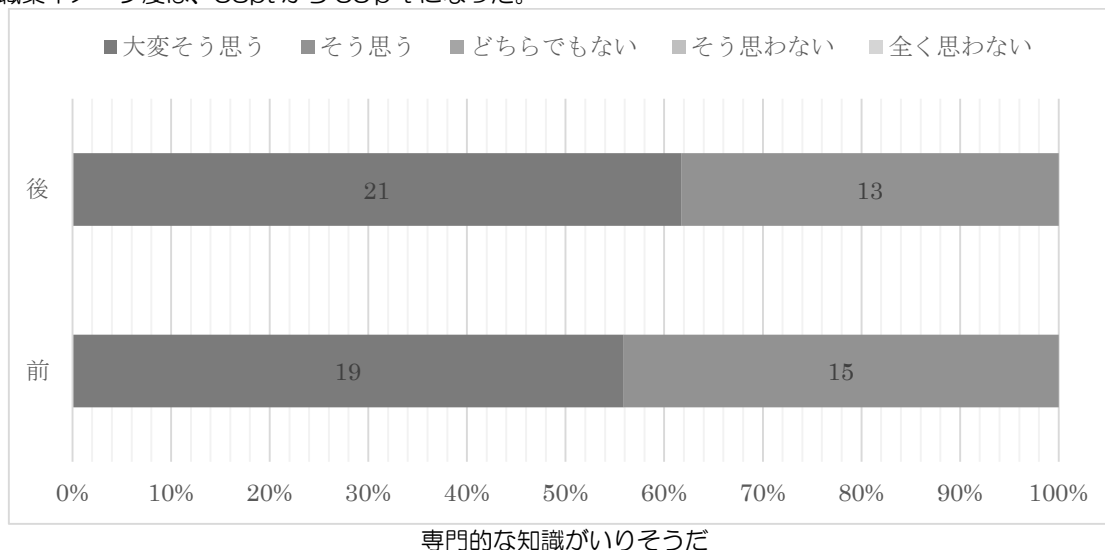
3.1.2.10 「自分の能力が生かせそうだ」

ポジティブなイメージを持つ生徒が22人から28人へ増えた。
職業イメージ度は、26ptから44ptに上昇した。



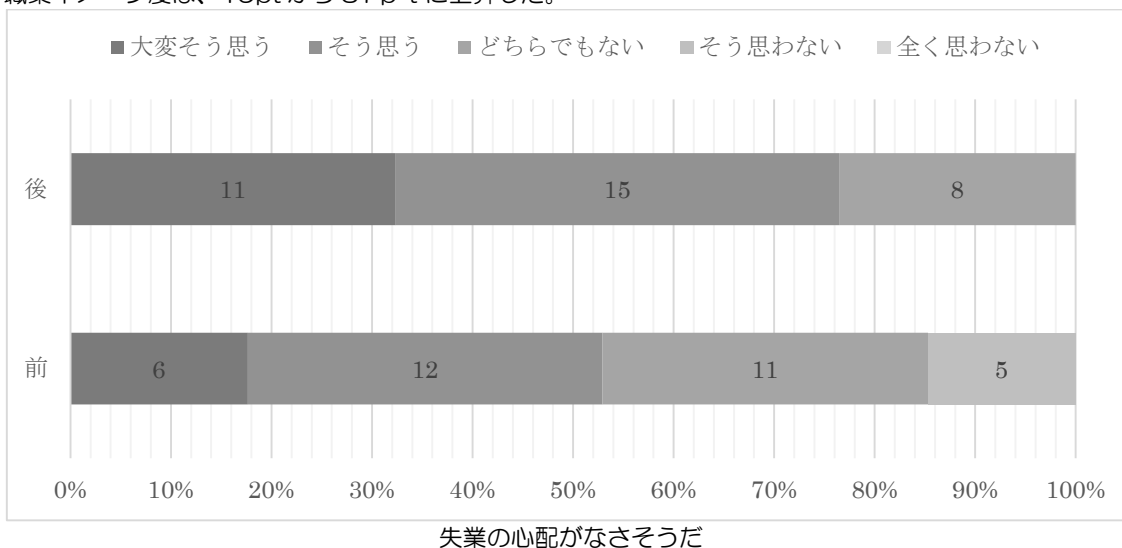
3.1.2.11 「専門的な知識がいりそうだ」

職業イメージに大きな変化はなかった。
職業イメージ度は、53ptから55ptになった。



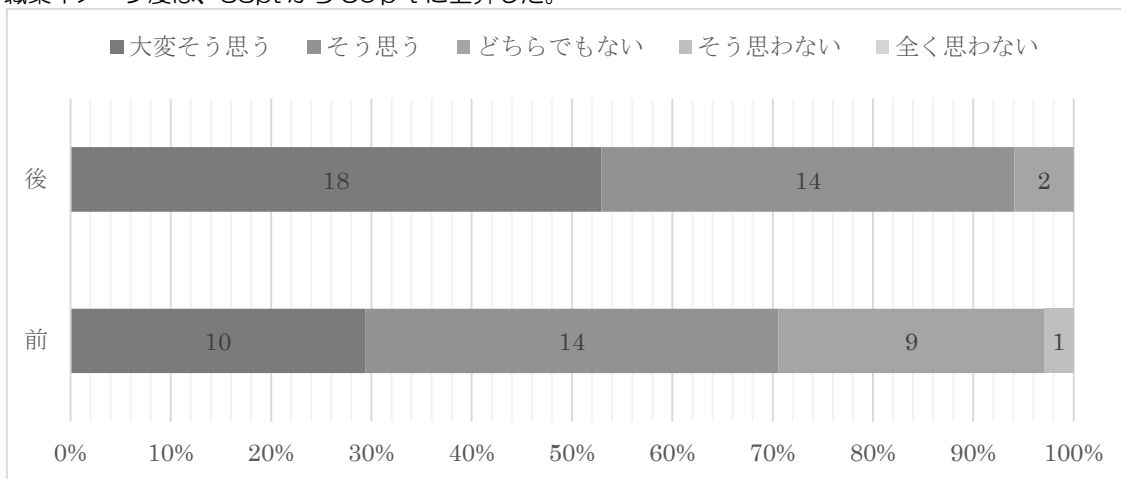
3.1.2.12 「失業の心配がなさそうだ」

ポジティブなイメージを持つ生徒が18人から26人に増えた。
ネガティブなイメージを持つ生徒が5人から0人に減少した。
職業イメージ度は、19ptから37ptに上昇した。



3.1.2.13 「危険が少なく安全に働けそうだ」

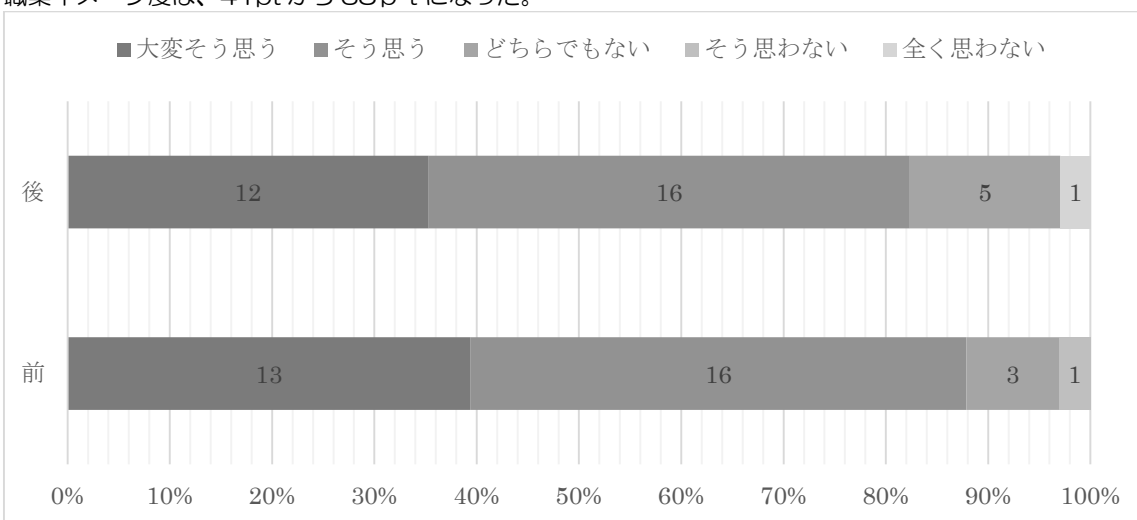
ポジティブなイメージを持つ生徒が24人から32人に増えた。
職業イメージ度は、33ptから50ptに上昇した。



危険が少なく安全に働けそうだ

3.1.2.14 「規則や規律が厳しそうだ」

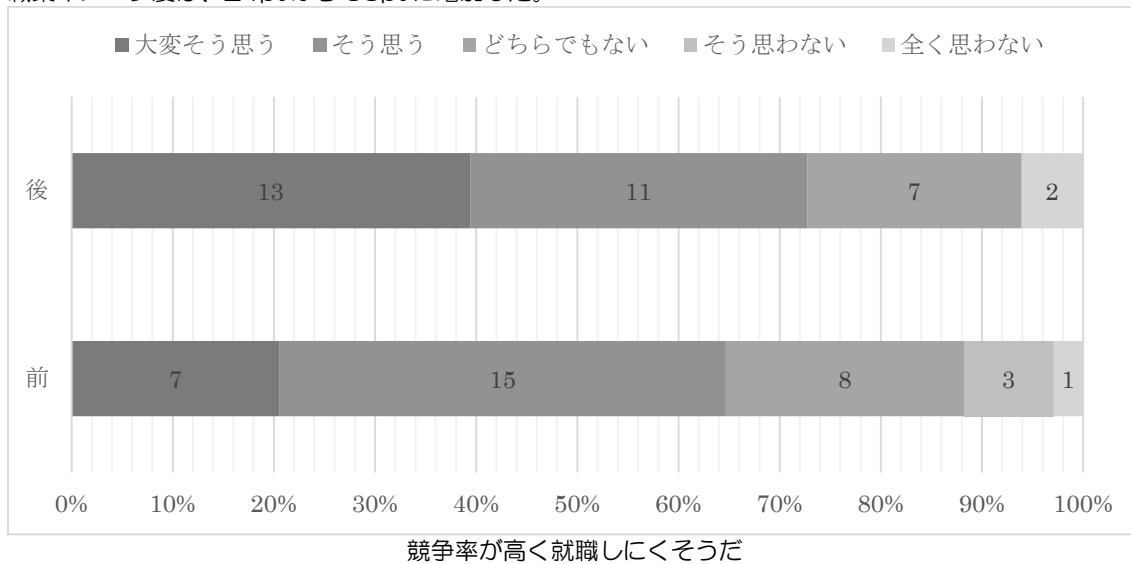
イメージに大きな変化はなかった。
職業イメージ度は、41ptから38ptになった。



規則や規律が厳しそうだ

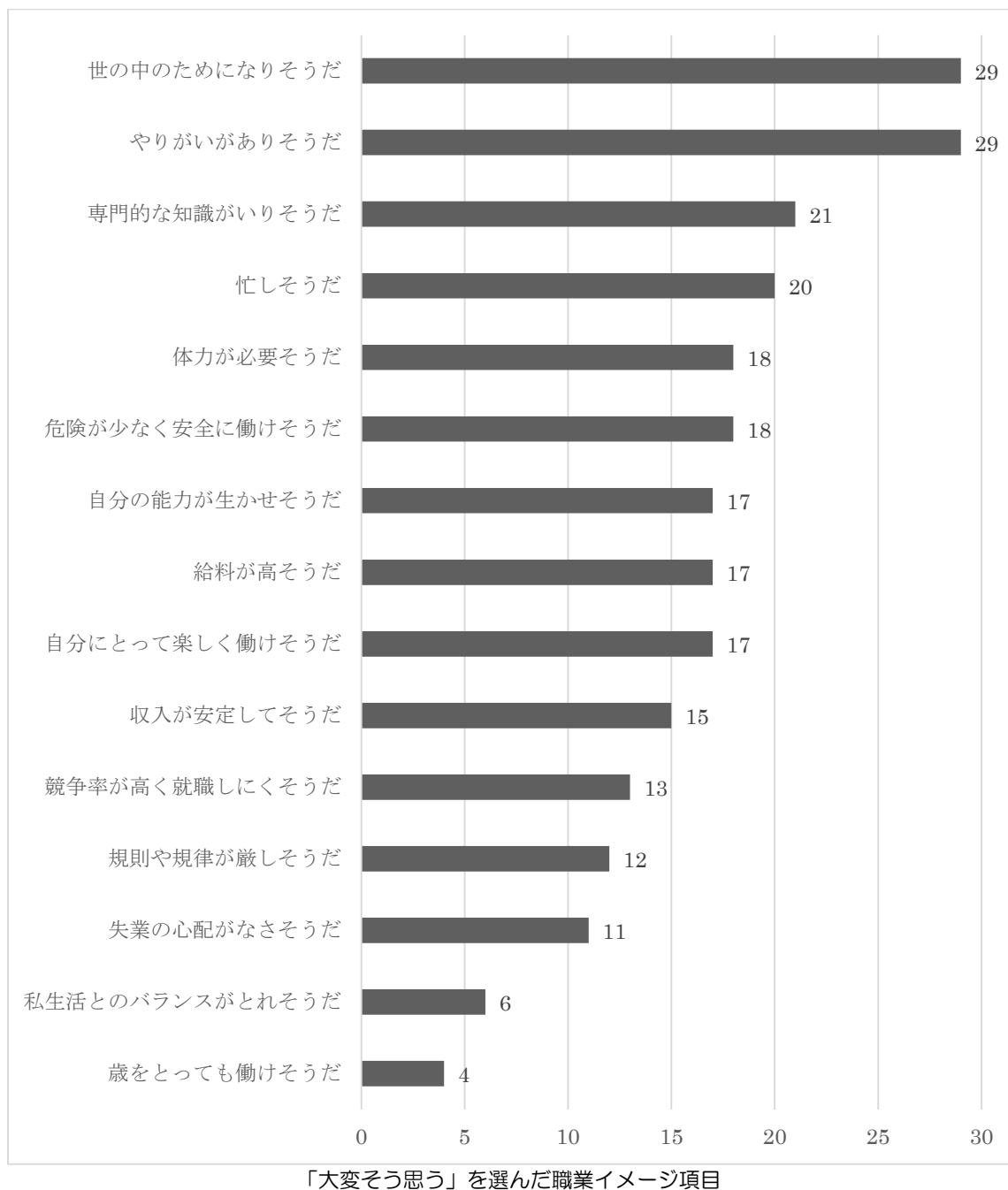
3.1.2.15 「競争率が高く就職しにくそうだ」

大変そう思うは0人だった。そう思うが7人から13人に増加した。
職業イメージ度は、24ptから33ptに増加した。



3.1.3 「大変そう思う」を選んだ職業イメージ項目

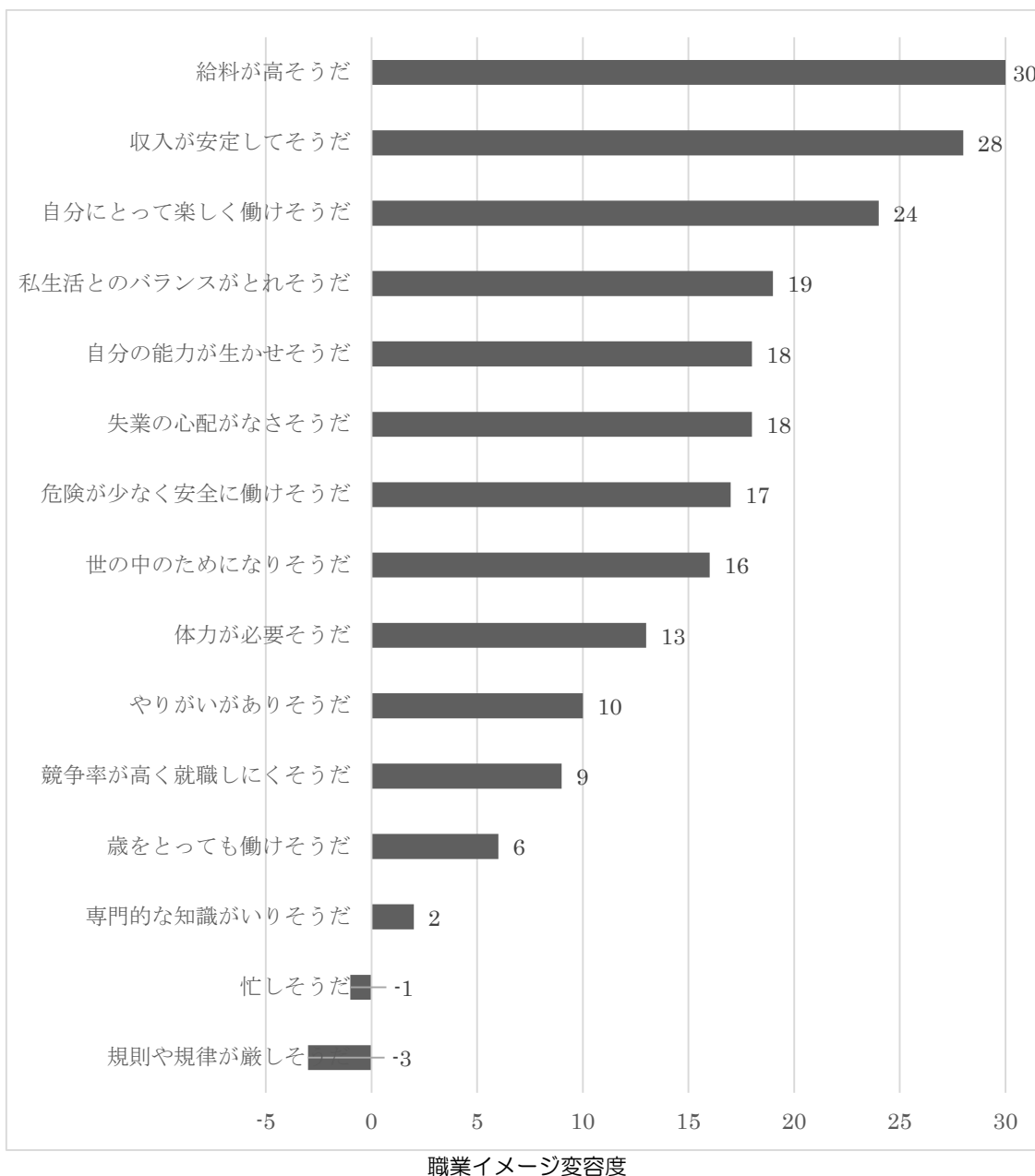
講義後、航空業界に持つ職業イメージとして70%以上（24人以上）が「大変そう思う」を選んだのは、「世の中のためになりそうだ」「やりがいがありそうだ」だった。
50%以上（17人以上）を選んだのは、「専門的な知識がいりそうだ」「忙しそうだ」「体力がいりそうだ」「危険が少なく安全に働けそうだ」「自分の能力が生かせそうだ」「給料が高そうだ」だった。
「私生活とのバランスがとれそうだ」と「歳をとっても働けそうだ」は20%以下だった。



3.1.4 講義前後での職業イメージ変容度

職業イメージが大きく変容した項目グループは、「給料が高そうだ」「収入が安定してそうだ」「自分にとって楽しく働けそうだ」だった。

職業イメージがマイナスに変化した項目グループは、「規則や規律が厳しそうだ」「忙しそうだ」だった。



3.1.5 今日の講義・講話の中で『はじめて知ったこと、はじめて聞いたこと』

※誤った漢字や送り仮名、ひらがな表記などは訂正せず、可能な限り原文に近い形で表しています。
※ひとりひとりの記述は掲載の順番を変えて、「--」で区切っています。

ホテルもウエディングもそうだけど、その仕事の中でもそれぞれに別れてて、リゾート、シティ、ビジネスとかあるのがはじめて分かった。

--

ホテルでも他に色んな、リゾートホテル・シティホテル・ビジネスホテルがあって結婚式を行う場所によって結婚式の種類が変わることを知りました。会場が大きいほど、披露宴会ができるのでいいなと思いました。

--

流行の最先端ということを知ってより、興味がわいた。

--

ドレスにもはやりなどがあること。

--

ブライダルの中でも色んな仕事があると知った

--

流行の最前線で仕事ができるのを初めて知る事が出来たので良かったです。

--

母がウエディングプランナーをしていて、たまに話を聞いたりするけど、自分的にいそがしそうな仕事だなとイメージがあったけど、いそがしいだけではなくてやりがいを感じられる仕事だなと改めて感じる事ができました。

--

今日の講話で、ホテス（※原文ママ）のお仕事やブライダルのお仕事についてきて、ホテルでも色々な種類があり、普段とは違う空間を提供する場所やブライダルでも結婚式を行う場所によって結婚式の種類が変わることをはじめて知りました。

--

ブライダルの中でも、ウエディングプランナーやドレススタイリストなどのわかれている。

--

サービス業がどういう仕事かわかった。ホテルやブライダルの仕事内容は、詳しく初めて聞いた

--

ホテル・ブライダルの仕事に絶対に必要っていう資格はないとはじめて知りました。

--

今日の講話をきいてホテルの仕事は色々な事をしてとても大変だと思いました。

--

ただ結婚式を進めるだけじゃなくて、人を笑顔にしたり、ドレスのスタイリストとか、お化粧をする人は、その人に合うメイクをするからすごいと思った。

--

ハワイにあったホテルが沖縄にもある

--

ブライダル・ホテルの仕事はとてもやりがいがある仕事だなと思った。

--

ホテルの仕事では、種類が3つあることがわかりました。そして、お客様に普段と違う癒しの空間を提供する場所ということがホテルのお仕事内容がわかりました。

--

ブライダル・ホテルは、種類が多くあってやりがいについても多くの事を知りました。必要絶対資格もなかったのがビックリ。

--

ブライダルは、やる場所によって結婚式の種類が違うとはじめてわかった。

--

ブライダルのお仕事は流行があって前まで流行はだいたいアメリカからだったけど最近は韓国や台湾などが多いということを知りました。

--

結婚式をする場所で、種類が変わってくることを知りました。

--

ホテルは高校卒業後すぐ働くことができるけど、ブライダルは専門学校に行かないと働けない

--

ホテルとブライダルのやりがいは、どちらともお客様から「幸せ」や「ありがとう」を仕事にできるってことがわかりました。

--

ブライダルは専門出ている方が良い

--

結婚式を行う場所によって結婚式の種類がかえられることが知れた。

--

ホテル・ブライダルの詳しいこととか、知らなかったことが聞けた。自分がイメージしてたより、もっと楽しそうで、人とも関わっていい。

--

結婚式がウエディングプランナーだけでなく、ドレススタイリスト、フォトグラファー、マーケティングなど、沢山の人の力でできているという事。後、「リゾートウエディング」「シティウエディング」「ホテルウエディング」などウエディングにも種類があるという事。

--

ホテルの種類にもたくさんあり、ブライダルにも種類があることがわかった。人に幸せや笑顔をつくる。

--

ホテルの仕事をするうえでの検定で HRS ホテルレストランサービス技能検定というものがあることが分かりました。ブライダルの仕事をするのでは、国家検定やブライダルコーディネート技能検定もあることが分かりました。

--

Hale kukani ホテルは沖縄とハワイの2ヶ箇（※原文ママ）しかないことにおどろいた。

--

ブライダルのやりがいは、流行の最前線で仕事ができるということ。

ホテルは高校卒業後すぐに働けるけど、ブライダルは専門学校や大学に行かないといけないこと。

--

結婚式での最高売上げがなんと1000万円という事におどろきました。でもそれくらい、一生に一度の時間で、2時間半くらいでそれが終わってしまうという事は、それくらい、皆さんがお金をかけ準備しているからだと思いました。

--

ホテル・ブライダルには、それぞれ、またちがった仕事があり、さまざまな種類があることがわかった。ホテルにも、花やさんとかかみきりやさんがあること。

--

今日ではじめて知ったことは、検定です。ホテルでは、HRSホテルレストランサービス技能検定3級で、ブライダルはブライダルコーディネート技能検定など専門的な検定が必要とはじめて知った。

3.1.6 今日の講義・講話の中で『特に印象に残ったこと』

※誤った漢字や送り仮名、ひらがな表記などは訂正せず、可能な限り原文に近い形で表しています。
※ひとりひとりの記述は掲載の順番を変えて、「--」で区切っています。

--
ブライダルのお仕事で、いい仕事だなと思った。お客様の幸せを仕事にできること。

--
ホテル・ブライダルでは「人を幸せ」にできるお仕事で自分も嬉しい気持ちになるのでこの業界に興味を持ってました。

--
ずっとウエディングプランナーになりたいと思っていて今日の話を書いて検定をとりお客様の笑顔のために頑張ろうと思った。

--
ぜんぶすてきで動画みてたらかんどうしました。

--
給料高い

--
特に印象に残った事は、お客様の「幸せ」を仕事に出来るのは幸せな事だなと印象に残っています。

--
ブライダルとホテルの仕事ではまったく仕事内容が違ってこんなにも種類があるんだなと思いました。

--
特に印象に残ったことは、仕事のやりがいです。ホテルでは、自分自身の成長と接客のプロになれる。ブライダルでは、お客様の幸せを仕事にできて、チームワークで創り上げる喜びをあげることができる。

--
どちらも「人」を相手に「人」しかできないもの提供する職業

--
ブライダルではしんろうしんぶの幸せを自分も感じることができてとても良い仕事で、たくさんの感動があるということ

--
今日の講義で観た動画が、元々私がブライダル業界に就きたいと思っているのもあって、とても印象に残りました。

--
最近はいくろいドレスをきる人もたくさんいるという事がとてもびっくりしました。

--
ドレススタイリストさんの、その人に合ったメイクの仕方や、ドレスなどをきめる所

--
ホテルにも検定がある

--
「人」を相手に「人」しか出来ないものを提供する

--
特に印象に残ったことは、ブライダルの話で、ブライダルのビデオを見たときにお客様に幸せを届ける仕事なんだなと印象に残りました。

--
やりがいについて、「お客様の幸せ」を仕事にできることか（※原文ママ）すばらしくてステキだと感じました。

--
結婚式は、ブライダルの人たちが幸せをつくっている。

--
ブライダルとホテルはお客様の幸せを身近でみることができし笑顔にできるということが印象に残りました。

--
ブライダルの仕事は「お客様の幸せ」を仕事に出きるという発言が一番心にのこりました。

--
ホテルもブライダルも「笑顔」をあたえることが出来るというのが、とてもいいと思いました。

1回のけっこう式で最大1000万(2時間半)くらいなのにすごく高くてすごいなと思いました。

--

ムービー。2つのムービーを見て、ウエディングも気になってきた

--

ブライダルの仕事は、お客様のしあわせを仕事にできることってとてもステキだなーと思いました。

--

お客様に笑顔をあてる仕事

--

自分はウエディングのビデオの中でうつっている家族の人がとても幸せそうな笑顔で映っていたということが印象に残りました。

--

人を相手に「人」しか出来ないものを提供するステキなお仕事が印象に残った。たくさんの可能性があって、仕事にもたくさんの種類がある。非日常でいやしの空間を提供する場。

--

ホテルやブライダルの仕事で1番大切なことは、お客様の笑顔を守ることが大切だということが分かりました。

--

収入すごい

--

お客様の「幸せ」を仕事にできる。結婚式をやる本人たちだけでなく、結婚式をささえてきたブライダルの人も笑顔ですてきだった。

--

結婚式のビデオを見て、物凄く感動を受けました。人の「幸せを仕事にできる」という事が、どれだけ素晴らしく、素てきなことを、肌で感じることができました。

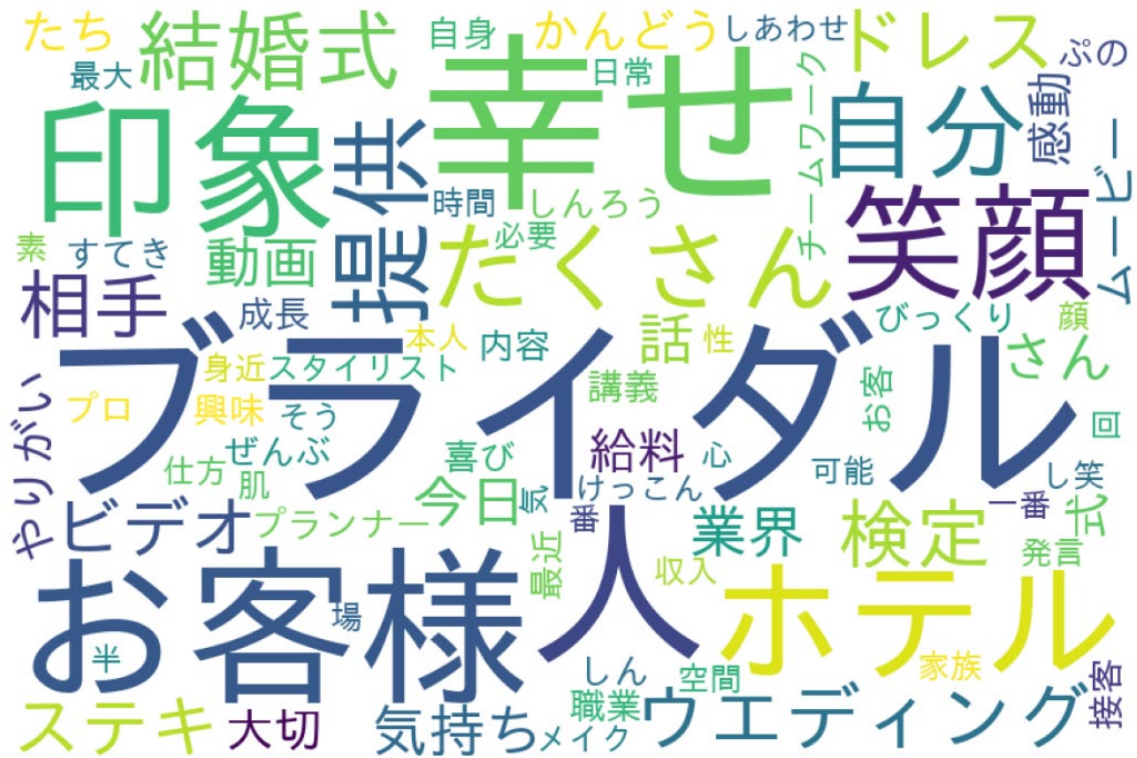
--

ブライダルでたいへんなこともあるけど、その式を見てかんどどうして良い気持ちになること。

--

ブライダルの給料があがっているということ。検定が必要。

ブライダルは、お客様の笑顔と幸せを仕事にできることが多く挙がっている。また、人を相手に人しかできないことをする仕事も挙がっている。



3.1.7 話を聞いてみたい仕事や職業

※誤った漢字や送り仮名、ひらがな表記などは訂正せず、可能な限り原文に近い形で表しています。
※ひとりひとりの記述は掲載の順番を変えて、「--」で区切っています。

看護、教員、保育、美容
--
美容（エステ）
--
エステ、マッサージの人
--
事務職
--
歯科衛生士、美容関係
--
モデル、ユーチューバー、メイク
--
経営など
--
保育士、社長（経営をしている人）
--
心理カウンセラー
--
公務員
--
看護師、教員
--
メイクアップアーティスト
--
ウエディングプランナー
--
看護師
--
看護師、保育士
--
ブライダル系
--
美容や保育士
--
ホテルのフロント
--
保育士、シェフ
--
保育士
--
美容師、保育士
--
看護師
--
結婚式で働いてみたい
--
シェフ
--
かんごし類
--
公務員

--

語学

話を聞いてみたい仕事や職業（希望職種とは無関係）

	今回	前回（7月）
美容系	8	5
保育士	7	7
看護師	6	2
ブライダル	3	2
公務員（警察・消防など）	2	4
シェフ	2	2
経営者	2	2
教員	2	0
英語を使う仕事	1	5
ホテル	1	5
歯科衛生士	1	1
心理カウンセラー	1	1
銀行員（事務系）	1	1
Youtuber	1	1
モデル	1	0
マッサージ	1	0
弁護士など法律に関わる仕事	0	3
パイロット	0	3
航空関係	0	2
栄養士	0	1
基地で働いている人	0	1
IT会社	0	1

3.1.8 今日の講義・講話を聞いて、『感じたこと、思ったこと』

※誤った漢字や送り仮名、ひらがな表記などは訂正せず、可能な限り原文に近い形で表しています。
※ひとりひとりの記述は掲載の順番を変えて、「--」で区切っています。

とても勉強になった。あまりきょうみもってなかったけど、もてた。たのしそうでもっとくわしく調べてみたい。

--

ホテル・ブライダルは人を幸せにできるお仕事で、お客様に笑顔で与えるためにもスタッフは毎日動いてお客様のためにも沢山かかげで頑張っているのを思ったらすてきなと思いました。私もこの業界に興味があったので進路にちょっとでも考えていきたいです。

--

小さい時からウエディングプランナーにずっとなりたいと思っていたけど、難しくてなやんだりすることも多いかと思うけど、すごくやりがいがあるなと思った。専門学校（※原文ママ）に行ってウエディングプランナーをめざしたいです。

--

けっこう式はみんなのあこがれだからはたらいてる人はしっぱいしないようにいそがしいと思った。

--

ホテルやブライダルでも種類がたくさん

--

やりがいを感じられる仕事がたくさんあってすてきなお仕事だと感じました。結婚式にたくさんの幸せがあふれるのですごくいいと思いました。お話を聞けて良かったです

--

自分が想像してたより、ブライダルの仕事はやりがいがある仕事なんだと知れて見方が変わりました。また、自分自身も成長できる仕事だと聞いてとてもかっこいい仕事だなと改めて感じました。

--

今日は、色々詳しく、ホテルやブライダルについて知ることができてよかったです。仕事のやりがいをきいてその仕事についてもっと知りたいと思い、インターネットなどでも自分で調べて学びたいと思いました。

--

ブライダルやホテルのお仕事は「お客様の笑顔をつくる」すてきなお仕事だと思います。必要な資格などはないけれど取得すればお客様からの信頼などを得ることができ、要望に応えることができるのではないかと思います。ブライダルのお仕事もホテルのお仕事もとてもすてきな仕事で身近だけどあまり知らない事もあったので今回お話を聞けてとても良い勉強になりました。

--

今回の講話では、ブライダル・ホテルについて聞いて、どちらも「人」を相手にサービスを提供する仕事でとてもやりがいがあって「人」を喜ばすことによって自分にも返ってくるとてもいい仕事だと感じました。

--

自分の将来の夢とはちがうけど、とても良い仕事だなと思って少し前よりも興味がわいた。感動したりするのはとてもいいなと思った。人のために、人しかできないことを提供するのとても良いなと思いました。

--

今日の講義を聞いて改めて、お客様の人生で一度の晴れ舞台を共にできるのは、とても幸せだなと思いました。こんな幸せを感じることができるお仕事って、本当に素晴らしいなとも感じました。

--

今日の講話をきいてホテルの色々な事をきいたり学ぶことができてとてもよかったです。私もホテルにいったらどんなことをホテルの方は仕事をしてるかみてみます。

--

自分には関係ないと思っていたけど、講話をきいて、ちょっと興味をもてた。人に関わる仕事や、コミュニケーション能力がとれる仕事なので大事だなと思いました。

--

思っていたより、たのしそうだと思った。少ない人数でも、いいかんじだと思った。

--

仕事でお客様の「幸せ」を感じられるのがとてもいい仕事だと思った。

--

今回のブライダル・ホテルの職業の講話を聞いて、とってもいいお仕事だなと思いました。私はブライダルに興味があり、ブライダルの話を聞いて、よりブライダルのお仕事について興味を持ちました。ビデオを見ていても、お客様に幸せを提供できる仕事だと知って、すてきな仕事だと思いました。

--

事前学習をした時は、具体的な仕事内容とか仕事のやりがいだったりブライダル・ホテルの仕事について分からない部分が多かったけど、今日の田村さんの話を聞いてやりがいがあってステキなお仕事だなと思いました。特にブライダルの仕事は、「お客様の幸せ」を仕事にできるってあってやりがいがとてもあるなと感じました。お互い幸せ、笑顔になれる最高の仕事だと思いました。

--

最初は、ブライダルの仕事について、興味がなかったけど、今日の講話をきいて、人の幸せを目の前でみたいと感じ、すごく働きたい！と思った。新郎新婦に合ったドレス、会場を作っていくの楽しそう。

--

ブライダルのお仕事もホテルのお仕事もお客様の幸せを感じることでできるお仕事なのですごく楽しそうだなと思いました。すごく忙しそうだけど、すごくやりがいのある仕事だろうなと思いました。

--

元々、ブライダルの仕事にきょうみがあったけど、今日、おはなしをきいて、自分も、人の幸せのしゅんかんにたずさわりたいと思いました。そのために、これから、色んなことを知らべて（※原文ママ）、りっぱなウエディングプランナーになりたいと思いました。

--

ブライダルの仕事にきょうみをもっていたので、こんな感じに話をきくことが出来てとてもうれしかったです！笑顔と感動とやりがいの3つを感じる事が出来るステキな仕事だなと思いました。

--

さいしょは全然きょうみもなくあんまりいいかなと思っていたけど、ホテルやブライダルのやりがいや仕事内容をきいて人とかかわれるしなのしそうだなと思うことができました。とても勉強になったのしかったです。

--

お忙しい中、ありがとうございました。ウエディングについてとても興味を持ちました。ircの学科全てのお話を聞いてみたいです。1級だなんてあこがれます。かっこいいです！

--

自分の中では、こうほに入っていた職業の講話（※原文ママ）がきけたので、ホテルのことも、ブライダルの職業のことも改めて、考えたくになりました。

--

今日のお話を聞いて、すごくやりがいがありそうだし、楽しそうだなと思いました。こういう職業もいいなと思った。

--

今日の講話の中で、ホテルにもブライダルにも、沢山の種類があると知りました。どの仕事も、人を幸せにできるし、自分も幸せになる仕事ばかりで、とてもすてきな仕事だなと思いました。自分も、人を幸せにできる職業につきたいとよりいっそう感じました。

--

ホテルやブライダルの仕事について、知ることができた。リゾート系の中でブライダルが一番興味があったので知れてよかったです。今、結婚する人がすくなくなっていると言われてるけど、すこしの幸せを仕事にできることがとても良いなと感じました。今後の進路について考えるきっかけができてよかったです。

--

私も、人のためになったり人をよろこばせられるような仕事につきたいなと思いました。そのために勉強などががんばりたいです。

--

ホテルも楽しそうだけど、結婚式見たいから、結婚式場で働きたい。

--

今日の講義では、始めて知ることが多く、今まで気づかなかったことに気づくことができました。ブライダルの仕事は、とても忙しい仕事だと思っていたけど違って（※原文ママ）お客様の笑顔にふれながらできるすてきな仕事だと分かりました。自分はやりたい職業があって、ブライダルやホテルとは違うけど、自分も違う形で、だれかを幸せに笑顔にできるような人になりたいと思いました。

--

自分も、結婚式は何度か立ちあったことがありますけど、とても感動するし、こんな人生の中で一番の「幸せ」という場面に立ち会うことができる、本当にいい仕事だなと思いましたし、それまで苦労してき

3.2 南部商業高等学校 職業イメージ変容調査・プログラム評価

実施概要

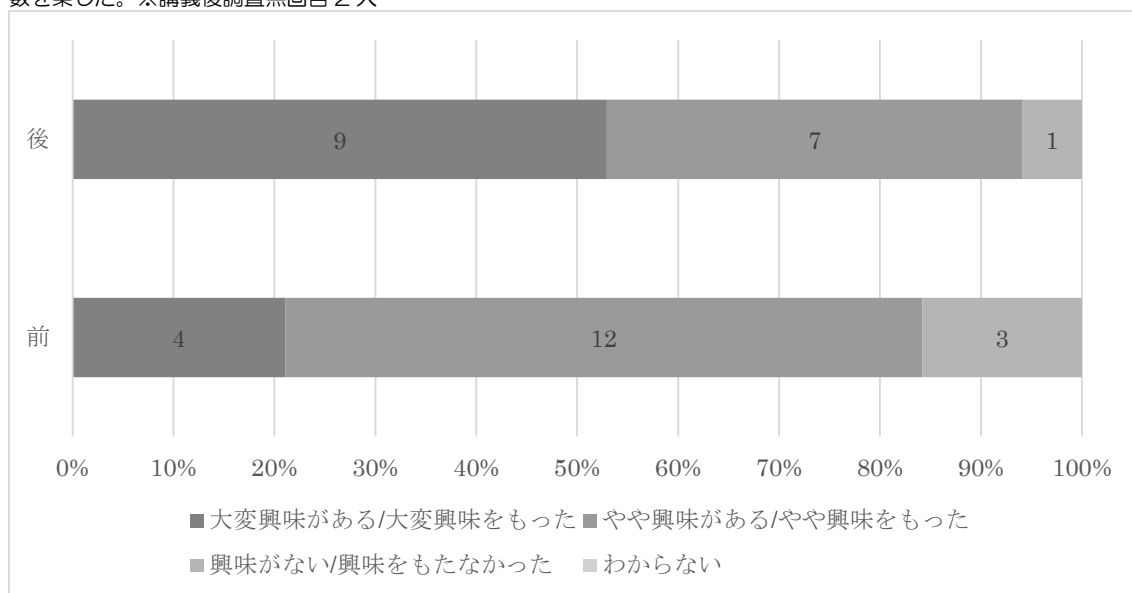
日時 令和5年10月26日 9:20~10:20
 対象 沖縄県立南部商業高等学校観光クリエイト科 2年生
 人数 19名
 講師 インターナショナルリゾートカレッジ 新里玲子先生
 内容 語学を活用する職業について

3.2.1 語学を活用する職業に関する、興味度と理解度

3.2.1.1 「この仕事に興味がありますか？/興味をもちましたか？」

「大変興味をもつ」生徒が4人から9人になった。興味関心度は、20ptから25ptに上昇した。

興味関心度は「大変興味がある/大変興味をもった」を2点、「やや興味がある/やや興味をもった」を1点とし回答数を乗じた。※講義後調査無回答2人



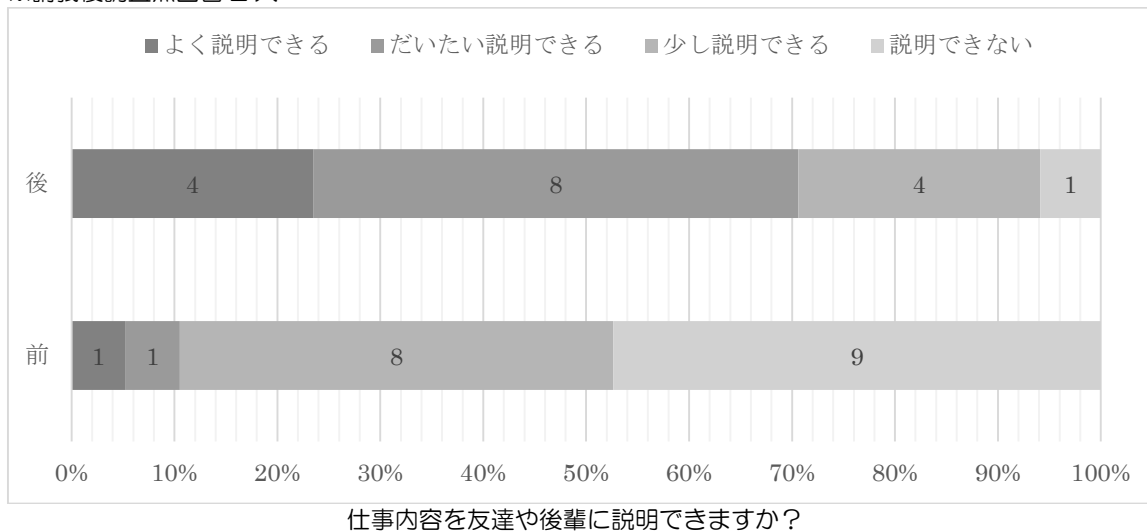
この仕事に興味がありますか？/興味をもちましたか？

3.2.1.2 「仕事内容を友達や後輩に説明できますか？」

説明できなかった生徒が10人いたが、1人になった。よく説明できる、だいたい説明できる生徒が2人から12人になった。理解（説明）度は、13ptから32ptに上昇した。

理解（説明）度は「よく説明できる」を3点、「だいたい説明できる」を2点、「少し説明できる」を1点とし回答数を乗じた。

※講義後調査無回答2人

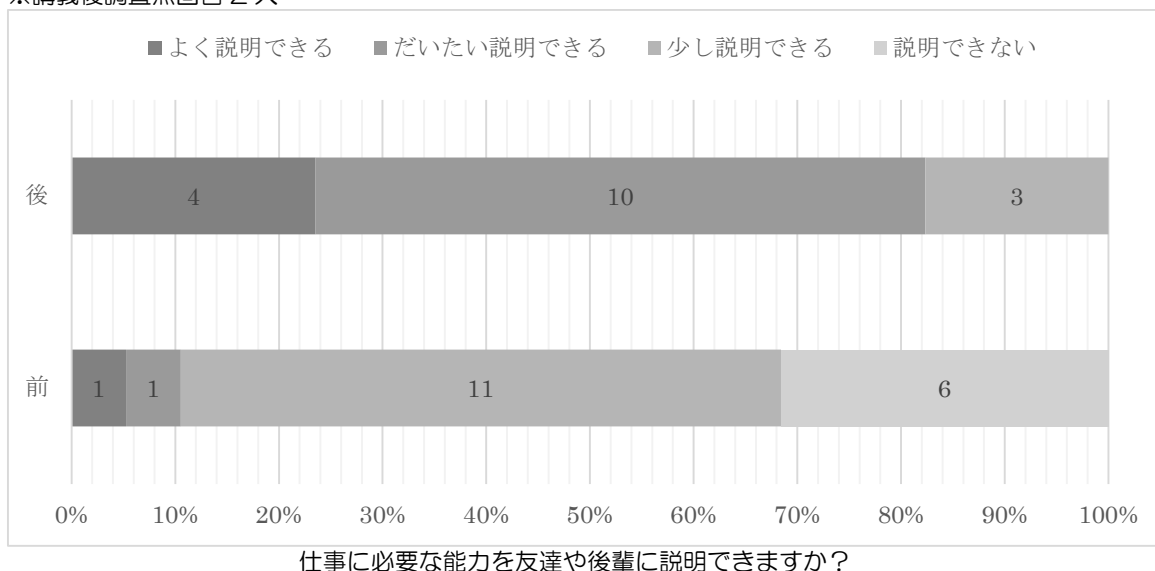


3.2.1.3 「仕事に必要な能力を友達や後輩に説明できますか？」

説明できなかった生徒が7人いたが、ゼロになった。よく説明できる、だいたい説明できる生徒が2人から14人になった。理解（説明）度は、16ptから35ptに上昇した。

理解（説明）度は「よく説明できる」を3点、「だいたい説明できる」を2点、「少し説明できる」を1点とし回答数を乗じた。

※講義後調査無回答2人

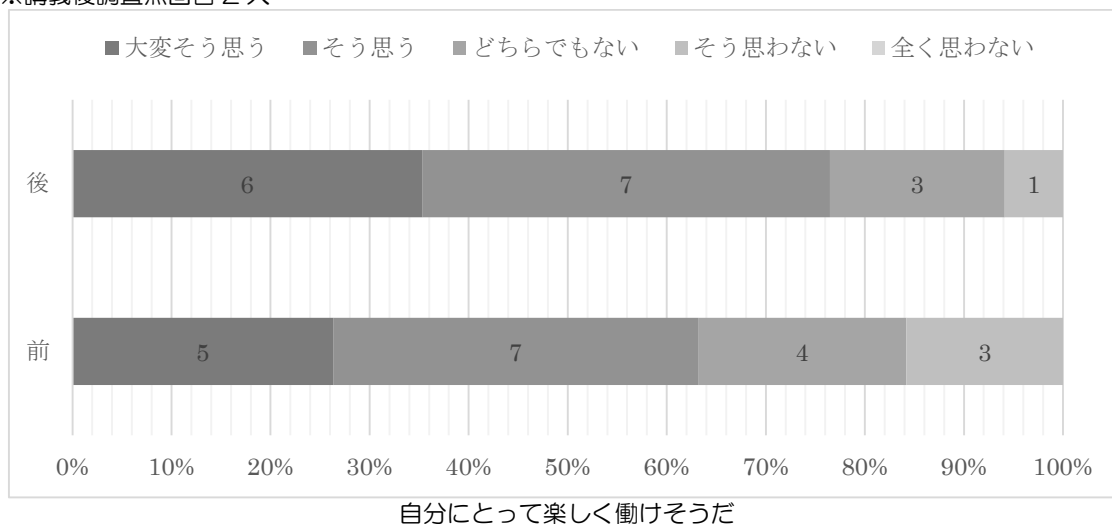


3.2.2 語学を活用する職業イメージの変容

3.2.2.1 「自分にとって楽しく働けそうだ」

職業イメージには大きな変化がなかった。職業イメージ度は、14ptから18ptになった。
職業イメージ度：「大変そう思う」を2点、「そう思う」を1点、「どちらでもない」を0点、「そう思わない」を-1点、全く思わないを-2点とし回答数を乗じた。

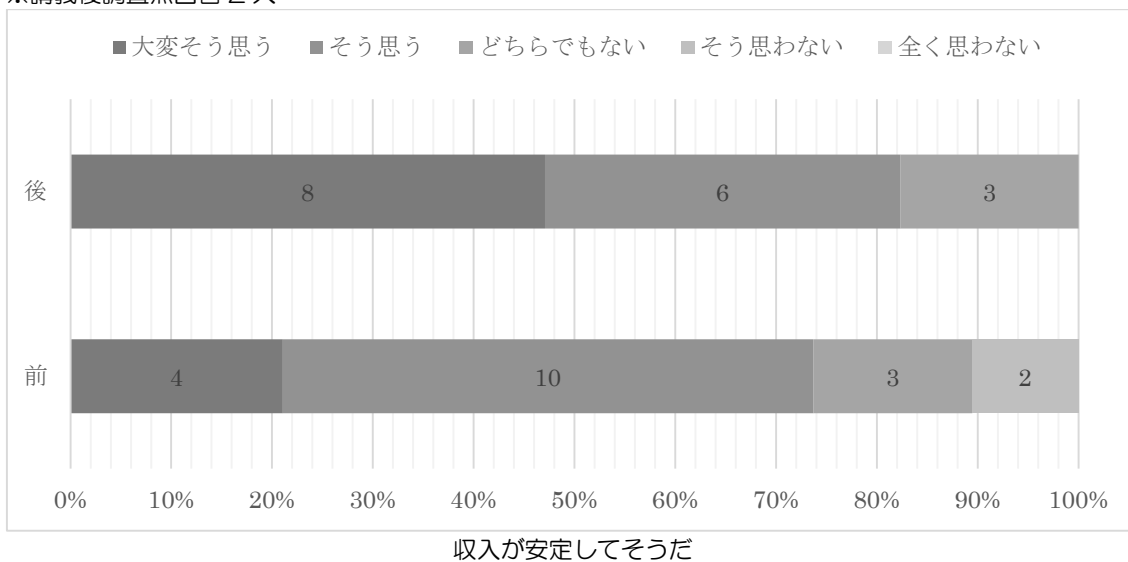
※講義後調査無回答2人



3.2.2.2 「収入が安定してそうだ」

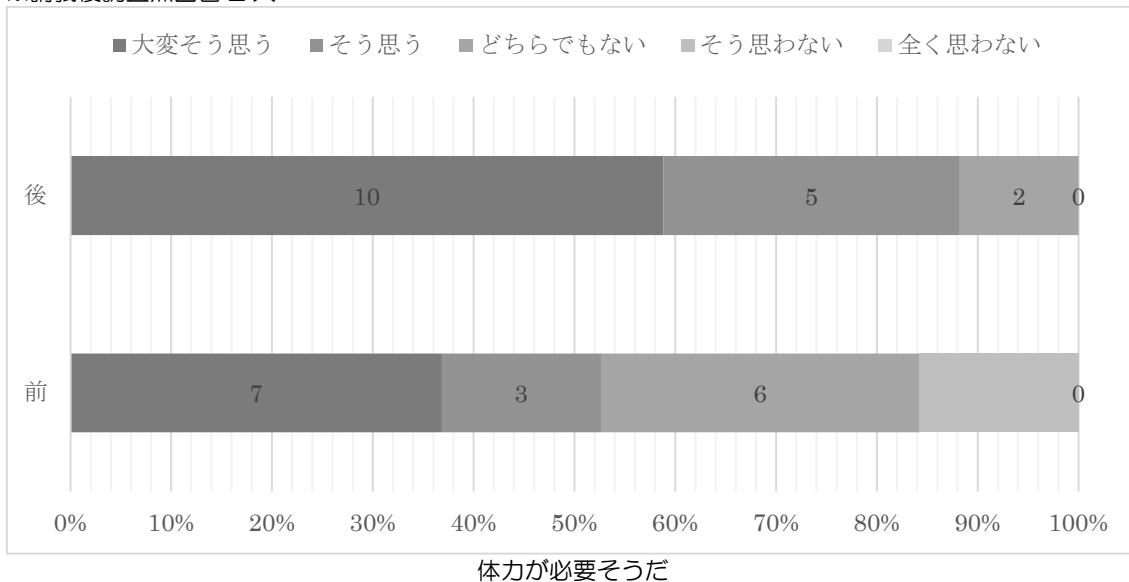
大変そう思う生徒が4人から8人に増えた。
職業イメージ度は、16ptから22ptに変化した。

※講義後調査無回答2人



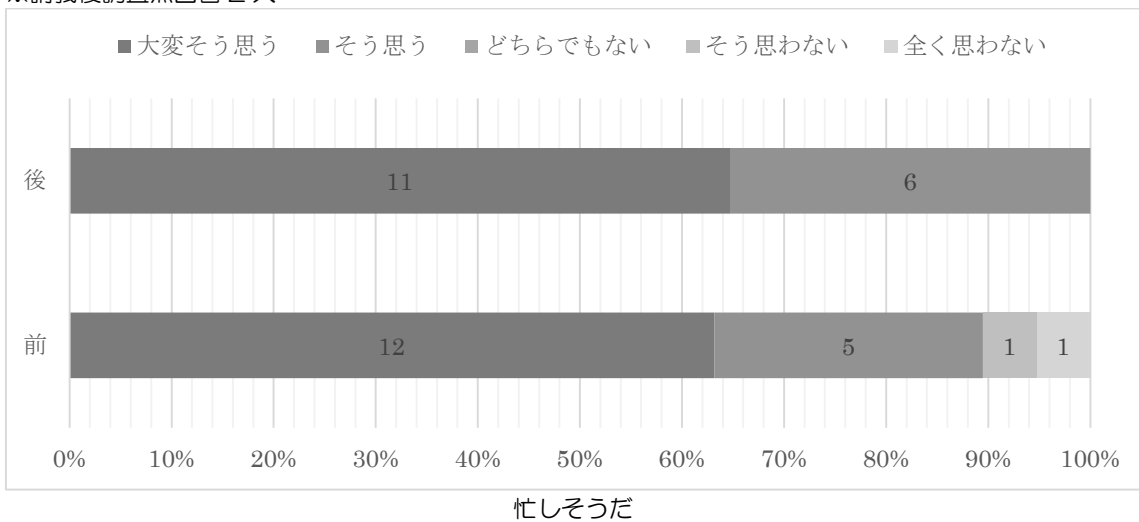
3.2.2.3 「体力が必要そうだ」

大変そう思う、そう思う生徒が10人から15人になった。
職業イメージ度は、14ptから25ptに増えた。
※講義後調査無回答2人



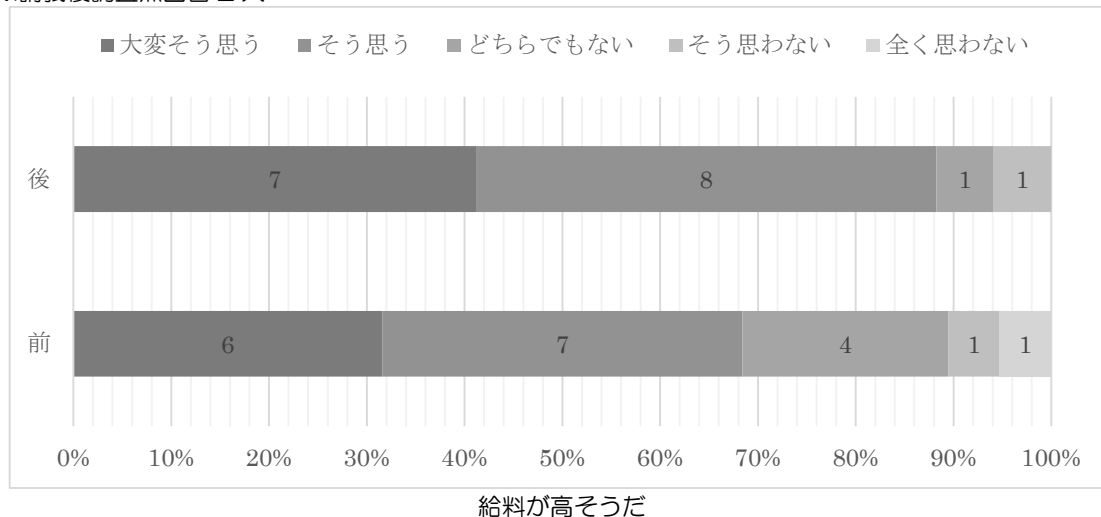
3.2.2.4 「忙しそうだ」

イメージに大きな変化がなかった。
職業イメージ度は、26ptから28ptになった。
※講義後調査無回答2人



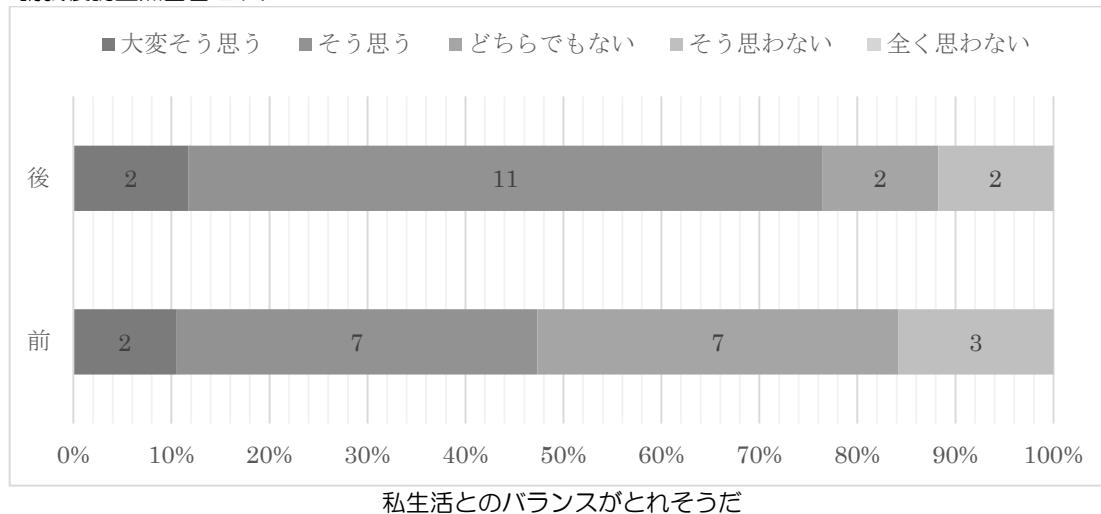
3.2.2.5 「給料が高そうだ」

イメージに大きな変化がなかった。
職業イメージ度は、16ptから21ptになった。
※講義後調査無回答2人



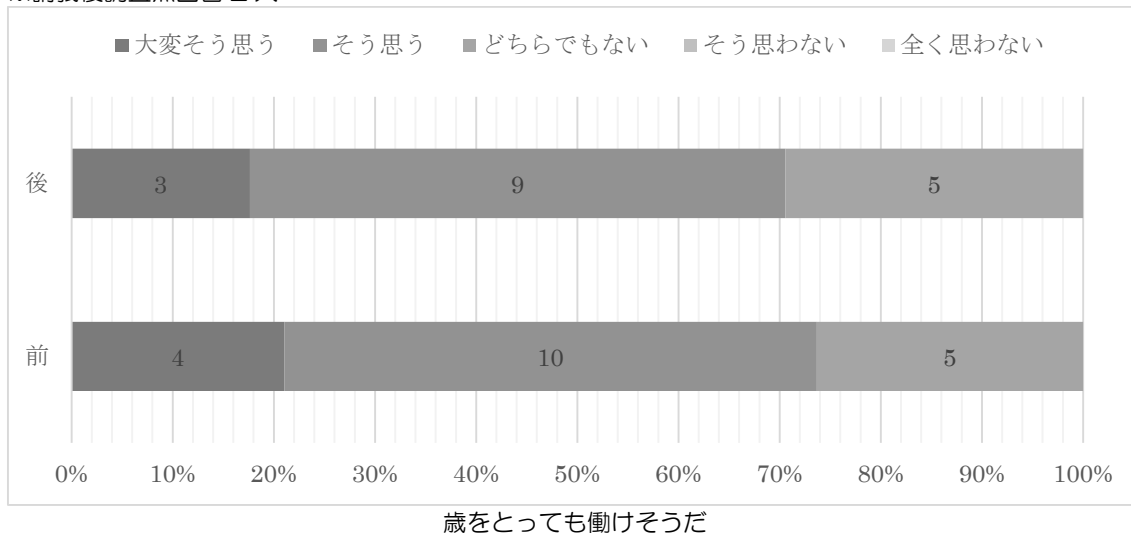
3.2.2.6 「私生活とのバランスがとれそうだ」

ポジティブなイメージを持つ生徒が9人から13人に増えた。
職業イメージ度は、8ptから13ptに変化した。
※講義後調査無回答2人



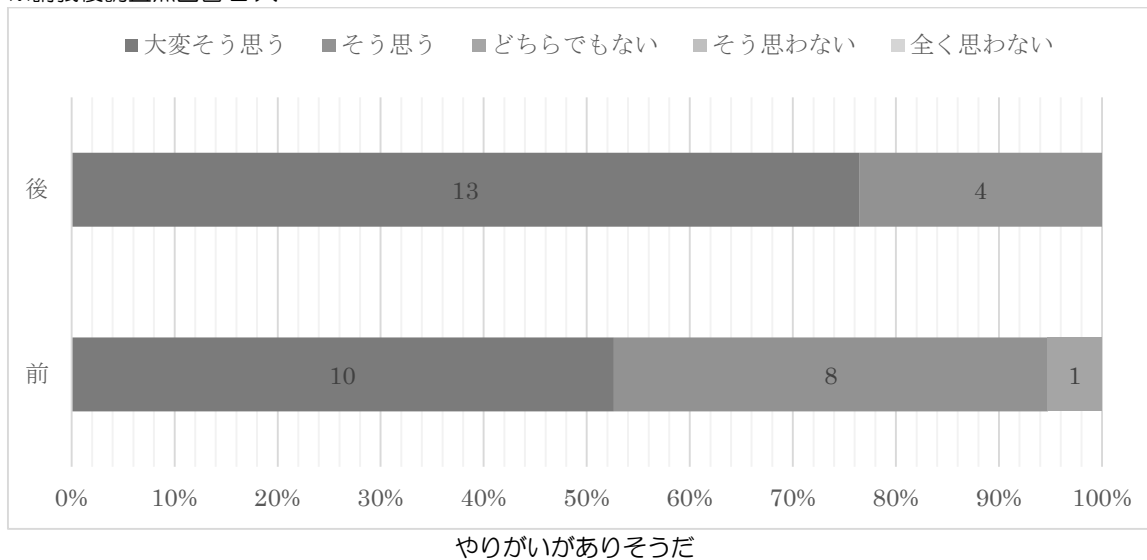
3.2.2.7 「歳をとっても働けそうだ」

職業イメージに大きな変化はなかった。
職業イメージ度は、18ptから13ptになった。
※講義後調査無回答2人



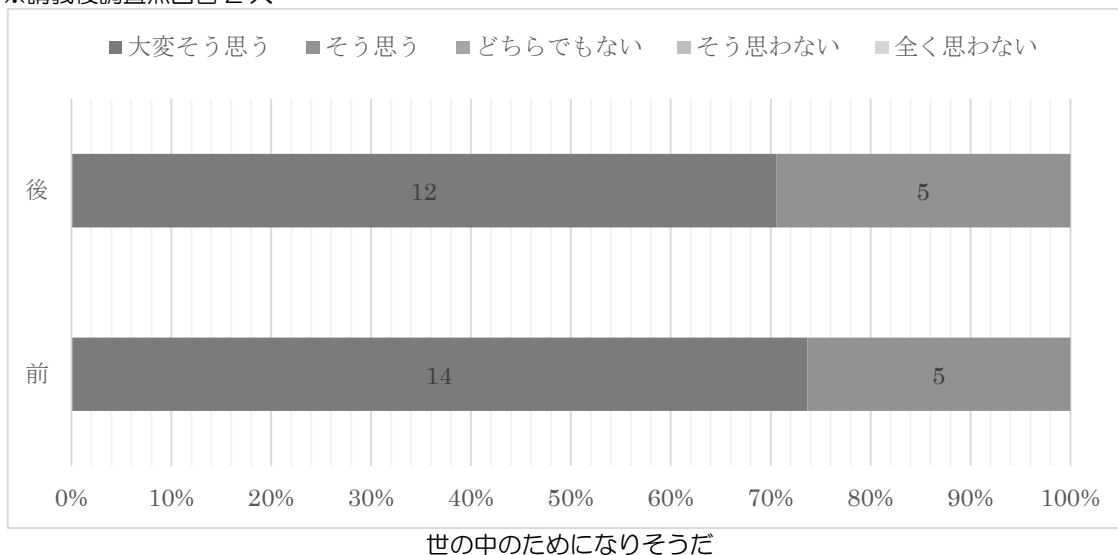
3.2.2.8 「やりがいがありそうだ」

大変そう思う生徒が10人から13人に増えた。
職業イメージ度は、28ptから30ptになった。
※講義後調査無回答2人



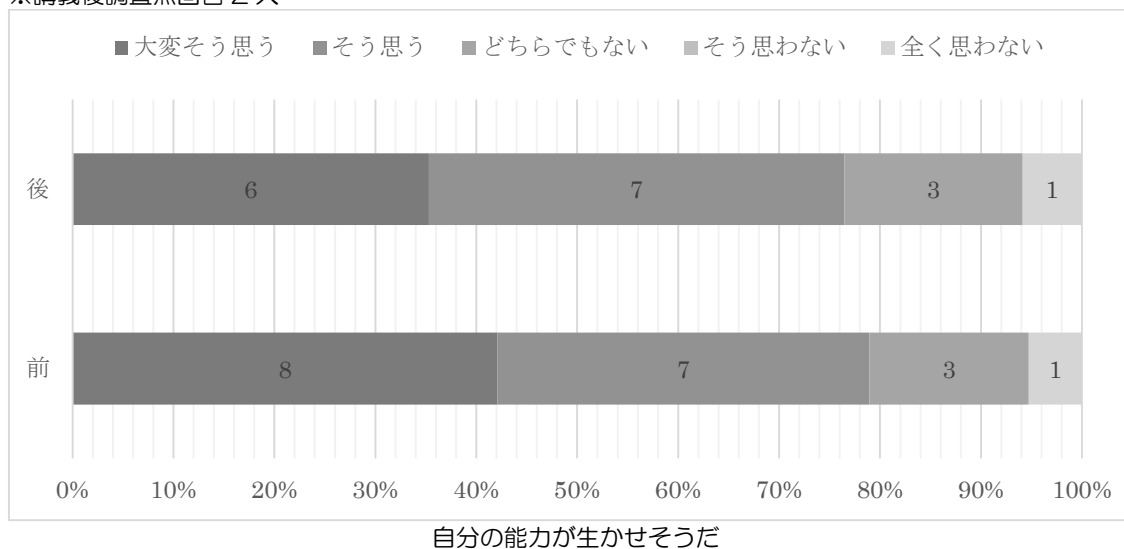
3.2.2.9 「世の中のためになりそうだ」

職業イメージに大きな変化はなかった。
職業イメージ度は、33ptから29ptになった。
※講義後調査無回答2人



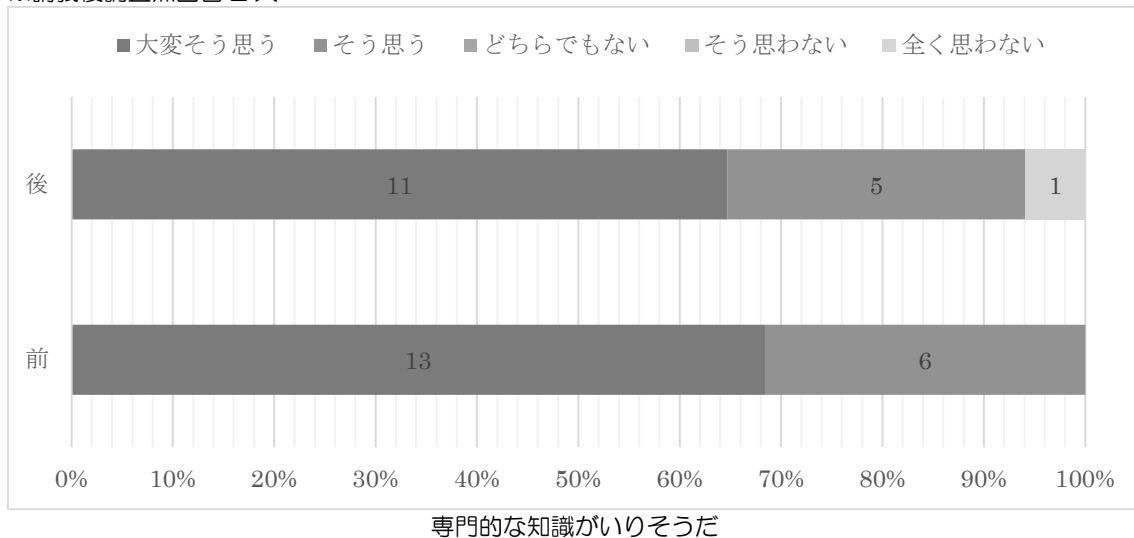
3.2.2.10 「自分の能力が生かせそうだ」

職業イメージに大きな変化はなかった。
職業イメージ度は、21ptから17ptになった。
※講義後調査無回答2人



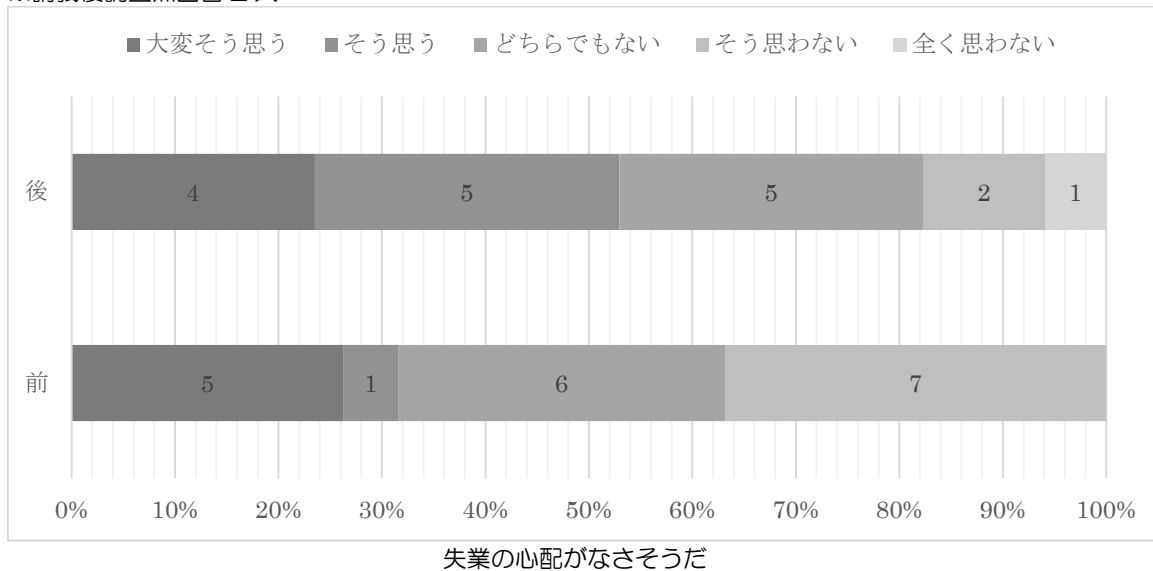
3.2.2.11 「専門的な知識がいりそうだ」

職業イメージに大きな変化はなかった。
職業イメージ度は、32ptから25ptになった。
※講義後調査無回答2人



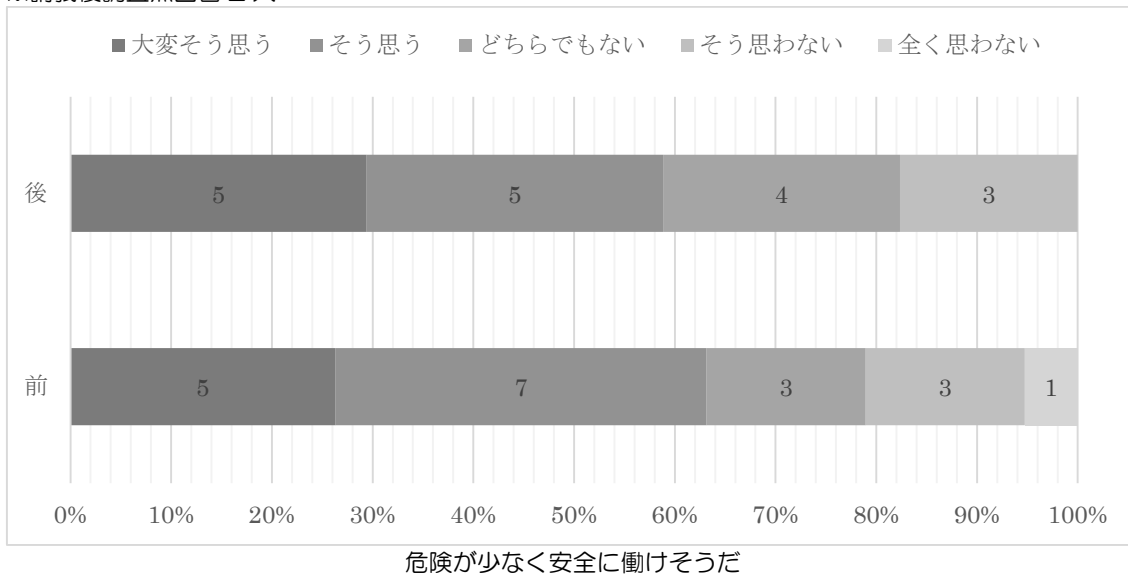
3.2.2.12 「失業の心配がなさそうだ」

ポジティブなイメージを持つ生徒が9人から9人に増えた。
職業イメージ度は、4ptから9ptに上昇した。
※講義後調査無回答2人



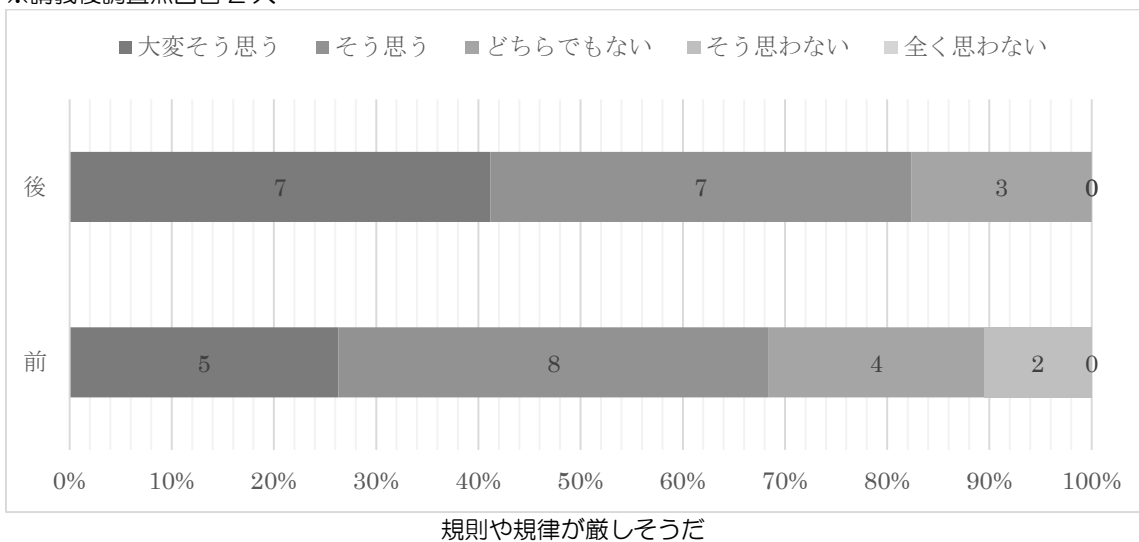
3.2.2.13 「危険が少なく安全に働けそうだ」

職業イメージに変化はなかった。
職業イメージ度は、12pt で変わらなかった。
※講義後調査無回答2人



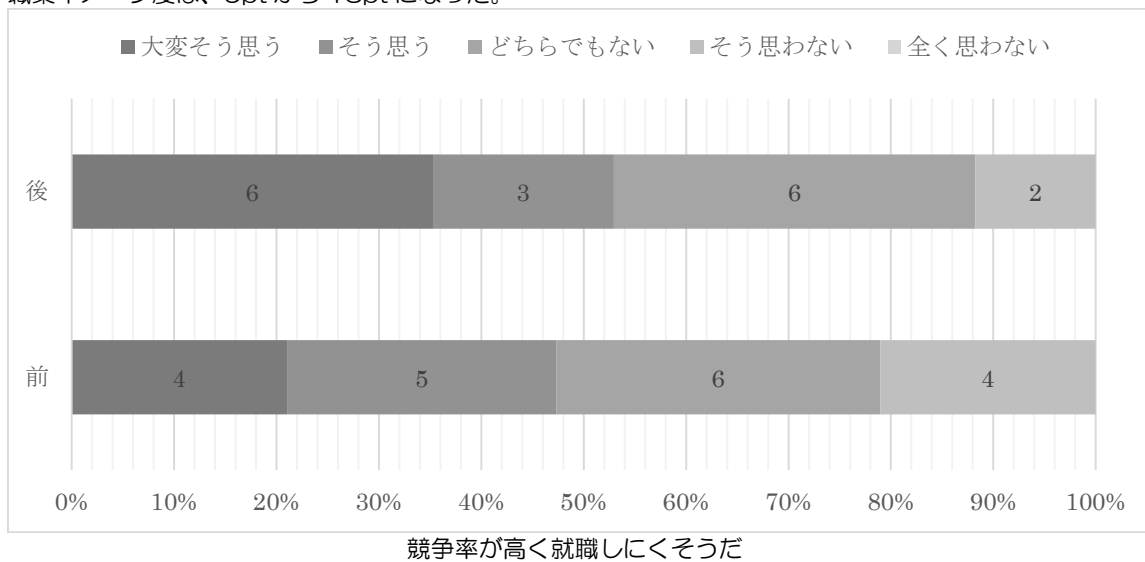
3.2.2.14 「規則や規律が厳しそうだ」

大変そう思う生徒が5人から7人になった。
職業イメージ度は、16pt から21pt になった。
※講義後調査無回答2人



3.2.2.15 「競争率が高く就職しにくそうだ」

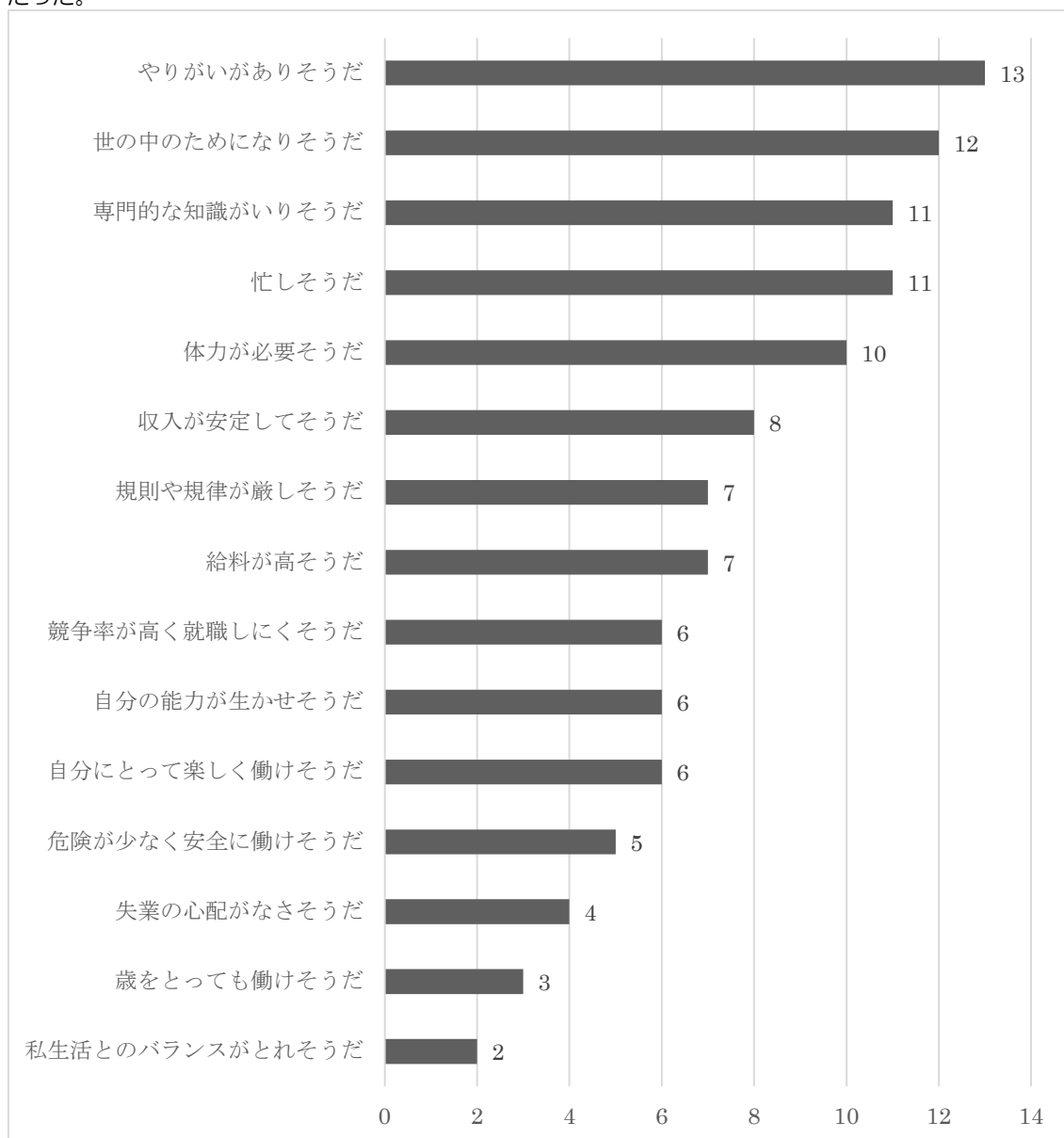
そう思うは4人だったが6人に増加した。
職業イメージ度は、9ptから13ptになった。



3.2.3 「大変そう思う」を選んだ職業イメージ項目

講義後、職業イメージとして70%以上（12人以上）が「大変そう思う」を選んだのは、「やりがいがありそうだ」「世の中のためになりそうだ」だった。

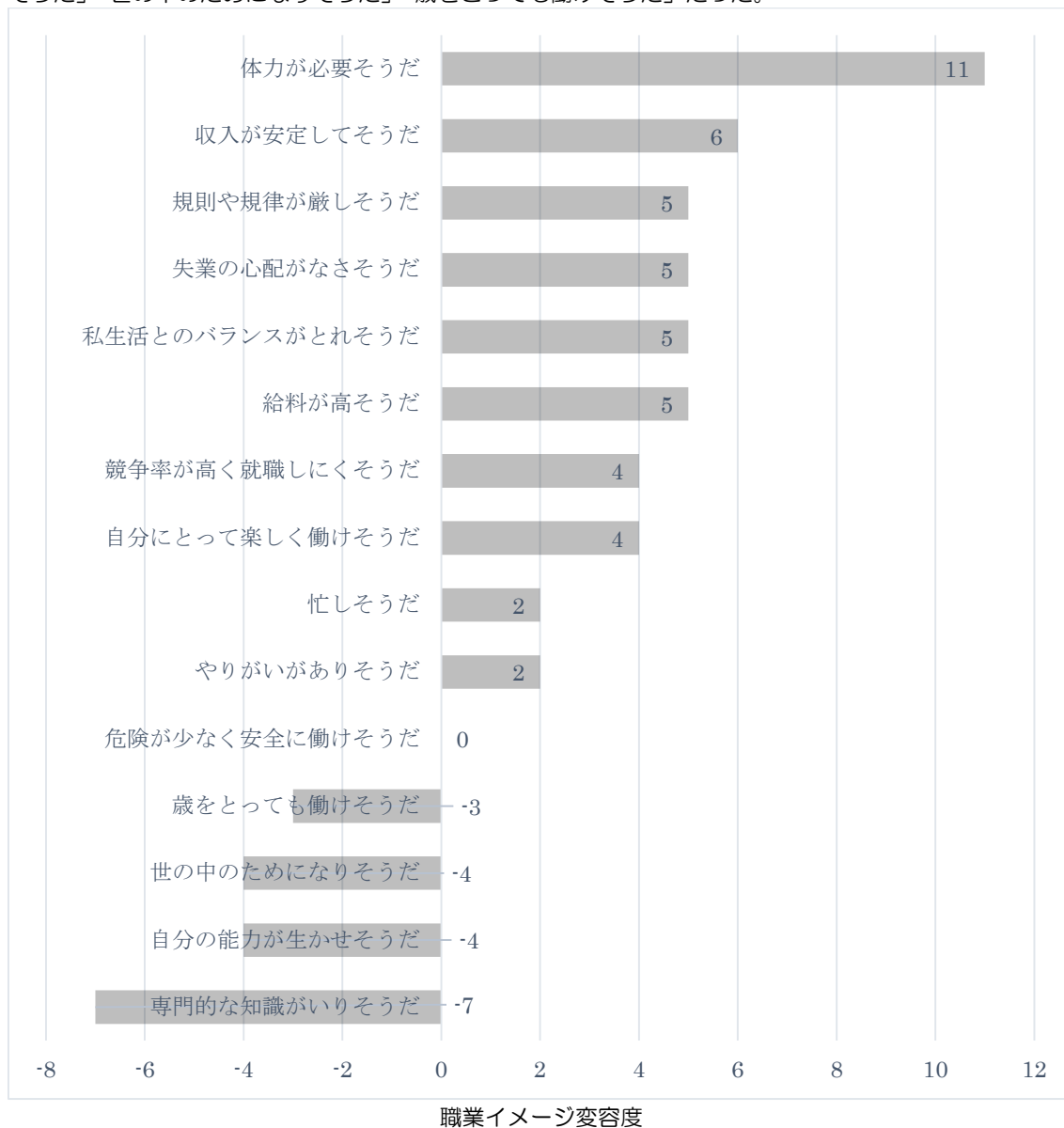
50%以上（9人以上）を選んだのは、「専門的な知識がいりそうだ」「忙しそうだ」「体力がいりそうだ」だった。



「大変そう思う」を選んだ職業イメージ項目

3.2.4 講義前後での職業イメージ変容度

職業イメージが大きく変容した項目グループは、「体力がいりそうだ」だった。
 職業イメージが中程度に変容した項目グループは、「収入が安定してそうだ」「規則や規律が厳しそうだ」「失業の心配がなさそうだ」「私生活とのバランスがとれそうだ」「給料が高そうだ」だった。
 職業イメージがマイナスに変化した項目グループは、「専門的な知識がいりそうだ」「自分の能力が生かせそうだ」「世の中のためになりそうだ」「歳をとっても働けそうだ」だった。



3.2.5 今日の講義・講話の中で『はじめて知ったこと、はじめて聞いたこと』

※誤った漢字や送り仮名、ひらがな表記などは訂正せず、可能な限り原文に近い形で表しています。
※ひとりひとりの記述は掲載の順番を変えて、「--」で区切っています。

色々な国の分化や、ルール。色んな勉強法がある。(アプリ・本など)。空航(※原文ママ)にもたくさん
の仕事が分けられている。

--

沖縄に来る観光客が思っていたよりもたくさんいて、驚いた。(※原文ママ)ずっと沖縄に住んでいる
から、わからなかったけれどハワイ並に人気の観光地なんだなと思いました。

--

沖縄の観光客がハワイのよりも多いことを初めて知りました。

--

沖縄がハワイよりも観光客が多いことやシンガポールは規則が厳しいと初めて知ることができて良か
ったです。

--

沖縄に旅行に来る人が思ってたより多くてびっくりした。

--

外国から沖縄でけっこうしきをする方が多いと聞いておどろきました。1万人以上もいる事も知りまし
たがもっとおどろきました。ハワイよりも沖縄が人気ということも沖縄県民うれしく思います！！

--

おきなわは、世界で人気なことを知った。

--

はじめて知ったことは、日本では良いことが他の国ではダメなこと。

--

沖縄県の観光者数がハワイよりも多いというのを今日初めて知ることができた。あと、沖縄で結婚式を
あげる人たちが思っていた以上にいっぱいいて、海外の人も来ているというのを知った。

--

他の国のカップルの方々が沖縄に来て結婚式をあげることがびっくりしたし、すごいなと思いました。
日本の文化だけでなく他の文化のことも知ることが出来たので良かったです。

--

沖縄の観光客は、ハワイの観光客をこえたことがあるのがはじめて知ったし、すごいと思った。

--

中東？で親指を立てるのがダメって初めて知った。留学生サポートする人がいるの初めて知った。

--

はじめて知ったことは、今までリゾート地として沖縄はハワイとならぶぐらい観光客が多いとは知って
いたけど、まさかのハワイよりも観光人数が多いとは知らなかったなので、すごくびっくりした。

--

今日の講話で、観光者数がハワイより沖縄の方が多いう事を今日初めて知ってビックリしました。
あと、東アフリカでつばかけてもOKなのがビックリしました。なんでだろ。

--

初めて知ったことは、以外(※原文ママ)と、沖縄観光客が多いと知って、びっくりしたけど嬉しか
ったです。アフリカでは、つばをはいても失礼にあたらないと知って、びっくりしました。

--

沖縄がハワイをこしていたことにおどろいた。

--

沖縄県を訪れる観光客の人数はハワイよりも多い。沖縄県にリゾートウエディングするカップルは一
万組以上居る。つばをかけても失礼(※原文ママ)にならない国がある。

--

沖縄はハワイよりも人気のかんこう地だった。(コロナ前)

3.2.6 今日の講義・講話の中で『特に印象に残ったこと』

※誤った漢字や送り仮名、ひらがな表記などは訂正せず、可能な限り原文に近い形で表しています。
※ひとりひとりの記述は掲載の順番を変えて、「--」で区切っています。

日本では失礼なことが、他の国では失礼にならないこと。カナダ留学がとても人気。語学だけではなく知識（※原文ママ）も必要

--

外国の常識クイズで、南アフリカの唾をかける行動が失礼にならないと知って印象に残った。国が違うだけでも、常識がこんなに違うんだと改めて知った。国によっては、ガムを持ち込んだだけで罰金のところもあるので次海外に行く機会があれば、行く国の常識を調べて行きたい。

--

つばをかけていいところがあったり、座るときはあぐらをかいて座るのが礼儀（※原文ママ）だったり、びっくりすることが多かったです。

--

アフリカは唾をかけても失礼なことではないということに驚きました。沖縄で結婚式を挙げる人が多くて、2022年には過去最多で1万人を超えていてすごいなと思いました。

--

沖縄で結婚式をあげる人が多いこと。

--

他国によって全然文化がちがうということです。沖縄ではいけない事があたりまえのようにゆるされていた。その逆で沖縄で平然としていることがダメだったりすごいなと思いました。

--

おきなわでけっこうしきをする人が多いこと

--

韓国ではおわんをもって食事をしない

--

今日の講話で印象に残ったのは、観光系の仕事にもいっぱい種類があって、その中でもこうゆう人は、この仕事が合うとかあってすごいなと思った。

--

沖縄で結婚式をあげる人々の中に外国人も多く来てることを知れて、すごいなと思いました。韓国は皿を持たずにご飲（※原文ママ）を食べることなど、他の知らなかった国の文化も知ることができた。

--

東アフリカは、つばをかけてもいいということが、とても印象に残りました。

--

けっこう式する人多くてびびった。（※原文ママ）

--

語学を生かす仕事にも沢山の種類があって、その中からまた自分に合った仕事を見つけだすことの大切さを知った。

--

特に印象に残った事は、動画で留学しているのを観たんですけど、自分が思っている以上にもしかしたら楽しく過ごせるのかもしれない。と思いました。留学は大変そうというイメージが強くて、してみたいけど怖いという気持ちがあったんですけど、今回で、今までよりもっと興味がわきました。

--

韓国語だけじゃなくて、英語とかも話せるぐらい勉強した方がいいと分かった。

--

空港がどんどん大きくなっていくことに印象がついた。ircの海外けん修たのしそうだった。

--

国によって文化は全然異なるので理解する事が大切

国によって文化が違うこと、沖縄で結婚式を挙げる人が多いことを、挙げている。



3.2.7 話を聞いてみたい仕事や職業

※誤った漢字や送り仮名、ひらがな表記などは訂正せず、可能な限り原文に近い形で表しています。
※ひとりひとりの記述は掲載の順番を変えて、「--」で区切っています。

グランドスタッフ、キャビンアテンダント

--

ウエディングフォト、ホテル

--

ウエディングプランナーの仕事内容を細かく知りたいです。

--

保育士、美容師、事務に関すること

--

美容系

--

留学について

--

経営について

--

ガイドさん

--

美容関係や、保育関係とかの話も聞きたい。

--

保育士

--

薬剤師、べんごし、さいばんかん、推しのマネージャー

--

ウエディングプランナーに、少し興味をもっているんですが語学も能力として身に付けたくて、日本の方と外国人の方を接客する上で、違うところはあるのか知りたい。

--

保育士の仕事について話聞いてみたいと思いました。

--

CAさん

話を聞いてみたい仕事や職業（希望職種とは無関係）

保育士	4	事務	1
美容系	3	ガイド	1
CA	2	薬剤師	1
ブライダル	2	弁護士	2
グランドスタッフ	1	裁判官	2
フォトグラファー	1	芸能マネージャー	1
ホテル	1	栄養士	1

3.2.8 今日の講義・講話を聞いて、『感じたこと、思ったこと』

※誤った漢字や送り仮名、ひらがな表記などは訂正せず、可能な限り原文に近い形で表しています。
※ひとりひとりの記述は掲載の順番を変えて、「--」で区切っています。

色々な形を通して、語学を学べることも知り、自分に合った勉強をしたらより早く身につくとわかりました。検定もとっといたほうが得する、あってそんをしないときき、できるだけ多く取っておいておこうと思いました。海国（※原文ママ）から沖縄へ 999 万人くらいの観光客がいることがわかり、海国の人に沖縄の魅力をたくさん伝えることができるように沖縄のことをたくさん理解していきそれを共有していきたいなと思いました。

--

語学はもともと苦手だったけれど、この講話で少し興味を持ちました。英語はあまり得意ではないけれど、少しでも会話ができるレベルまで上げられるように頑張りたいなと思いました。留学生の動画もとても楽しそうで、気が向いたら留学してみたいなと思いました。次回はウエディングの話もするみたいなので楽しみです。

--

私は韓国語は少ししか話せないけど、少しでもその仕事につける可能性が見えてうれしかったです。私はウエディングプランナーのメイクアップ?部門に興味があるので、次回ウエディングプランナーの話を楽しめるのを楽しみにしています。！（※原文ママ）

--

今日の講話でいくつかのクイズをやって、外国の文化を知ることができて良かったです。シンガポールはガムの持ち込み禁止でたばこも申告しないといけないのは初めて知ることができ、ハワイの方が観光客多いと思っていたけど沖縄の方が多くて驚きました。語学を使用する職業にも沢山種類があり、どの職業も大変そうだなと思いました。

--

沖縄に旅行に来る人が多いとは思っていたけど、ハワイとかよりも多かったことにびっくりしました。自分が知らない仕事はまだたくさんあるので、もっといろんな仕事を知って、自分に合う仕事を見つきたい。

--

外国について色々学べてよかったです。留学には元々興味があったので、実さいの様子を動画でみれてよかったです。私が思っている何倍もたのしそうでもっと興味がでてきました。その他の国のホームステイや留学についても色々知りたくなりました。ありがとうございました。

--

東アフリカはつばをかけても失礼にならないのがおどろきました。

--

今日は、初めてのことをいっぱい知れて良かったです。意外な文化も知れてよかったです。

--

今日の講義で、私は沖縄の観光者数を初めて知ることができたし、海外でガムを食べたらだめな国や、親指を立てるのはあまりよくないところ（※原文ママ）など、色々なことを知ることができました。

--

今日の講義を聞いて、自分が知っていること、知らなかったことを聞くことができたのでよかったです。シンガポールにはガムを持ちこんだら罰金などとその行く国のことを知らない自分がそんしちゃうので、行くときにはちゃんと調べておきたいと思いました。

--

自分も留学に行きたいと思いました。

--

外国語しゃべれると色々な仕事できるのすごいなっておもった。英語理解してしゃべれるようになりたいとおもった。スイスとかフィンランド行きたい留学したい

--

私は、語学に興味があって、英語を勉強したいと思っているんですが、どういった勉強をしたらいいのか気になっています。後は、語学を生かす仕事を種類別でくわしく話を聞いてみたいと思った。コミュニケーションを上手くとれるようになりたいと思った。

--

今日の講話を聞いて自分は、今まで怖いという感情が強かった留学も楽しそう！友達と一緒にならもしかしたら自分も楽しく学べるのかもしれない。と感じました。今回の講話を聞いて1歩前進出来る気がするので、自分の将来のためにも今自分が出来る事を頑張ってみようと思いました。

3.3 観光人材育成の為の産学連携の在り方 意見交換

高校現場では、インターンシップの代わりに探究学習という授業でも構わないということになり、普通科を中心に探究学習という方法が増えている。専門高校ではインターンシップを行うこととなっているが、具志川商業高校の「具商デパート」などインターンシップと同等の取組みがあればよいということになっている。

沖縄県の就職を担当しているがコロナ禍の影響でインターンシップが2~3年行えない状況が続いたことで積極的に就職活動に取り組める生徒と、将来やりたいことがわからない、卒業後に何をしたいかわからないといった生徒の二極化が進んでいると感じる。

高校生のインターンシップ受け入れは数年前まではあったが現在は無い。もしそのような機会があれば、現状を踏まえ我々のできる事があれば連携してやってみたいと思った。

インターンシップを事業計画に組み込んではいないが、社員に目的意識をもって行ってもらうことで全然違うと思う。また受け入れ側のメリットとして、今行っている職種のたな卸しや高校生に伝えることで職業の理解が深まると思っている。

現場もしっかり理解してくれている。就労体験も大事だが、子どもたちには「働いている人を見てね」と言っている。うちで働いている人がどのような気持ち、顔つき、身ぶりをして働いているかを見ることが一番の勉強になるのでぜひやってほしいということ伝えると効果がある。また職員にもいい意味でプレッシャーになる。

今月、学校からダイレクトに依頼があり初めて自身の部署で中学生の職場体験を受け入れた。興味を持って来た生徒だったので積極的に質問してくれた。まだ中学生なので遠足気分な点もあったがすごく喜んでもらえ、将来目指したいという感想もあったので非常に手ごたえを感じた。高卒で入ってきた子たちが働き方も活発だと感じている。個人としては高校生向けに積極的に見学などを通じて現場を知ってもらい、入社してもらえればと思う。

希望ではあるが、名護で務めていた時、地元のツーリストやネオパーク、ホテルなどを4週間交代にインターンシップさせてもらった。各地域でこのような取り組みができると地元の企業を知ることにもつながり、良いのではないかと思う。

インターンシップに行った学生たちは、現場はいいところばかりではないことを当然分かっている。すべてを見たらうで大変だけどやりがいを感じられた。働いていた人たちはすごいチームワークを持ってお客様のためにやっていたというフィードバックが多い。一方、現実的にしょうがない部分もあるが愚痴ばかりで終わってしまっているところもある。企業からは評価シートをもらっているので、事後面談をすることで弱点やもっと伸ばしていく必要がある点、良かった点をフィードバックすることは大きい。9月以降の学校生活や学習に繋げることが1つの流れになっている。

今後はコロナ禍が明けて様々なインバウンドの交流や観光業界に対するさまざまな行事や活動が盛んになってくるので、そこで高校現場が何をできるのか、タイアップしながらどのように生徒を育てていくのかなどお互い相談しながらやっていきたい。

4 第三回連携プログラム開発検討委員会

令和5年度事業報告と令和6年度事業計画、事業後半に向けた観光人材育成に関する意見交換を行った。

4.1 事業後半に向けた観光人材育成に関する意見交換

プログラムを受ける前と受けた後が指標的で提示されて、その効果が図れるところは今後も興味深い。我々もどのようなお手伝いができるか大変興味を持っている。

アウトプット用の動画は非常に良いと思う。当社でも大学生がアルバイトに来た際、これから行う業務内容を一つひとつ、1～2分程度の動画で見せると書面に比べ理解度が非常に高いことがわかった。動画の活用はとても良いと思った。

ここ数年で感じることは、高校生たちは働くことに興味を持ってきていて、働く際の気持ちややりがいといった点にとっても興味を持っている。コロナ禍が落ち着いたことで前向きに考えてくれる高校生がとて多いと感じる。

近年、沖縄でも中高の連携が見られるようになってきている。既に中学生が進学先として興味のある高校に話を聞きに行く取り組みがあるので、ここをうまく活用できないか考えている。我々専門学校の持っている、観光業界の魅力を伝える取り組みやノウハウを高校側に提供することができるので、これらの点を中心に高校と連携しながら進めていきたい。

観光人材を広げるという点に関して、我々は一企業ではあるがノウハウを横展開していき業界で取り組んでいかないといけない。インターンシップなど学生の受け入れは非常に大切に重要だとアンケート結果から感じた。

5 第三回連携プログラム開発検討委員会以降に実施した実証授業・職業意識調査報告

5.1 具志川商業高等学校 職業イメージ変容調査・プログラム評価

実施概要

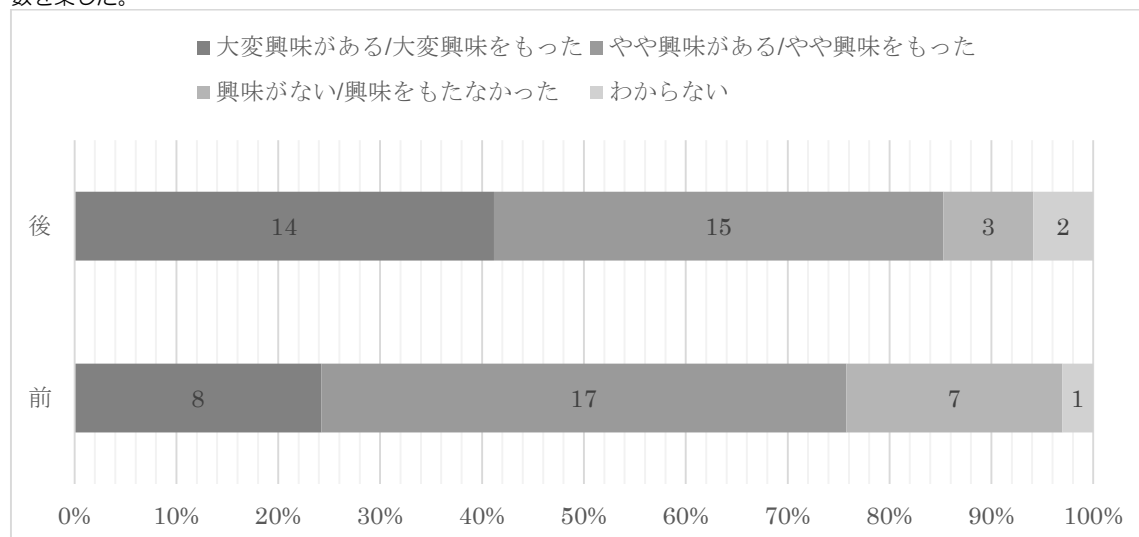
日時 令和6年1月18日
対象 沖縄県立具志川商業高等学校リゾート観光科 2年生
人数 35名
講師 インターナショナルリゾートカレッジ
内容 語学を活用する仕事について

5.1.1 語学を活用する仕事に関する、興味度と理解度

5.1.1.1 「この仕事に興味がありますか？/興味をもちましたか？」

「大変興味をもつ」生徒が8人から14人（1.8倍）になった。興味関心度は、33ptから43ptに上昇した。

興味関心度は「大変興味がある/大変興味をもった」を2点、「やや興味がある/やや興味をもった」を1点とし回答数を乗じた。

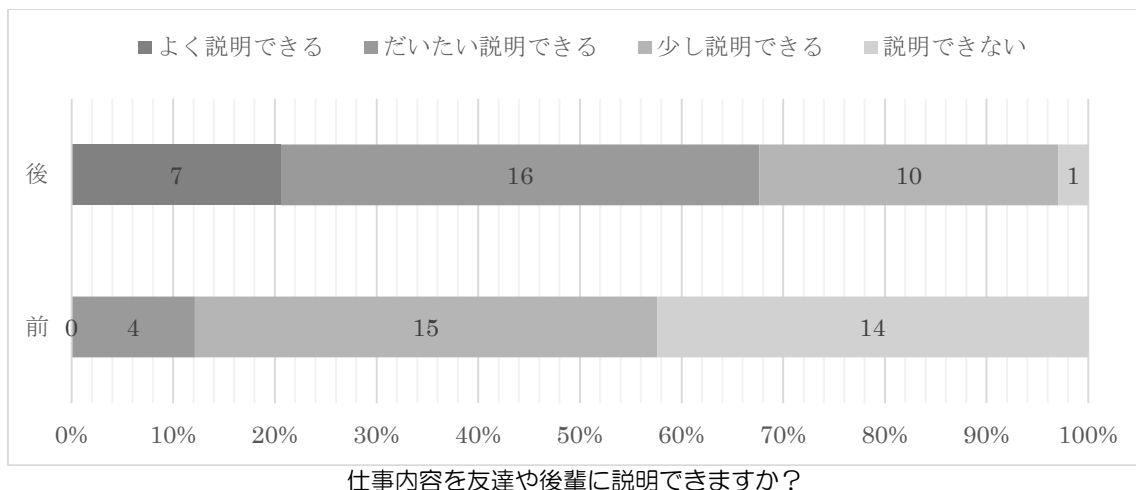


この仕事に興味がありますか？/興味をもちましたか？

5.1.1.2 「仕事内容を友達や後輩に説明できますか？」

説明できなかった生徒が14人いたが、1人になった。よく説明できる、だいたい説明できる生徒が4人から23人になった。理解（説明）度は、23ptから63ptに上昇した。

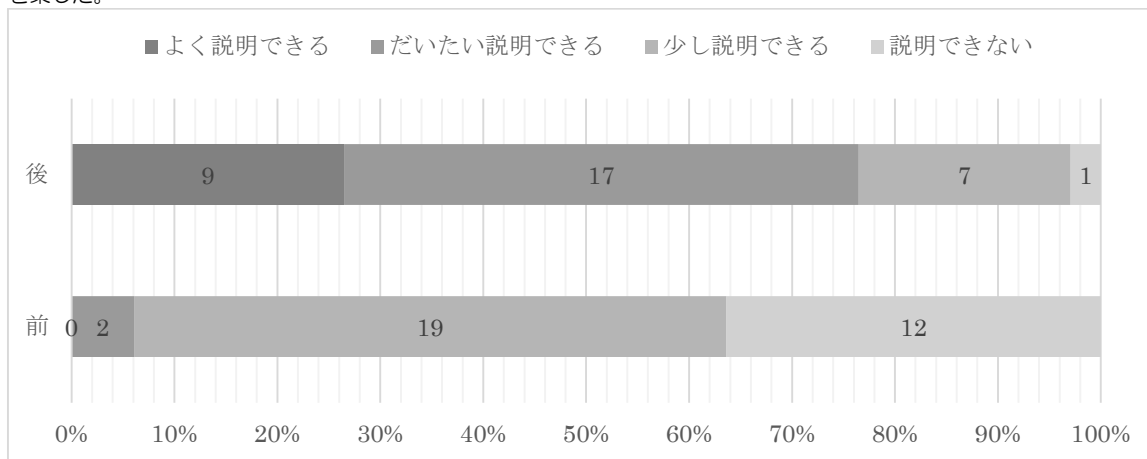
理解（説明）度は「よく説明できる」を3点、「だいたい説明できる」を2点、「少し説明できる」を1点とし回答数を乗じた。



5.1.1.3 「仕事に必要な能力を友達や後輩に説明できますか？」

説明できなかった生徒が12人いたが、1人になった。よく説明できる、だいたい説明できる生徒が2人から26人になった。理解（説明）度は、23ptから68ptに上昇した。

理解（説明）度は「よく説明できる」を3点、「だいたい説明できる」を2点、「少し説明できる」を1点とし回答数を乗じた。

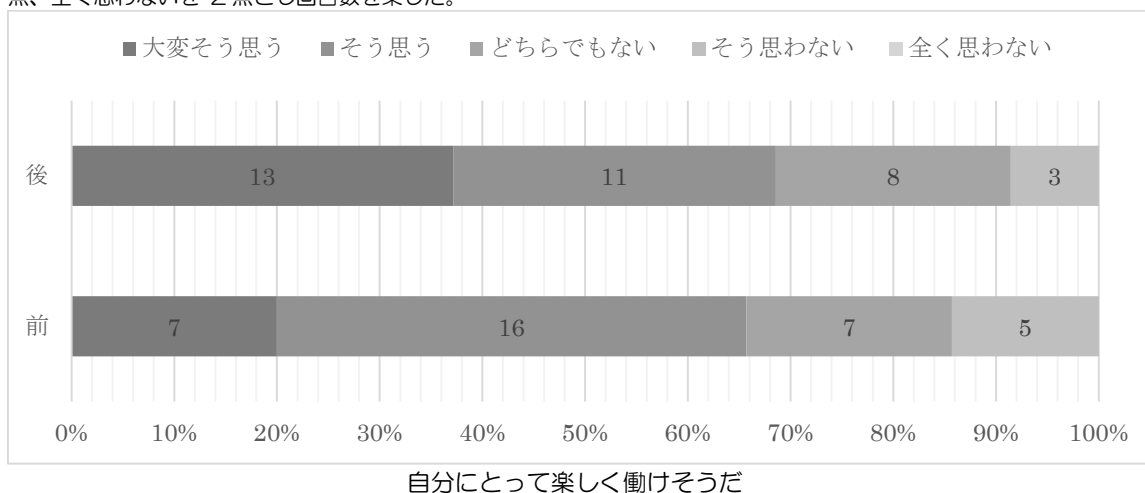


5.1.2 語学を活用する仕事のイメージの変容

5.1.2.1 「自分にとって楽しく働けそうだ」

ポジティブな意見を持つ生徒が23人から24人に増えた。職業イメージ度は、25ptから34ptに変化した。

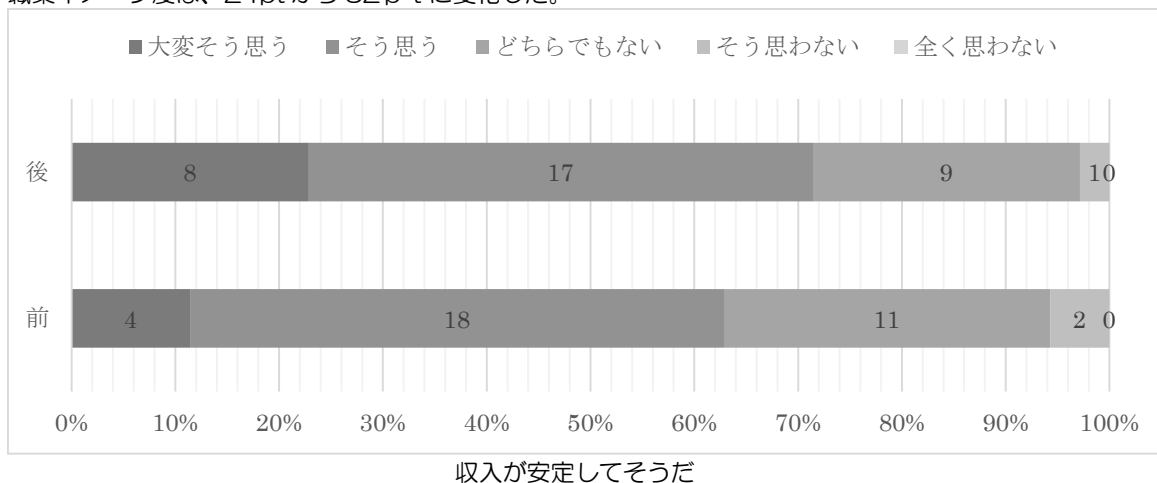
職業イメージ度：「大変そう思う」を2点、「そう思う」を1点、「どちらでもない」を0点、「そう思わない」を-1点、全く思わないを-2点とし回答数を乗じた。



5.1.2.2 「収入が安定してそうだ」

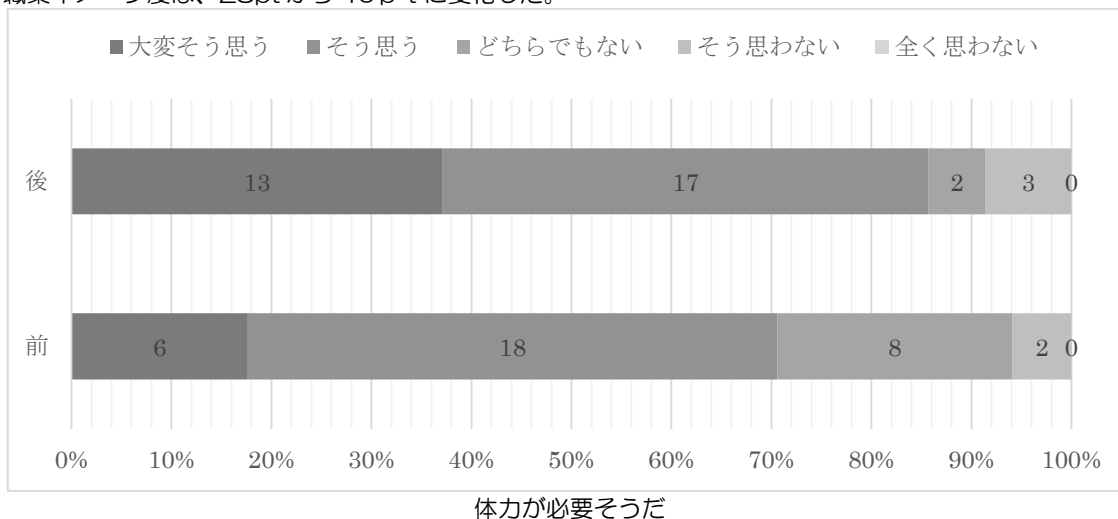
ポジティブな意見を持つ生徒が22人から25人に増えた。

職業イメージ度は、24ptから32ptに変化した。



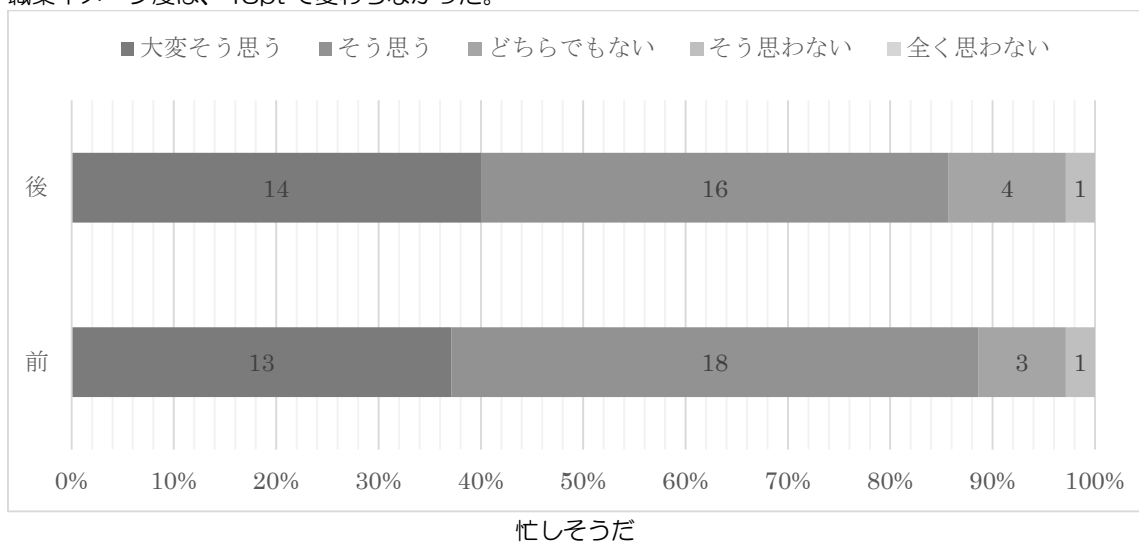
5.1.2.3 「体力が必要そうだ」

大変そう思う生徒が6人から13人になった。
職業イメージ度は、28ptから40ptに変化した。



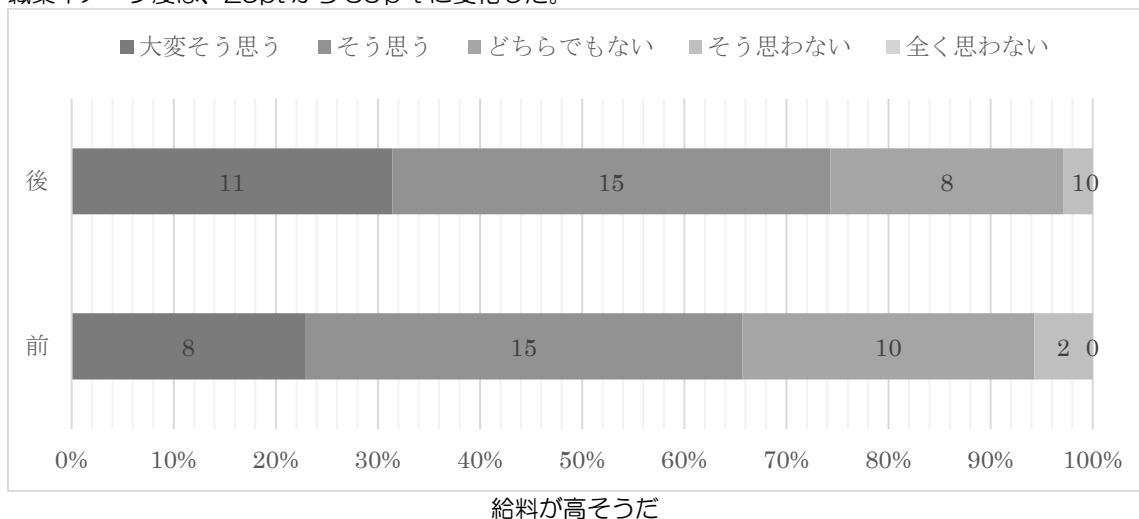
5.1.2.4 「忙しそうだ」

イメージに大きな変化はなかった。
職業イメージ度は、43ptで変わらなかった。



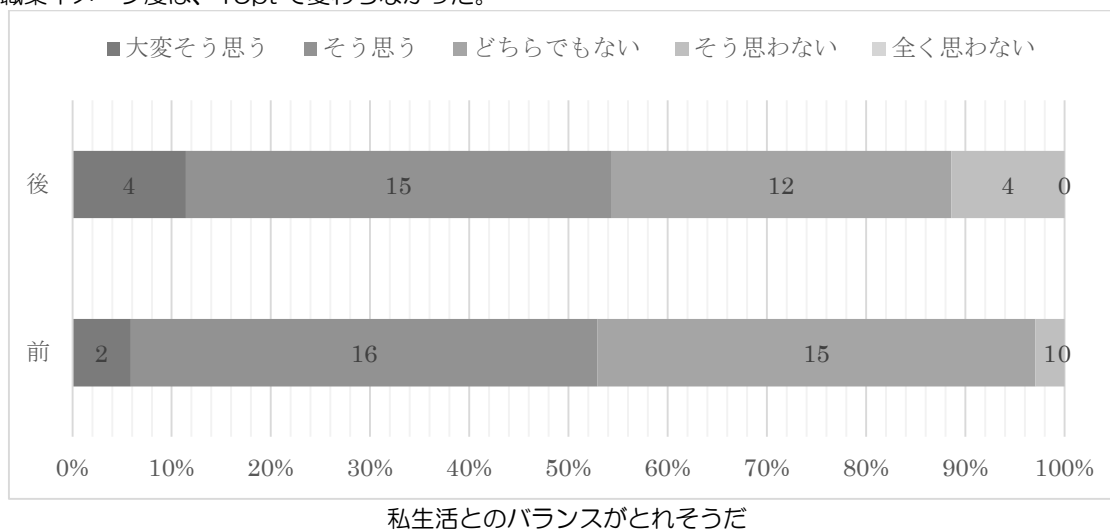
5.1.2.5 「給料が高そうだ」

ポジティブなイメージを持つ生徒が23人から28人へ増えた。
職業イメージ度は、29ptから36ptに変化した。



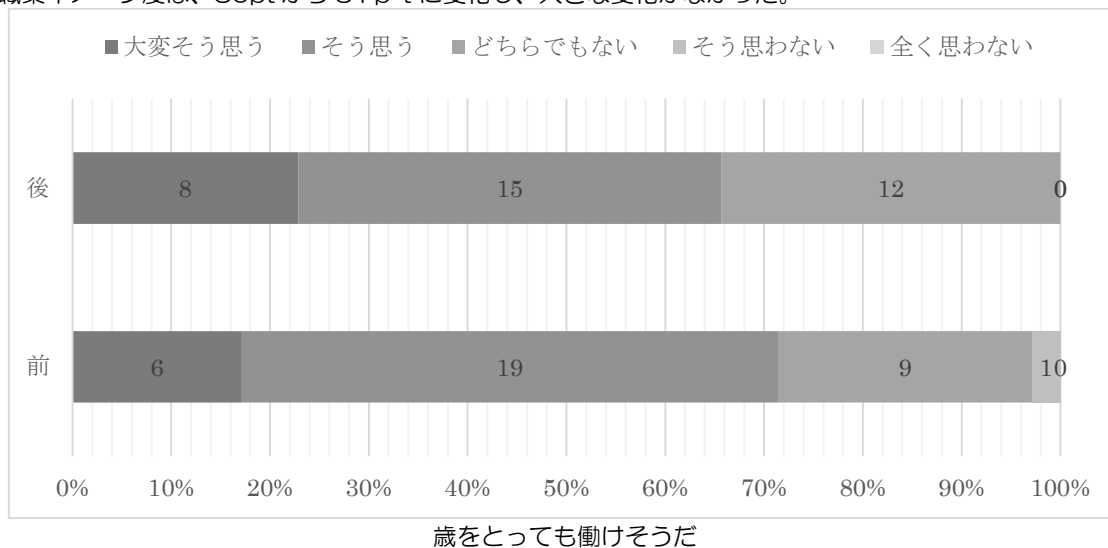
5.1.2.6 「私生活とのバランスがとれそうだ」

イメージに大きな変化はなかった。
職業イメージ度は、19ptで変わらなかった。



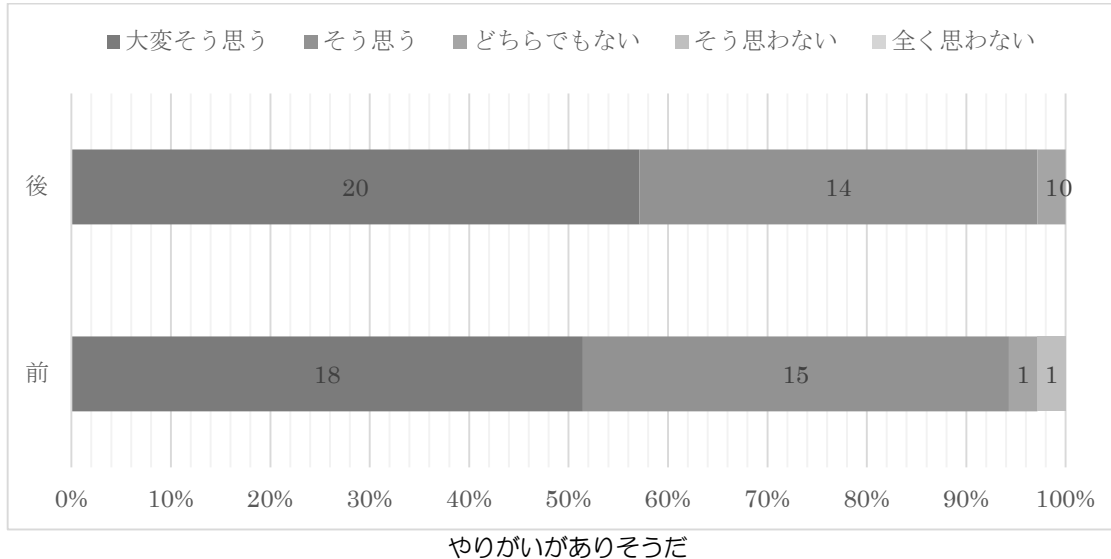
5.1.2.7 「歳をとっても働けそうだ」

ネガティブなイメージを持つ生徒が10人から12人に増加した。
職業イメージ度は、30ptから31ptに変化し、大きな変化がなかった。



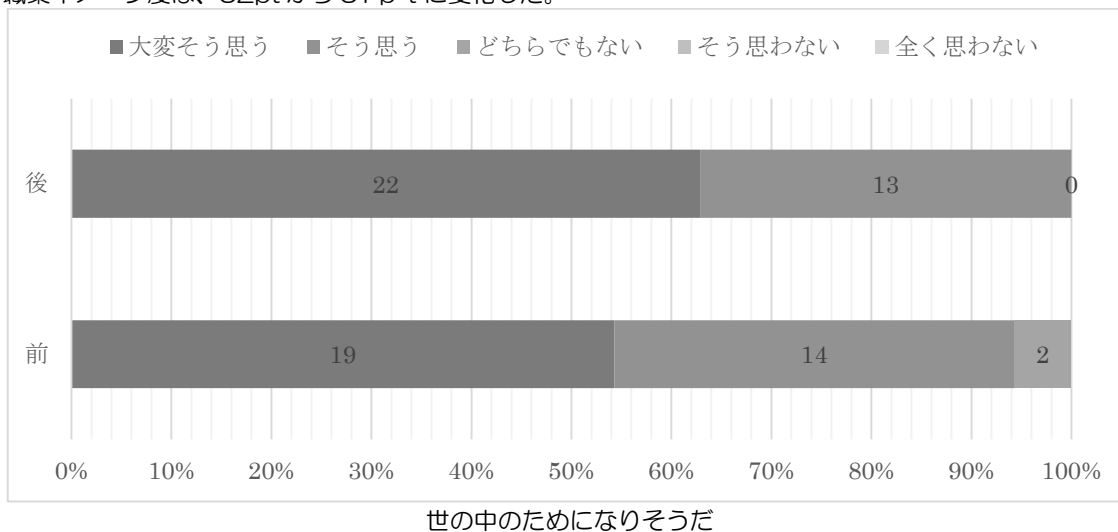
5.1.2.8 「やりがいがありそうだ」

大変そう思う生徒が18人から20人に増えた。
職業イメージ度は、50ptから54ptに変化した。



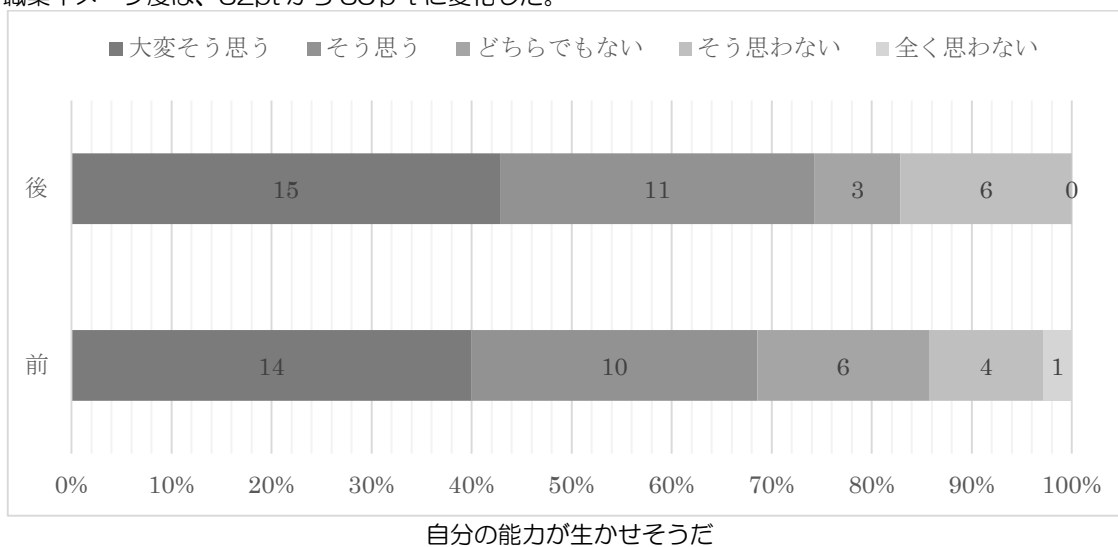
5.1.2.9 「世の中のためになりそうだ」

大変そう思う生徒が19人から22人に増えた。
職業イメージ度は、52ptから57ptに変化した。



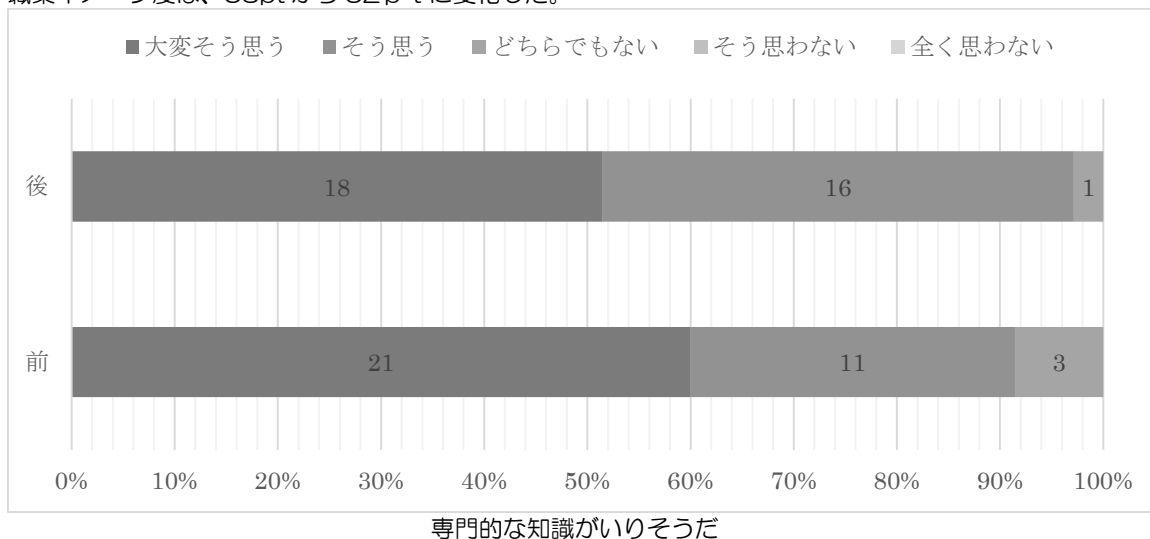
5.1.2.10 「自分の能力が生かせそうだ」

ポジティブなイメージを持つ生徒が24人から26人に増えた。一方、ネガティブなイメージを持つ生徒が5人から6人に増えた。
職業イメージ度は、32ptから35ptに変化した。



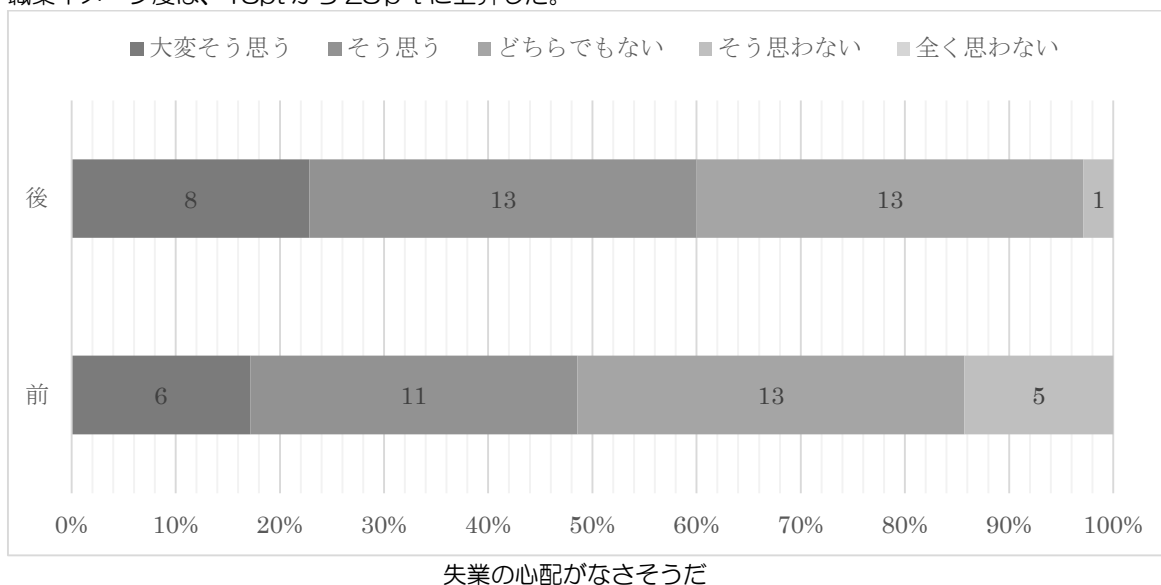
5.1.2.11 「専門的な知識がいりそうだ」

大変そう思う生徒が21人から18人に減った。
職業イメージ度は、53ptから52ptに変化した。



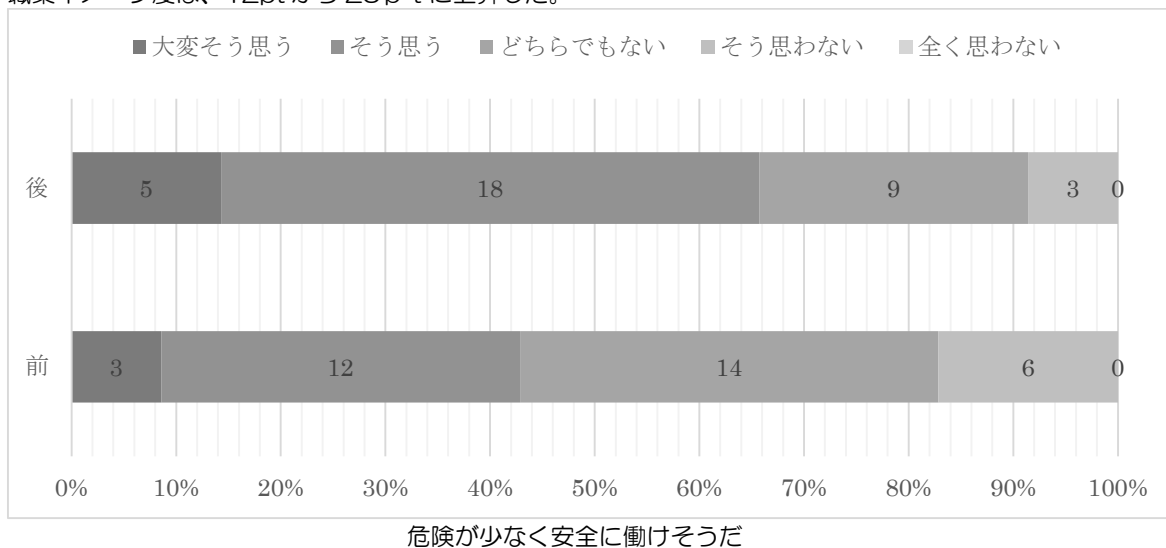
5.1.2.12 「失業の心配がなさそうだ」

ポジティブなイメージを持つ生徒が17人から21人に増えた。
職業イメージ度は、18ptから28ptに上昇した。



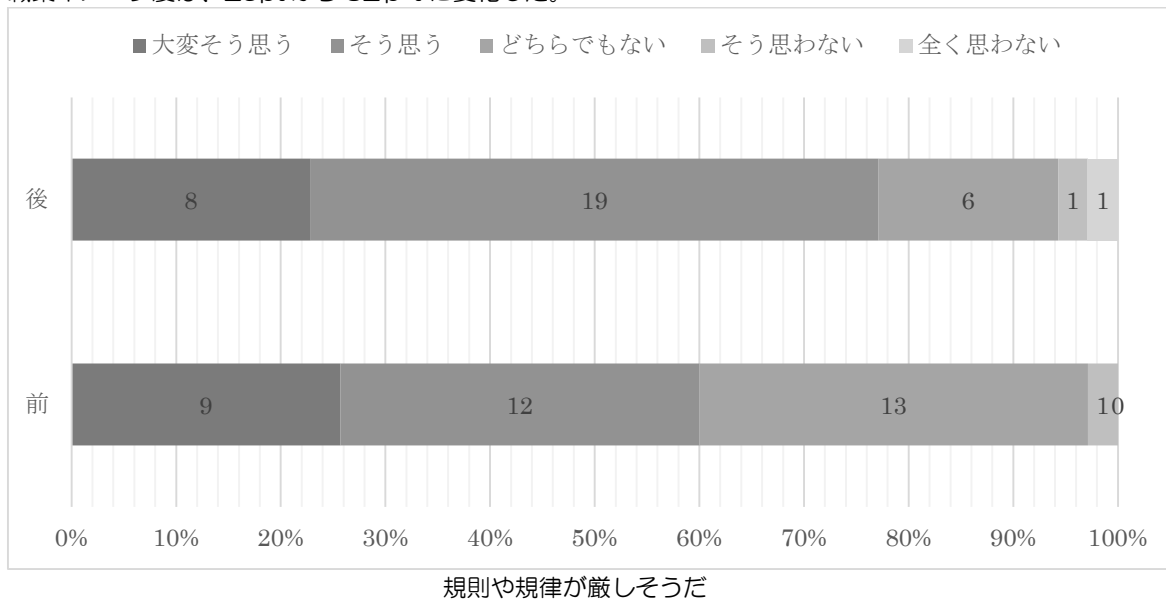
5.1.2.13 「危険が少なく安全に働けそうだ」

ポジティブなイメージを持つ生徒が15人から23人へ増えた。
職業イメージ度は、12ptから25ptに上昇した。



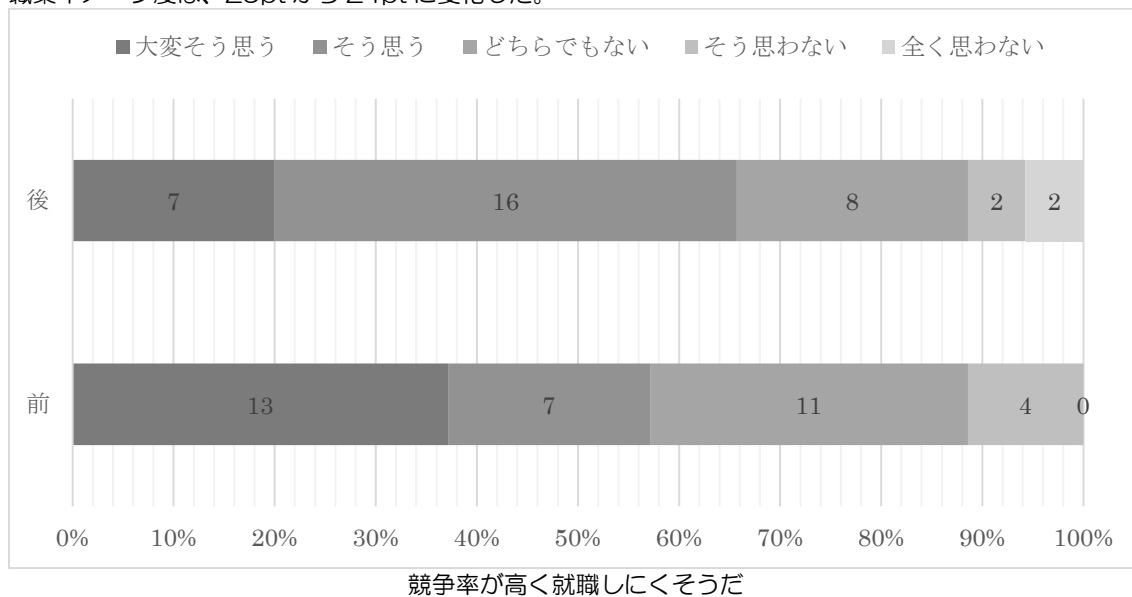
5.1.2.14 「規則や規律が厳しそうだ」

ポジティブなイメージを持つ生徒が21人から27人へ増えた。
職業イメージ度は、29ptから32ptに変化した。



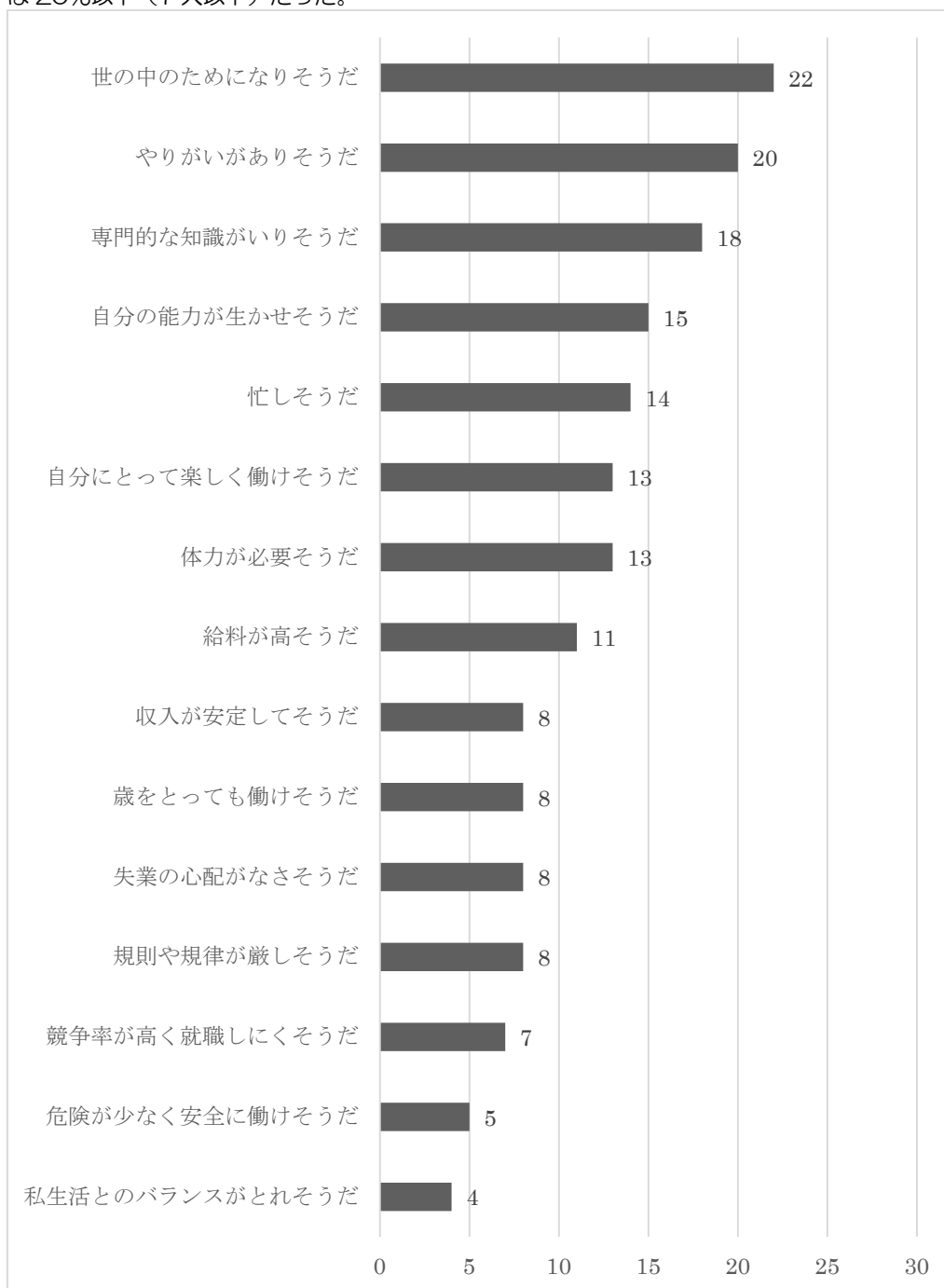
5.1.2.15 「競争率が高く就職しにくそうだ」

大変そう思うは13人から7人に減った。そう思うが7人から16人に増加した。
職業イメージ度は、29ptから24ptに変化した。



5.1.3 「大変そう思う」を選んだ職業イメージ項目

講義後、語学を活用する仕事に持つ職業イメージとして50%以上（17人以上）が選んだのは、「世の中のためになりそうだ」「やりがいがありそうだ」「専門的な知識がいりそうだ」だった。「競争率が高く就職しにくそうだ」「危険が少なく安全に働けそうだ」「私生活とのバランスがとれそうだ」は20%以下（7人以下）だった。

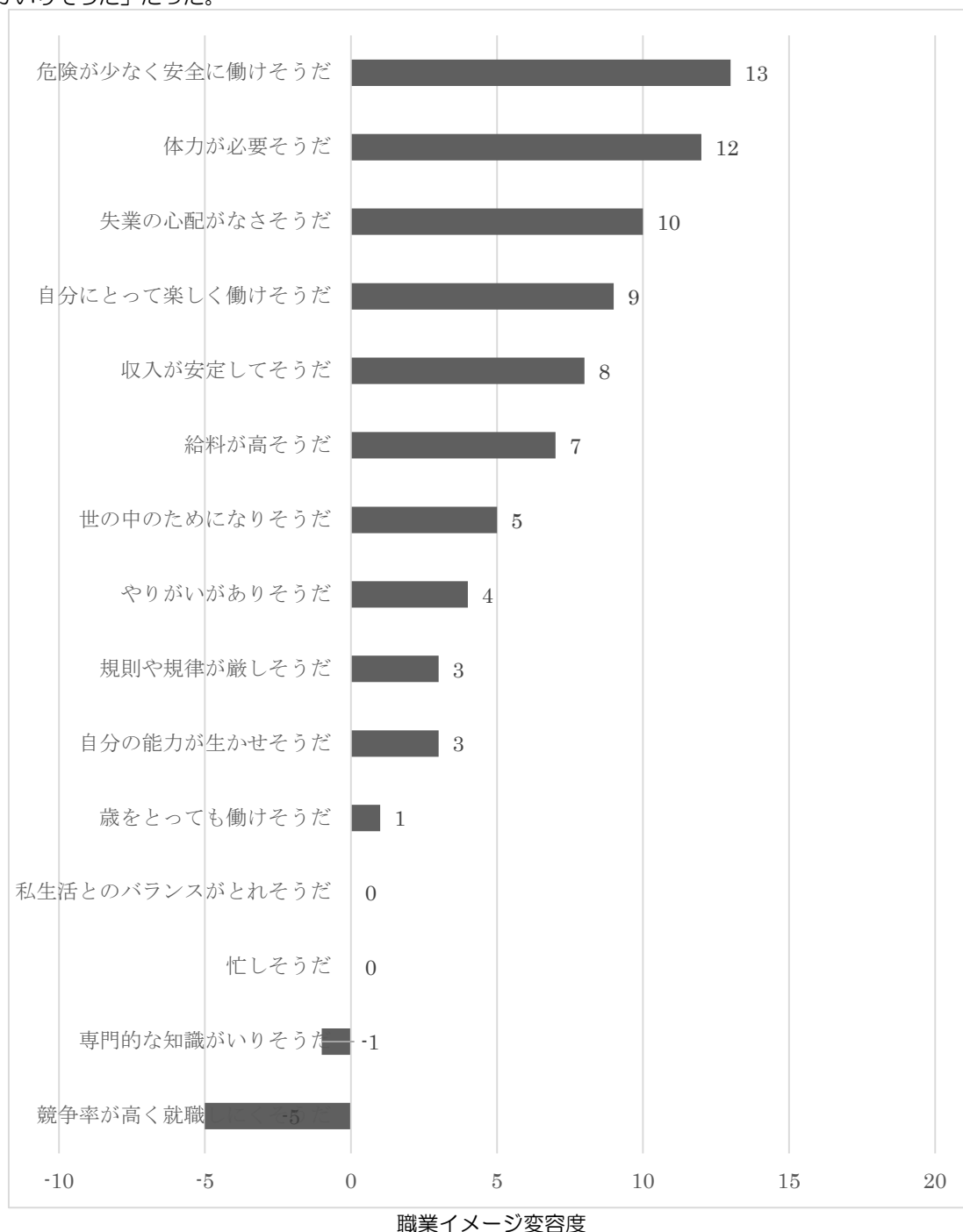


「大変そう思う」を選んだ職業イメージ項目

5.1.4 講義前後での職業イメージ変容度

職業イメージが大きく変容した項目グループは、「危険が少なく安全に働けそうだ」「体力が必要そうだ」「失業の心配がなさそうだ」だった。

職業イメージがマイナスに変化した項目グループは、「競争率が高く就職しにくそうだ」「専門的な知識がいりそうだ」だった。



5.1.5 今日の講義・講話の中で『はじめて知ったこと、はじめて聞いたこと』

※誤った漢字や送り仮名、ひらがな表記などは訂正せず、可能な限り原文に近い形で表しています。
※ひとりひとりの記述は掲載の順番を変えて、「--」で区切っています。

東アフリカは、手につばつけてくる、OK

--

第二言語が中国語。オーケーポーズとグットポーズはやってはいけない国があるということ。

--

韓国に2時間でいけるということ

--

自分の国でやっていい事が他国ではやってはいけない事を知った時、とてもびっくりしました。

--

自分たちが常識と思ってやっている事が他の国からしたらマナー違反になる行動があっという文化やマナーがあるんだと改めて考えることができました。

--

カナダのバンクーバーが世界で暮らしやすい国ナンバー1である。日本では普通なことなのに他の国ではダメな行為があるなどの異文化がたくさんある。

--

海外での仕事は訳す人だったり観光のガイドツアーとか思っていたけど以外と数多くの仕事があってビックリしました。事務とかで働けたり、空港付近で働く人が多くいるとかたくさん知りました。

--

各国のNG行動や良い行動など、日本での常識が海外では非常識になったりすることもあればその逆もあるとわかった。

--

私は小さい頃から海外で働くことが夢である程度の事は私も知っている情報でした。これを実際にどう活用し活かしていくのかを考えなければいけないと思うので、今以上にたくさん学び、情報を集めて行きたいと思いました。

--

日本で普通にしていることが外国ではマナー違反で、ついすっかりしてしまいそうなくらい意外な行為がマナー違反だった。

--

今日の講義を通して、語学を活かした職業がこんなにも沢山あるとは知らなかったのも、とても驚きました。本当に魅力が詰まっている技術なんだなと思いました。

--

やっぱり外国などで仕事がしたいんだったら、勉強する事がとても大切なんだなと思いました。

--

外国語を学ぶことは大切だとかんじた。あまり興味をもたなかったけどコミュニケーション能力があがりそう。

--

ピースなど日本では常識だったりすることが、海外では非常識になったりすることが分った。中国語がじゅうよう。

--

今後英語だけでなく中国語も大事になってくる

--

留学をするためには前もって少し英語の力が大切だとわかりました。

--

各国によって禁止されるものがあると聞いて、たとえば韓国は正座をしたらダメなど色々な文化がある。

--

中国語が大事

--

グローバルビジネスにはたくさんの職業があると初めて知った。

--

留学先で1番人気なのはカナダのバンクーバーということと、シンガポールではガムの持ち込みもダメということがわかりました。

--

グローバルの仕事にはさまざまな仕事があることがわかりました。

--

語学に関する仕事が思っているよりたくさんあった。

--

色々な国の習慣や文化が違うこと。

--

留学コーディネーター、約二ヶ月の留学、LCCの影響、Web.O.C、カナダバンクーバーは暮らしやすい

--

色々な国でのしたらだめのことクイズで、初めて思ったことがたくさんあった。

--

韓国で正座がNG、東アフリカでは相手につばをかけてもOK、シンガポールではガムNG

--

国際ボランティアという仕事は、ただボランティアをするだけでなく、日本の技術を教えたりもしているという事をはじめて知りました。いろんな国によって、ピース、グット、オーケーの手がダメだとはじめて知りました。いろんな国のルールを知っておくのが大切だと感じました。

--

ブラジルではOKサインをしてはいけないということ

--

意外に韓国とかが日本とちかくて1時間で行けるのがびっくりした。しかも意外に安い。

--

英語だけでなく、第二語が必要。やっておくと有利だと聞いてこれからがんばろうと思いました。

--

国にも沢山違いや文化などがあって自分の住んでいるところとまったく反対のことなどがあってびっくりしたこと、ユニクロさんは1500コ以上もあるとはじめて知り、色々なところに自分が知っているお店などがあると考えたら便利だと感じました。

--

語学が必要な仕事は通訳とかCAなどのおうどうな仕事しかわからなかったけど、講話を聞いて自分が思っている以上にあったので少しビックリしました。

--

日本ではやっていいことでも外国ではダメなことがたくさんありました。

5.1.6 今日の講義・講話の中で『特に印象に残ったこと』

※誤った漢字や送り仮名、ひらがな表記などは訂正せず、可能な限り原文に近い形で表しています。
※ひとりひとりの記述は掲載の順番を変えて、「--」で区切っています。

外国に関する仕事がかんこなあることが初めて知った。

--

英語だけではなく、中国語や韓国語の重要性も出て来ていることがわかったので、今ならっている中国語をつかえたらいいなと思いました。

--

海外のたのしそうな動画

--

留学が出来る事が印象に残りました。自分が行きたい国を考えて自分に合った学校探しをしたほうが良いなという風に印象に残りました。

--

語学に関する仕事をするにはコミュニケーション力と多文化の習慣など理解がとても大事だと知れました。

--

I R Cの生徒がカナダに行った動画がとてもすごく楽しそうだと思いました。高校でやっておいた方が良いことは、自己管理、国語力を高める、経験、基礎学力などをすること。

--

留学の動画を見てとても楽しそうだなって思いました。見たことない町とか、改めて行ってみたいなって感じました。海外では色々な国の規則があり、ピースがダメだったり、つばかけあいがかかったりと驚きました。

--

英語以外の言語の中で中国語が圧倒的に有利だということが印象的でした。

--

英語を生かせる職種

--

生徒さんの留学の様子をビデオで見たことです。実際私もオーストラリアと台湾に行ったことがあり、ホームステイもしました。なので、改めてまた生きたいな、これからは色々な国へ行きたいと思うことができました。

--

留学、語学を活かしてする仕事自分が知っている仕事より結構たくさんあってびっくりした。くうこうではたらく仕事だけじゃなく、さまざまな場所、土地で働ける仕事があっっておどろいた。

--

カナダ留学へ行った生徒方の動画が凄く楽しそうでした。

--

今日の講話で印象に残った事は今からのしんろの話です。専門学校か大学かどこいこうかまよいました。

--

他国のクイズ、新里玲子さんの話

--

英語ができると仕事の幅が広がってかっこいいなと思った。

--

グローバルビジネスはたくさんの職業があることをはじめてしった。

--

外国人とコミュニケーションをとる際に大事なことはその国の文化や習慣への理解をする力。やはり一番は心だなと思いました。

--

外国には日本じゃありえない文化や習慣がある。

--

日本でのルールが海外ではダメだったり、その逆もあるということが印象に残りました。

--

その国の文化や習慣に対する理解が大切ってこと。ピースがダメ、ガムがダメなど。

--

仕事とかは興味ややりたいことで選んでみる

--

自分の行きたい国の習慣や文化を理解して現地の人に失礼のないようにすることが大切だと思った。海外への興味を持てた。

--

高校のうちで準2はもっていないと難しい。2級以上でないとコミュニケーション困難。

--

グローバルビジネスをやる上で大切なこと。国の文化などを理解する。

--

海外のマナーやNGなどしれてビックリしました。

--

特に印象に残ったことは、語学留学する際のポイントです。私は留学ができるならどこでもいいやと思っていたけど、その学校の特色や立地、アクティビティの充実度を知る事で、もっといい留学ができると知りました。よりよい留学にするためにも、したしらは大切だなと感じました。

--

ユニクロは6割以上が海外にあるということ

--

コロナ中でも留学ができていた

--

やっぱり立地と利便性、また授業意外のアクティビティ的な充実度を見るとよいということが頭に残りました。

--

グローバルビジネスでの話を聞いて、まずは挑戦することや自分の英語力などをたしかめるには外国の方と積極的に会話やジェスチャーなど自分なりの伝えかたなどを勉強していきたいなって思いました。

--

日本で人につばをかけるのはきたないことになるけど、それが常識な国があることを知ったのが印象に残りました。

--

留学するポイント

5.1.7 話を聞いてみたい仕事や職業

看護師、美容系
--
ドレスコーディネーター、ジュエリーコーディネーター
--
建築関係
--
歯科衛生士、美容、看護師、メイクアップアーティスト
--
モデル
--
シェフ、教師
--
海外営業や経営など
--
キャビンアテンダント
--
保育士、エステシャン、ウエディングプランナー
--
弁護士
--
保育士
--
プログラマーは前から少しきになっている
--
看護師
--
通訳士
--
通訳、翻訳、外資系
--
SP, BG
--
公務員
--
観光業
--
事務、ブライダル、美容
--
事務員
--
美容
--
保育士
--
保育士
--
保育士、消防事務員
--
ホテル業
--
美容関係
--
看護師、介護士
--

ホテル

話を聞いてみたい仕事や職業（希望職種とは無関係）

	今回	11月	7月
美容系	7	8	5
保育士	5	7	7
看護師	4	6	2
ブライダル	3	3	2
公務員（警察・消防など）	3	2	4
ホテル	2	1	5
銀行員（事務系）	2	1	1
海外営業・経営	2	0	0
通訳士	2	0	0
シェフ	1	2	2
経営者	1	2	2
教員	1	2	0
歯科衛生士	1	1	1
モデル	1	1	0
弁護士など法律に関わる仕事	1	0	3
IT会社	1	0	1
介護士	1	0	0
観光	1	0	0
建築	1	0	0
CA	1	0	0
翻訳	1	0	0
心理カウンセラー	0	1	1
英語を使う仕事	0	1	5
Youtuber	0	1	1
マッサージ	0	1	0
パイロット	0	0	3
航空関係	0	0	2
栄養士	0	0	1
基地で働いている人	0	0	1

5.1.8 今日の講義・講話を聞いて、『感じたこと、思ったこと』

※誤った漢字や送り仮名、ひらがな表記などは訂正せず、可能な限り原文に近い形で表しています。
※ひとりひとりの記述は掲載の順番を変えて、「--」で区切っています。

留学とても楽しそうだなと思った。外国に興味をもてた。

--

グローバル化が進んでいるので、仕事の幅が広がったなと思いました。将来はいろんな言葉が必要になると思うので、こまらなようにしたいと思った。

--

場所も言葉も全く違うのに働くのすごいと思う。

--

異文化理解がとても大事だと思いました。自分の将来をきちんと決めて自分がしたい事を少しでもかなえられるように情報収集をしっかりとしたいなと思いました。

--

自分にはどんな職業が向いているのか講話を聞いて改めて考えることができました。自分の能力を生かせる仕事を見つけたいと思った。

--

今日の講話でグローバルビジネスについて知る事ができました。自分は旅行をすることが好きなので、カナダのバンクーバーに人生で一度でいいから行ってみたいと思いました。今まで留学について考えてこなかったのを機に考えてみようと思いました。又、高校でやっておいた方が良いことなどがきけたので前向きに取り組んで行きたいと思います。

--

初めて海外の留学や職業を聞いてほぼ全部知らなかったことがきけました。職業はたくさんあり、英語はどの国でも使われてるから大事なんだと思いました。ぶんかとか知らないことが海外にはたくさんあって自分の目で見て実際に行きたいです。しんろのてじゅんもまちがえないように気をつける。

--

日本では普通のことでも海外では非常識になったり逆に日本では非常識だけど海外では良いこともあるので海外に行くときには現地のことをくわしく調べて行こうと思いました。語学だけでなくプラスアルファでなにか資格をとりたかったです。

--

今日の講話を聞いて自分の考える将来をもっと幅広く考えられて新たな発見があったんじゃないかと思いました。

--

私の夢がまたひとつ広がったきがします。今、自分には何ができるのか、何をすればいいのかをこれからしっかり考え、自分の将来に向けてコツコツと努力していきたいと改めて思うことができました。

--

自分が知らなかったことが沢山あったし、外国に関して何かしたいことがあれば、留学やインターンシップ、細かい語学の技能を上げたり、何か+αをがんばるとよいことがわかったので、これから、少しずつ努力していこうと思った。

--

もともと海外に興味があって語学が凄く好きなので、今回の講義がより貴重なものとなりました。私も将来語学を活かした職に携わりたいので、英検やTOEIC、国際に関するイベントやプログラムに参加するなど挑戦していきたいです。

--

今日の講話を聞いて将来どのような道を生きようかと学んだ。どんなして勉強ががんばろうーかもなやみました。これからがんばっていききたいなと思いました。がんばります。

--

他の外国に行って、その現地の人とたくさんコミュニケーションをとることは本当に大切だと思った。今は世界に壁がなくなりつつあるので、沖縄に滞在している外国人の人たちともコミュニケーションをとる練習をしてみたい。

--

留学とか行ってみたいと思ったから、留学ができる大学とかもさがしてみようと思った。

--

今のうちに自分のやりたいこと、なりたい職業を決めるのが大切なんだと感じました。

--

今回の講話で語学、留学の仕事について知る事ができました。私は前から留学について興味をもっていたので、今回留学の話しを聞けていい機会になりました。今後も自分の進路に向けてがんばっていきたくて思いました。

--

今はグローバル化でビジネスが展開しているときで、そして様々なフィールドで生かせることがわかりました。留学など外国人とコミュニケーションをとる際にはお互いに文化や習慣に対する理解力などが大事と分りました。英語を話せることで、自分の視野、色々な世界が広がるんだと思いました。

--

外国語を使った仕事に就きたいと思いつつも進学先ばかり考えていて将来したい事があまり分っていなかったため、たくさんの職業とおおまかな内容が知れてよかったです。いつか留学したいけど語学力と知識と勇気がないので、もっとがんばりたいです。自分の進学・仕事に一番近い分野なので、悩みすぎて頭痛いけど好きなことを悔いなくしたいです。

--

留学はお金がかかったり、期間が長いから大変かもしれないけど、外国へ勉強しに行くのは自分にとって良い経験になるし、将来ためになることがあると思うから、できたら積極的に参加すべきだなと感じた。

--

日本のルールが海外ではだめだったり、いつも使っているピースサインや親指を立てるのがだめな国もあるということがわかりました。

--

今日、様々な職を耳にしました。英語力がとても大切と感じたので、今日からがんばってみます。いつかお金が沢山あるときに海外に行き、現地で2週間くらいは生活してみたいと思いました。

--

語学に関する仕事がたくさんあるのを知れてよかったですし、少し興味をもつことが出来てよかったです。ありがとうございました。

--

自分のやりたいことをする為に色々な勉強をして検定を取って、その国のことを理解できるようになりたいと思いました。今まで自分はあまり海外への興味は無かったけど、今日講話を聞いて興味をもって色々な視点から物事を見ようと思いました。

--

自分が知っている先輩がいてかっこいいと思った。英語出来るのは楽しいだろうなとも思ったけど自分は向いていないのかなとも思った。全てそうかもだけどむずかしいのは当たり前。でもそういう世界もチャレンジしてみたいなと思いました。

--

グローバルビジネスはとてもやりがいがありそうだし楽しく働けてスキルが身につくそう

--

初めて聞く仕事でこんな仕事もあることが知れました。初めてわかったこととかたくさんあり、よかったし、ビックリしました。いつかは海外にいきたいという気持ちになりました。

--

今日の講話は留学について知ることが沢山ありました。私は英語をいかに仕事につきたいので英語に力を入れようと思っていたけど、今は、英語だけでなく中国語も大切だっているので、中国語もがんばろうと思いました。また、色々な国の文化や週刊を知る事が相手にも失礼にならないので下調べもとても大切だと思いました。留学をする際にポイントも沢山おそわったので、こんご今日学んだことをかつようしていきたくて思いました。

--

英語で外国語など語学を使う仕事は思ったよりも多くてびっくりしました。航空が通訳などガイドなど必ず英語が使われていたり、とても必要なんだなと思いました。その国々の文化なども理解しながら、仕事などをしなければなと思いました。

--

職業の話しを細かく話してくれなかったため、もう少し職業についての話しをくわしくしてくれるとありがたいと思いました。留学もとても進めてらっしゃったので、その大切さは伝わりました。

--

留学に少し興味があって今回の講話を聞いてもっと行きたいと感じました。

--

今回の講話を聞いて、留学っていいなと思いました。私はスイスに将来行きたいと思っていて、いろいろスイスについて調べたりしています。留学はさまざまなことが必要になってくるので、これからがんばって資格などとうとうと思いました。

--

大事なことはまず挑戦すること。沢山の資格をとることで自分の仕事の幅が大きくなるのでがんばりたいと思った。

--

自分が知っていることはめちゃくちゃ少なくて、だから、もっと色々なことを勉強して世界を広く見たいなと思いました。そのために、色々な国の方と仲良くなるために語学を学びたいと思いました。それと色々な国にいつてみたいなと思いました。

--

今日の講義をきいて私は前よりも留学してみたいなと思いました。今日学んだ留学のポイント（学校の特徴、授業以外のアクティビティ、学生に関する情報、立地条件、利便性）はとてもためになったと思います。今までは国でしか決めてなかったけど他のことも見ながら決めていきたいです。

5.2 航空・ホテルブライダル・語学の職業イメージの比較

5.2.1 授業後に「大変そう思う」と答えた職業イメージの比較

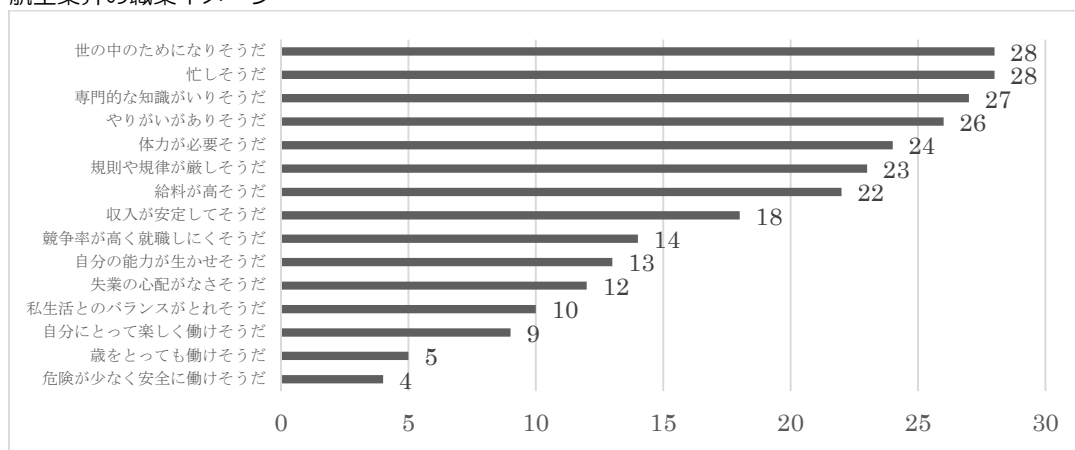
「大変そう思う」と答えた職業イメージは、授業後に生徒に定着した職業イメージを表す。

航空業界の職業イメージは、8割の生徒が、「世の中のためになりそうだ」、「忙しそうだ」を挙げた。5割を超えた（19以上）項目は、7項目あり、航空業界の仕事に対するイメージがしっかりついている。

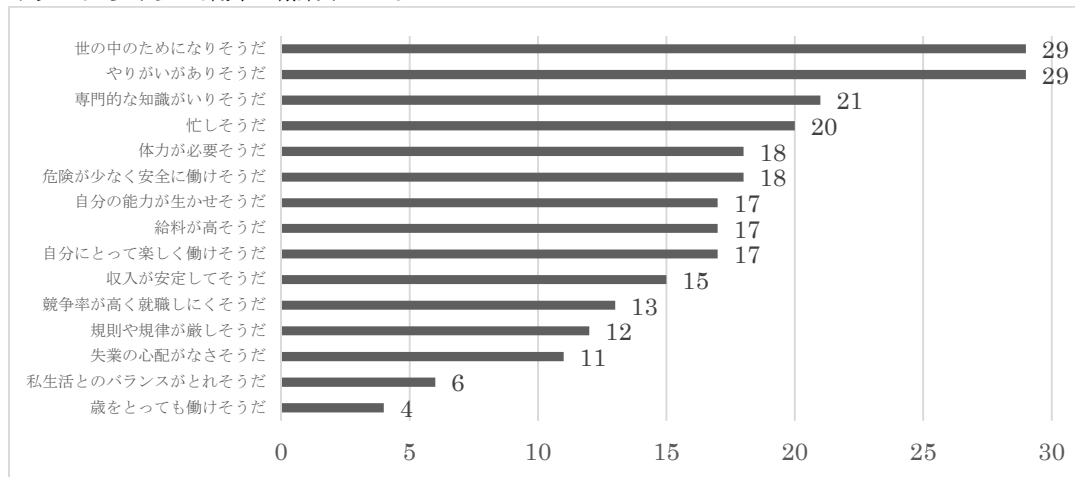
ホテルブライダル業界の職業イメージは、「世の中のためになりそうだ」、「やりがいがありそうだ」が突出しており、「専門的な知識がいりそうだ」、「忙しそうだ」の4項目が5割を超えた。

語学を活用する職業イメージは、「世の中のためになりそうだ」、「やりがいがありそうだ」の2項目が5割を超えたが、他に比べると生徒が持った職業イメージが弱いことがうかがえる。

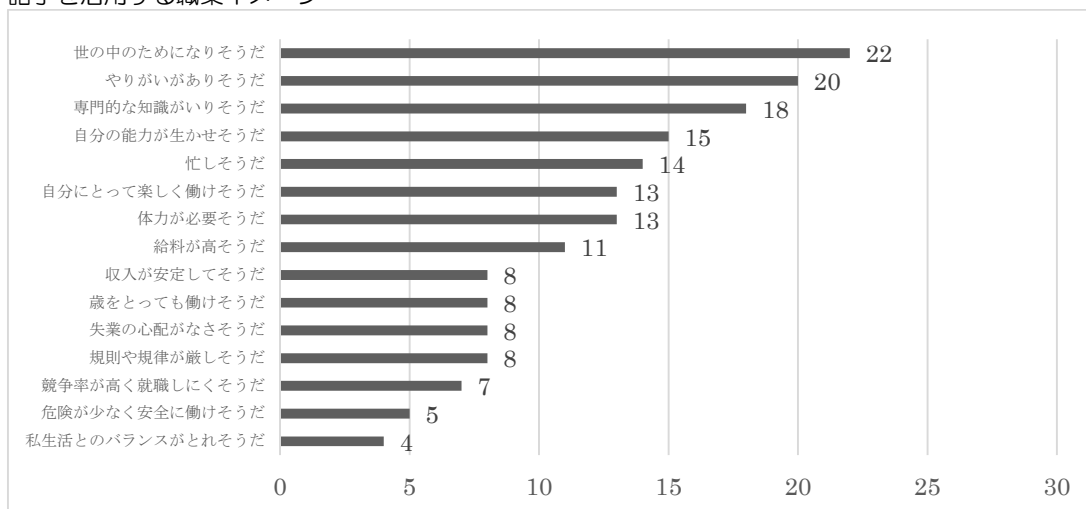
航空業界の職業イメージ



ホテルブライダル業界の職業イメージ



語学を活用する職業イメージ



5.2.2 授業を受けて大きく変容した職業イメージの比較

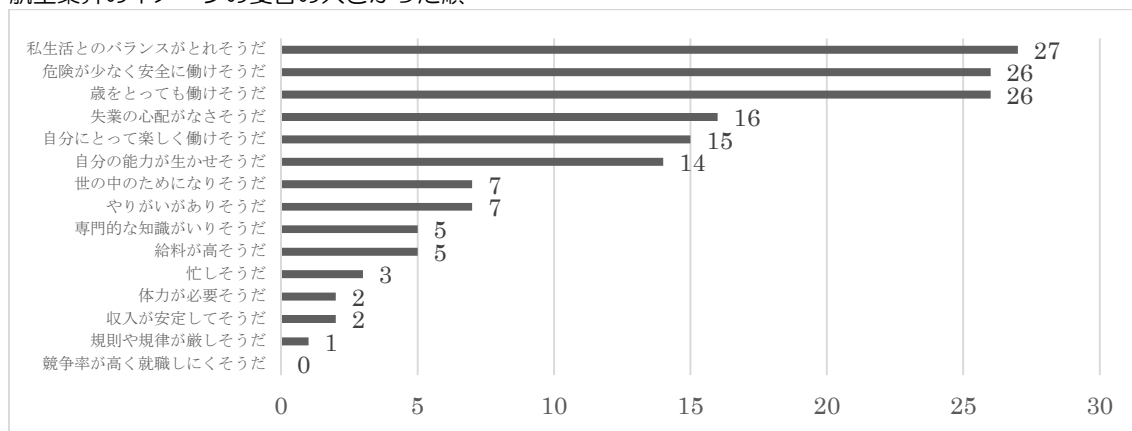
授業を受けて変容した値が大きいほど、新しい「気づき」や職業に対する「誤解」があったことを表す。

航空業界では、「私生活とのバランスがとれそうだ」、「危険が少なく安全に働けそうだ」、「歳をとっても働けそうだ」が、生徒が持っていたイメージを大きく覆している。また、4割の生徒が、「失業の心配がなさそうだ」、「楽しく働けそうだ」、「能力が生かせそうだ」をあげた。

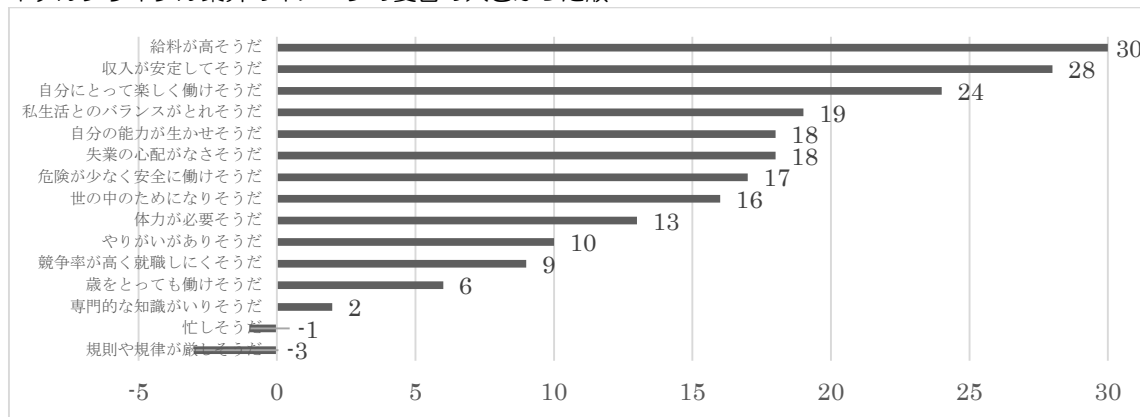
ホテルブライダル業界では、「給料が高そうだ」「収入が安定してそうだ」「自分にとって楽しく働けそうだ」が非常に高く、誤解と気づきがあったことがわかる。4割以上の生徒が8項目を挙げており、棒グラフの示す面積をみると3業界では最も広く、変容量が多かったことがわかる。

語学を活用する職業イメージは明確に職業として分類されていないこともあり生徒の変容は低く、イメージ通りだったか、イメージが明確につかめなかったことがわかる。

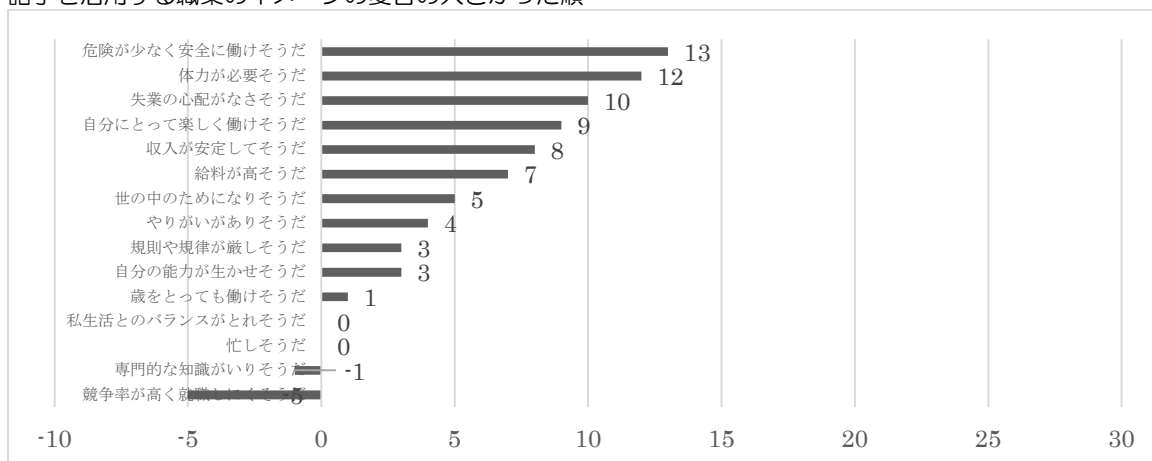
航空業界のイメージの変容の大きかった順



ホテルブライダル業界のイメージの変容の大きかった順



語学を活用する職業のイメージの変容の大きかった順



5.3 高校生の職業意識に関する調査（具志川商業前後）

5.3.1 調査概要

前調査

日時 2023年7月20日
対象 観光コース 2年生
人数 36名（男0女36）

後調査

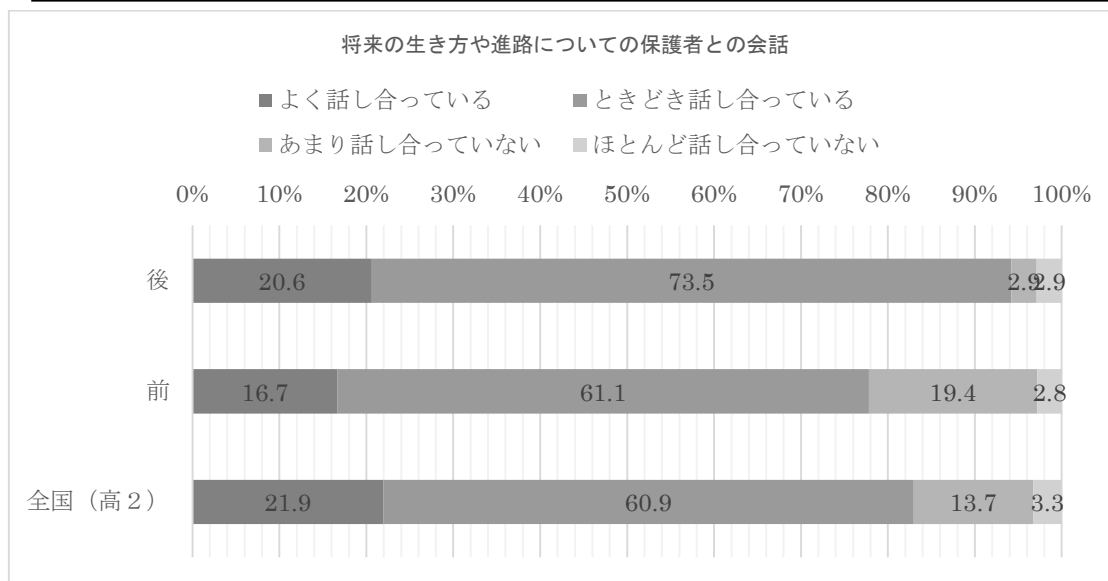
日時 2024年1月18日
対象 リゾート観光科 2年生
人数 34名（男0女34）

5.3.2 将来の生き方や進路についての保護者との会話

将来の生き方や進路について保護者と「よく話し合っている」「ときどき話し合っている」と回答した割合は94.1%で、前回と比較すると16.3ポイント上昇した。
全国（82.8%）と比較すると11.3ポイント上回った。

保護者との会話は全国と比較してできていることがわかる。ただし、具志川商業は女性のみデータなので、性差による保護者とのコミュニケーション差も考慮する必要がある。

※全国データは、高校2年生9月～1月期の回収データ

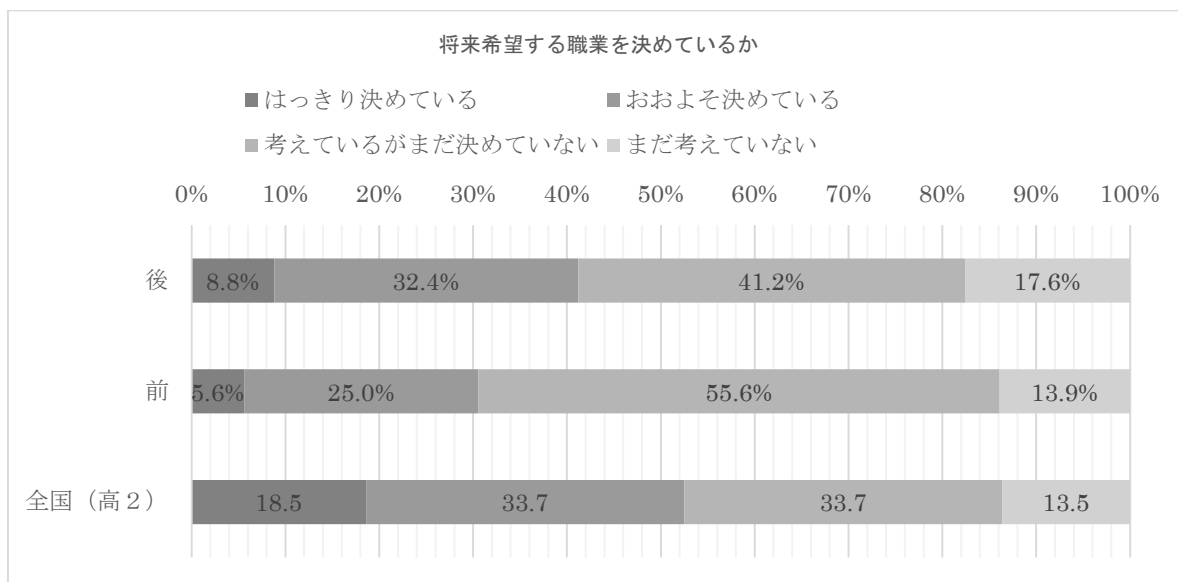


将来の生き方や進路についての保護者との会話

5.3.3 将来希望する職業を決めているか

将来希望する職業を、「はっきり決めている」「おおよそ決めている」と回答した割合は41.2%で、前回と比較すると10.6ポイント上昇した。
全国（52.2%）と比較すると11.0ポイント下回った。

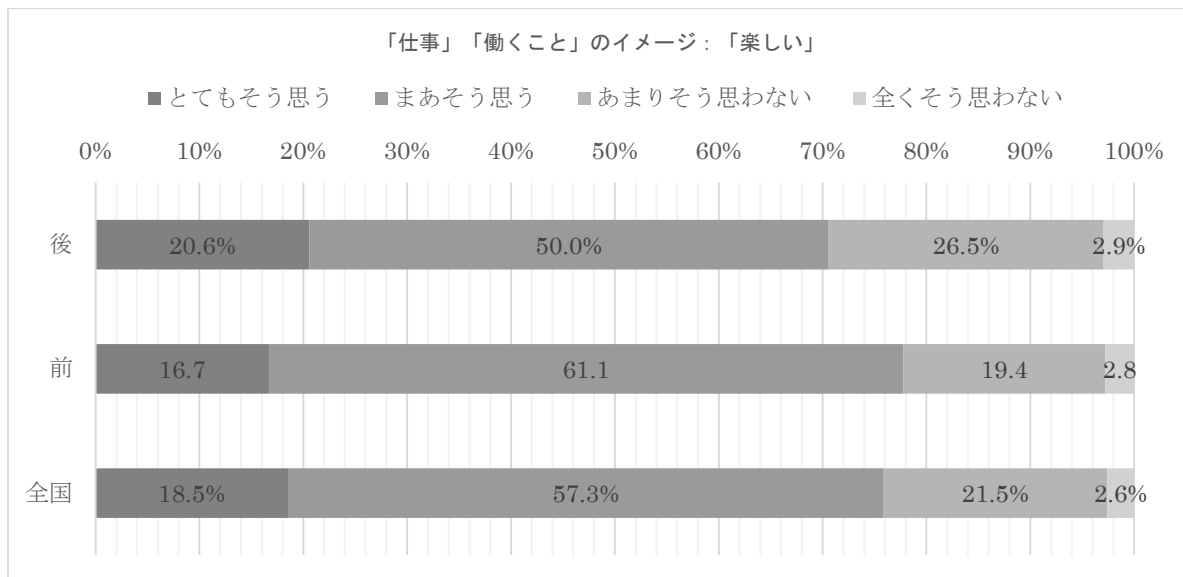
希望する職業の決定時期が遅いことがわかる。



将来希望する職業を決めているか

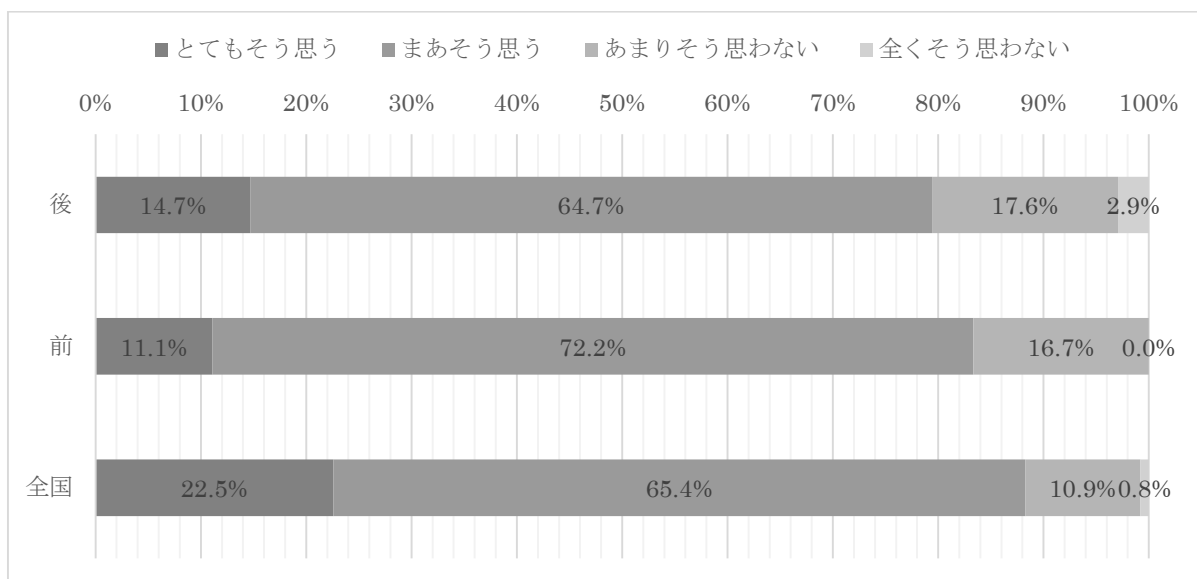
5.3.4 「仕事」「働くこと」のイメージ

「楽しい」について、「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した割合は70.6%で、前回と比較すると、7.2ポイント低下した。
全国（75.8%）と比較しても5.2ポイント低くなった。



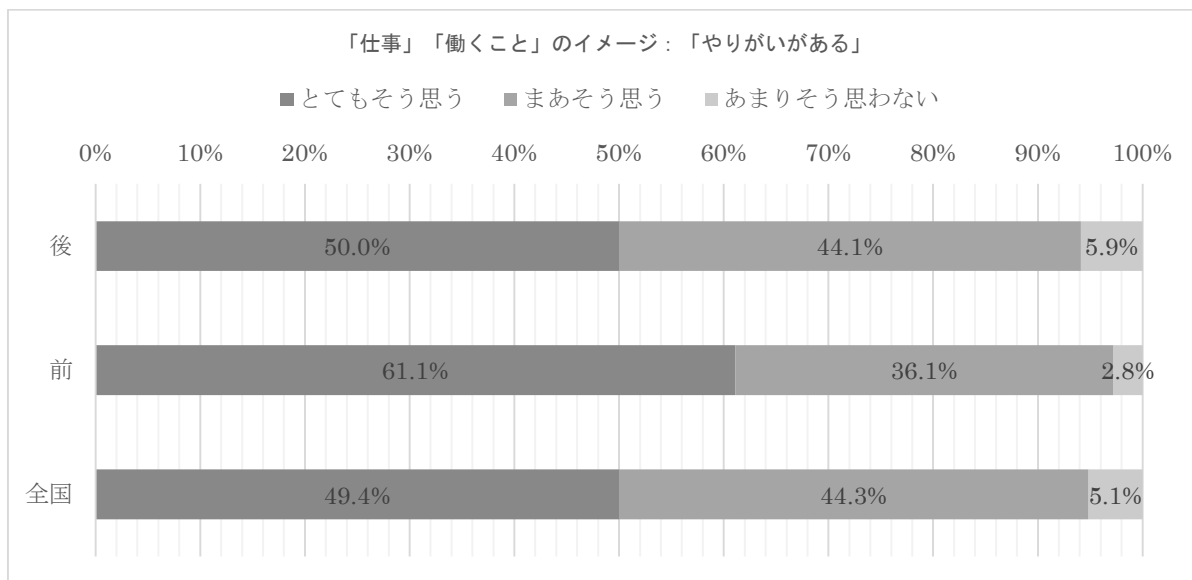
「仕事」「働くこと」のイメージ：「楽しい」

「苦しい」について、「とてもそう思う」と回答した割合は、79.4%で、前回と比較すると3.9ポイント低下した。
全国（87.9%）と比較すると、8.5ポイント低かった。



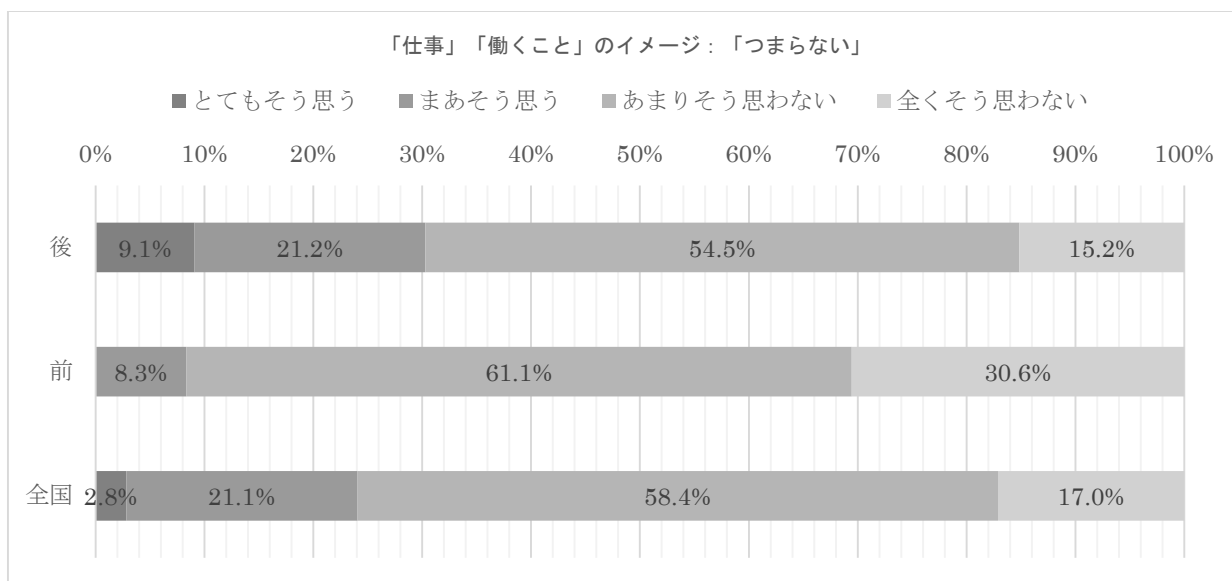
「仕事」「働くこと」のイメージ：「苦しい」

「やりがいがある」について、「とてもそう思う」と回答した割合は50.0%で、前回と比較すると、11.1ポイント低下した。
全国（49.4%）と比較するとほぼ同じ割合になった。



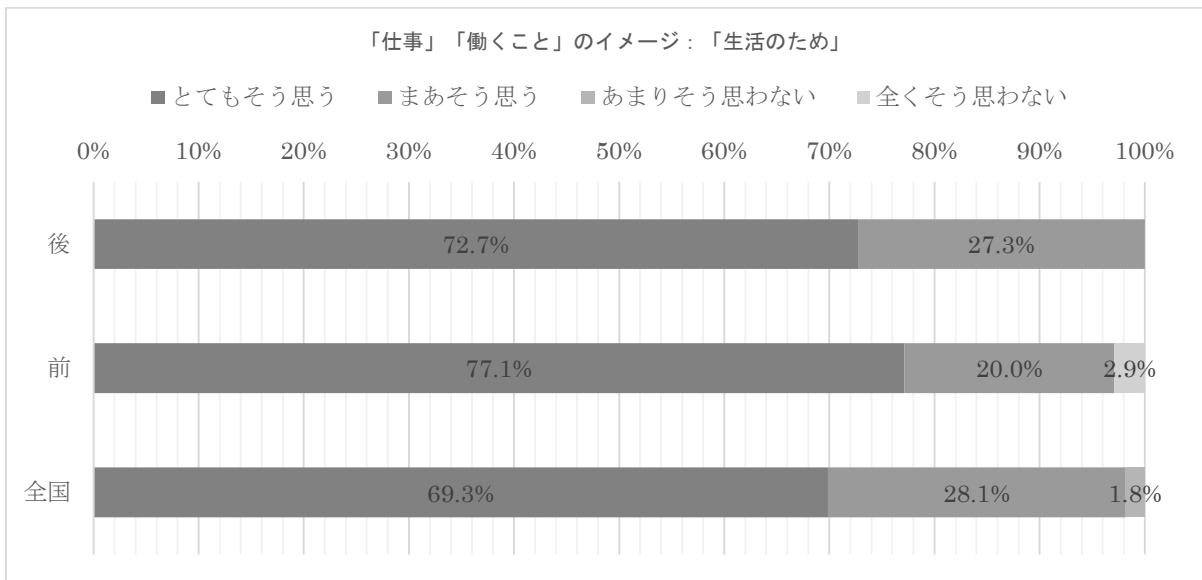
「仕事」「働くこと」のイメージ：「やりがいがある」

「つまらない」について、「とてもそう思う」が9.1%で、前回0%から大きな変化があった。「まあそう思う」を合わせると30.3%で、前回と比較すると22.0ポイント増加した。
全国（23.9%）と比較すると、6.4ポイント高かった。



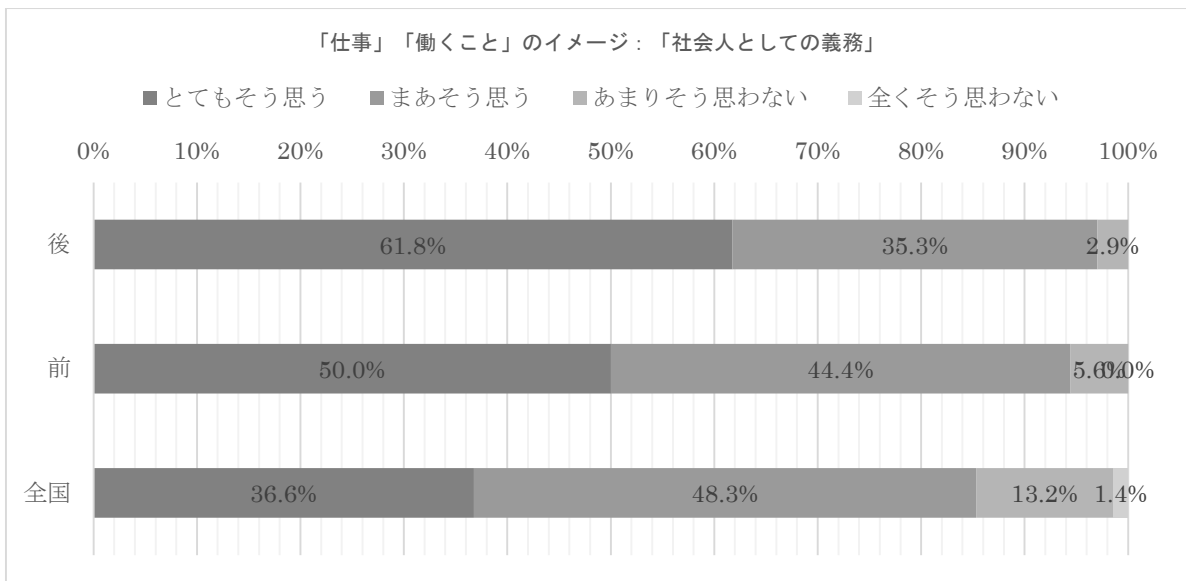
「仕事」「働くこと」のイメージ：「つまらない」

「生活のため」について、「とてもそう思う」が72.7%で、前回と比較すると4.4ポイント低下した。
全国（69.3%）と比較すると、3.4ポイント高い割合になった。



「仕事」「働くこと」のイメージ：「生活のため」

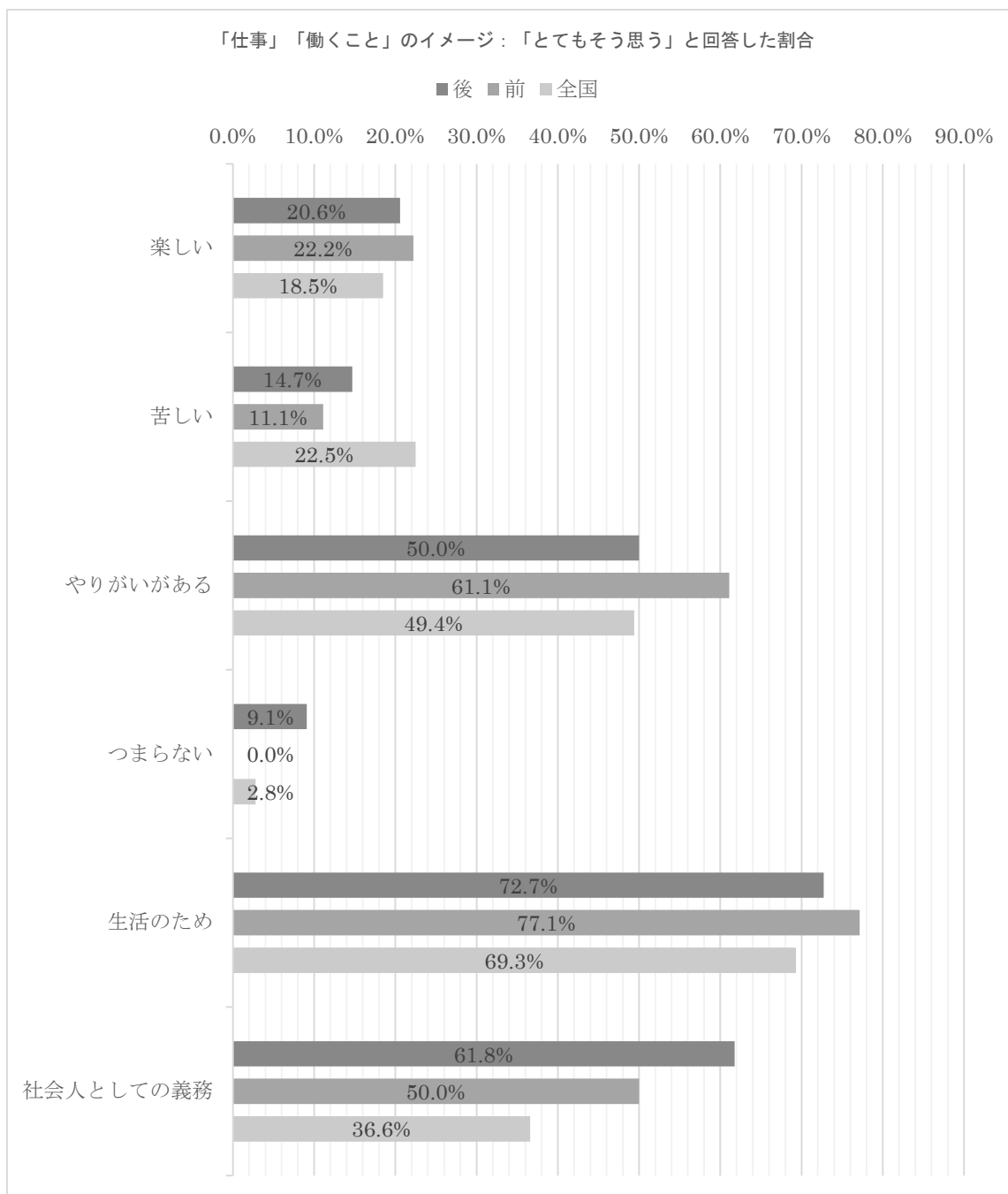
「社会人としての義務」について、「とてもそう思う」が61.8%で、前回と比較して11.8ポイント上昇した。
全国（36.6%）と比較すると、25.2ポイントも大きかった。



「仕事」「働くこと」のイメージ：「社会人としての義務」

5.3.5 働くことのイメージの6項目について、「とてもそう思う」と回答した割合をまとめた。

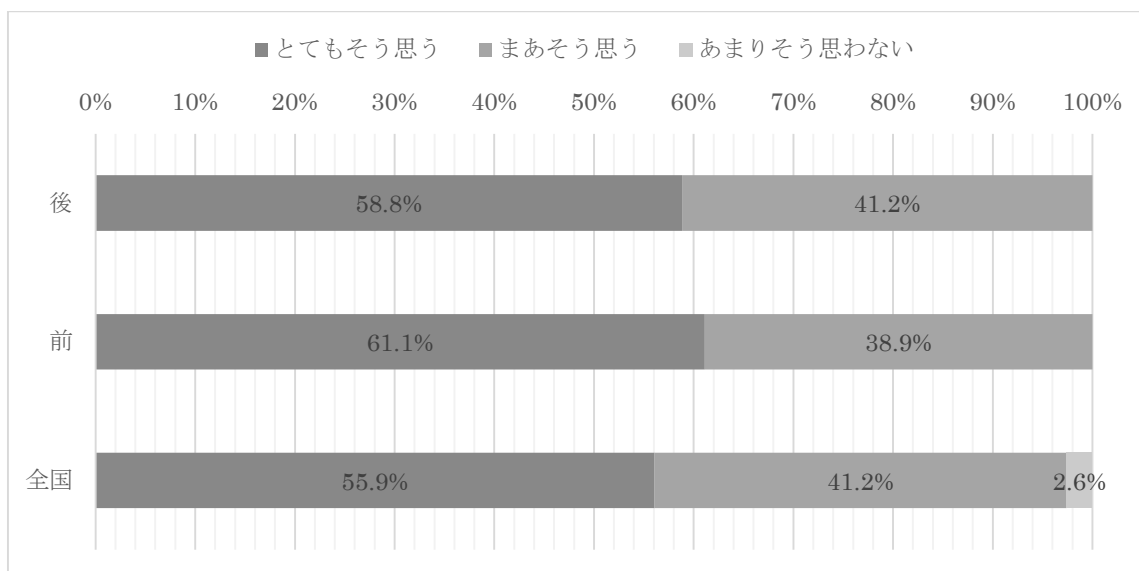
前回と比較して増加の割合（変化率）が高かったのは、「つまらない」で、ゼロから9.1%になった。次いで、「苦しい」で1.32倍、「社会人としての義務」1.24倍だった。
 前回と比較して減少の割合（変化率）が高かったのは、「やりがいがある」で0.85倍だった。
 全国との比較で大きく差があったのは、「つまらない」で3.25倍。次いで、「社会人としての義務」1.69倍だった。「苦しい」は0.65倍だった。



「仕事」「働くこと」のイメージで「とてもそう思う」と回答した割合

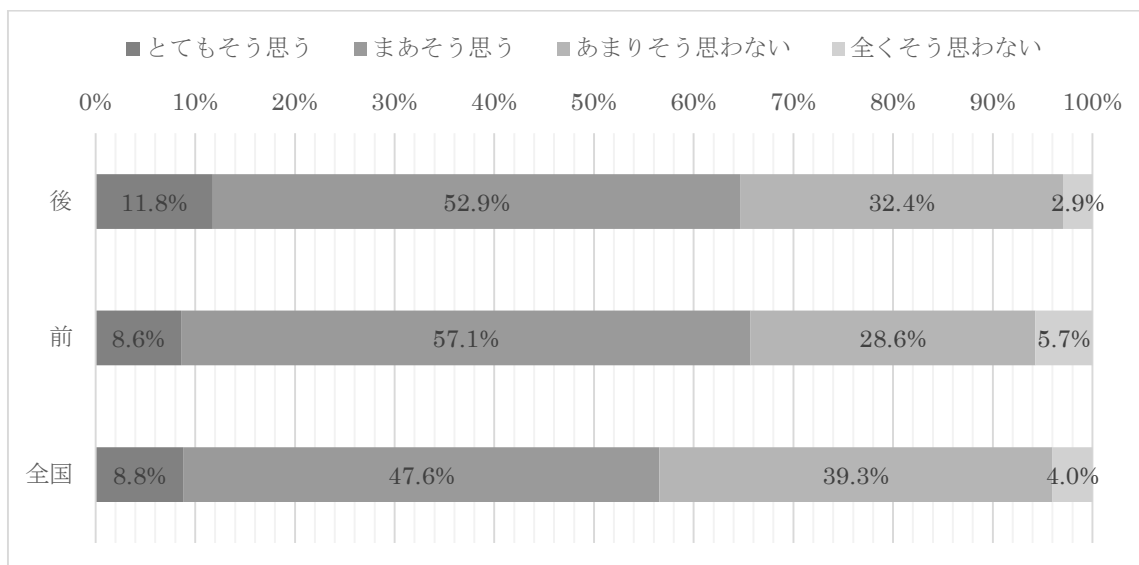
5.3.6 職業を選ぶにあたって重視すること

「収入」について、「とても重要」と回答した割合が58.8%で、前回と変わらず高い割合になった。
全国と比較するとほぼ同水準になった。



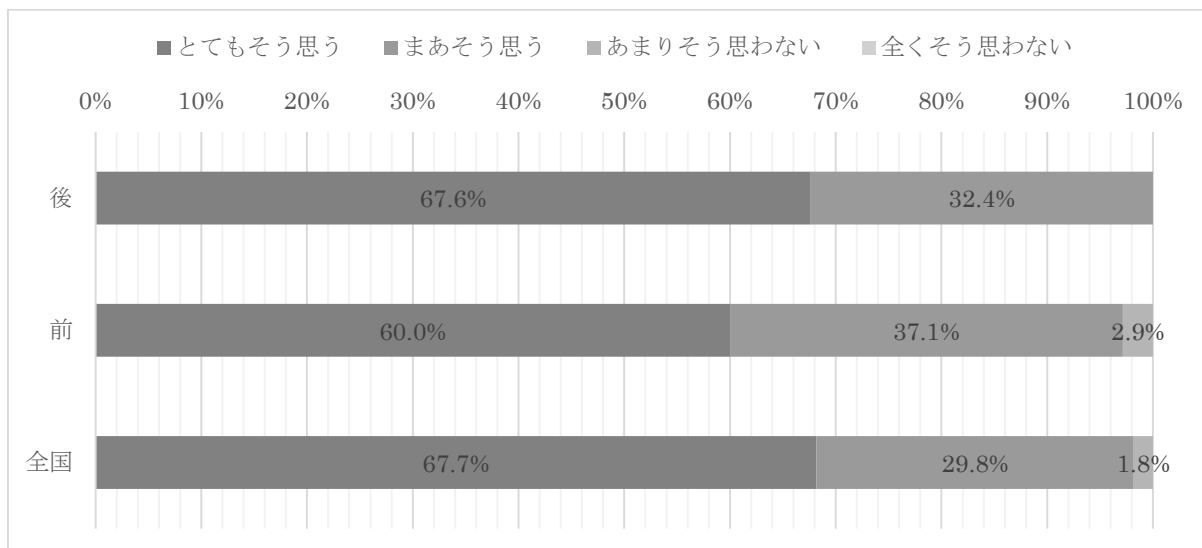
職業を選ぶにあたって重視すること：「収入」

「社会的地位」について、「とてもそう思う」が11.8%で、前回と比較すると3.2ポイント上昇した。「まあそう思う」を合わせると64.7%で、全国（56.4%）を8.3ポイント高かった。



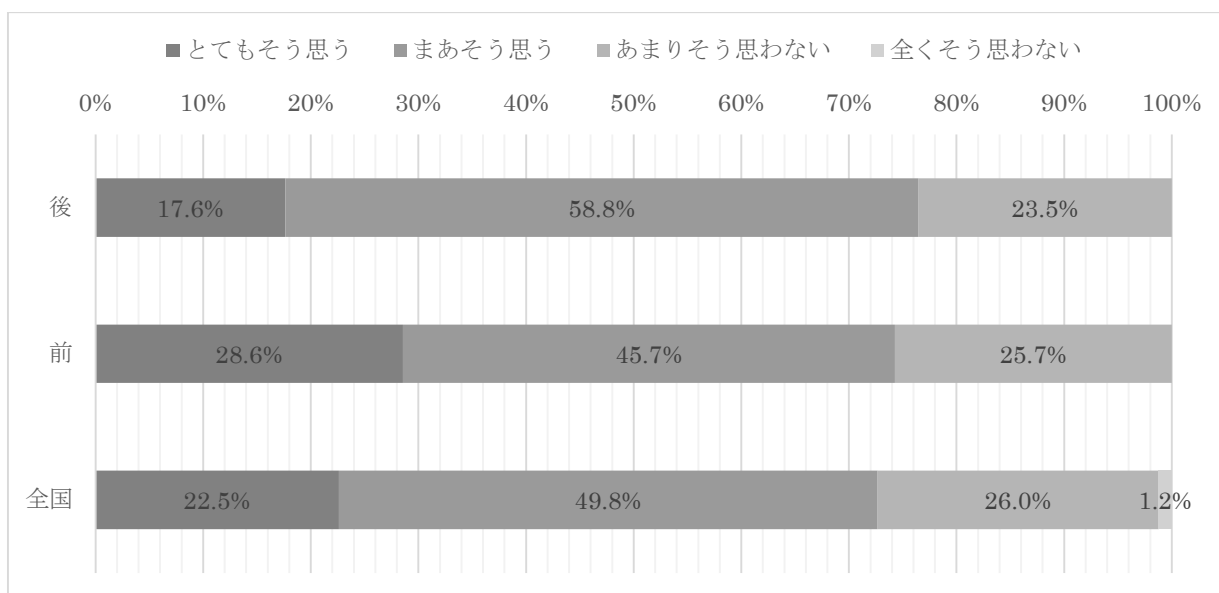
職業を選ぶにあたって重視すること：「社会的地位」

「安定性」について、「とてもそう思う」が67.6%で、前回より7.6ポイント上昇した。
全国と比較するとほぼ同値になった。
※全国データは、男女比調整データ



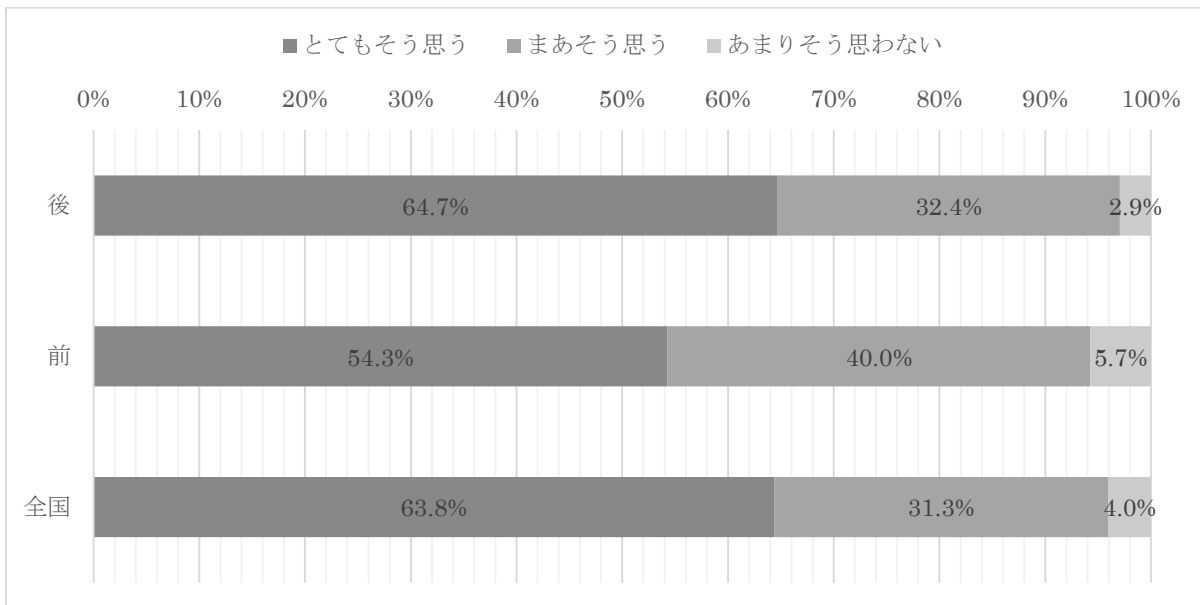
職業を選ぶにあたって重視すること：「安定性」

「仕事の内容ややり方を自分で決められる」について、「とてもそう思う」が17.6%で、前回と比較して11.0ポイント低下した。
全国（22.5%）と比較すると前回は6.1ポイント高かったが、今回は4.9ポイント低くなった。



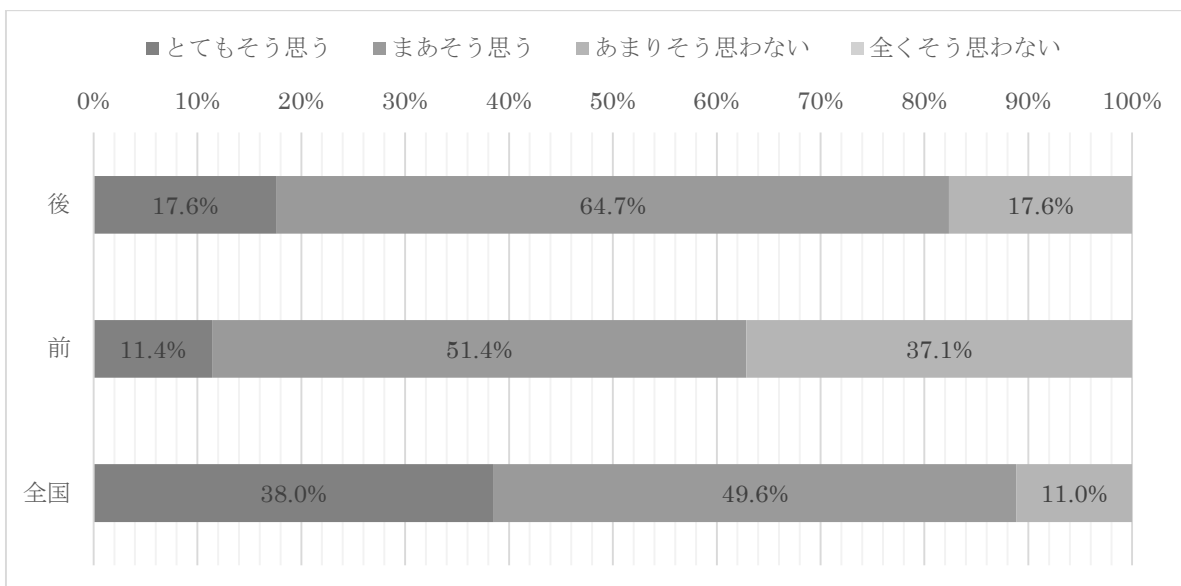
職業を選ぶにあたって重視すること：「仕事の内容ややり方を自分で決められる」

「自分の興味や好みに合っていること」について、「とてもそう思う」が64.7%で、前回と比較して10.4ポイント増加した。
全国と比較すると、ほぼ同値になった。



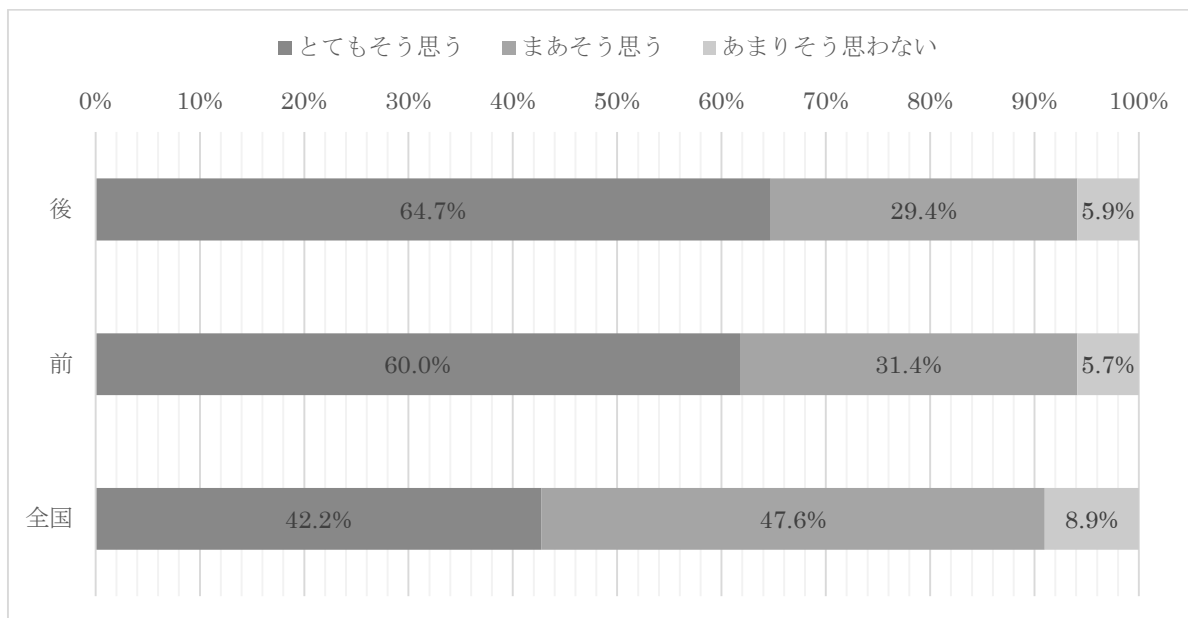
職業を選ぶにあたって重視すること：「自分の興味や好みに合っていること」

「働く時間を自由に決めること」について、「とてもそう思う」が17.6%で、前回と比較すると6.2ポイント上昇した。
全国（38.0%）と比較すると低く、その差は20.4ポイントある。



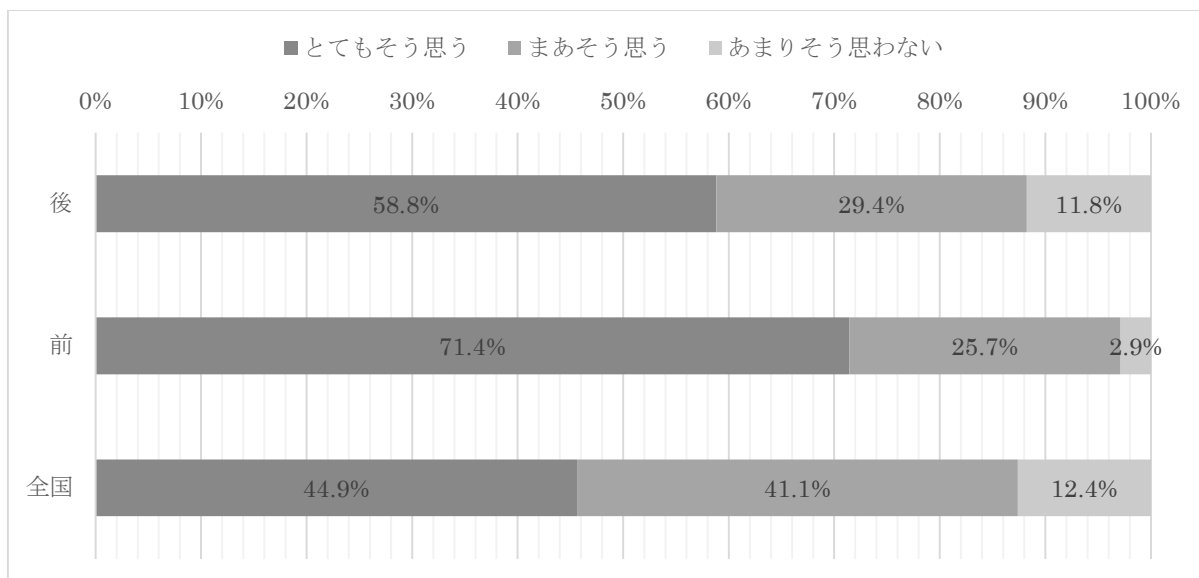
職業を選ぶにあたって重視すること：「働く時間を自由に決めること」

「能力を発揮できること」について、「とてもそう思う」が64.7%で、前回より4.7ポイント上昇した。
全国（42.2%）と比較すると、その差は大きく22.5ポイントあった。



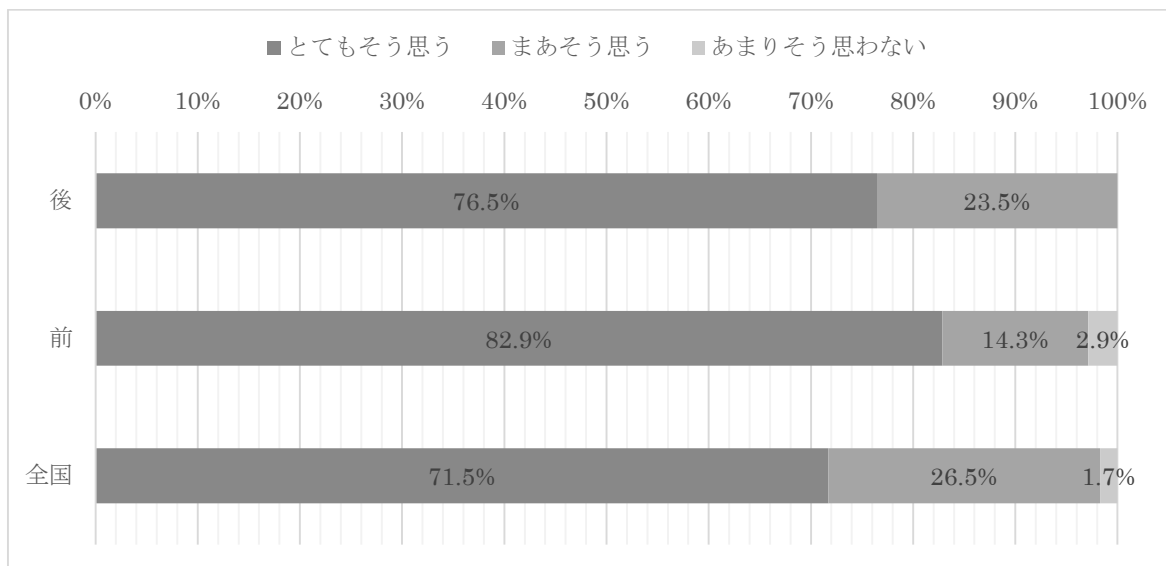
職業を選ぶにあたって重視すること：「能力を発揮できること」

「社会や人のために役立ち貢献できること」について、「とてもそう思う」が58.8%で、前回と比較すると12.6ポイント低下した。
全国（44.9%）と比較すると、13.9ポイント高い。



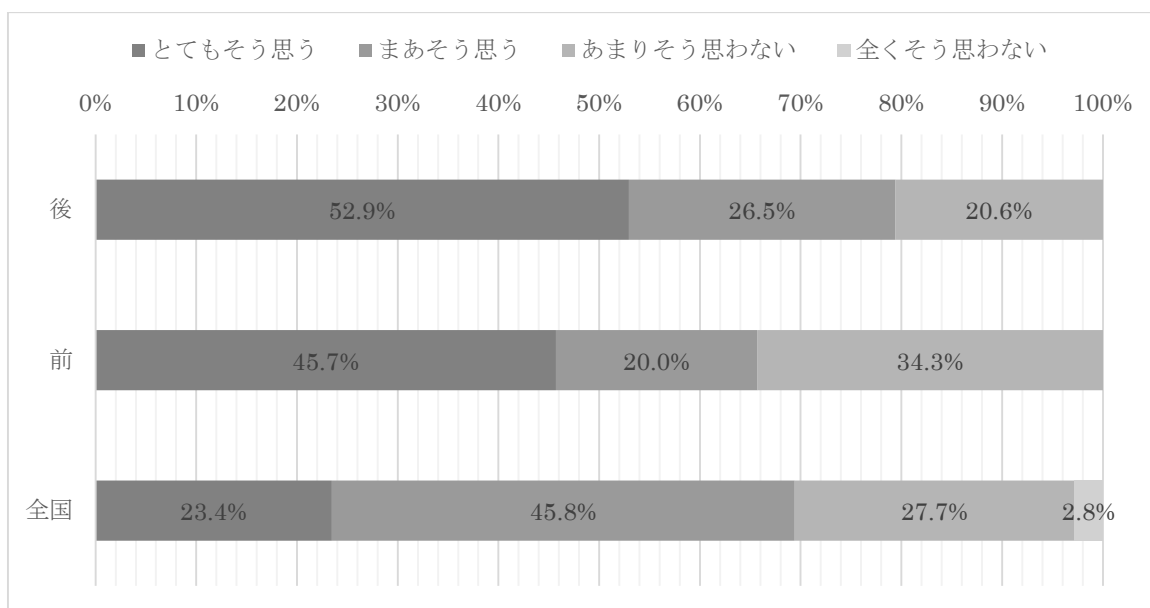
職業を選ぶにあたって重視すること：「社会や人のために役立ち貢献できること」

「働きやすいこと（仕事の環境）」について、「とてもそう思う」が76.5%で、前回と比較すると6.4ポイント低下した。
全国と比較すると、5.0ポイント高かった。



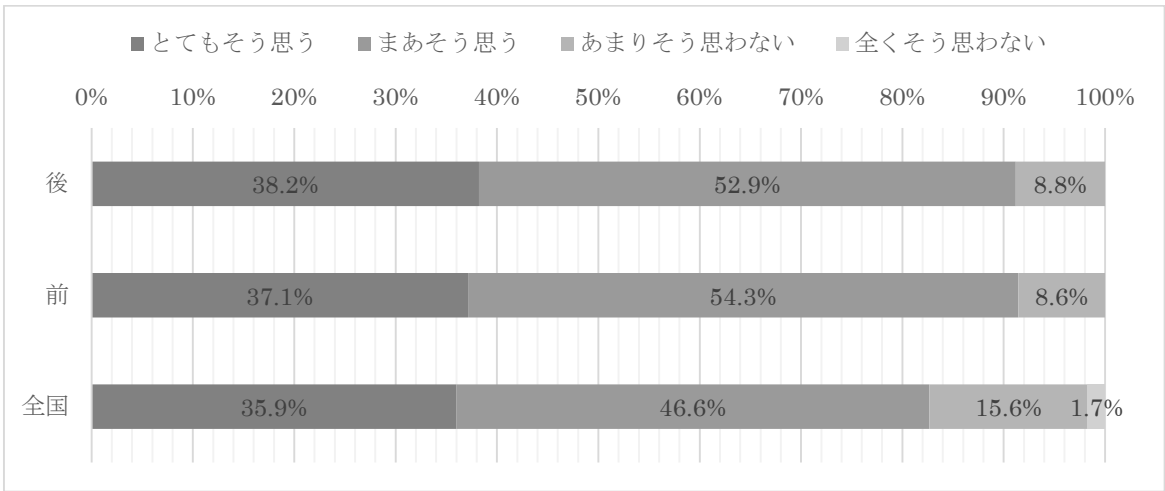
職業を選ぶにあたって重視すること：「働きやすいこと（仕事の環境）」

「新しいことにチャレンジできること」について、「とてもそう思う」が52.9%で、前回と比較して7.2ポイント上昇した。
全国と比較すると、29.5ポイント高く、その差は2倍以上だった。



職業を選ぶにあたって重視すること：「新しいことにチャレンジできること」

「勤務地の場所」について、「とてもそう思う」が38.2%だった。前回とほぼ変化はなかった。全国と比較してもその差は2.3ポイントでほぼ同値だった。



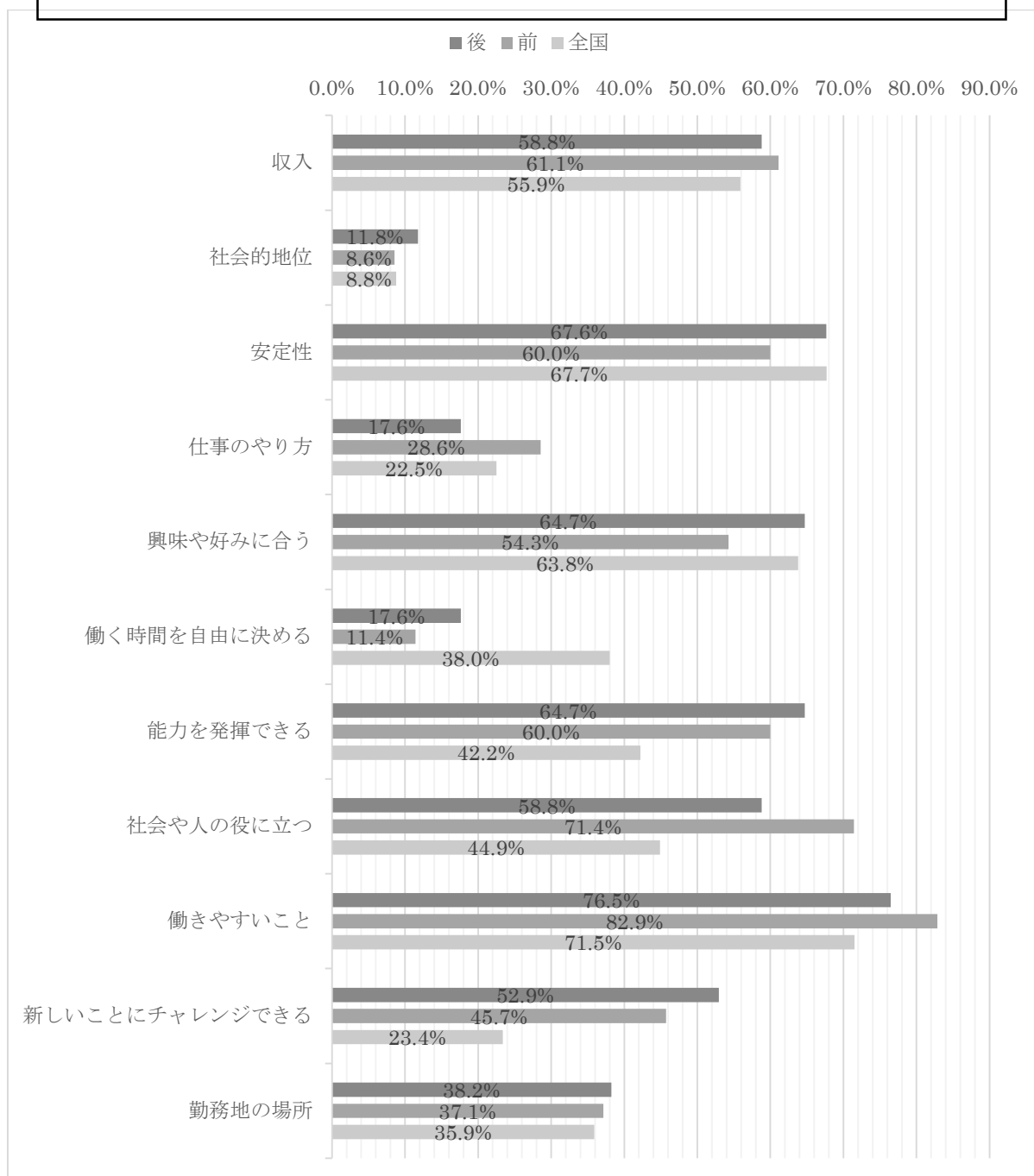
職業を選ぶにあたって重視すること：「勤務地の場所」

5.3.7 職業を選ぶ際に重視することの11項目について、「とてもそう思う」と回答した割合をまとめた。

前回と比較して増加の割合（変化率）が高かったのは、「働く時間を自由に決める」で1.54倍、次いで、「社会的地位」で1.37倍になった。

前回と比較して減少の割合（変化率）が高かったのは、「仕事のやり方を自由に決めることができる」で0.62倍だった。

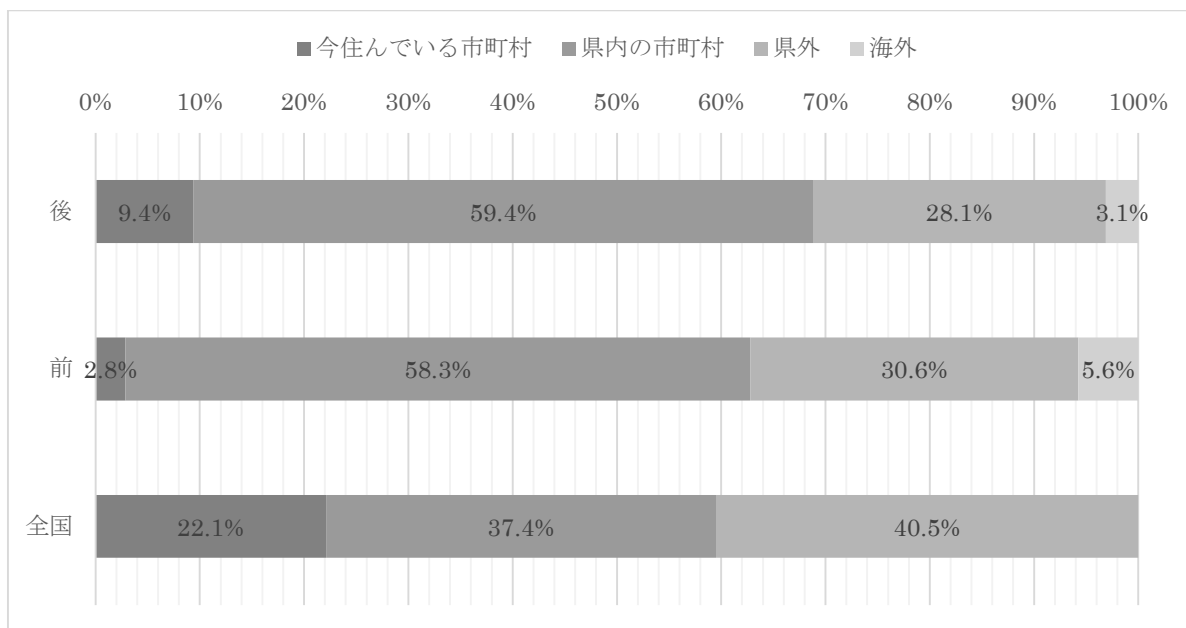
全国との比較で大きく差があったのは、「新しいことにチャレンジできる」で、2.26倍、次いで「能力を発揮できる」で1.53倍、「社会的地位」1.34倍、「社会や人の役に立つ」1.31倍だった。2分の1を下回ったのは、「働く時間を自由に決める」で0.46倍だった。



職業を選ぶにあたって重視することで「とても重要（そう思う）」と回答した割合

5.3.8 希望する勤務地

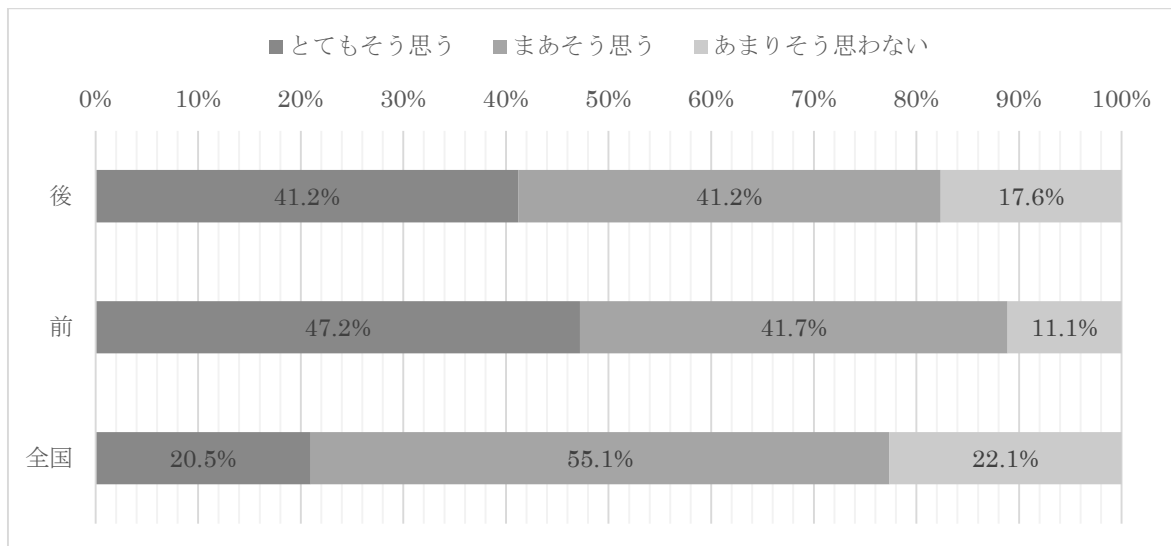
「希望する勤務地」について、「今住んでいる市町村」は9.4%で、前回と比較して6.6ポイント上昇した。「今住んでいる市町村」と「県内」を合計すると68.8%で、前回と比較して7.7ポイント上昇した。
全国と比較して県内志向は、9.3ポイント高い。



希望する勤務地

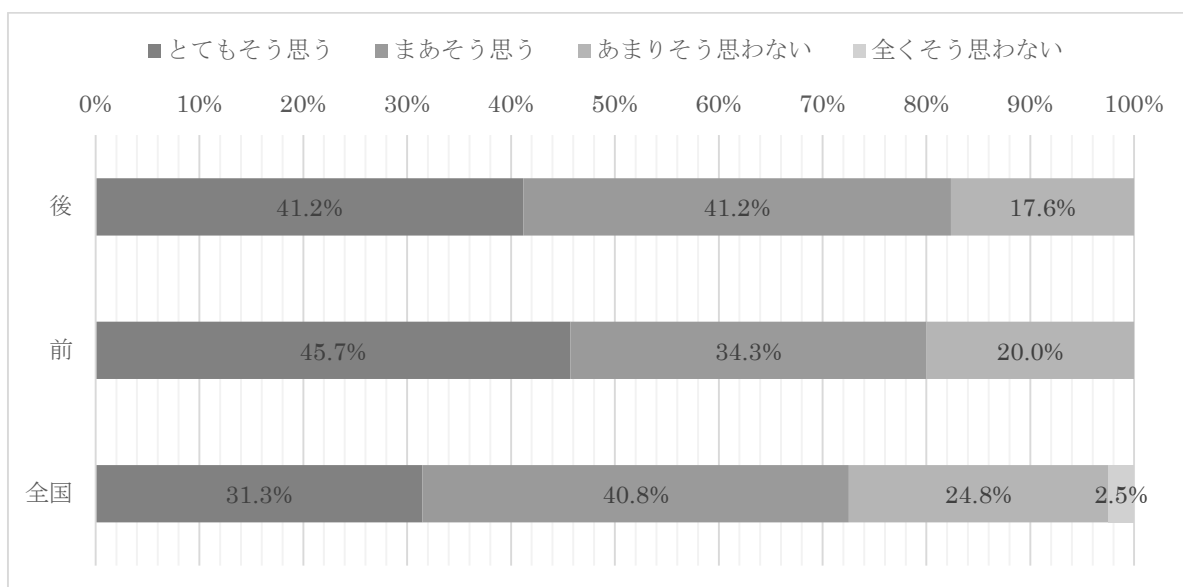
5.3.9 仕事に関する意識・考え

「やりたいことに困難があっても挑戦したい」について、「とてもそう思う」が41.2%で、前回と比較して6.0ポイント減少した。
全国（20.5%）と比較すると2.01倍高い。



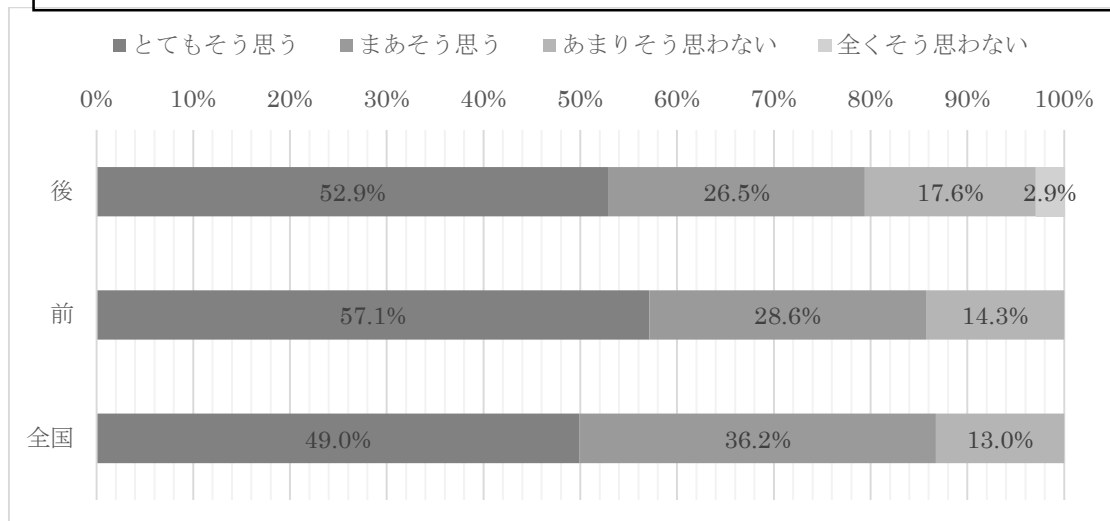
やりたいことに困難があっても挑戦したい

「若いうちはいろいろな仕事を体験したい」について、「とてもそう思う」が41.2%で、前回と比較して4.5ポイント低下した。「まあそう思う」と合わせると、82.4%で前回より2.4ポイント上昇した。
全国（72.1%）と比較すると10.3ポイント高い。



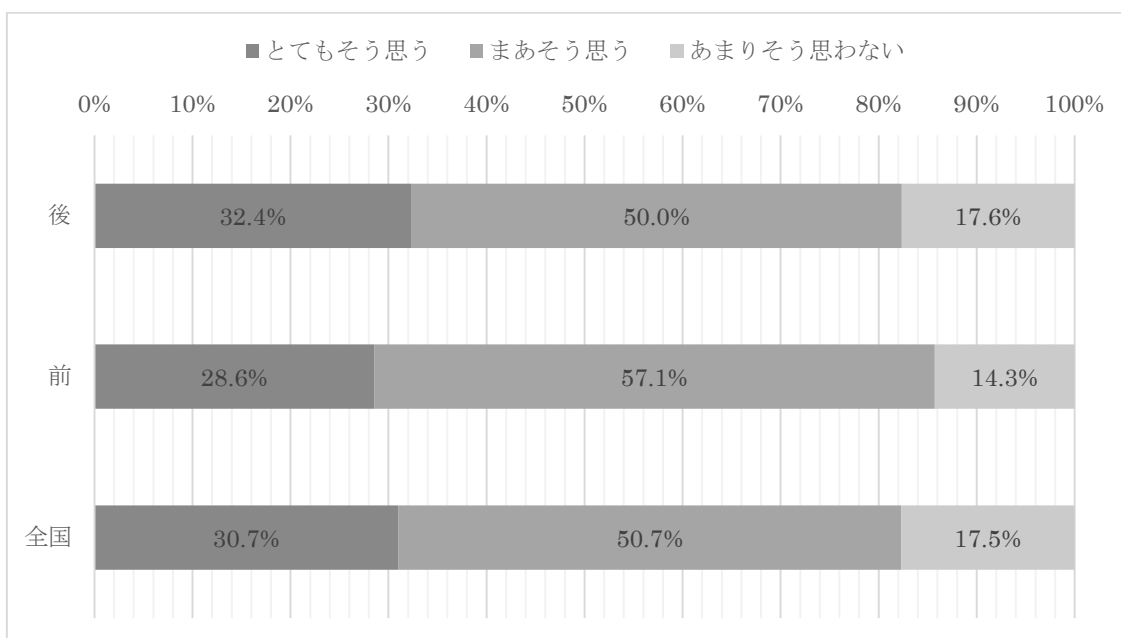
若いうちはいろいろな仕事を体験したい

「暮らしていける収入があればのんびり暮らしたい」について、「とてもそう思う」「まあそう思う」が79.4%で、前回と比較すると6.3ポイント低下した。
全国（85.2%）より5.8ポイント低かった。



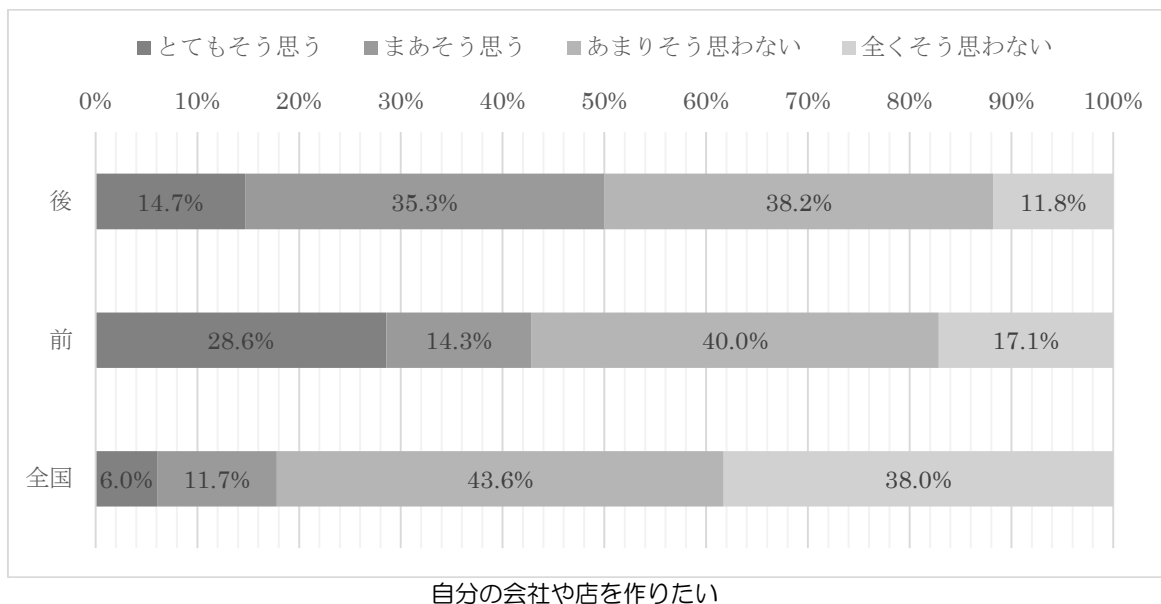
暮らしていける収入があればのんびり暮らしたい

「仕事よりも自分の趣味や自由な時間を大切にしたい」について、「とてもそう思う」「まあそう思う」が82.4%で、前回と比較すると3.3ポイント低下した。
全国（81.4%）とほぼ同値だった。

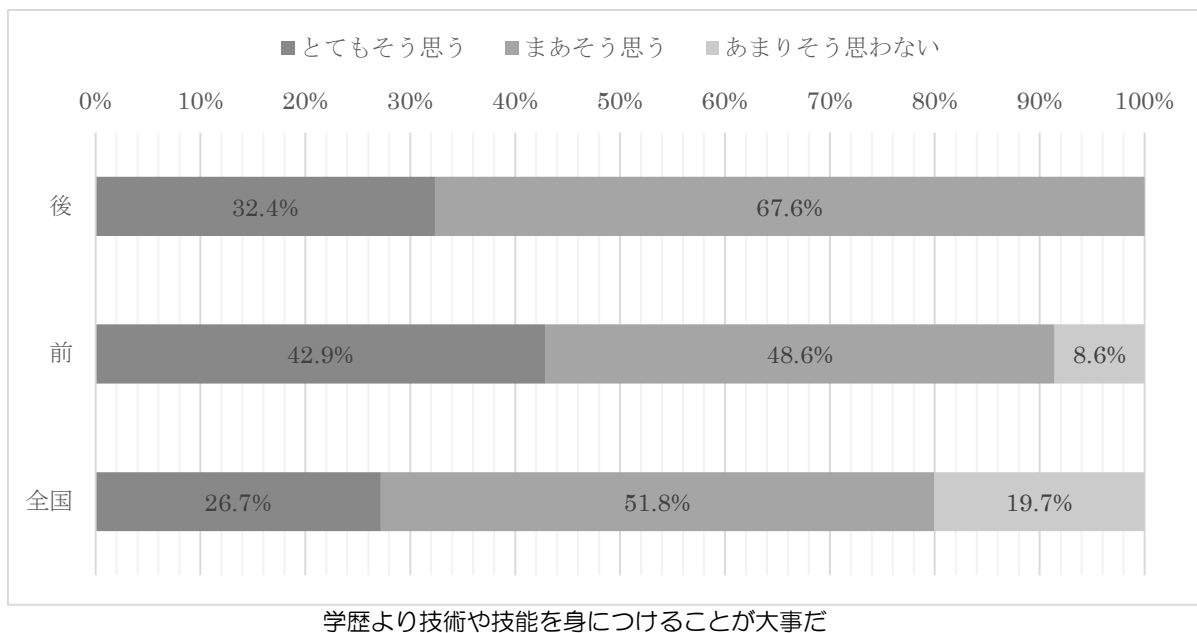


仕事よりも自分の趣味や自由な時間を大切にしたい

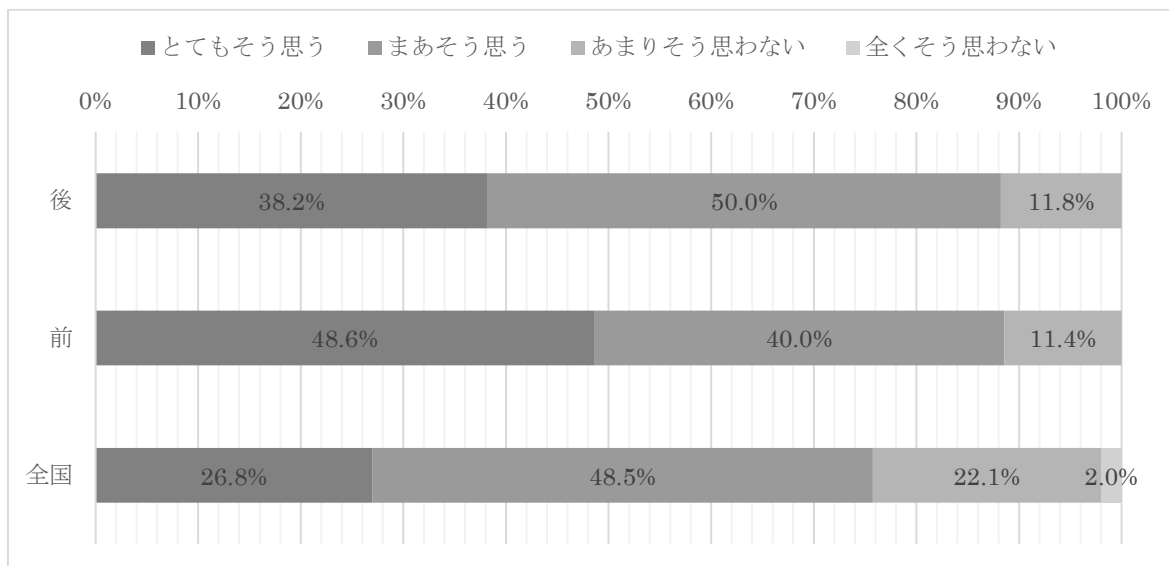
「自分の会社や店を作りたい」について、「とてもそう思う」が14.7%で、前回と比較すると13.9ポイント低下した。「まあそう思う」と合わせると、50.0%で、前回と比較すると7.1ポイント上昇した。全国（17.7%）との差は32.3ポイントで、2.83倍だった。



「学歴より技術や技能を身につけることが大事だ」について、「とてもそう思う」「まあそう思う」が100.0%で、前回と比較すると8.6ポイント上昇した。全国（78.5%）と比較して19.7ポイント大きい。

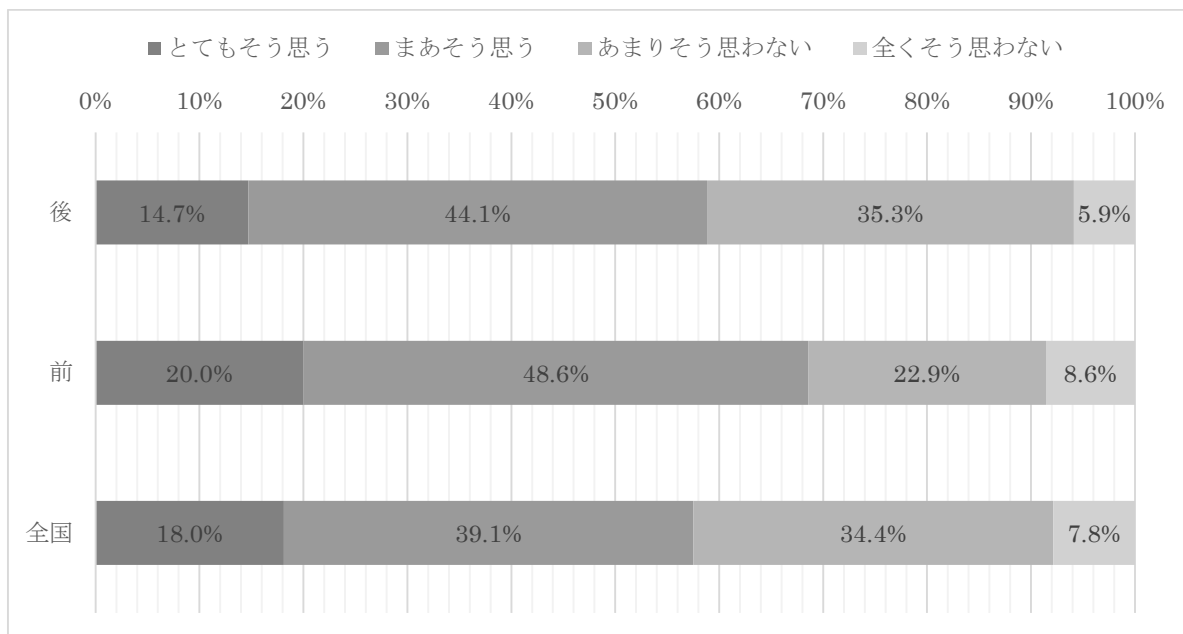


「周りに反対されても自分がやりたいことをしたい」について、「とてもそう思う」が38.2%で、前回と比較すると10.4ポイント減少した。「まあそう思う」と合わせると88.2%で変化はなかった。全国（75.3%）と比較すると、12.9ポイント高かった。



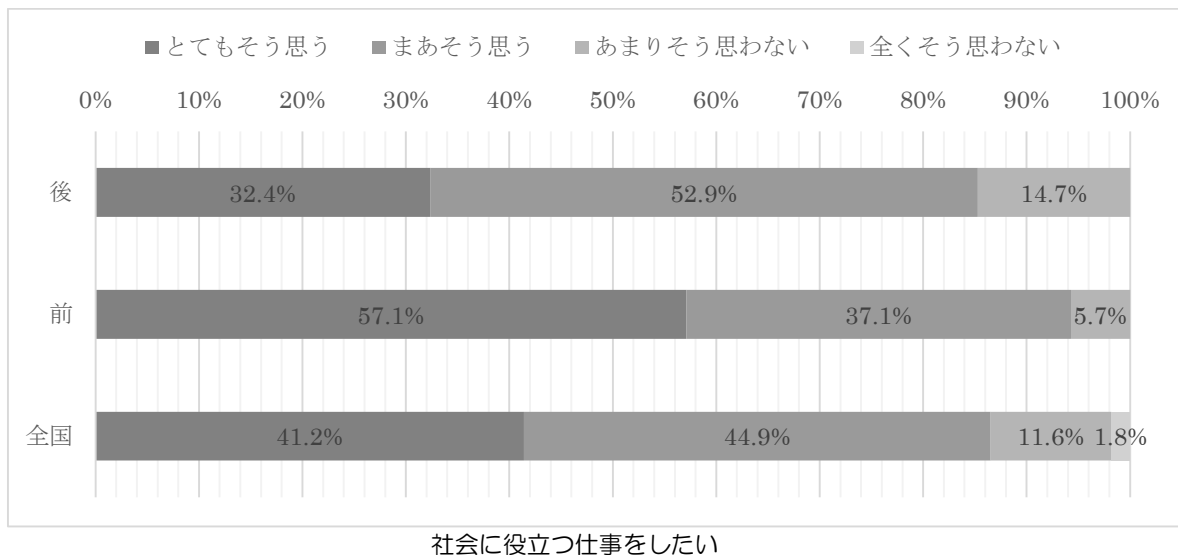
周りに反対されても自分がやりたいことをしたい

「地元で仕事や生活をしたい」について、「とてもそう思う」「まあそう思う」が58.8%で、前回と比較すると9.8ポイント低下した。全国（57.1%）と比較するとほぼ同値だった。

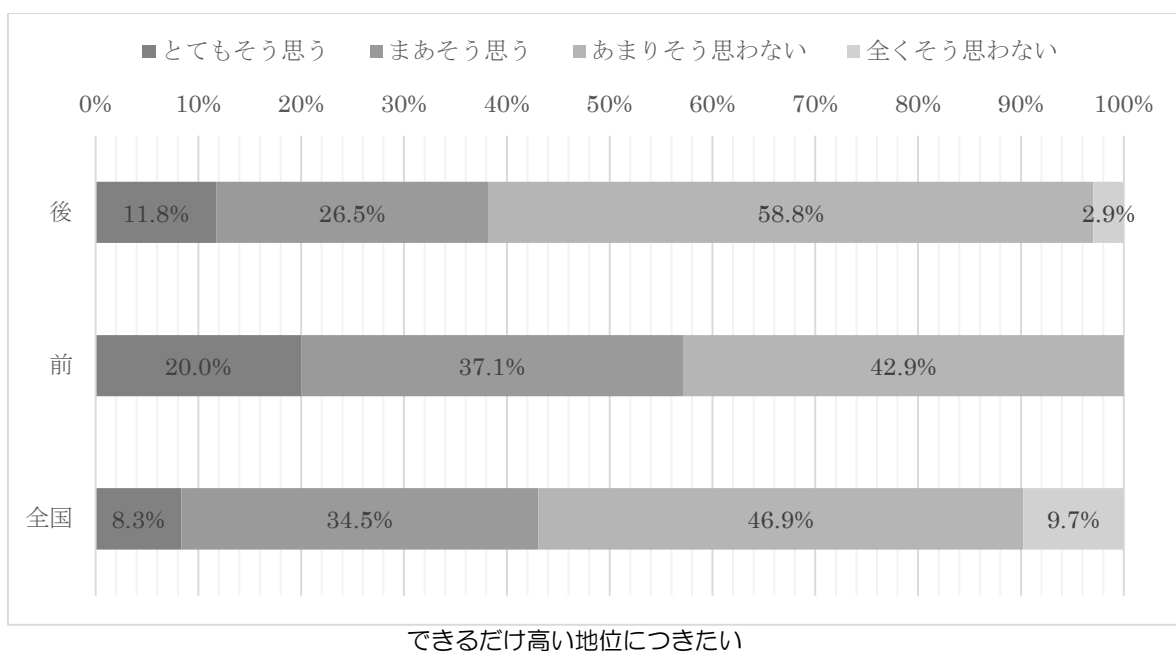


地元で仕事や生活をしたい

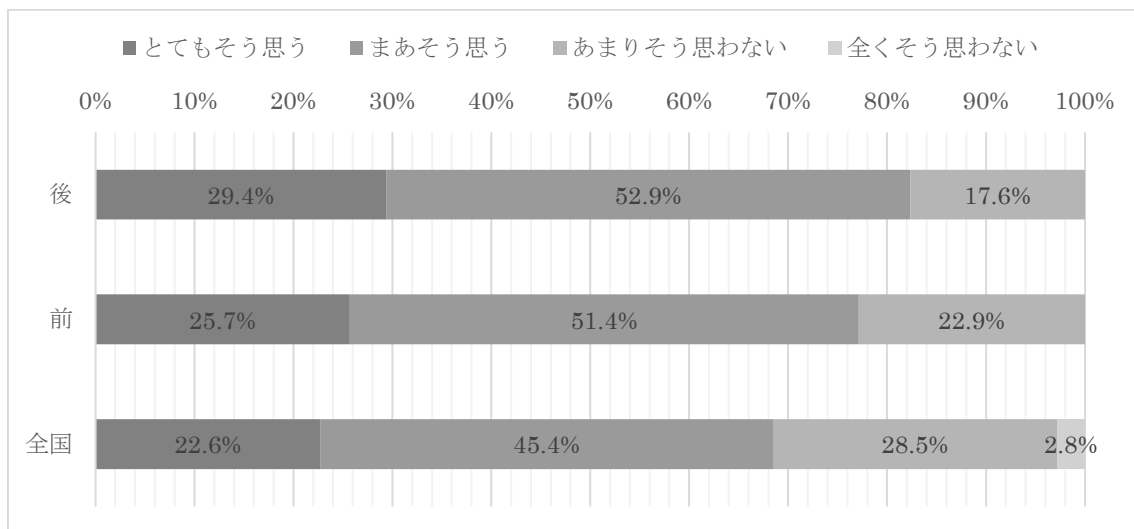
「社会に役立つ仕事をしたい」について、「とてもそう思う」が32.4%で、前回と比較すると24.7ポイント低下した。「まあそう思う」と合わせると、85.3%で、前回より9.0ポイント低下した。
「とてもそう思う」の全国（41.2%）と比較しても、8.8ポイント低かった。「まあそう思う」と合わせるとほぼ同値だった。



「できるだけ高い地位につきたい」について、「とてもそう思う」が11.8%で、前回と比較すると8.2ポイント低下した。「まあそう思う」と合わせると38.3%で、前回と比較すると18.8ポイント低下した。
全国（42.8%）と比較すると4.5ポイント低かった。

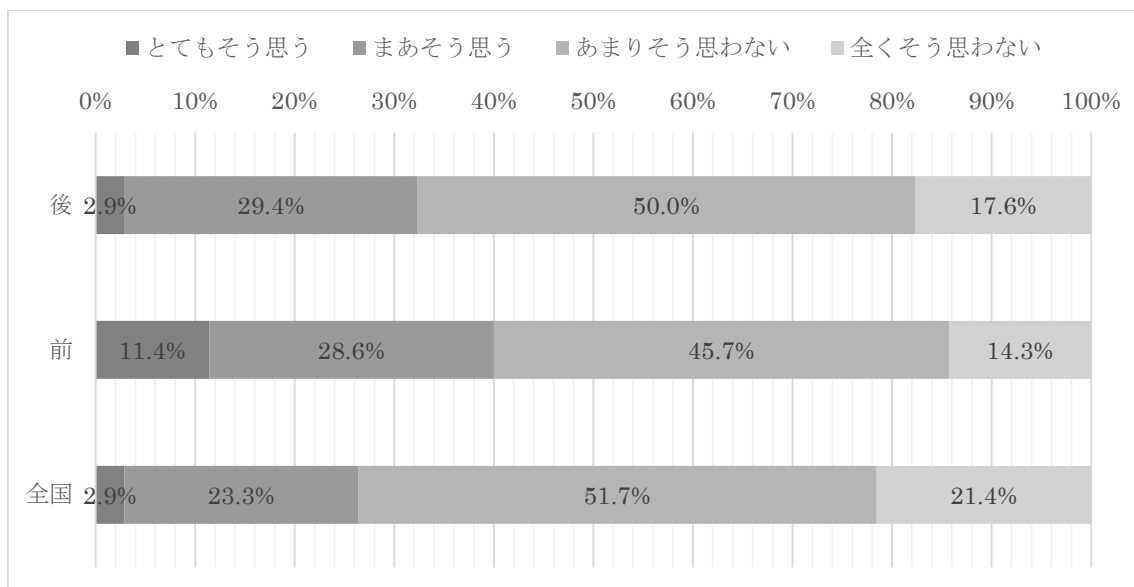


「よりよい職場があれば積極的に転職した方がよい」について、「とてもそう思う」が29.4%で、前回と比較すると3.7ポイント上昇した。
「まあそう思う」と合わせると82.3%で、全国（68.0%）と比較すると14.3ポイント高かった。



よりよい職場があれば積極的に転職した方がよい

「望む仕事につけなくても、がまんして働くべきだ」について、「とてもそう思う」「まあそう思う」が32.3%で、前回と比較して7.7ポイント低下した。
全国（26.2%）と比較して、6.1ポイント高かった。



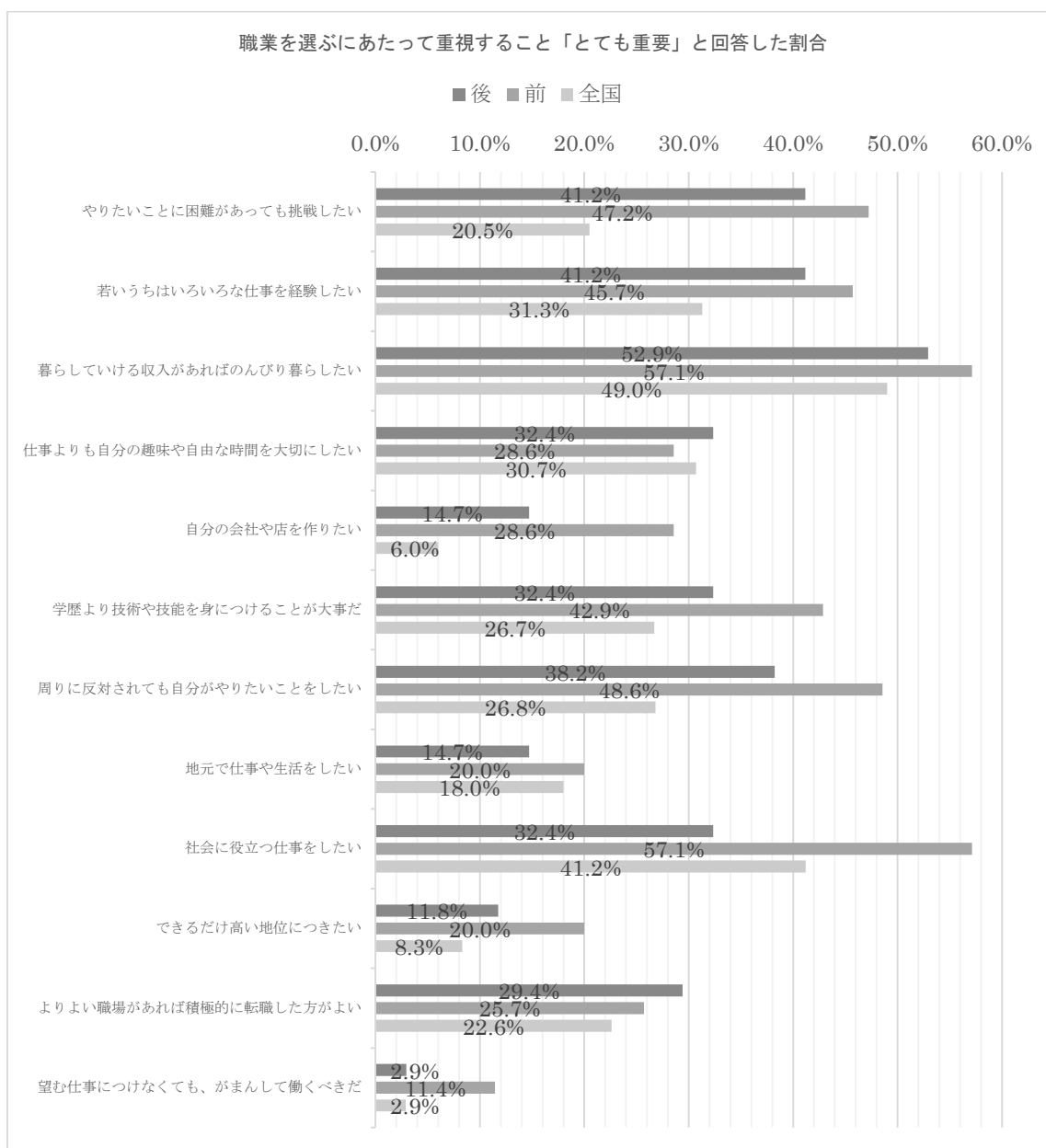
望む仕事につけなくても、がまんして働くべきだ

5.3.10 仕事に関する意識・考えの12項目について、「とてもそう思う」と回答した割合をまとめた。

前回と比較して増加の割合（変化率）が高かったのは、「よりよい職場があれば積極的に転職した方がよい」で1.14倍、次いで、「仕事よりも自分の趣味や自由な時間を大切にしたい」で1.13倍になった。

前回と比較して減少の割合（変化率）が高かったのは、「望む仕事に就けなくてもがまんして働くべきだ」で0.26倍だった。次いで、「自分の会社や店を作りたい」で0.51倍、「社会や人の役に立つ」0.57倍、「できるだけ高い地位につきたい」0.59倍だった。

全国との比較で大きく差があったのは、「自分の会社や店を作りたい」で2.45倍だった。次いで、「やりたいことに困難があっても挑戦したい」2.01倍、「周りに反対されても自分がやりたいことをしたい」1.43倍、「できるだけ高い地位につきたい」1.42倍だった。



仕事に関する意識・考えで「とてもそう思う」と回答した割合

5.4 南部商業高等学校 職業イメージ変容調査・プログラム評価

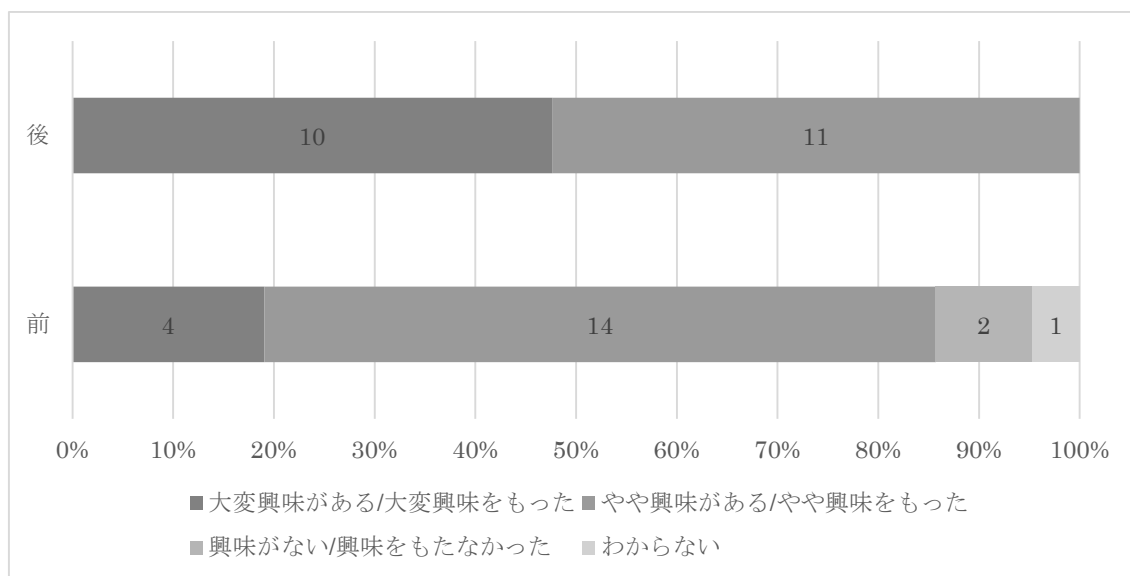
実施概要

日時 令和6年1月29日 13:50~15:40
対象 沖縄県立南部商業高等学校 観光クリエイト科 2年生
人数 21名
講師 インターナショナルリゾートカレッジ 田村明子先生
内容 ホテル・ブライダルの仕事について

5.4.1 語学を活用する職業に関する、興味度と理解度

5.4.1.1 「この仕事に興味がありますか？/興味をもちましたか？」

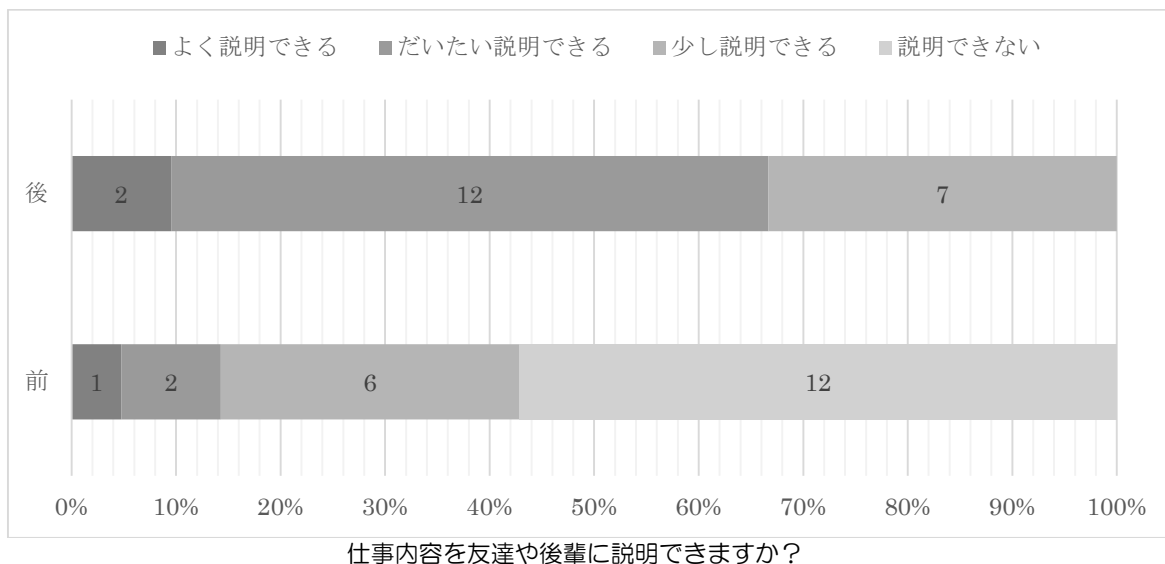
「大変興味をもつ」生徒が4人から10人になった。興味関心度は、22ptから31ptに上昇した。興味関心度は「大変興味がある/大変興味をもった」を2点、「やや興味がある/やや興味をもった」を1点とし回答数を乗じた。



この仕事に興味がありますか？/興味をもちましたか？

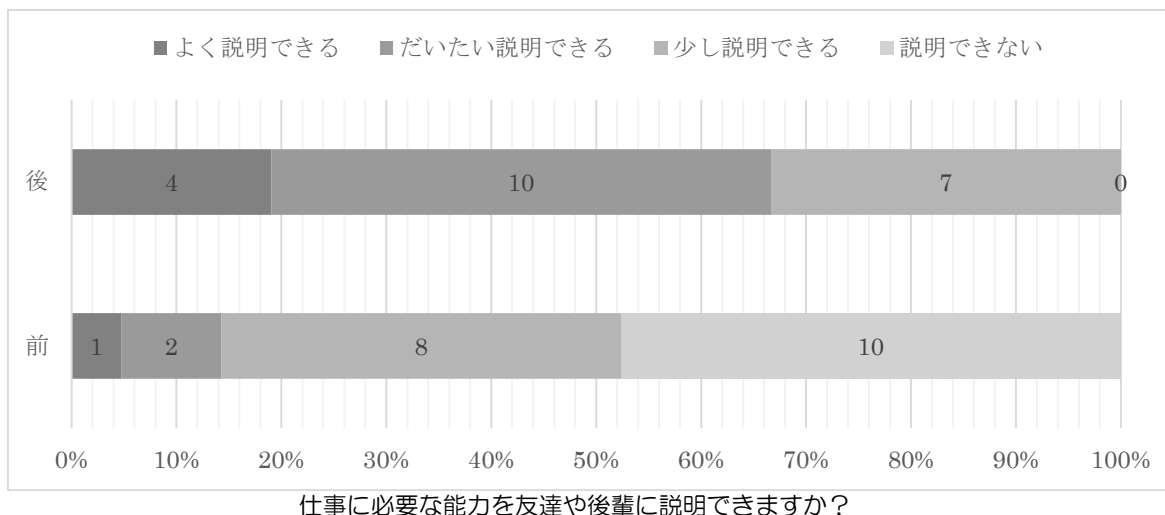
5.4.1.2 「仕事内容を友達や後輩に説明できますか？」

説明できなかった生徒が12人いたが、0人になった。よく説明できる、だいたい説明できる生徒が3人から14人になった。理解（説明）度は、13ptから37ptに上昇した。
理解（説明）度は「よく説明できる」を3点、「だいたい説明できる」を2点、「少し説明できる」を1点とし回答数を乗じた。



5.4.1.3 「仕事に必要な能力を友達や後輩に説明できますか？」

説明できなかった生徒が10人いたが、ゼロになった。よく説明できる、だいたい説明できる生徒が3人から14人になった。理解（説明）度は、15ptから39ptに上昇した。
理解（説明）度は「よく説明できる」を3点、「だいたい説明できる」を2点、「少し説明できる」を1点とし回答数を乗じた。

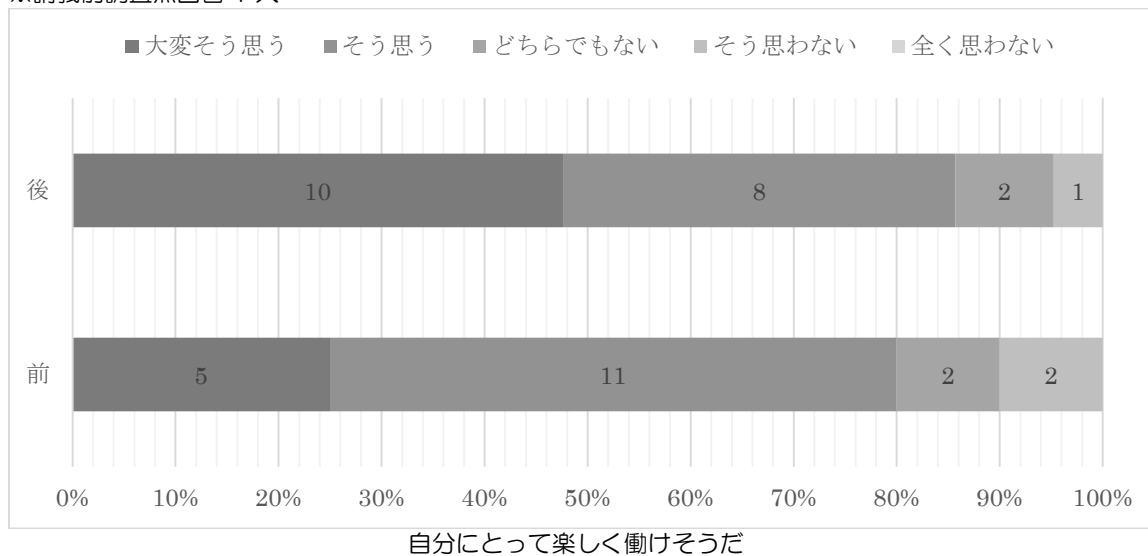


5.4.2 語学を活用する職業イメージの変容

5.4.2.1 「自分にとって楽しく働けそうだ」

大変そう思う生徒が5人から10人に増えた。職業イメージ度は、19ptから27ptになった。
職業イメージ度：「大変そう思う」を2点、「そう思う」を1点、「どちらでもない」を0点、「そう思わない」を-1点、全く思わないを-2点とし回答数を乗じた。

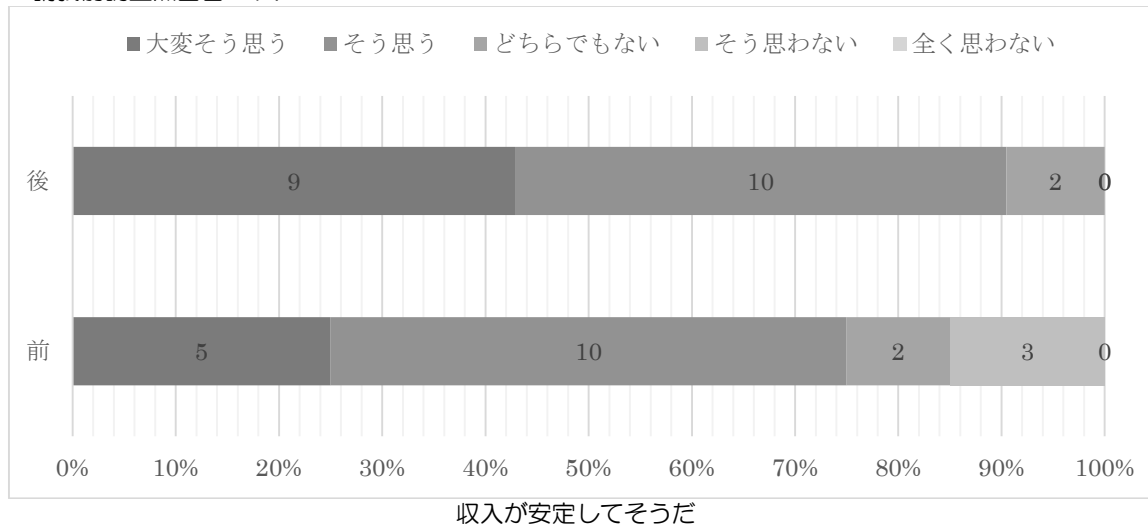
※講義前調査無回答1人



5.4.2.2 「収入が安定してそうだ」

大変そう思う生徒が5人から9人に増えた。
職業イメージ度は、17ptから28ptに変化した。

※講義前調査無回答1人

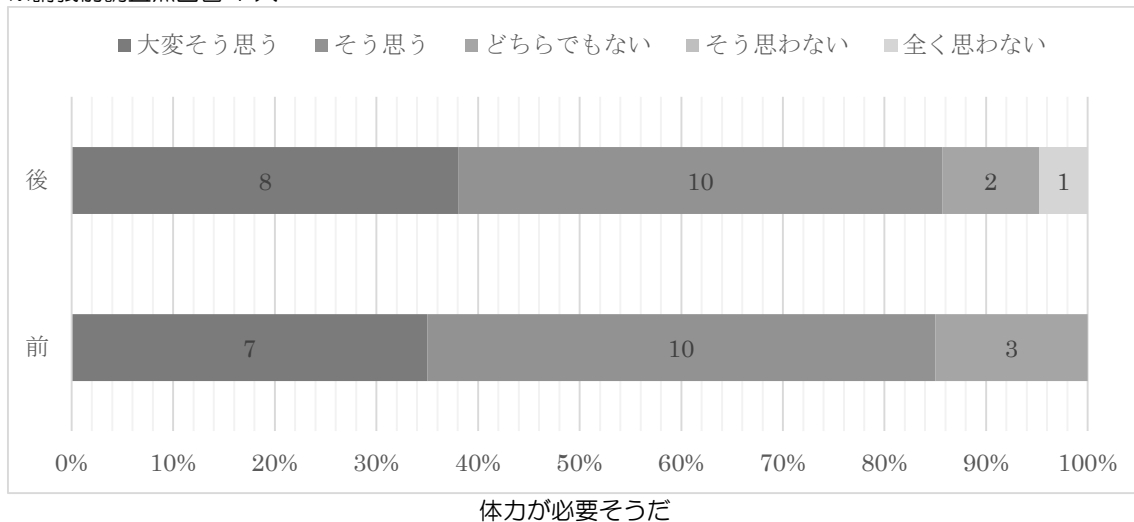


5.4.2.3 「体力が必要そうだ」

職業イメージに大きな変化はなかった。

職業イメージ度は、24pt で変化がなかった。

※講義前調査無回答 1 人

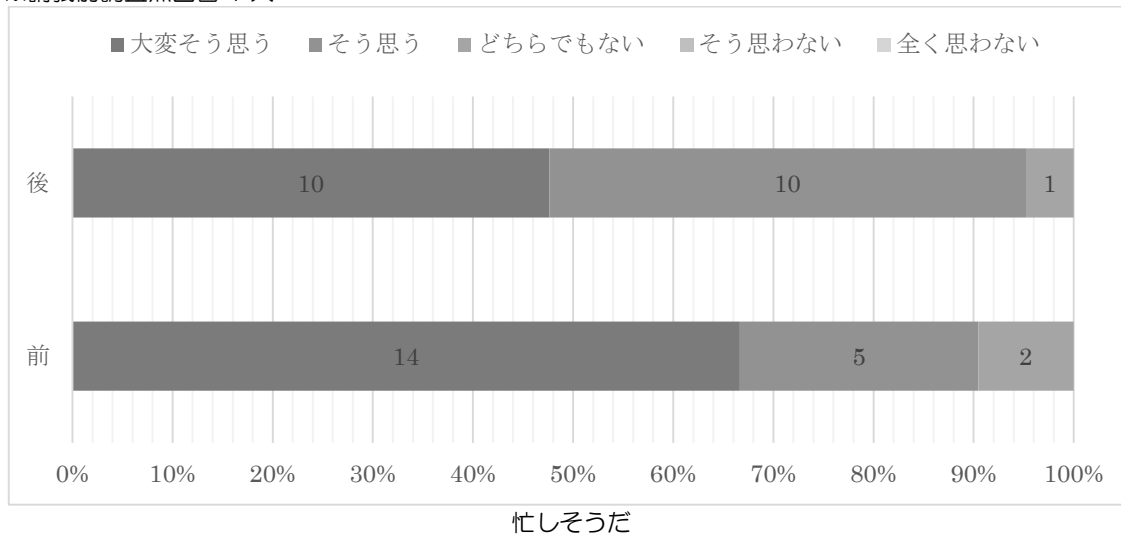


5.4.2.4 「忙しそうだ」

大変そう思う生徒が 14 人から 10 人に減った。

職業イメージ度は、33pt から 30pt になった。

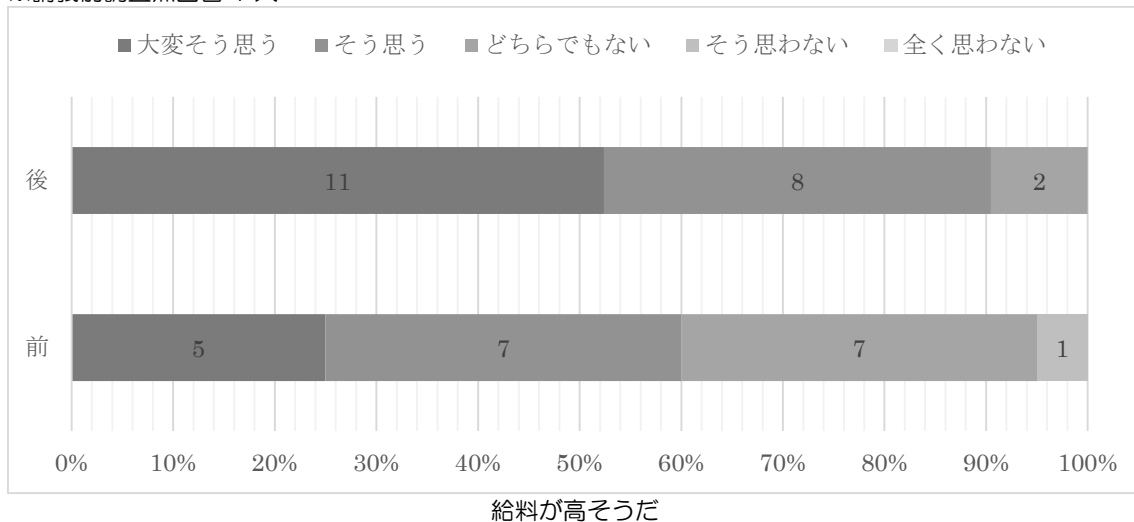
※講義前調査無回答 1 人



5.4.2.5 「給料が高そうだ」

大変そう思う生徒が5人から11人に増えた。
職業イメージ度は、16ptから30ptになった。

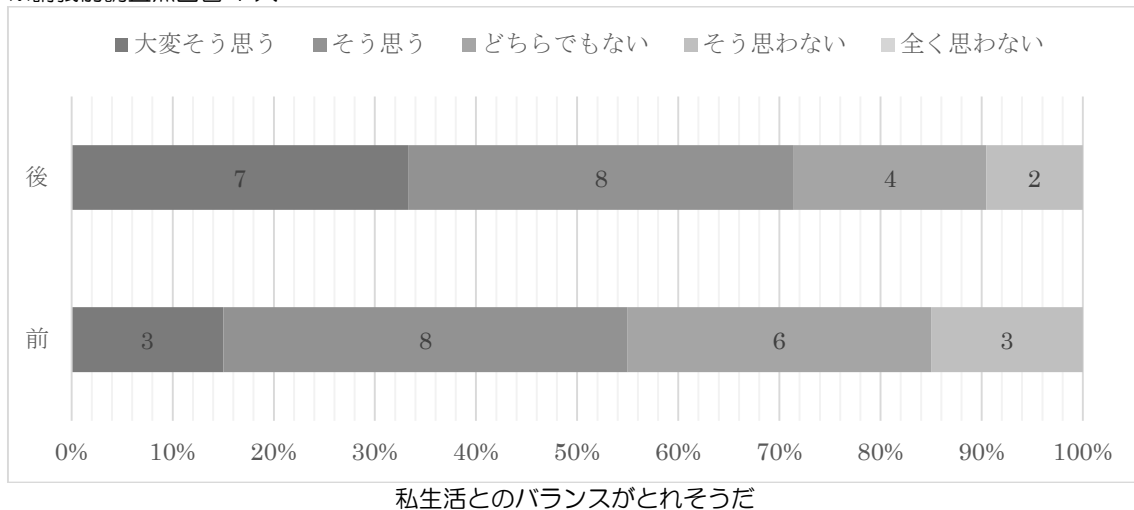
※講義前調査無回答1人



5.4.2.6 「私生活とのバランスがとれそうだ」

大変そう思う生徒が3人から7人に増えた。
職業イメージ度は、11ptから20ptに変化した。

※講義前調査無回答1人

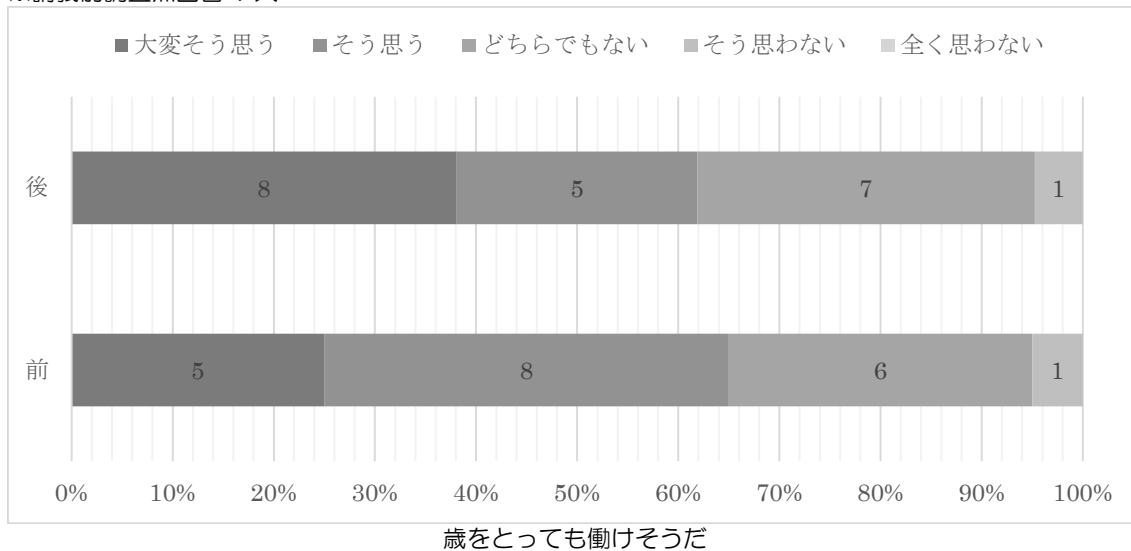


5.4.2.7 「歳をとっても働けそうだ」

大変そう思う生徒が5人から8人に増えた。

職業イメージ度は、17ptから20ptになった。

※講義前調査無回答1人

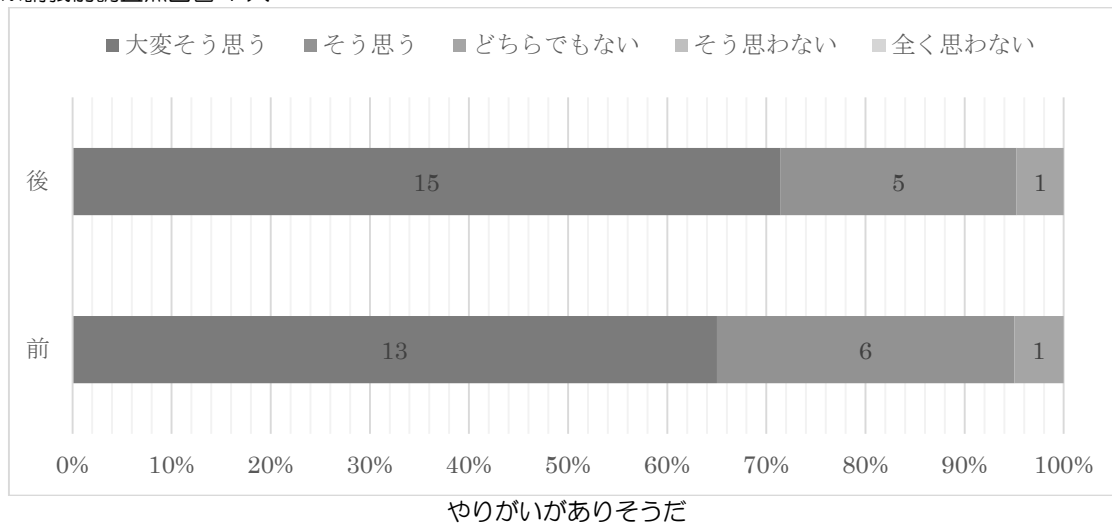


5.4.2.8 「やりがいがありそうだ」

職業イメージに大きな変化はなかった。

職業イメージ度は、32ptから35ptになった。

※講義前調査無回答1人

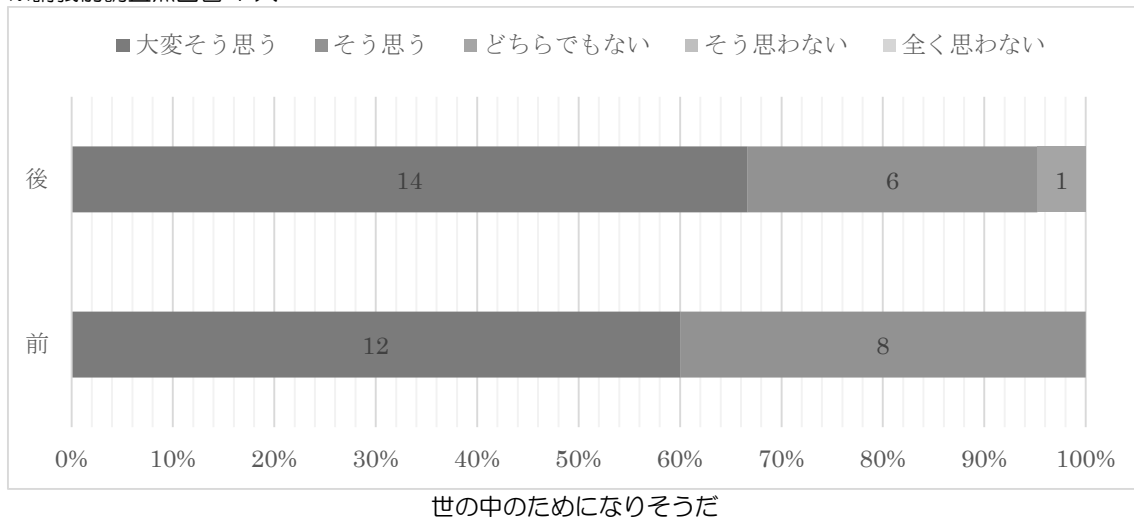


5.4.2.9 「世の中のためになりそうだ」

職業イメージに大きな変化はなかった。

職業イメージ度は、32ptから34ptになった。

※講義前調査無回答1人

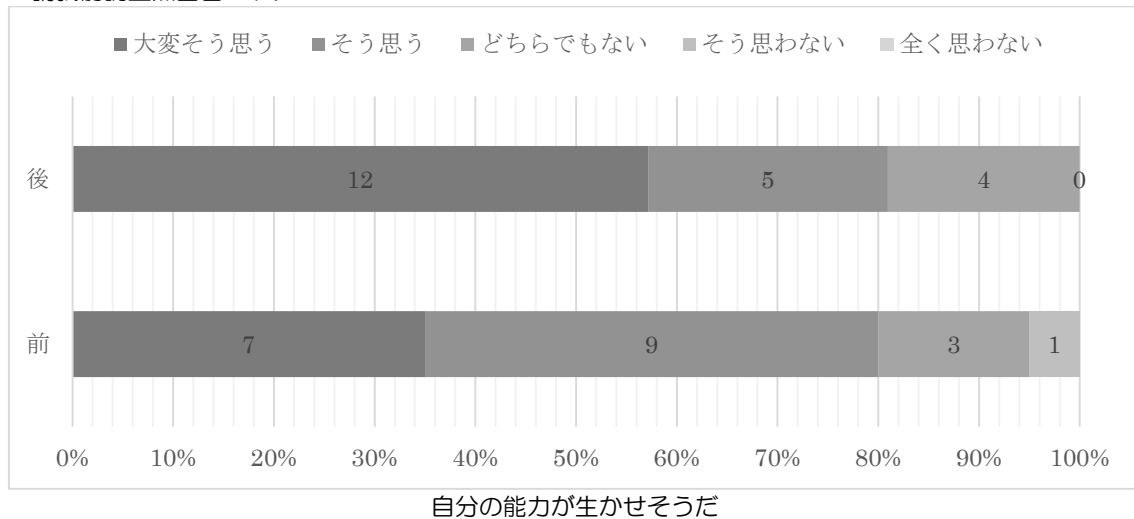


5.4.2.10 「自分の能力が生かせそうだ」

大変そう思う生徒が7人から12人に増えた。

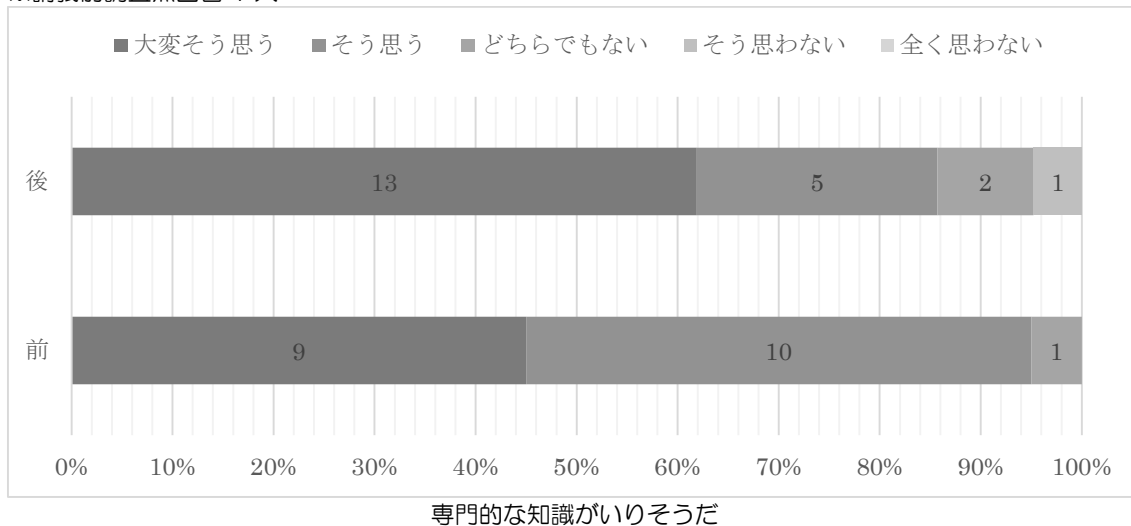
職業イメージ度は、22ptから29ptになった。

※講義前調査無回答1人



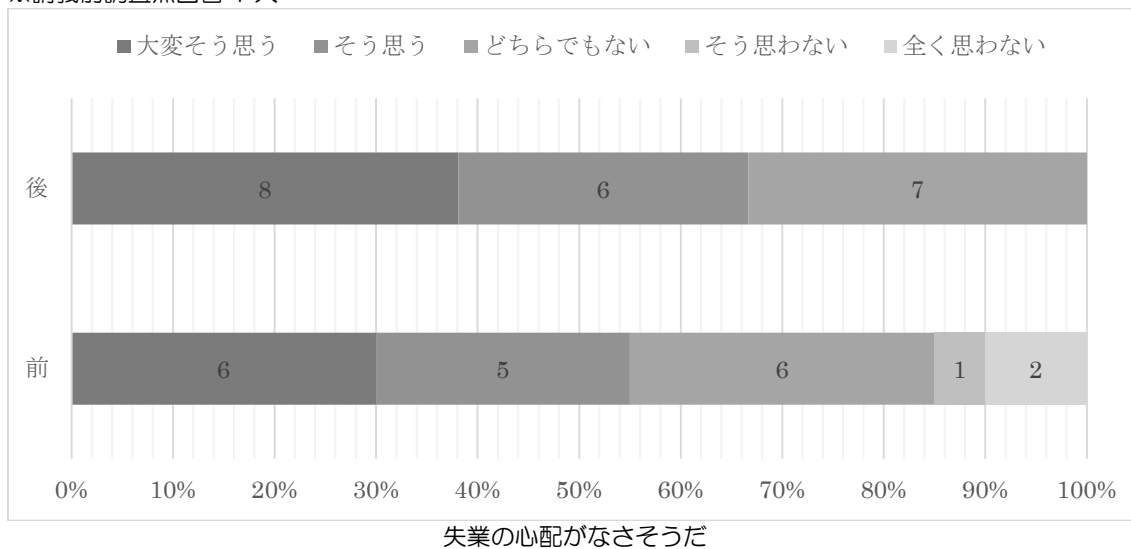
5.4.2.11 「専門的な知識がいりそうだ」
大変そう思う生徒が9人から13人に増えた。
職業イメージ度は、28ptから30ptになった。

※講義前調査無回答1人



5.4.2.12 「失業の心配がなさそうだ」
大変そう思う生徒が6人から8人になった。
職業イメージ度は、12ptから22ptに上昇した。

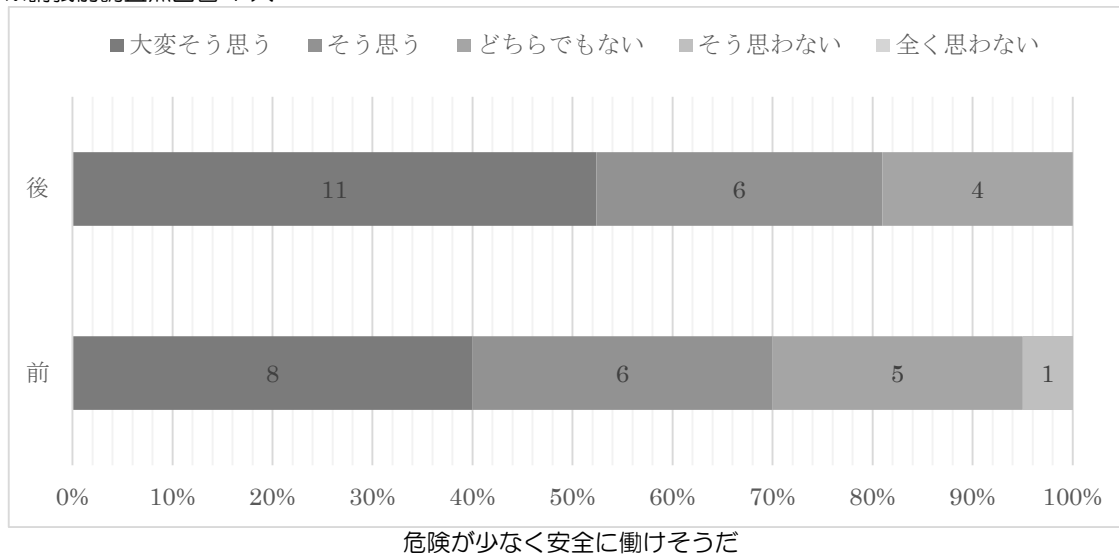
※講義前調査無回答1人



5.4.2.13 「危険が少なく安全に働けそうだ」

大変そう思う生徒が8人から11人に増えた。
職業イメージ度は、21ptから28ptになった。

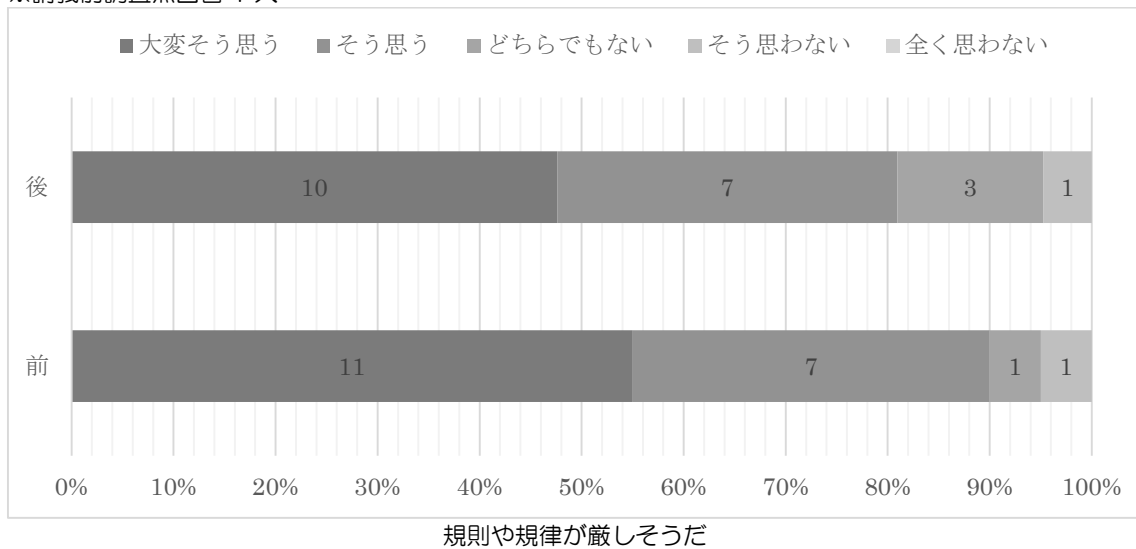
※講義前調査無回答1人



5.4.2.14 「規則や規律が厳しそうだ」

職業イメージに大きな変化はなかった。
職業イメージ度は、28ptから26ptになった。

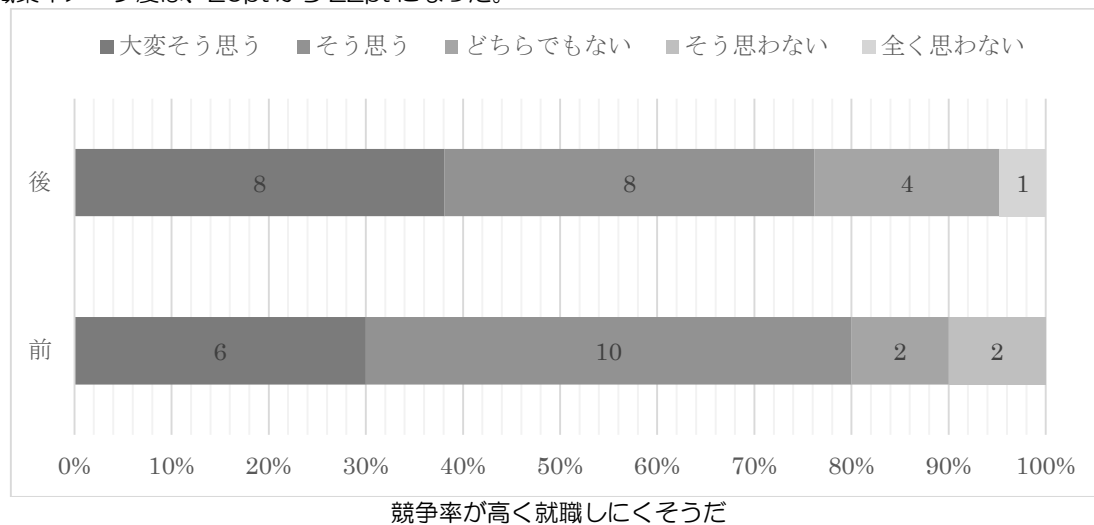
※講義前調査無回答1人



5.4.2.15 「競争率が高く就職しにくそうだ」

職業イメージに大きな変化はなかった。

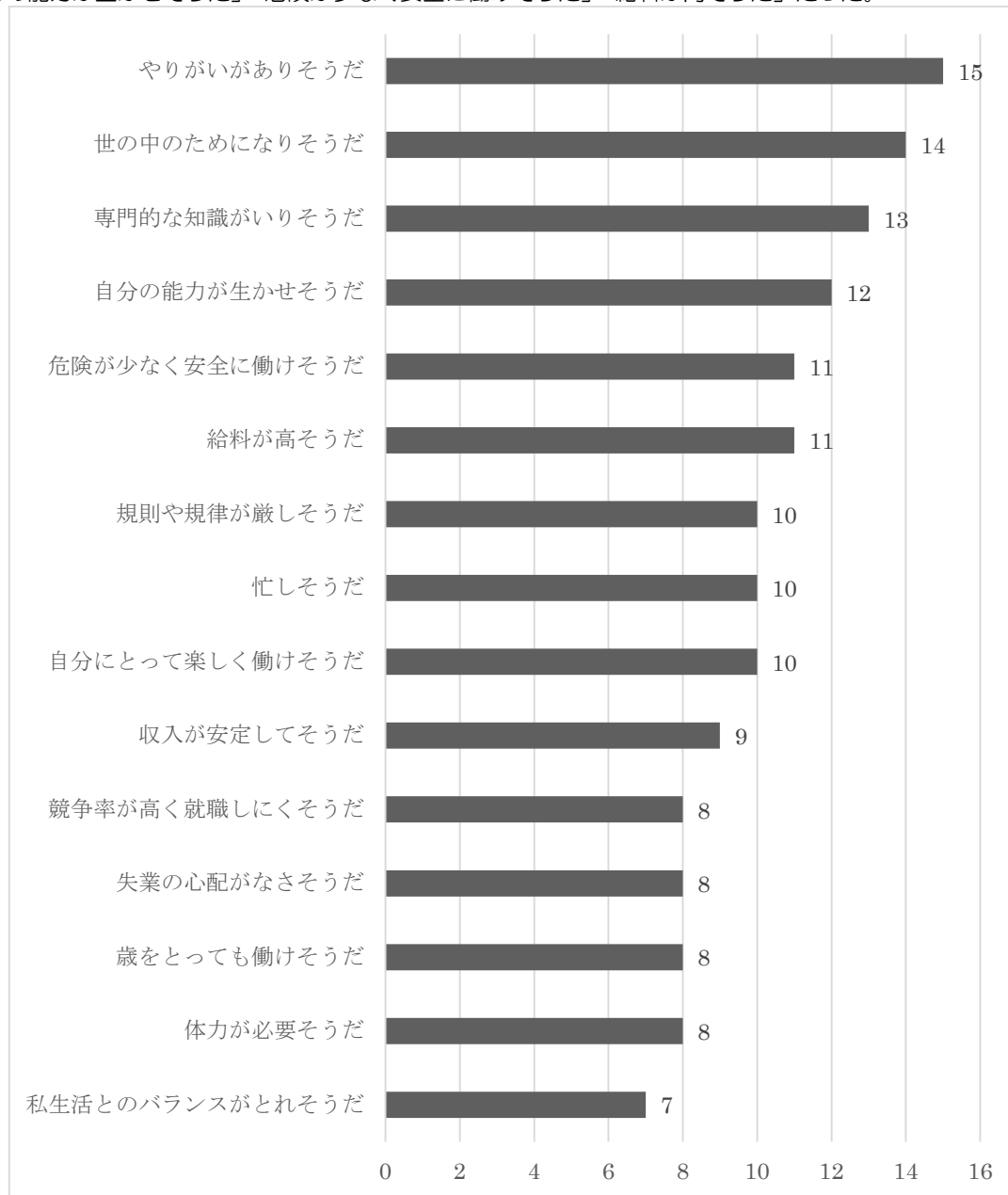
職業イメージ度は、20ptから22ptになった。



5.4.3 「大変そう思う」を選んだ職業イメージ項目

講義後、職業イメージとして70%以上（15人以上）が「大変そう思う」を選んだのは、「やりがいがありそうだ」だった。

50%以上（11人以上）が選んだのは、「世の中のためになりそうだ」「専門的な知識がいりそうだ」「自分の能力が生かせそうだ」「危険が少なく安全に働けそうだ」「給料が高そうだ」だった。



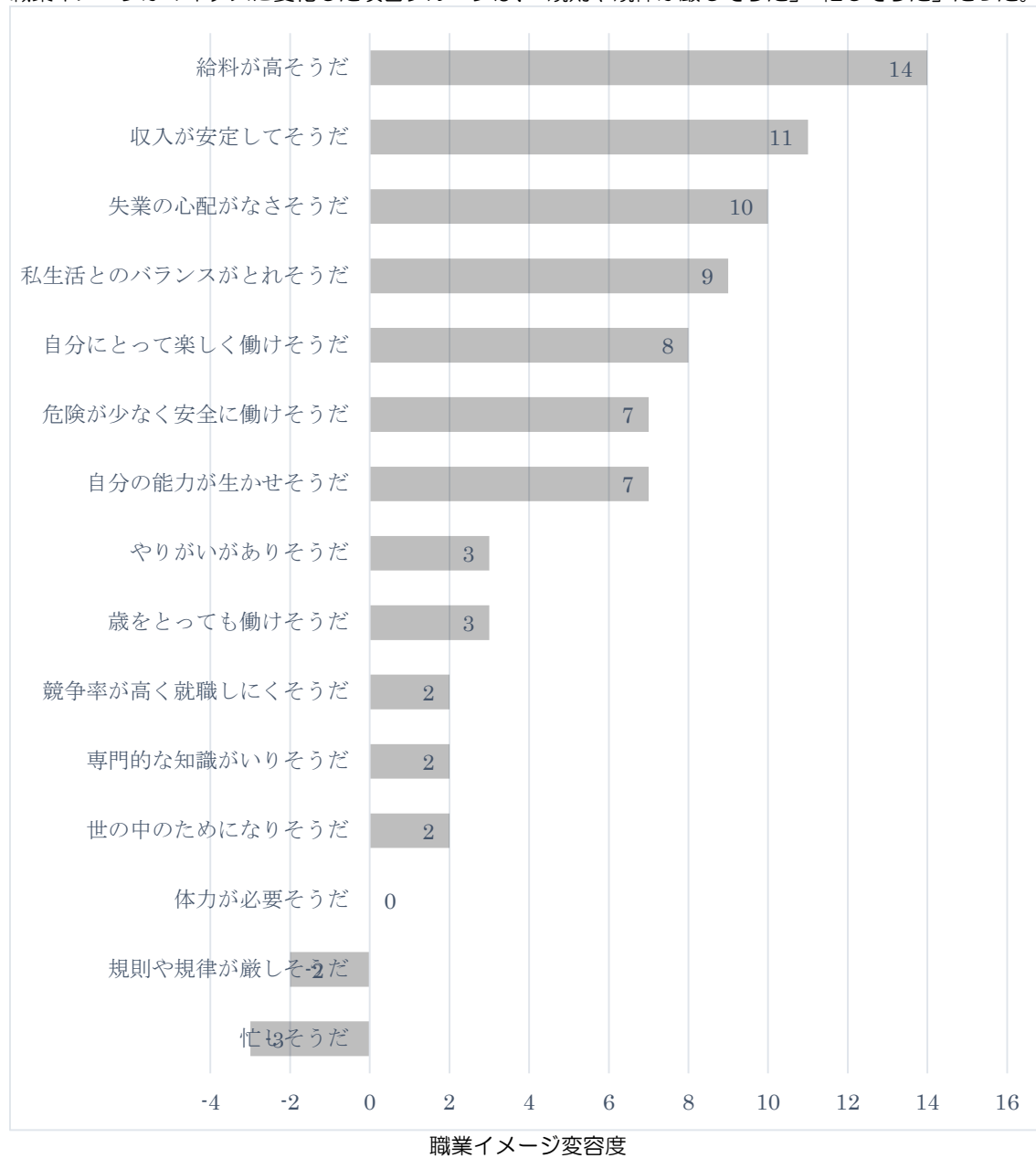
「大変そう思う」を選んだ職業イメージ項目

5.4.4 講義前後での職業イメージ変容度

職業イメージが大きく変容した項目は、「給料が高そうだ」だった。

職業イメージが中程度に変容した項目グループは、「収入が安定してそうだ」「失業の心配がなさそうだ」「私生活とのバランスがとれそうだ」「自分にとって楽しく働けそうだ」だった。

職業イメージがマイナスに変化した項目グループは、「規則や規律が厳しそうだ」「忙しそうだ」だった。



5.4.5 今日の講義・講話の中で『はじめて知ったこと、はじめて聞いたこと』

※誤った漢字や送り仮名、ひらがな表記などは訂正せず、可能な限り原文に近い形で表しています。

※ひとりひとりの記述は掲載の順番を変えて、「--」で区切っています。

サービス業は、笑顔、幸せ、思い出を提供するお仕事で必要な検定は多いが将来にも役に立つのでいいなと思った。

--

今日はホテル、ブライダルの仕事を知ることができました。ホテルの仕事は大きく分けて3つあり、宿泊・料飲・管理部門があると知りました。ホテルの種類も3種類あり、もしホテルに就くならリゾートホテルに就いてみたいです。ブライダルも同じように3種類あると知りました。

--

ホテルにも種類がある！リゾートホテル、シティホテル、ビジネスホテルがあった！

--

ホテルの仕事、ホテルの種類、ブライダルの仕事には大きく分けて3種類あると分かりました。

--

ホテルのお仕事やブライダルの仕事内容をこまかく知ることができた。

--

ブライダルは人をよろこばせること

--

とてもすてきな仕事だなと思いました。色々なことが学べそうな仕事だと思いました。

--

沖縄の結婚式の平均が300万円くらいと知った。沖縄は1人1万円くらいで内地は3~3万5千円くらいと知った。

--

沖縄の結婚式は県外と比べて参加人数が圧倒的に多いことや専門的な知識がなくてもこの業界に入れること、また、圧倒的な接客技術を身につけることもできること。ブライダルやホテルはそれぞれ3種類あることが分かった。

--

日本と海外では結婚式が違う。ブライダルというくくりの中に3つも種類が分けられている。

--

ホテルの仕事は大きく分けて3つもあるのがびっくりしました。種類にも3つあってそれぞれの良いところがあって、行ってみたいなと思いました。

--

きゅうりょう高いの初めて知った

--

ホテルのお仕事大きく分けて3つある。ホテルの種類がリゾートホテル、シティホテル、ビジネスホテル。ホテルの仕事のやりがい。必要資質と検定。ブライダルのお仕事とやりがい。

--

ホテルの種類でリゾートホテル、シティホテル、ビジネスホテルなど色々な種類があるのだと知れた。他にもブライダルではHRSホテルレストランサービス技能検定を取得しないといけないことも知ることができた。

--

けっこうしきのおしごととは3つのしゅるいがあることがしりました。

--

ホテルブライダルのお仕事では、技能検定をとると給料が上がるときいてこの仕事は人気が高いだろうなと思った。やりがいもあるから。

--

人を幸せにできる仕事があるんだと気づき知りました。

--

沖縄のブライダル業界はハワイと同じくらいはやっているそうです。今はハワイの方が多いけどどんどん増えそうですごい結婚式をあげる人がいるんだとびっくりしました。

--

ブライダルのお仕事について、全然わからなかったけど今回色々たくさん内容を知ることができて勉強になりました。

--

沖縄には有名なホテルが沢山建ってきている。

5.4.6 今日の講義・講話の中で『特に印象に残ったこと』

※誤った漢字や送り仮名、ひらがな表記などは訂正せず、可能な限り原文に近い形で表しています。

※ひとりひとりの記述は掲載の順番を変えて、「--」で区切っています。

お給料が多い

--

東京で結婚式を挙げたカップルに費用が1000万以上の結婚式をブラックカードで支払った話が印象に残りました。人によって結婚式の形式も変わってくるのでとても楽しそうな職業だと思いました。

--

人を相手に人にしかできないものというのが心に残った。

--

人を相手にして人にしかできないもの、笑顔、幸せ、思い出を提供できるということが印象に残りました。

--

ドレスの試着

--

何件やってもかぶらないこと

--

結婚式の映像が本当に幸せな気持ちになりました。

--

ホテルの仕事は大きく分けて、宿泊部門、料飲部門、管理部門の3つで、ホテルは大きくわけてリゾート、シティ、ビジネスの3つ。

--

ホテルにほ大きく分けて3つの部門があること、ブライダルクイズ、シュークリームはキャベツをイメージして作られている。どちらの仕事も人とのつながりが大切、給料が高い。

--

お客様の幸せを一番に考えていることが伝わった。結婚式は高額商品だから1件1件ていねいにしている。

--

ホテルとブライダルの必要資質が似ているのがびっくりだし、すごいなと思いました。ラッキーアイテムを身につけると幸せになる言い伝えでブルーが入っているのが意外でした。

--

動画見てめっちゃ涙出た

--

ホテルの種類、やりがい

--

元々、ウエディングプランナーに対して興味があったんですが、今日田村明子さんから聞いた話やムービーで見た、仕事内容がすごく胸に響いて感動した。人生に一度の大きな変わり目を一緒に作りあげてくれるこの仕事にもっと興味がわいた。

--

ホテルではゲストのさまざまなようばうにおえるなんでもそうだん係のようなしごとがあることがわかった。

--

今日の講義でハワイにあるホテルが沖縄にもあるときいて、沖縄って観光業？サービス業？からしてもかんきょうがすごく整っているんだなあと改めて思いました。

--

たくさんのお客さんの対応をしたのに、一人ひとりの感動がちがうということが印象に残りました。

--

動画で見たので親や友達、家族にウエディング姿を見せて結婚するのはやっぱり感動すると思いました。

--

高いお金がかかってとても大変なんだと思いました。

--

ウエディングの映像を見て感動しました。ホテル業は部があってあきにくい仕事。

5.4.7 話を聞いてみたい仕事や職業

※誤った漢字や送り仮名、ひらがな表記などは訂正せず、可能な限り原文に近い形で表しています。

※ひとりひとりの記述は掲載の順番を変えて、「--」で区切っています。

話を聞いてみたい仕事や職業（希望職種とは無関係）

	今回	前回（11月）
美容師	5	3
保育士	3	4
公務員	2	0
ブライダル	2	2
フォトグラファー	1	1
ツアコン	1	1
シェフ	1	0
テレビ関係	1	0
パイロット	1	0
CA・GS		3
ホテル		1
事務		1
薬剤師		1
弁護士		2
裁判官		2
芸能マネージャー		1
栄養士		1

5.4.8 今日の講義・講話を聞いて、『感じたこと、思ったこと』

※誤った漢字や送り仮名、ひらがな表記などは訂正せず、可能な限り原文に近い形で表しています。

※ひとりひとりの記述は掲載の順番を変えて、「--」で区切っています。

サービル業は大変なことが多く検定もそのぶん必要なものは多いがお客様に笑顔や思い出を作ってあげ、与える仕事はとて自分にとっても良い思い出になるんだなと思いました。自分もホテルに関係のお仕事をしたいと思っていて、将来ほんとにそういう関係の仕事につくことができればお客様に笑顔を与えていきたいなと思います。

--

今の進路はホテルかブライダルで迷っていますが、今日来た講師の方みたいにホテルで数年働いたあとにブライダルに移動もいいなと思いました。今後どうなるかわからないけれど、良い場所に就いて働きたいなと思いました。

--

改めてすてきな職業だと思った。

--

ホテル・ブライダルは違う職種だけど、人を相手にして話すこと喜ばすことなど共通している部分があるということを知ることができました。ホテル・ブライダルはお客様からありがとうを言ってもらえたり、お客様の幸せをお仕事にできて素敵だなと思いました。クロカンブッシュとケーキの小さいシュークリームはキャベツに見立てて作られていて、豊作、子孫繁栄の願いがこめられていると知りました。興味があるお仕事のことを聞くことができて良かったです。

--

あんまりブライダルに興味はなかったけど、今日の話を書いて自分もやってみたいとおもった。

--

ブライダルはとても感動するしよい仕事だとおもった。

--

ウエディングの仕事も体験してみたいと思いました。

--

今日の講義でホテルの種類やブライダルの種類などを知ることができました。そして、ブライダルの特徴は、1 高額商品、2 未体験商品、3 消滅商品という特徴があることが分かった。ブライダルは、1 お客様の幸せを仕事にできる、2 チームワークで作り上げる喜びをあげることができる、3 流行の最前線で仕事ができるし、給料が高いう仕事という仕事のやりがいも知ることができた。

なにより、ホテル・ブライダルはサービス業で人しかできないもの、笑顔、幸せ、思い出を提供することができる素敵なお仕事だということが分かった。

--

どの職種に就くにしろコミュニケーション能力は必要な力なんだと改めて実感できたのと、その中でもサービス業においては人を幸せにする仕事なので、ほかと比べてもコミュニケーション能力が大切だと感じました。自分はまだ明確にしたい仕事が決まっているわけではなく今回の講義をきっかけに少し進路への道がひらきました。

--

どのお仕事にもやりがいがあって、深く内容を知ったら興味がわいた。

--

ホテルやブライダルの仕事はお客様からの感謝の言葉やお客様の幸せを仕事にできることはいい仕事でみんなが楽しく winwin で終われることも凄くやってみたいなと思いました。

沖縄の結婚式、東京の結婚式では人数も違うとしたし、行ったことがないので自分の結婚式や兄弟のもどんな感じでやっているのかなど見てみたいなと思いました。知らなかったことが知れたし、これから生きていく中で行くと思うし、知って後悔することはなかったなと思いました。

--

初めてウエディングプランナーになりたいっておもった。めちゃ泣きそう。王さまにささぐくすりゆびでいいなーっておもってたけどまじでなりたいかもしれぬ。

--

ホテルやブライダルのはなしをきけてよかったです。どんな仕事なのか知れた。

--

すごく感動した。人生で体験できる一度の大イベントで自分自身が体感するのも良いと思ったけど、それを支える裏方として思い出をつくりあげていく立場に立つのも良いなと思いました。

毎日のように感動できる思い出を私たちも主役の方やその家族、しんせき、友達、関わってきた人と主につくりあげられるのがすごくみりよく感じました。心を動かされたし、もっと知りたくなりました。

--

ホテルのしごとのやりがいがかっこいいせっきゃくのプロになれるということがわかった

--

すごく今日の講話をきいて楽しそう。自分もこういう所で1回は働いてみたいなと思いました。人の幸せによりそえるってすごく良いお仕事だな。と思いました。すてきだと思いました。

--

今日の話のきいて、こんなにステキなお仕事があるんだと分かりました。

--

将来、何年も働くなら自分も人も幸せになる職業につけると良いなと思いました。何の仕事についても楽しくできたら人生も楽しいと思ったので進路をがんばったり、勉強も一所けんめいやろうと思います。中国語とか英語も話せれば給料が上がる所もあるそうなので、覚えて話せるようにがんばりたいです。

--

ほとんど知らなかったことだらけで何も分からなかったけど、今回色々お話を聞いて良かったです。サービス業では笑顔、幸せ、思い出を提供するお仕事だと分かりました。

--

ドレスがとてもキレイだった。ホテルやブライダルなどのサービス業は人を幸せにできるステキなお仕事だなと思いました。外国語は将来とてみ役に立つを思うので頑張りたい。

5.5 高校生の職業意識に関する調査（南部商業前後）

5.5.1 調査概要

前調査

日時 2023年7月10日
対象 観光コース 2年生
人数 23名（男1女22）

後調査

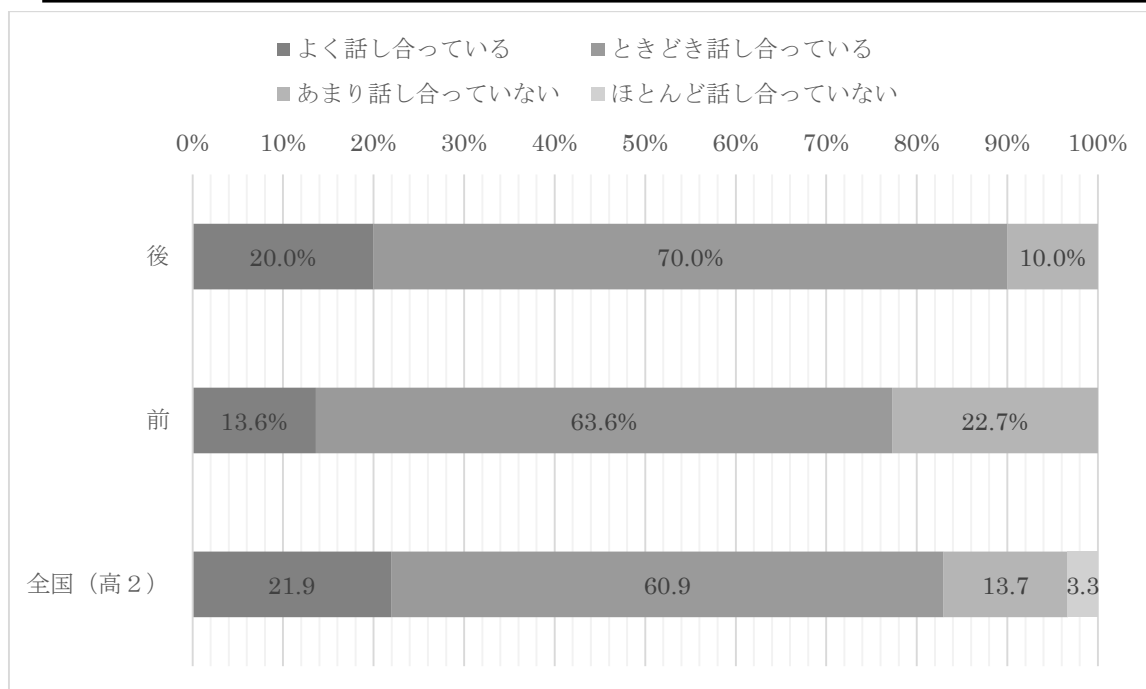
日時 2024年1月29日
対象 観光コース 2年生
人数 20名（男1女19）

5.5.2 将来の生き方や進路についての保護者との会話

将来の生き方や進路について保護者と「よく話し合っている」「ときどき話し合っている」と回答した割合は90.0%で、前回と比較すると12.8ポイント上昇した。
全国（82.8%）と比較すると7.2ポイント上回った。

保護者との会話は全国と比較してできていることがわかる。ただし、南部商業は女性が95%のデータなので、性差による保護者とのコミュニケーション差も考慮する必要がある。

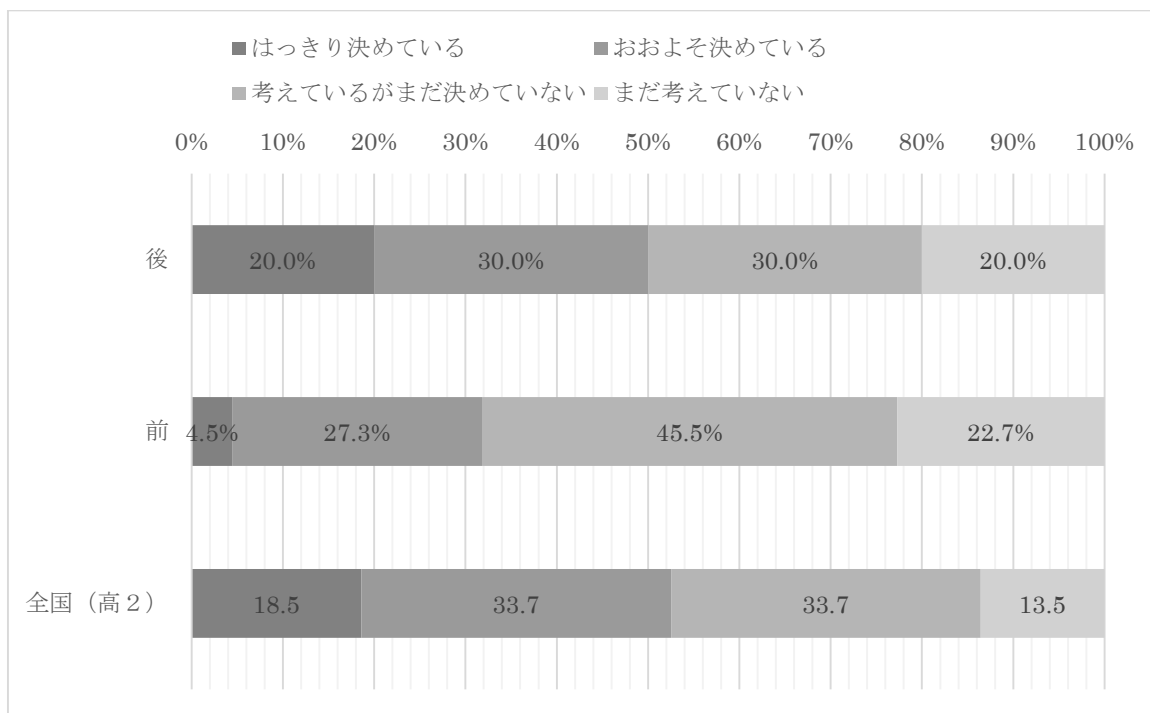
※全国データは、高校2年生9月～1月期の回収データ



将来の生き方や進路についての保護者との会話

5.5.3 将来希望する職業を決めているか

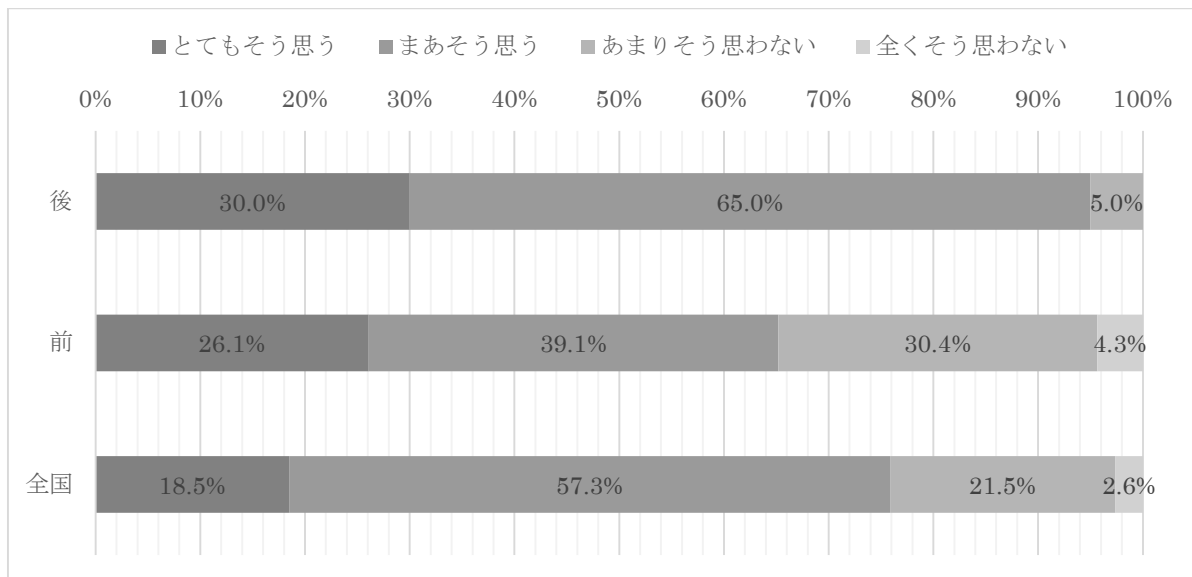
将来希望する職業を、「はっきり決めている」「おおよそ決めている」と回答した割合は50.0%で、前回と比較すると18.2ポイント上昇した。
全国（52.2%）と比較するとほぼ同じだった。



将来希望する職業を決めているか

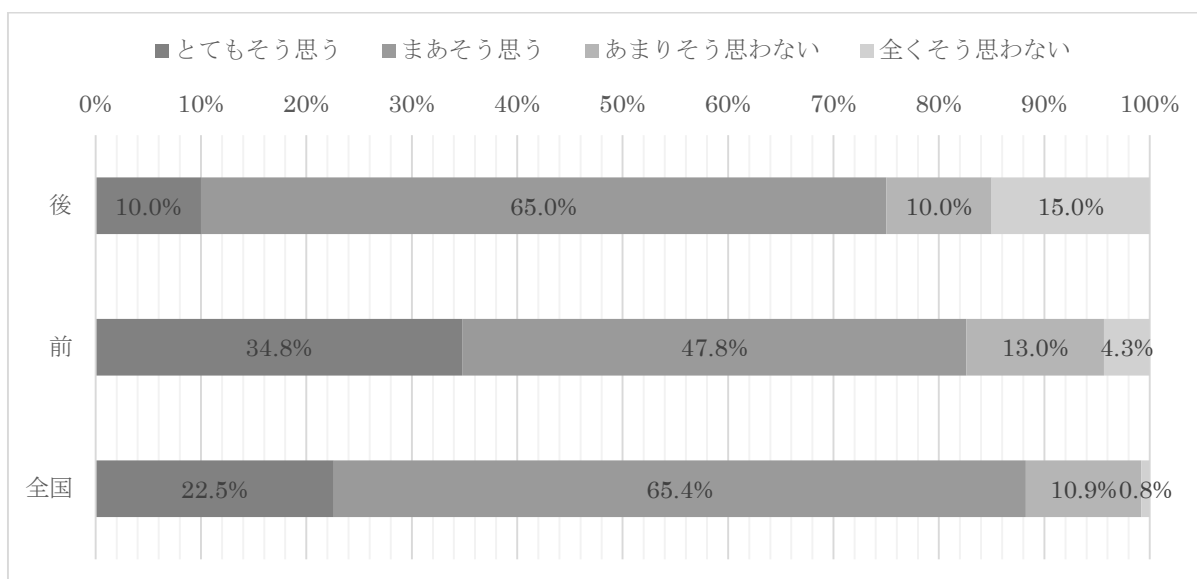
5.5.4 「仕事」「働くこと」のイメージ

「楽しい」について、「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した割合は95.0%で、前回と比較すると、29.8ポイント上昇した。
全国（75.8%）と比較すると19.2ポイント高くなった。



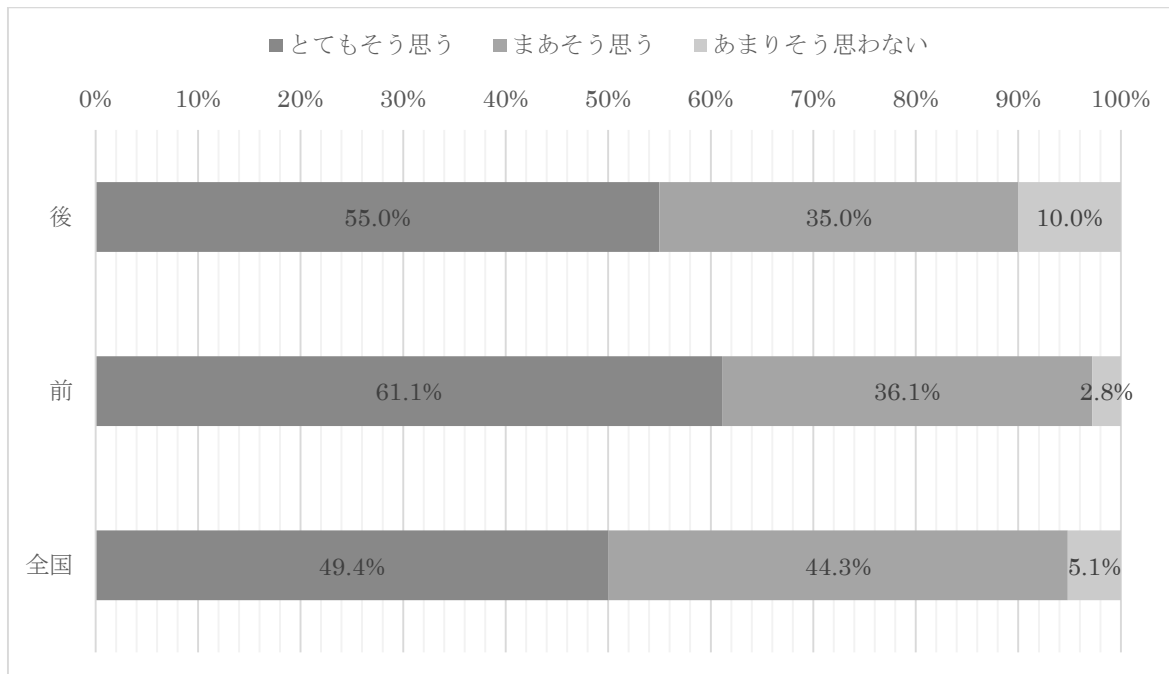
「仕事」「働くこと」のイメージ：「楽しい」

「苦しい」について、「とてもそう思う」と回答した割合は、10.0%で、前回と比較すると24.8ポイント低下した。
全国（22.5%）と比較すると、12.5ポイント低かった。



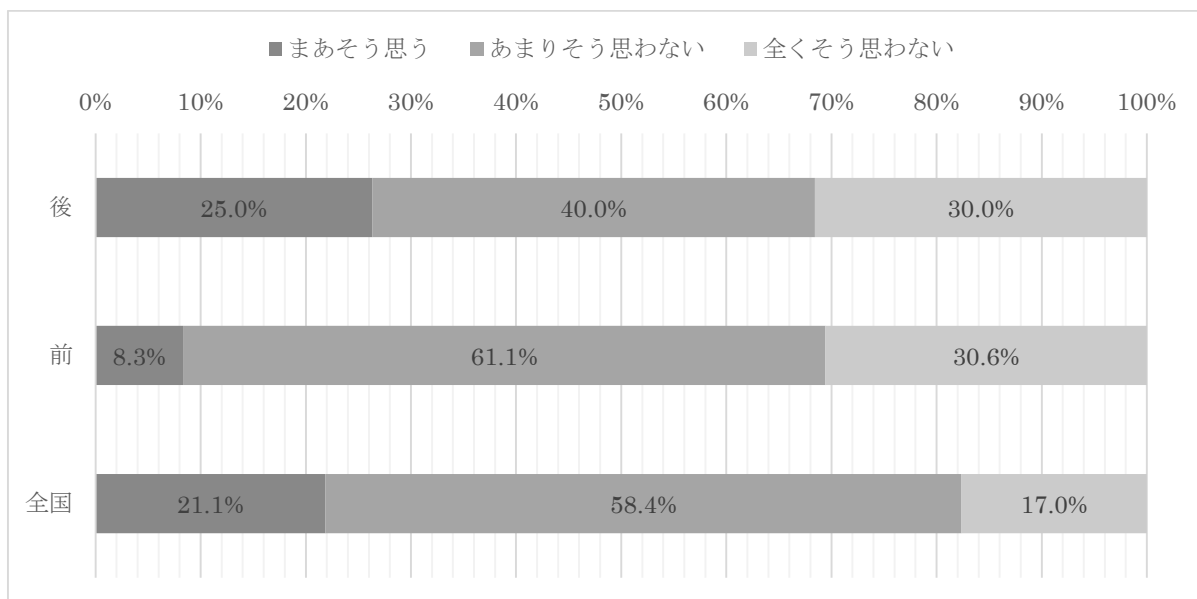
「仕事」「働くこと」のイメージ：「苦しい」

「やりがいがある」について、「とてもそう思う」と回答した割合は55.0%で、前回と比較すると、6.1ポイント低下した。
全国（49.4%）と比較するとほぼ同じ割合になった。



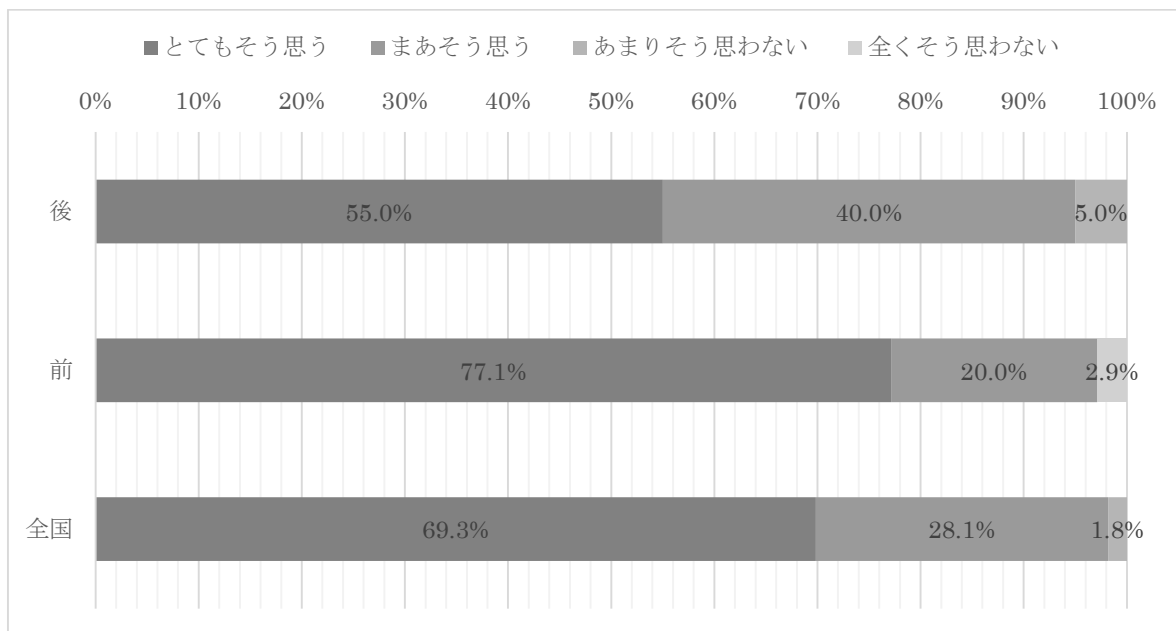
「仕事」「働くこと」のイメージ：「やりがいがある」

「つまらない」について、「まあそう思う」が25.0%で、前回と比較すると16.7ポイント増加した。
全国（21.1%）と比較すると、ほぼ同じ比率になった。



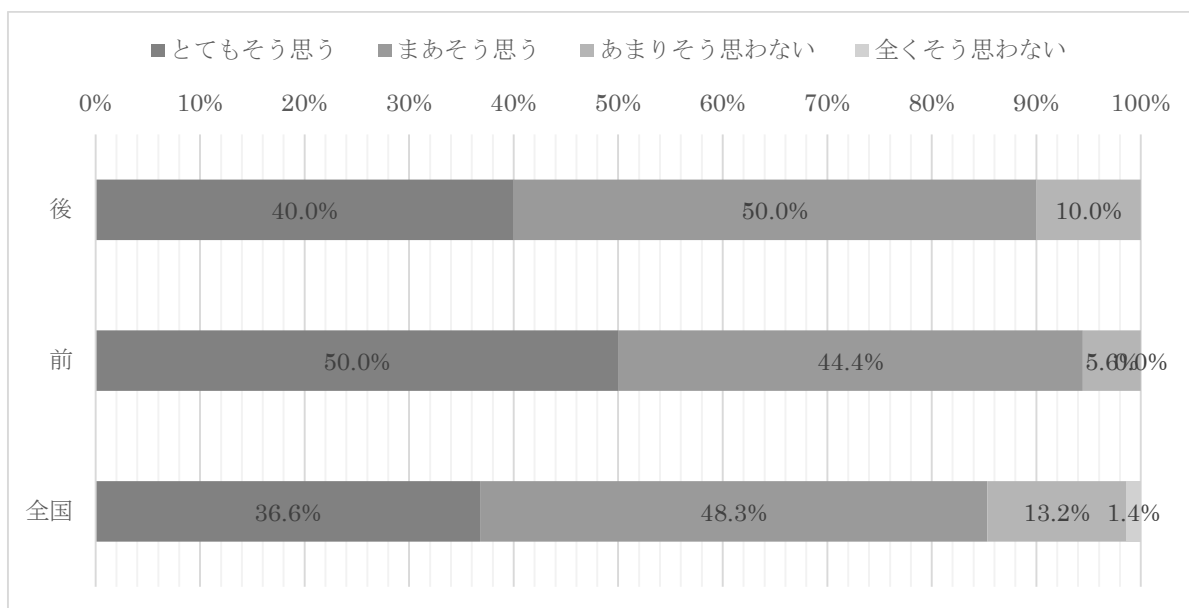
「仕事」「働くこと」のイメージ：「つまらない」

「生活のため」について、「とてもそう思う」が55.0%で、前回と比較すると22.1ポイント低下した。
全国（69.3%）と比較すると、14.3ポイント低かった。



「仕事」「働くこと」のイメージ：「生活のため」

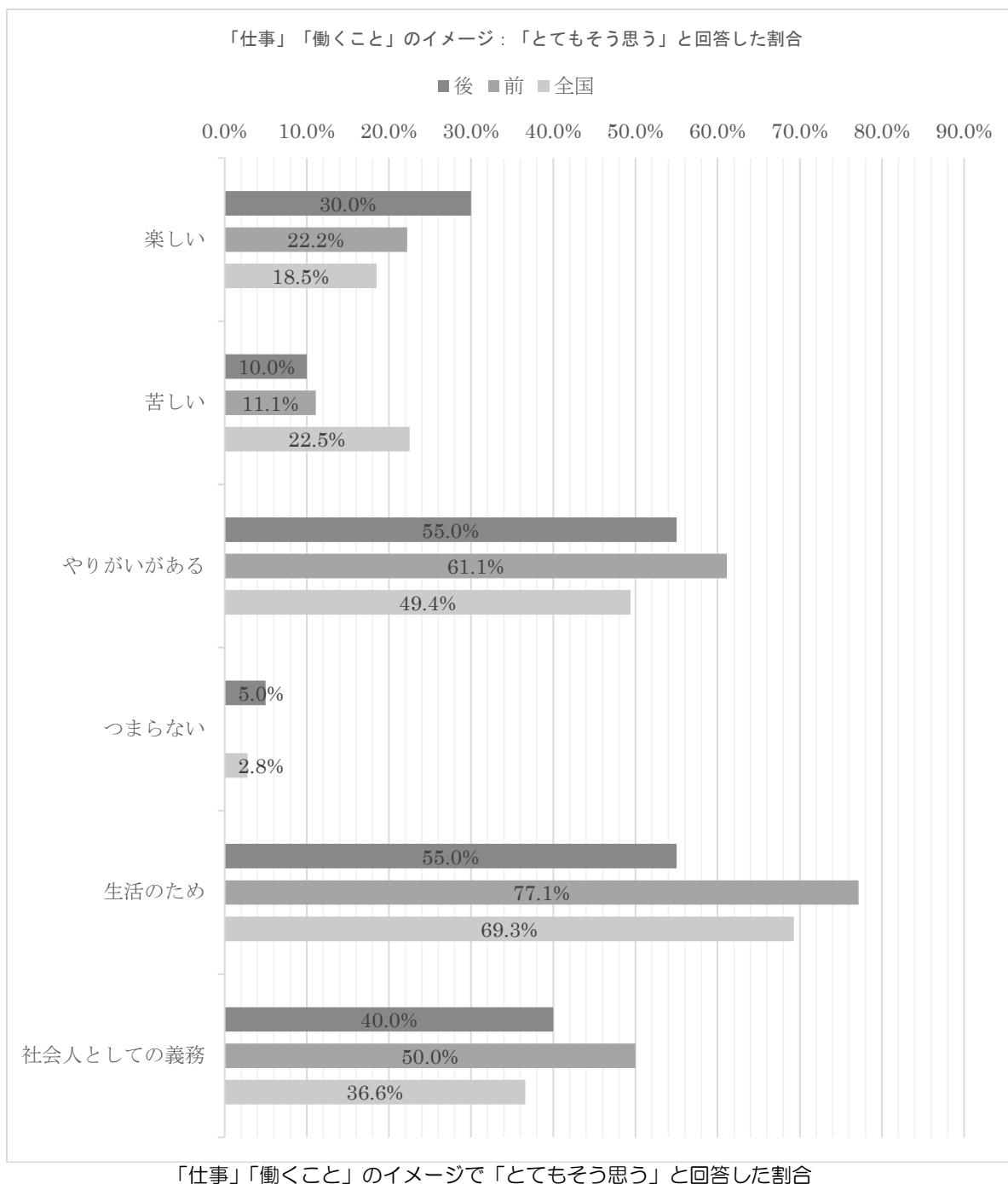
「社会人としての義務」について、「とてもそう思う」が40.0%で、前回と比較して10.0ポイント低下した。
全国（36.6%）と比較すると、ほぼ同じになった。



「仕事」「働くこと」のイメージ：「社会人としての義務」

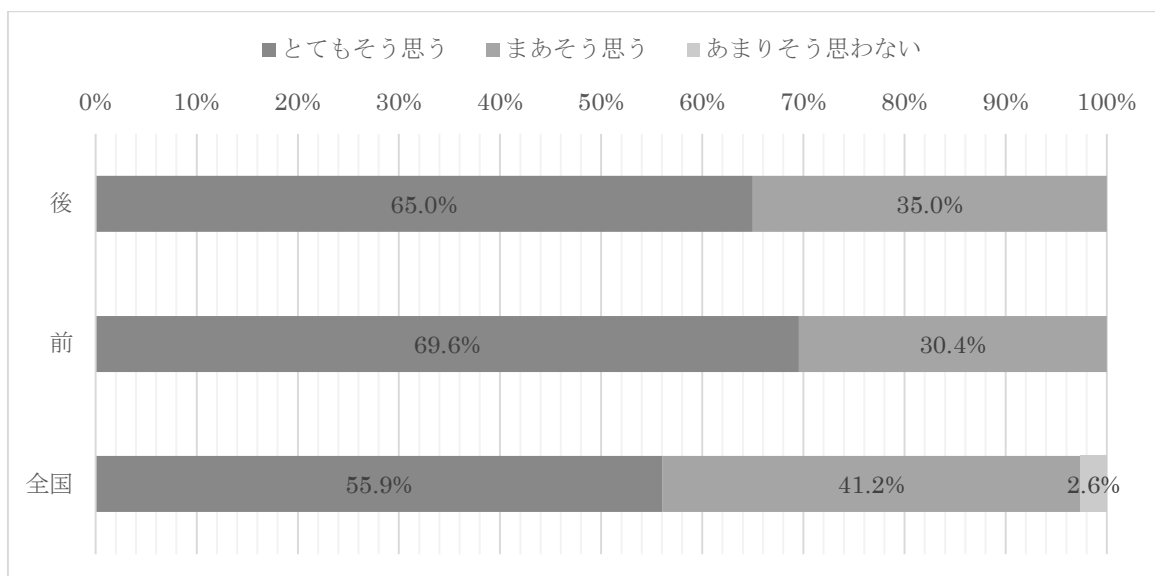
5.5.5 働くことのイメージの6項目について、「とてもそう思う」と回答した割合をまとめた。

前回と比較して増加の割合（変化率）が大きかったのは、「つまらない」で、ゼロから5.0%になった。次いで、「楽しい」で1.35倍だった。
 前回と比較して減少の割合（変化率）が大きかったのは、「生活のため」で0.71倍だった。
 全国との比較で大きく差があったのは、「苦しい」で0.44倍。次いで、「楽しい」で1.62倍だった。



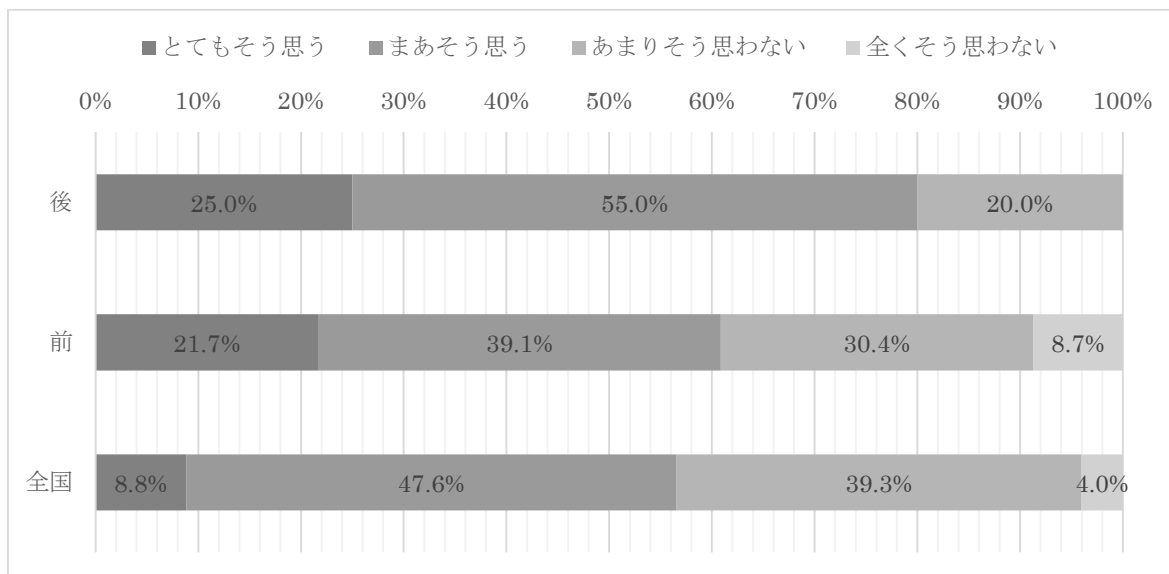
5.5.6 職業を選ぶにあたって重視すること

「収入」について、「とても重要（そう思う）」と回答した割合が65.0%で、前回と比較すると4.6ポイント低下した。
全国（55.9%）と比較すると、9.1ポイント高かった。



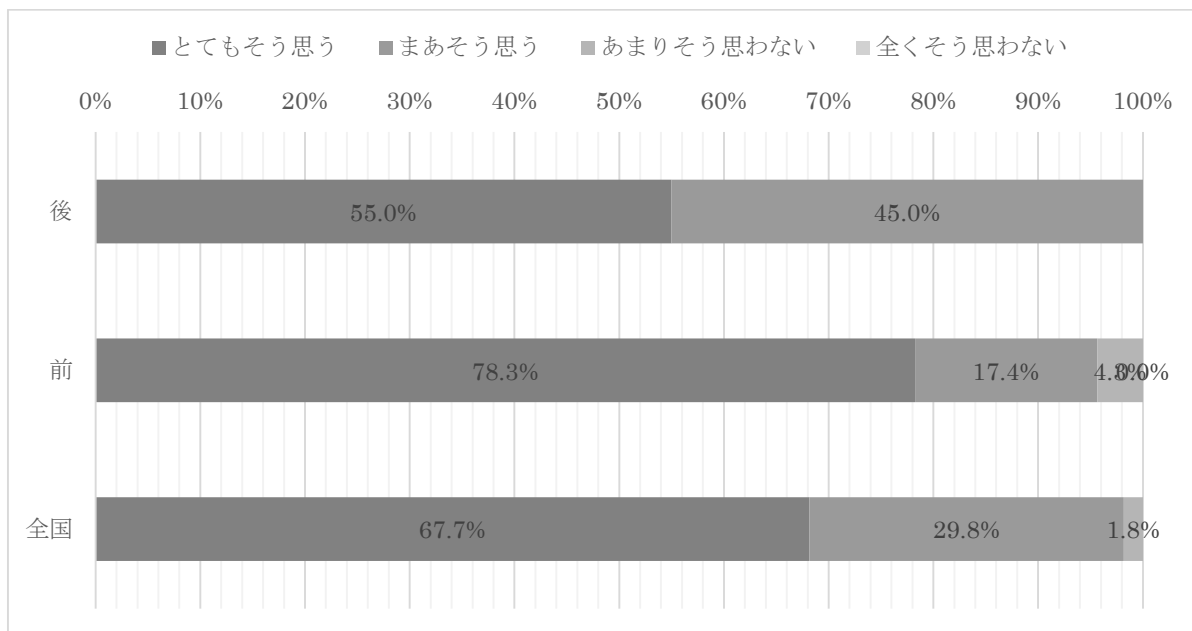
職業を選ぶにあたって重視すること：「収入」

「社会的地位」について、「とてもそう思う」が25.0%で、前回と比較すると4.3ポイント上昇した。「まあそう思う」を合わせると80.0%で、全国（56.4%）より23.6ポイント高かった。



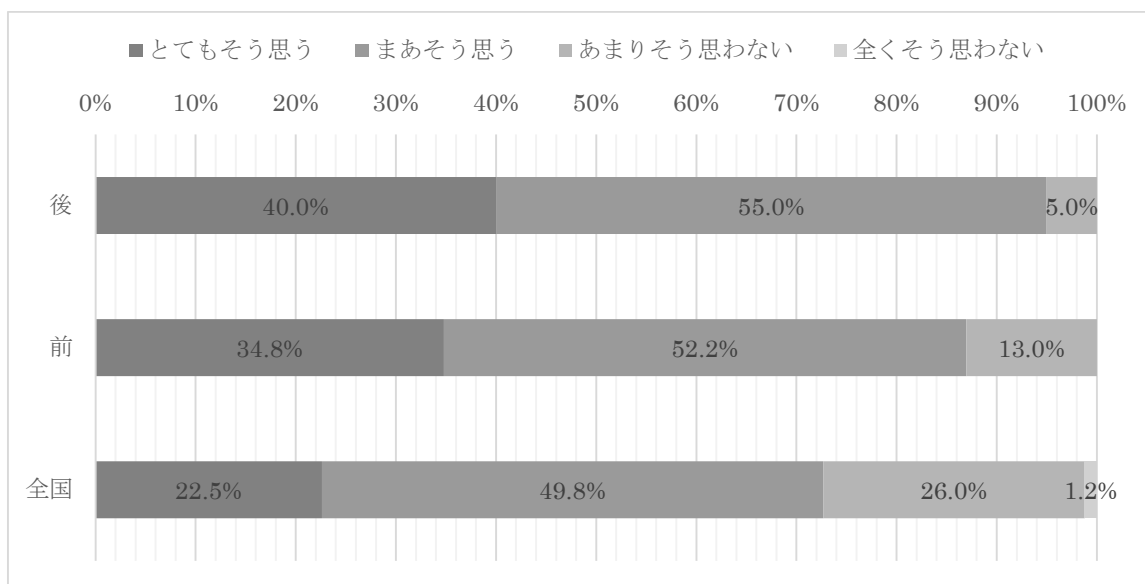
職業を選ぶにあたって重視すること：「社会的地位」

「安定性」について、「とてもそう思う」が55.0%で、前回より23.3ポイント低下した。
全国と比較すると、12.7ポイント低かった。



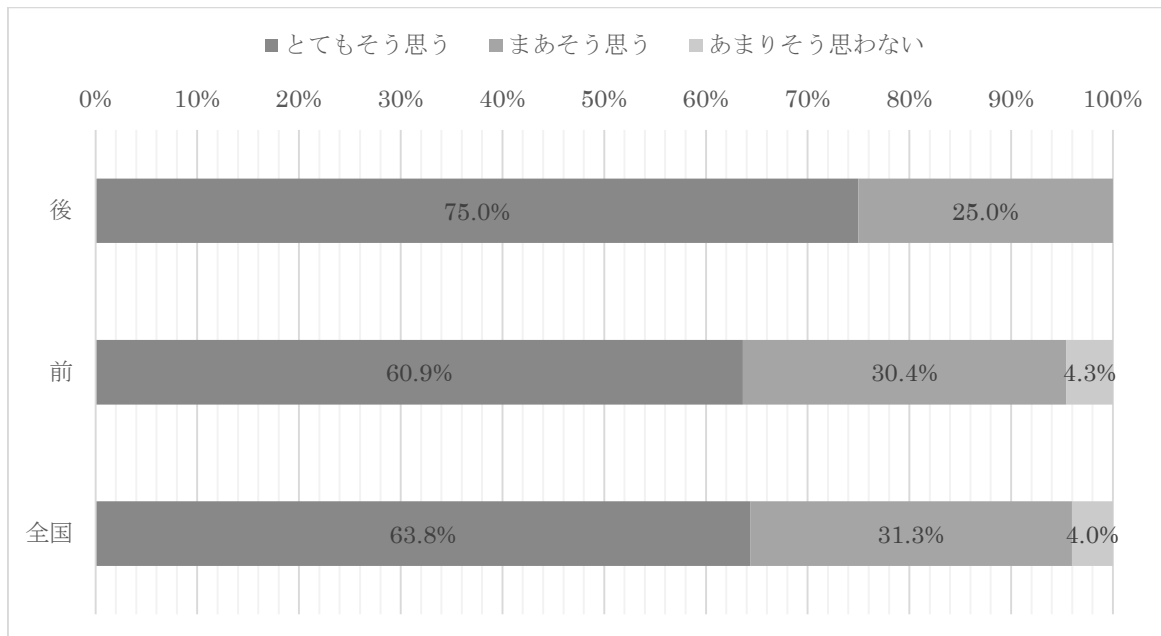
職業を選ぶにあたって重視すること：「安定性」

「仕事の内容ややり方を自分で決められる」について、「とてもそう思う」が40.0%で、前回と比較して5.2ポイント上昇した。
全国（22.5%）と比較すると17.5ポイント高かった。



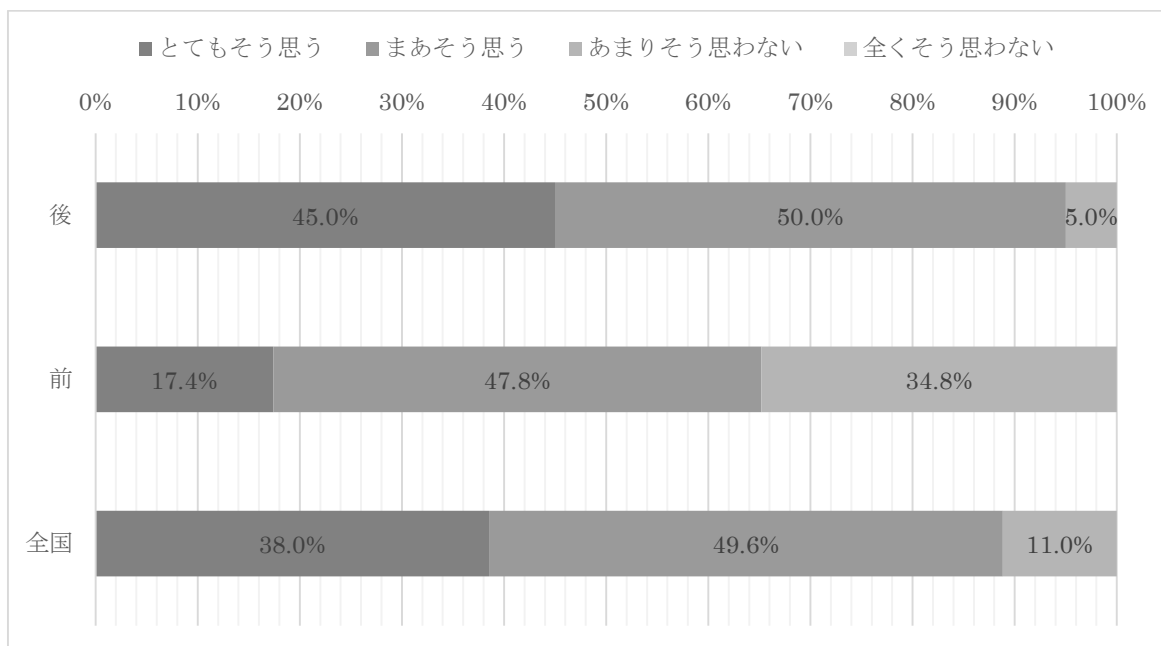
職業を選ぶにあたって重視すること：「仕事の内容ややり方を自分で決められる」

「自分の興味や好みに合っていること」について、「とてもそう思う」が75.0%で、前回と比較して14.1ポイント増加した。
全国と比較すると、11.2ポイント高かった。



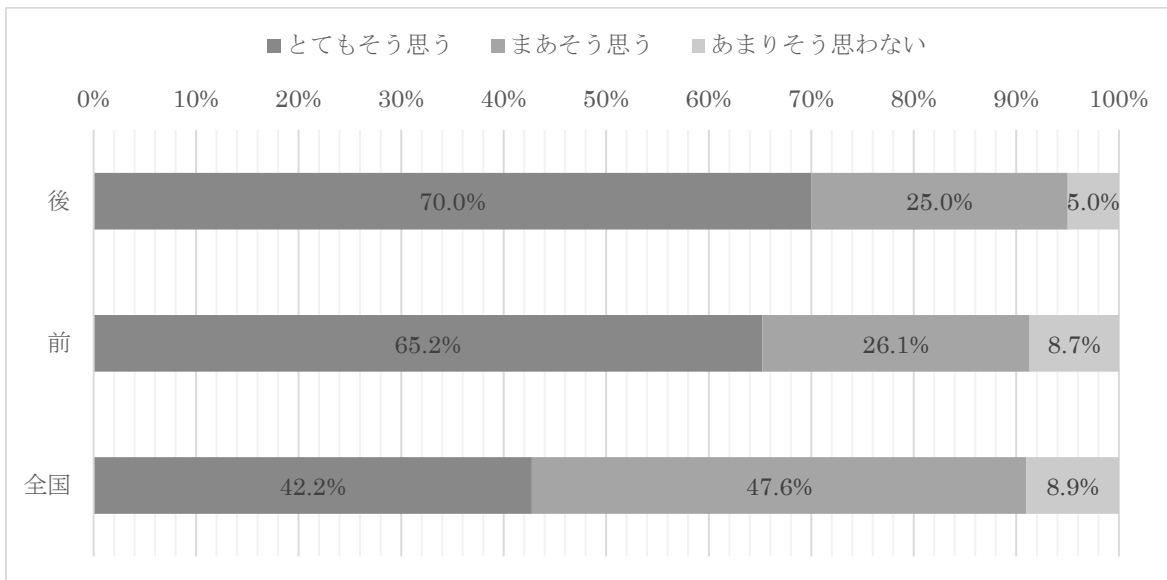
職業を選ぶにあたって重視すること：「自分の興味や好みに合っていること」

「働く時間を自由に決めること」について、「とてもそう思う」が45.0%で、前回と比較すると27.6ポイント上昇した。
全国（38.0%）と比較すると7.0ポイント高かった。



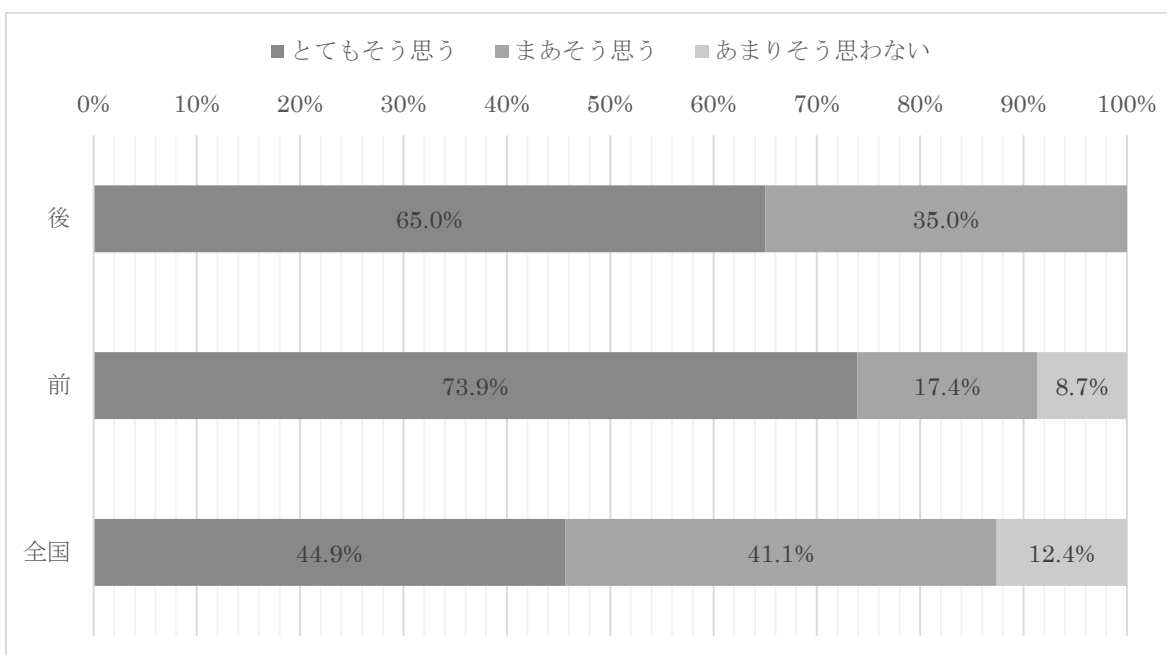
職業を選ぶにあたって重視すること：「働く時間を自由に決めること」

「能力を発揮できること」について、「とてもそう思う」が70.0%で、前回より4.8ポイント上昇した。
全国（42.2%）と比較すると、その差は大きく27.8ポイントあった。



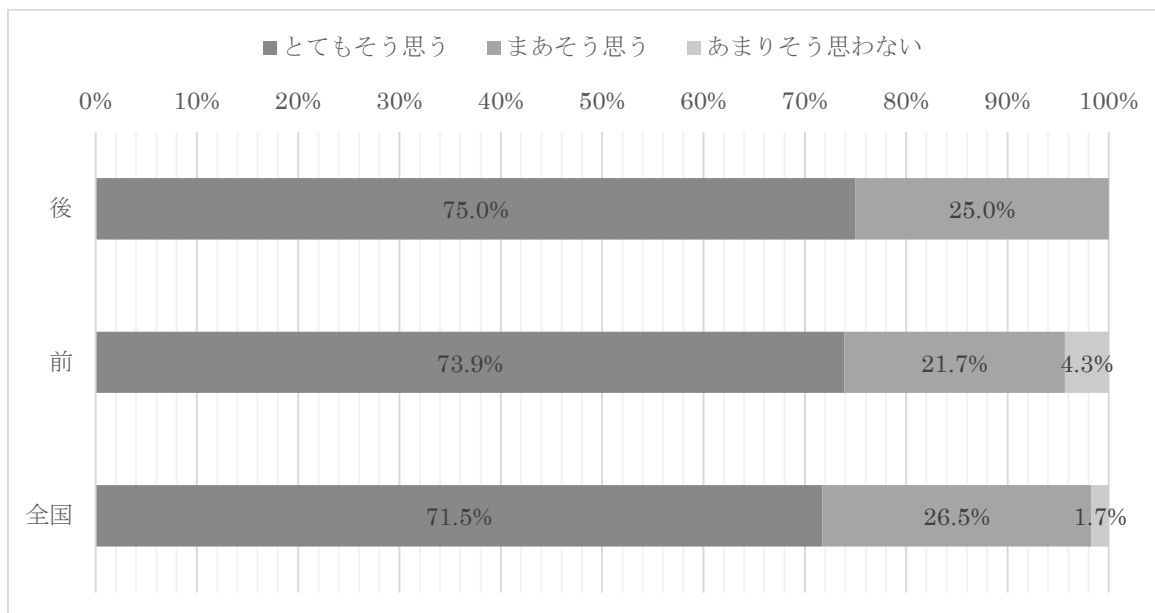
職業を選ぶにあたって重視すること：「能力を発揮できること」

「社会や人のために役立ち貢献できること」について、「とてもそう思う」が65.0%で、前回と比較すると8.9ポイント低下した。
全国（44.9%）と比較すると、20.1ポイント高い。



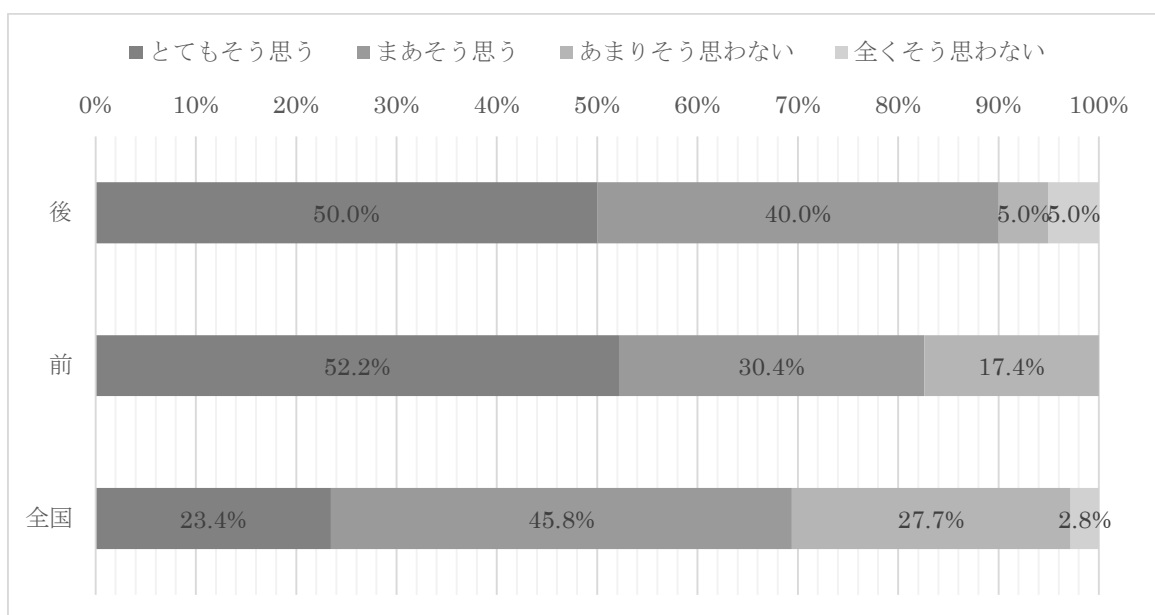
職業を選ぶにあたって重視すること：「社会や人のために役立ち貢献できること」

「働きやすいこと（仕事の環境）」について、「とてもそう思う」が75.0%で、前回と比較して大きな変化はなかった。
全国と比較してもほぼ同率だった。



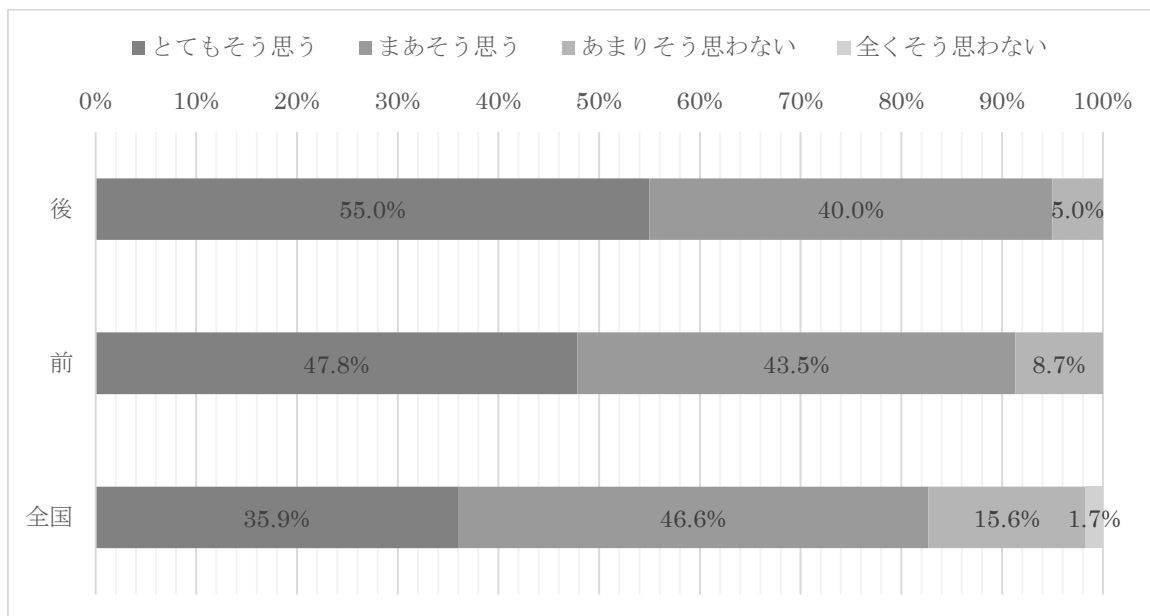
職業を選ぶにあたって重視すること：「働きやすいこと（仕事の環境）」

「新しいことにチャレンジできること」について、「とてもそう思う」が50.0%で、前回と比較して大きな変化はなかった。
全国と比較すると、26.6ポイント高く、その差は2倍以上だった。



職業を選ぶにあたって重視すること：「新しいことにチャレンジできること」

「勤務地の場所」について、「とてもそう思う」が55.0%で、前回と比較して7.2ポイント上昇した。全国と比較すると、19.1ポイント高かった。



職業を選ぶにあたって重視すること：「勤務地の場所」

5.5.7 職業を選ぶ際に重視することの11項目について、「とてもそう思う」と回答した割合をまとめた。

前回と比較して増加の割合（変化率）が高かったのは、「働く時間を自由に決める」で2.59倍だった。
 前回と比較して減少の割合（変化率）が高かったのは、「安定性」で0.70倍だった。
 全国との比較で大きく差があったのは、「社会的地位」で2.84倍、「新しいことにチャレンジできる」で、2.14倍、次いで「仕事のやり方を自由に決めれる」1.78倍、「能力を発揮できる」1.66倍、「勤務地」1.53倍、「社会や人の役に立つ」1.45倍だった。

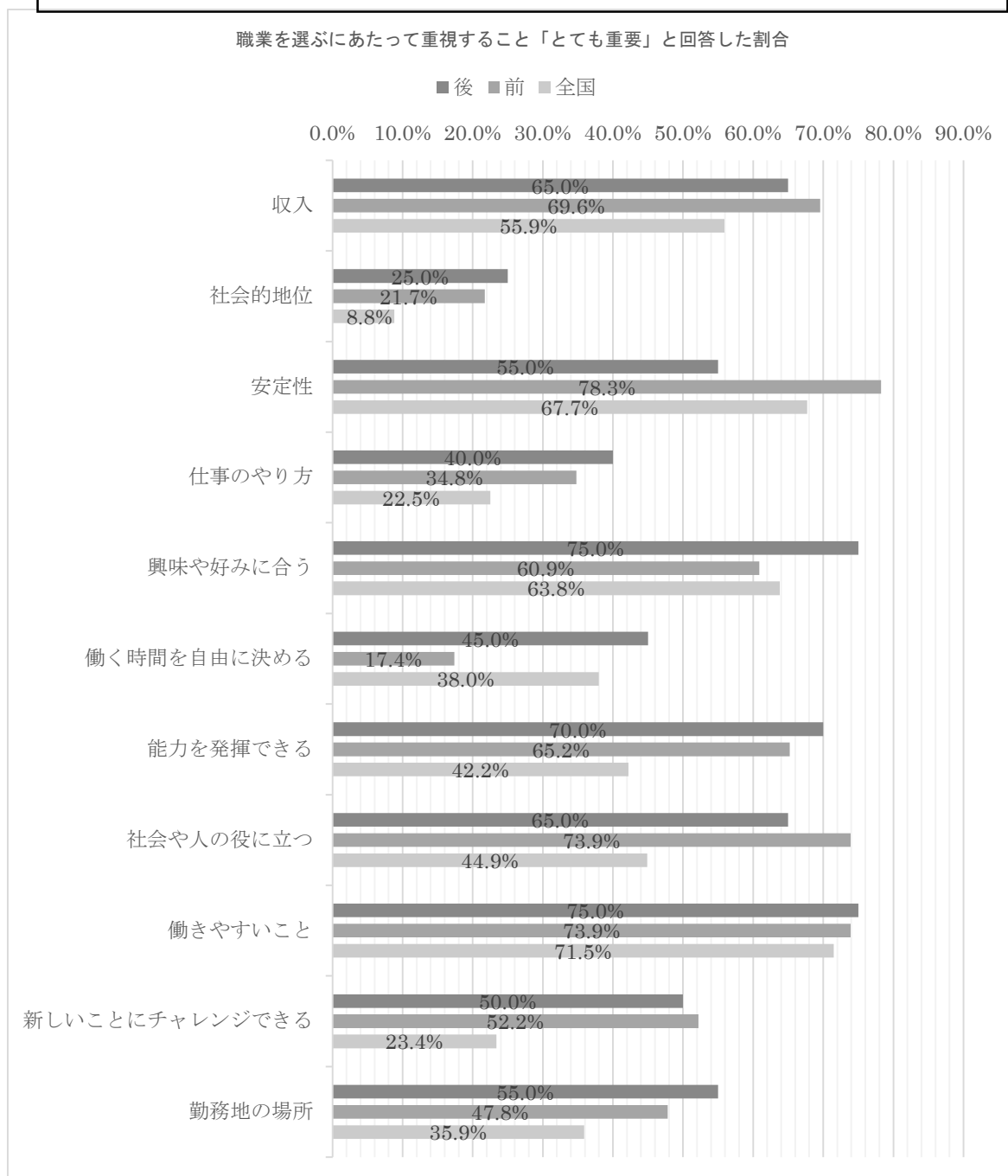
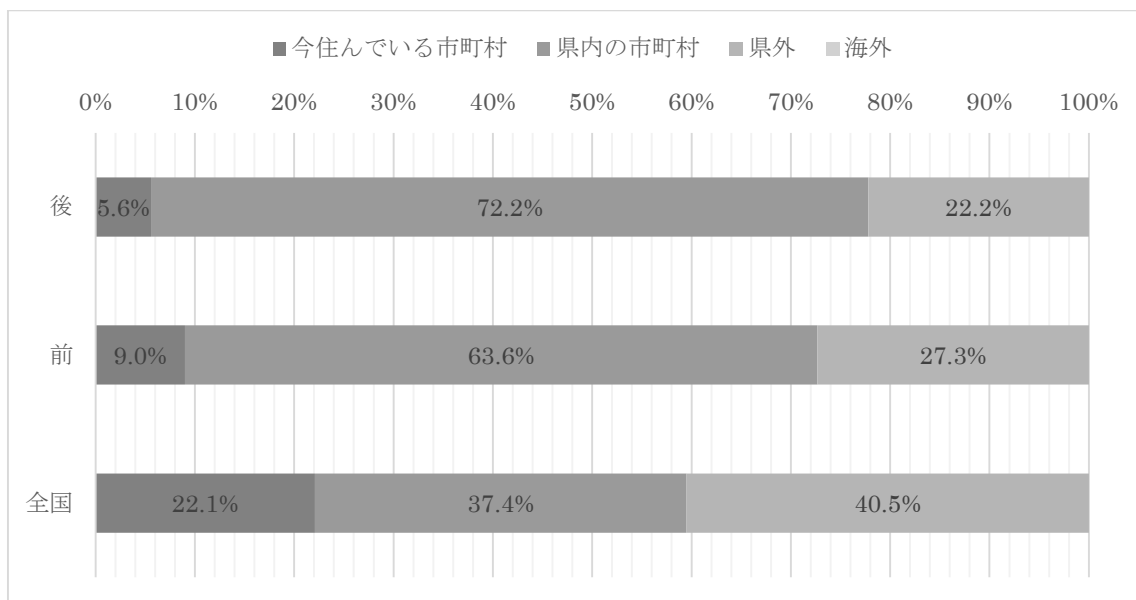


図 21 職業を選ぶにあたって重視することで「とても重要（そう思う）」と回答した割合

5.5.8 希望する勤務地

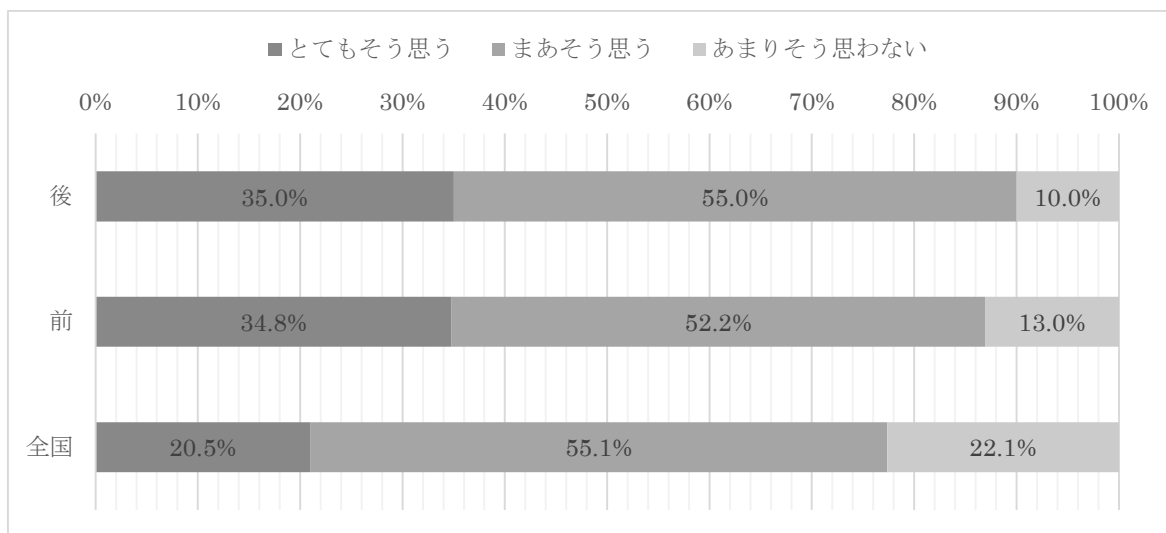
「希望する勤務地」について、「今住んでいる市町村」は5.6%で、前回と比較し3.4ポイント低下した。「今住んでいる市町村」と「県内」を合計すると77.8%で、前回と比較5.2ポイント上昇した。
全国と比較して県内志向は、18.3ポイント高い。
※無回答2



希望する勤務地

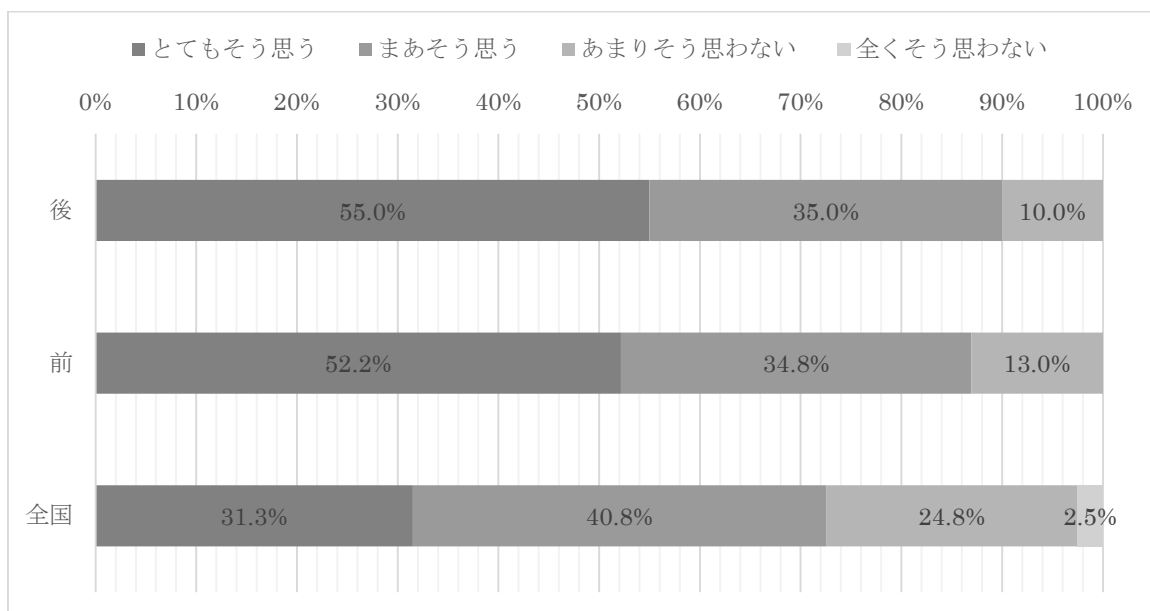
5.5.9 仕事に関する意識・考え

「やりたいことに困難があっても挑戦したい」について、「とてもそう思う」が35.0%で、前回と変化はなかった。
全国（20.5%）と比較すると14.5ポイント高い。



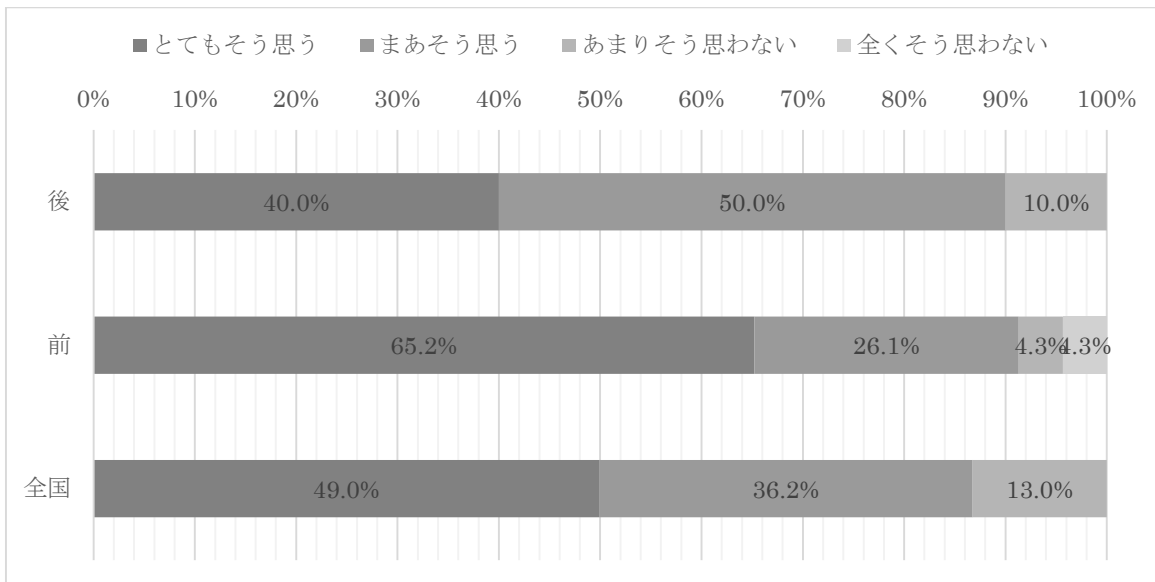
やりたいことに困難があっても挑戦したい

「若いうちはいろいろな仕事を体験したい」について、「とてもそう思う」が55.0%で、前回と大きな変化はなかった。
全国（31.3%）と比較すると23.7ポイント高い。



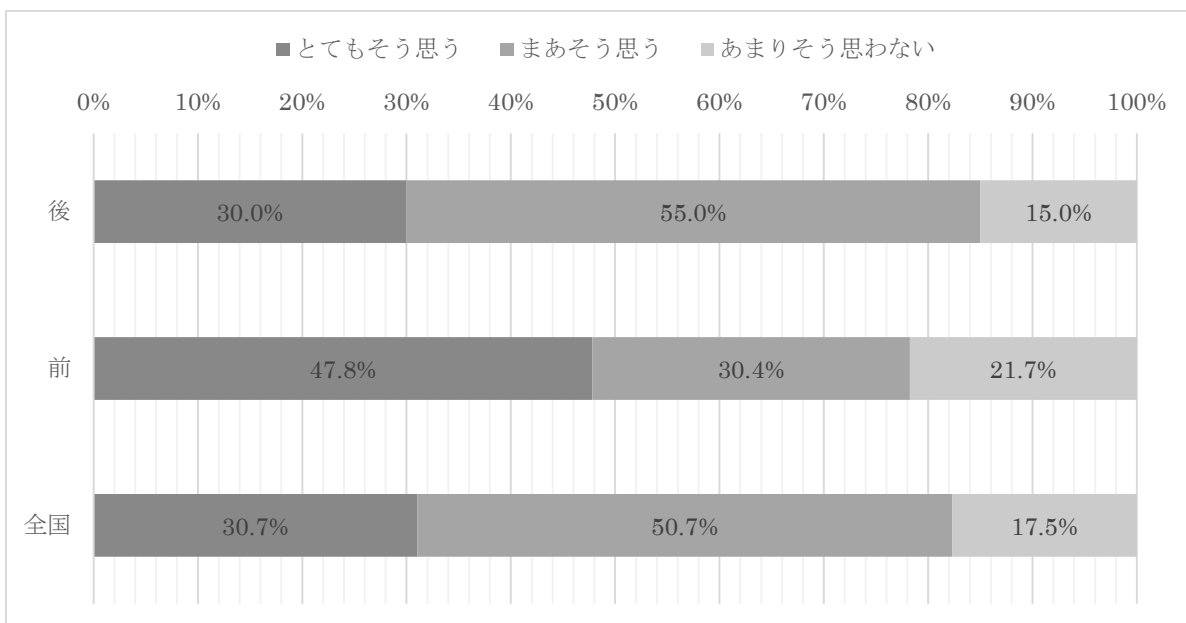
若いうちはいろいろな仕事を体験したい

「暮らしていける収入があればのんびり暮らしたい」について、「とてもそう思う」が40.0%で、前回と比較すると25.2ポイント低下した。
全国（19.0%）と比較すると9.0ポイント低かった。



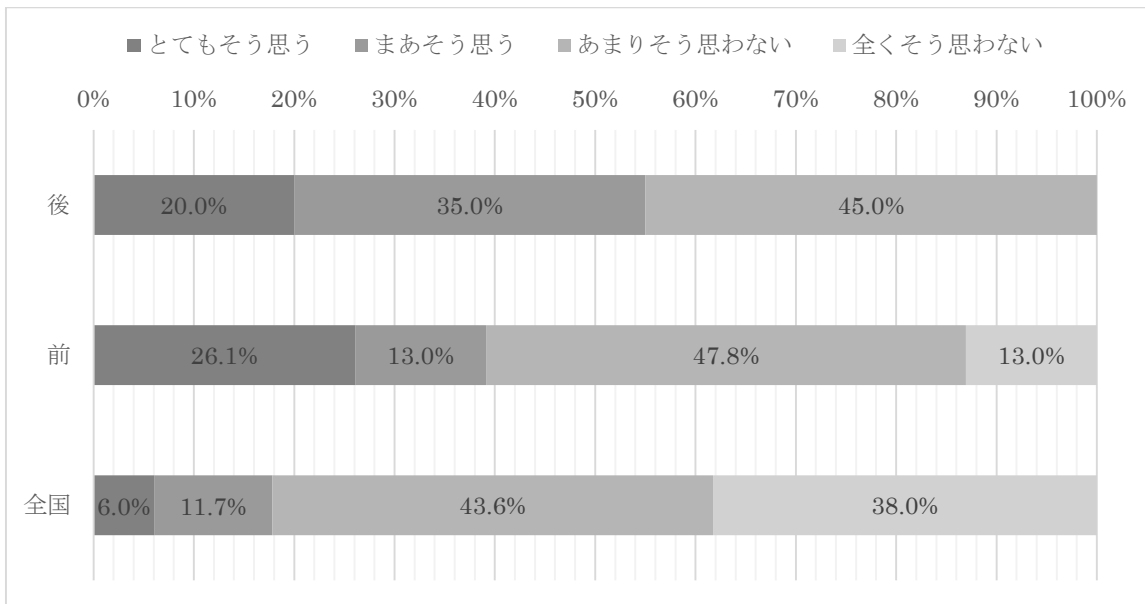
暮らしていける収入があればのんびり暮らしたい

「仕事よりも自分の趣味や自由な時間を大切にしたい」について、「とてもそう思う」が30.0%で、前回と比較すると17.8ポイント低下した。
全国（30.7%）とほぼ同率だった。



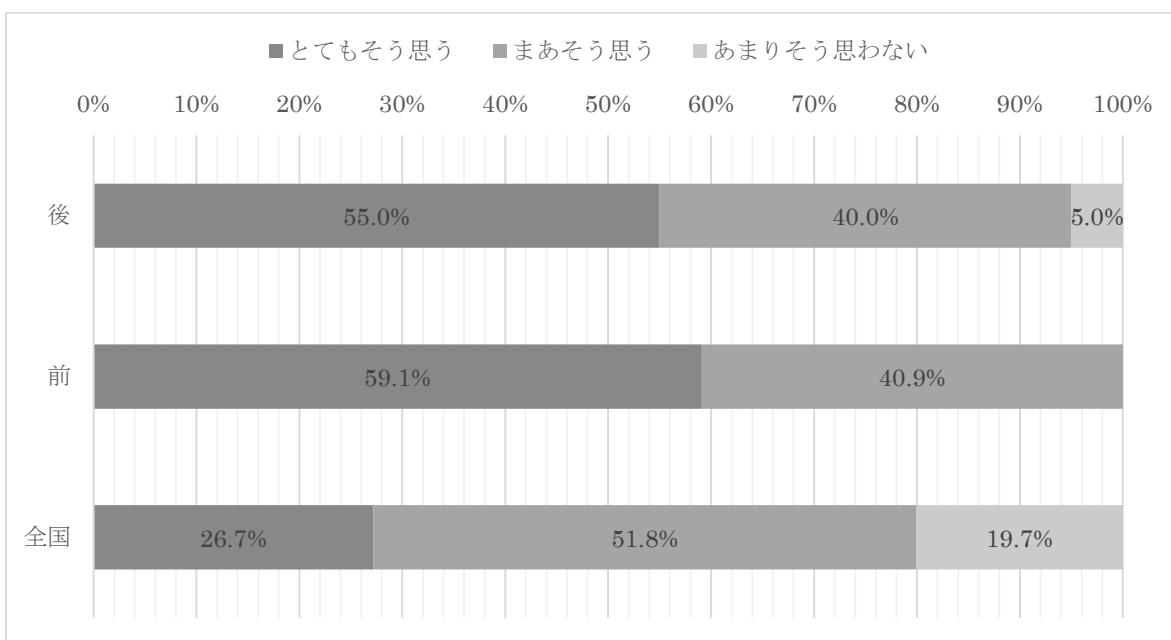
仕事よりも自分の趣味や自由な時間を大切にしたい

「自分の会社や店を作りたい」について、「とてもそう思う」「まあそう思う」が55.0%で、前回と比較すると15.9ポイント上昇した。
全国（17.7%）と比較すると、37.3ポイントで、3.11倍だった。



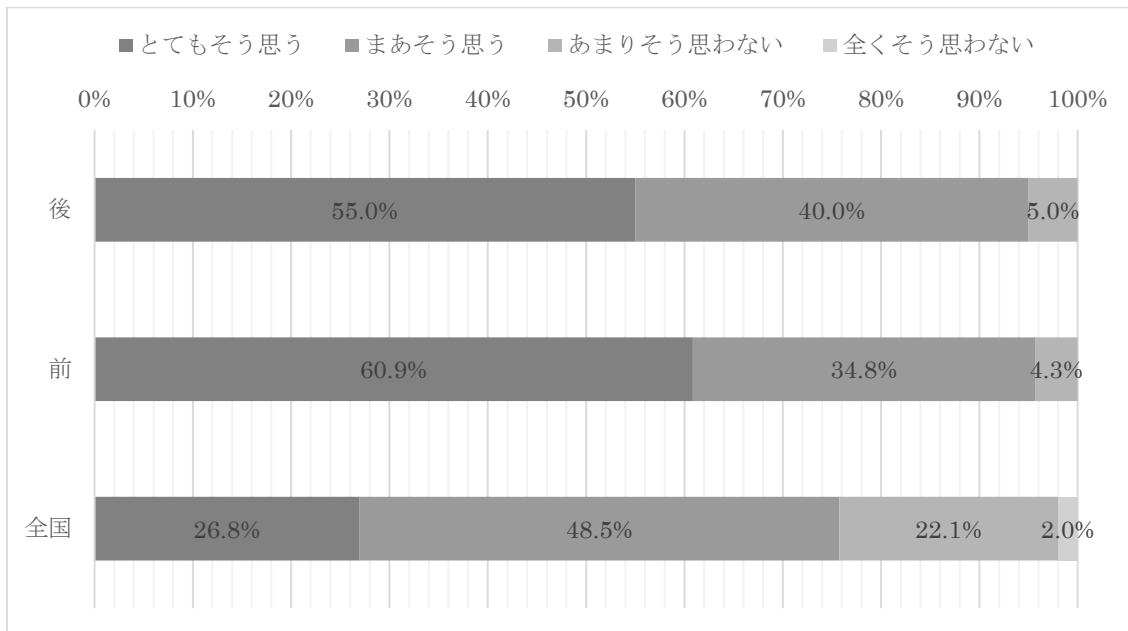
自分の会社や店を作りたい

「学歴より技術や技能を身につけることが大事だ」について、「とてもそう思う」が55.0%で、前回と比較して4.1ポイント低下した。
全国（26.7%）と比較すると、28.3ポイント大きく、2.06倍だった。



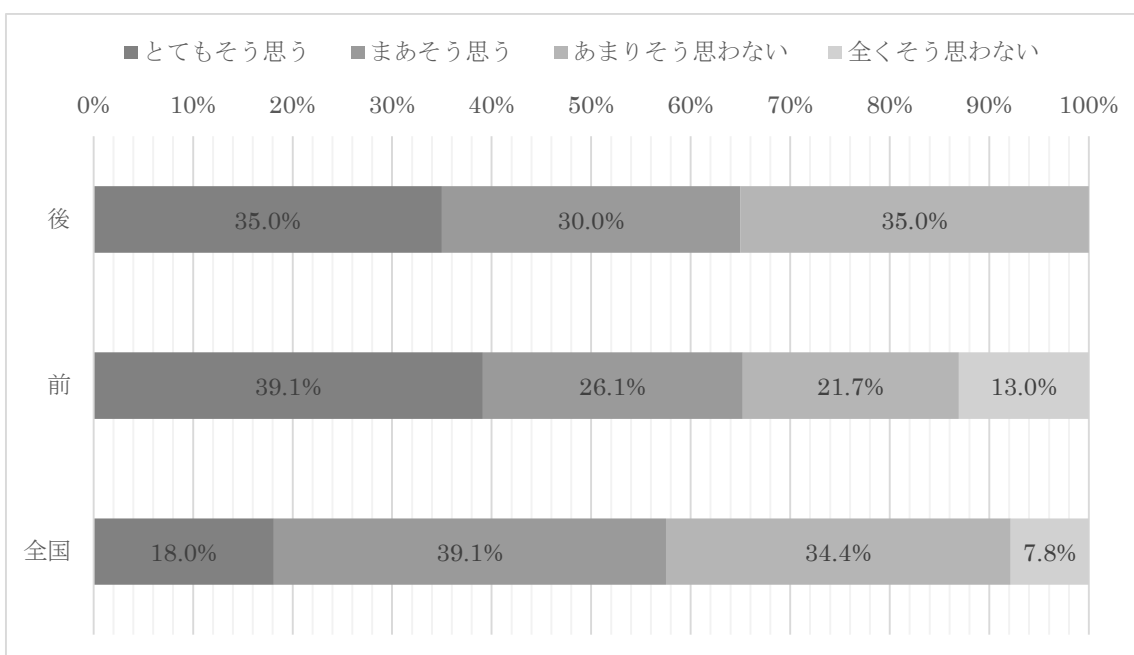
学歴より技術や技能を身につけることが大事だ

「周りに反対されても自分がやりたいことをしたい」について、「とてもそう思う」が55.0%で、前回と比較すると5.9ポイント減少した。
全国（26.8%）と比較すると、28.2ポイント高かった。



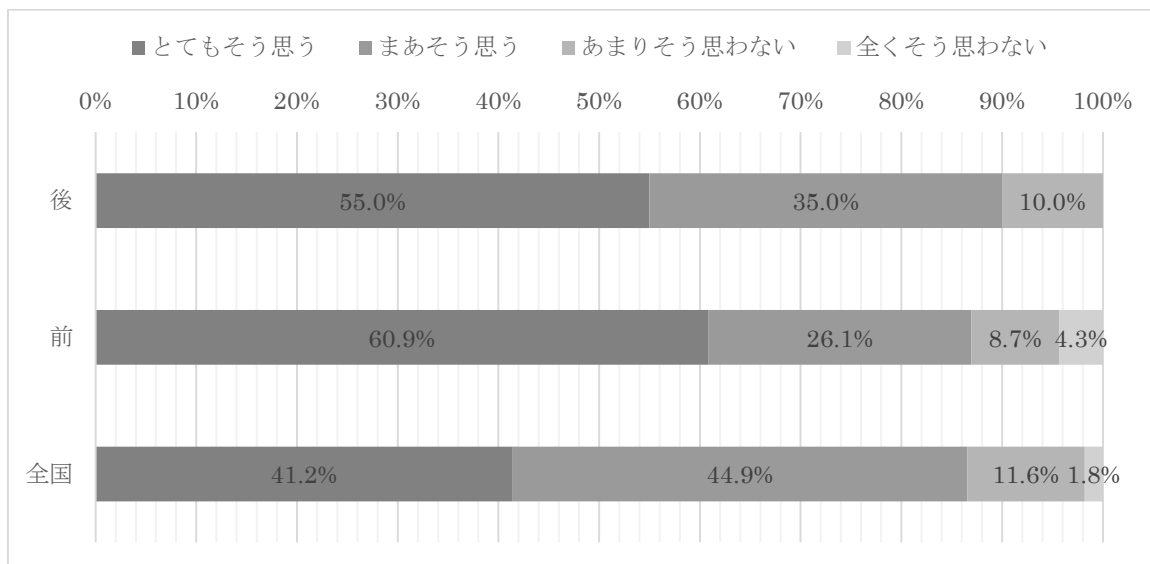
周りに反対されても自分がやりたいことをしたい

「地元で仕事や生活をしたい」について、「とてもそう思う」35.0%で、前回と比較すると4.1ポイント低下した。
全国（18.0%）と比較すると、17.0ポイント高く、1.94倍だった。



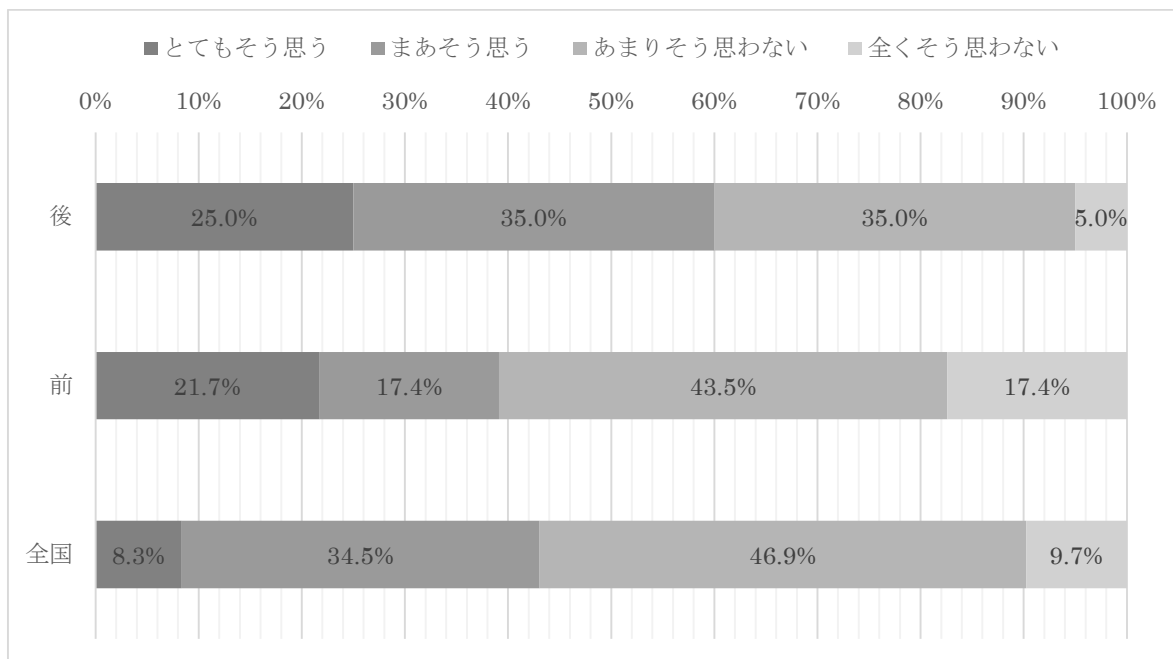
地元で仕事や生活をしたい

「社会に役立つ仕事をしたい」について、「とてもそう思う」が55.0%で、前回と比較すると5.9ポイント低下した。
全国（41.2%）と比較すると、13.8ポイント高かった。



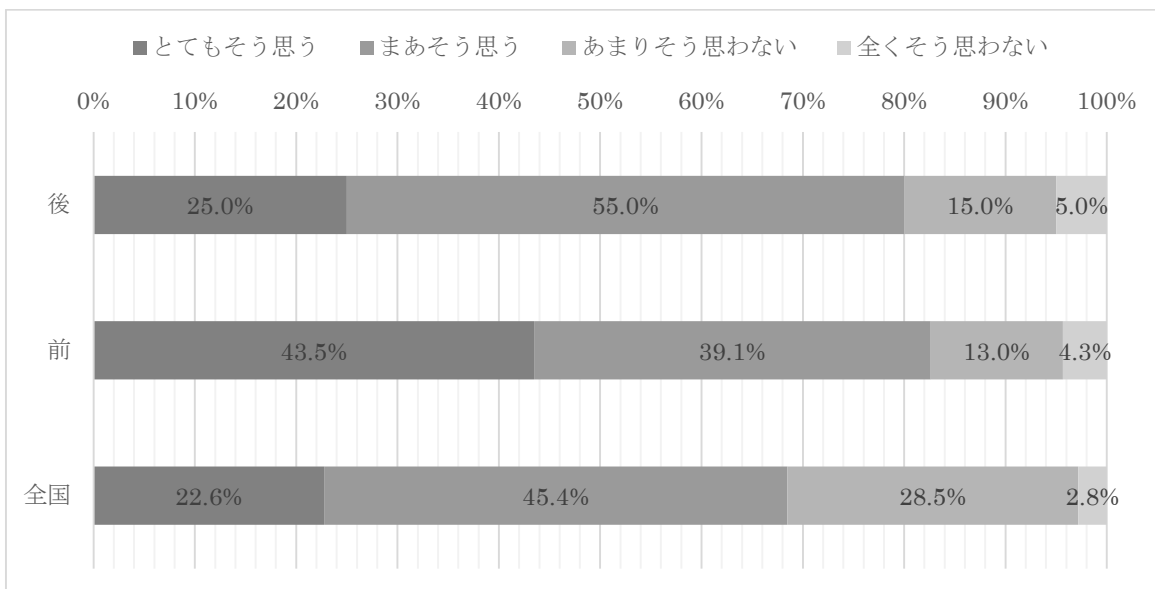
社会に役立つ仕事をしたい

「できるだけ高い地位につきたい」について、「とてもそう思う」「まあそう思う」が60.0%で、前回と比較すると20.9ポイント上昇した。
全国（42.8%）と比較すると17.2ポイント高かった。



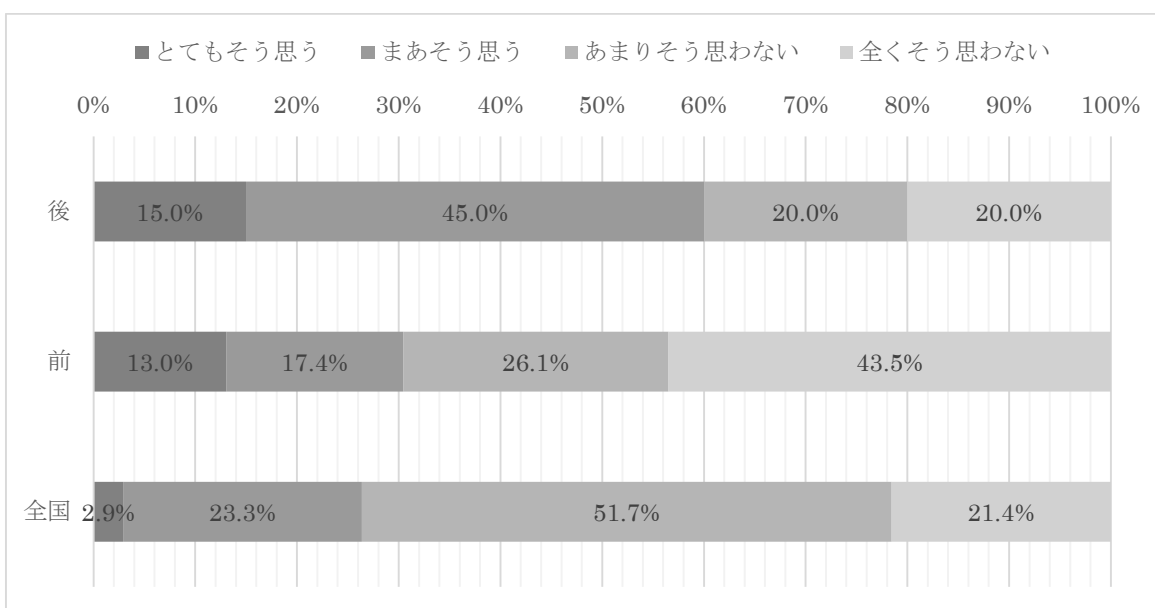
できるだけ高い地位につきたい

「よりよい職場があれば積極的に転職した方がよい」について、「とてもそう思う」が25.0%で、前回と比較すると18.5ポイント低下した。
「まあそう思う」と合わせると80.0%で、全国（68.0%）と比較すると12.0ポイント高かった。



よりよい職場があれば積極的に転職した方がよい

「望む仕事につけなくても、がまんして働くべきだ」について、「とてもそう思う」「まあそう思う」が60.0%で、前回と比較して29.6ポイント上昇した。
全国（26.2%）と比較すると、33.8ポイント高く、2.29倍だった。



望む仕事につけなくても、がまんして働くべきだ

5.5.10 仕事に関する意識・考えの12項目について、「とてもそう思う」と回答した割合をまとめた。

前回と比較して減少の割合（変化率）が高かったのは、「よりよい職場があれば積極的に転職した方がよい」で0.58倍だった。次いで、「暮らしていける収入があればのんびり暮らしたい」で0.61倍、「仕事よりも自分の趣味や自由な時間を大切にしたい」0.63倍だった。
全国との比較で大きく差があったのは、「望む仕事につけなくてもがまんして働くべきだ」で5.17倍、「自分の会社や店を作りたい」で3.33倍、「できるだけ高い地位につきたい」3.01倍だった。

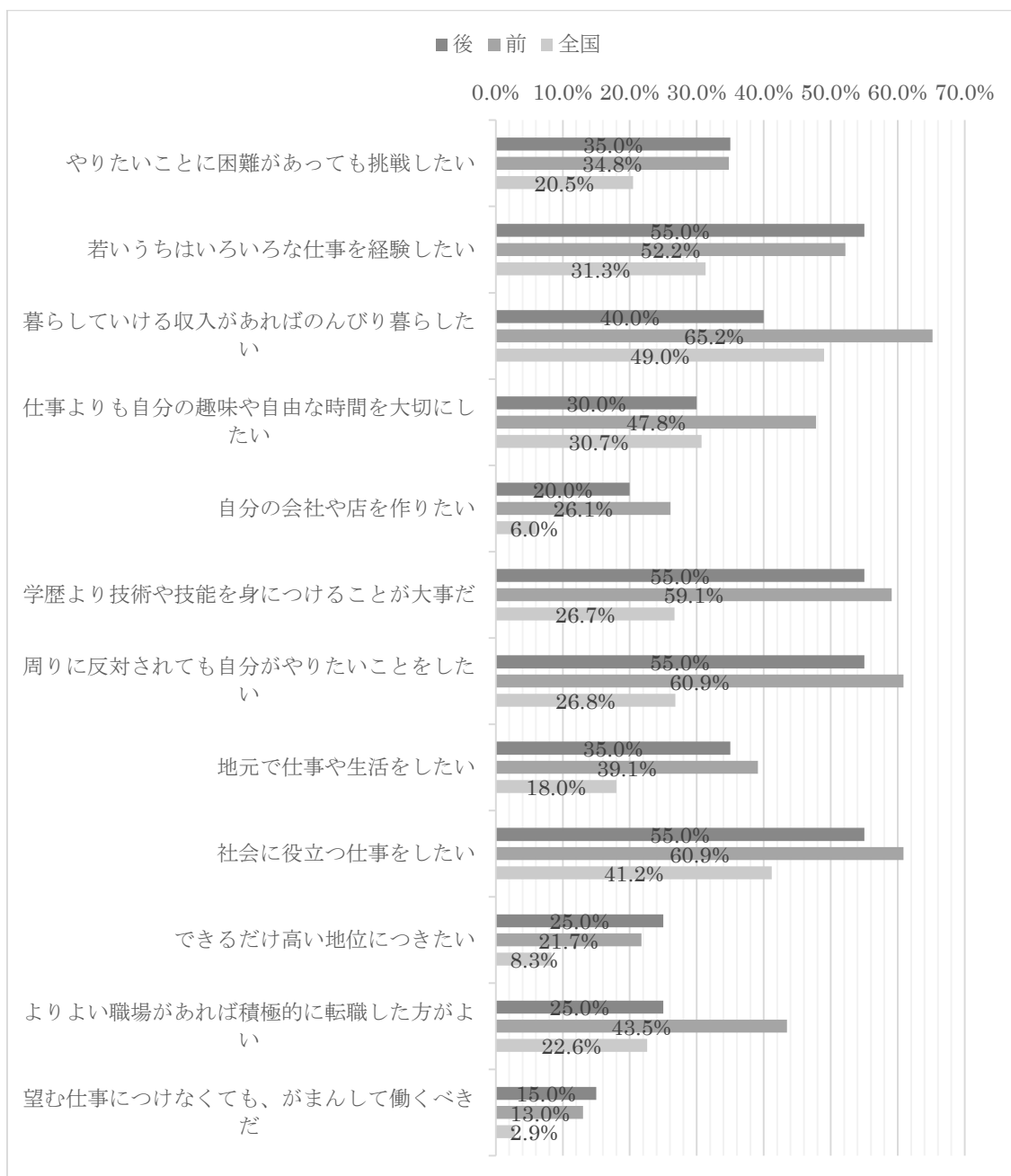


図 35 仕事に関する意識・考えで「とてもそう思う」と回答した割合

「高校生の職業意識に関する調査」について

この調査は、みなさんの職業意識が1年間でどのように変化したかを把握するとともに、全国調査と比較することで今後のキャリア教育の研究や参考にするを目的としています。

・調査データは厳重に保管され、統計的に処理されます。個人のプライバシーの保護については十分配慮しあなたにご迷惑をおかけすることはありません。またキャリア教育の研究や参考の目的以外には使用しません。

・学籍番号を書いてください。個人の特定はせず、職業意識の変化を確認することのみに利用します。

・答えたくないと思ったものは○をつけなくてもかまいません。また、提出したくないと思った場合は提出しなくてもかまいません。回答内容や、また、回答や提出をしなくても学校での成績や評価には一切影響しません。

・アンケート調査への回答や用紙の提出によって、キャリア教育の研究や参考への利用協力に同意したとみなさせていただきます。

問1 あなたの学籍(出席)番号を書いてください。名前は書きません。

問2 あなたの性別に○をつけてください。(○は1つ)

男 女 答えたくない

問3 将来の職業について保護者との程度話し合っていますか。(○は1つ)

- 1 よく話し合っている 2 ときどき話し合っている
3 あまり話し合っていない 4 ほとんど話し合っていない

問4 将来希望する職業を決めていますか(○は1つ)

- 1 はっきり決めている 2 おおよそ決めている
3 考えているがまだ決めていない 4 まだ考えていない
5 将来仕事に就きたいとは思わない

問5 あなたにとって「仕事」や「働くこと」は、どんなイメージですか？以下のそれぞれについて、あてはまるものの数字に○をつけてください。(○は1つずつ)

	とても そう思う	まあ そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない
a.楽しい	1	2	3	4
b.苦しい	1	2	3	4
c.やりがいがある	1	2	3	4
d.つまらない	1	2	3	4
e.生活のため	1	2	3	4
f.社会人としての義務	1	2	3	4

問6 職業を選ぶにあたって、次のことをどのぐらい重要視しますか。それぞれにつき、あてはまるものに○をつけてください。(○は1つずつ)

	とても重要	やや重要	あまり重要でない	全く重要でない
a.収入	1	2	3	4
b.社会的地位	1	2	3	4
c.安定性	1	2	3	4
d.仕事の内容ややり方を自分で決められる	1	2	3	4
e.自分の興味や好みに合っていること	1	2	3	4
f.働く時間を自由に決めること	1	2	3	4
g.能力を発揮できること	1	2	3	4
h.社会や人の役に立つこと	1	2	3	4
i.働きやすいこと(仕事の環境)	1	2	3	4
j.新しいことにチャレンジできること	1	2	3	4
k.勤務地の場所	1	2	3	4

問7 あなたは将来、どこで働きたいと思いますか。あてはまるもの一つだけ○をつけてください。

- | | |
|-------------|----------|
| 1 今住んでいる市町村 | 2 県内の市町村 |
| 3 県外(国内) | 3 海外 |

問8 次にあげる仕事に関することで、あなたの考えに近いものはどれですか。あてはまるものに○をつけてください。(○は一つずつ)

	とても そう思う	まあ そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない
a.やりたいことに困難があっても挑戦してみたい	1	2	3	4
b.若いうちはいろいろな仕事を体験したい	1	2	3	4
c.暮らしていける収入があればのんびり暮らしたい	1	2	3	4
d.仕事よりも自分の趣味や自由な時間を大切にしたい	1	2	3	4
e.自分の会社や店を作りたい	1	2	3	4
f.学歴より技術や技能を身につけることが大事だ	1	2	3	4
g.周りに反対されても自分がやりたいことをしたい	1	2	3	4
h.地元で仕事や生活をしたい	1	2	3	4
i.社会に役に立つ仕事をしたい	1	2	3	4
j.できるだけ高い地位につきたい	1	2	3	4
k.よりよい職場があれば積極的に転職した方がよい	1	2	3	4
l.望む仕事につけなくても、がまんして働くべきだ	1	2	3	4

ご協力ありがとうございました。

質問項目は、独立行政法人 国立青少年教育振興機構

「高校生の進路と職業意識に関する調査報告書-日本・米国・中国・韓国の比較-(令和5年6月)」より引用させていただきました

国立青少年教育振興機構 所蔵資料等検索サービスより「高校生の進路と職業意識に関する調査」で検索できます。

<http://www.niye.go.jp/research/jyouthcenter/>

<本アンケートの問い合わせ先>

調査研究責任者:学校法人 KBC 学園 学園本部 地域創生室 仲宗根 真 TEL:098-941-3159

文部科学省事業 令和5年度「専修学校による地域産業中核人材養成事業」	
第1回 プログラム検討委員会 議事録	
開催日時	2023年8月18日(金) 15:00~17:00
会場並びに開催方法	インターナショナルリゾートカレッジ 701教室 (一部、ZOOM 利用によるリモート方式)
出席者	<p>(プログラム検討委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校法人 静岡理科大学 静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教務課長 立石 公平 ・株式会社国際旅行社 取締役総務部長 山城 秀康 ・タピック沖縄株式会社 ユインチホテル南城 管理部 戦略人事 課長 高橋 俊博 ・沖縄ワタベウェディング株式会社 人事総務グループ 人材開発チーム マネージャー 内間 ゆり絵 ・JALスカイエアポート沖縄株式会社 地域事業推進室 室長 金城 かおり ・学校法人KBC学園 インターナショナルリゾートカレッジ 知花 賢志 田村 明子 宮城 良之 新里 玲子 吉原 亜矢子 細谷 麻衣 ・学校法人KBC学園 地域創生室 支援部 仲宗根 真 玉城 薫 東 知範 <p>公務のため欠席</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県教育庁 学校教育課 産業教育班 外間 勝 ・沖縄県立 具志川商業高校 金城 寛史 <p>(教材制作)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式会社 穴吹カレッジサービス 広原 敬幸 <p>(議事録作成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校法人KBC学園 地域創生室 支援部 部長 仲宗根 真
議題	<p>議 事</p> <ul style="list-style-type: none"> 議題1 令和5年度事業計画説明 議題2 令和5年度プログラム評価と実証授業結果概要 議題3 沖縄の観光業を取り巻く環境について (意見交換)
配布資料	<p>配布資料</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料① プログラム検討委員名簿 資料② 令和5年度事業計画書 資料③ 令和5年 高専連携プログラム(観光)「教育効果測定」について 追加資料 230811 沖縄タイムス_観光に関する県民意識調査
会議概要	仲宗根よりスケジュール、配布資料の確認後、知花が挨拶。議題1にて仲宗根より令和5年度事業計画説明を行う。議題2で広原よりプログラム評価、実証授業結果概要について説明。休

	<p>息後、議題 3 では沖縄の観光業を取り巻く環境について各委員と意見交換を行った。最後に今後の予定を確認して終了。</p>
目次	<p>議題 1：令和 5 年度事業計画説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲宗根より資料②を使い、今年度の事業計画を説明 <p>議題 2：令和 5 年度プログラム評価と実証授業結果概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料③を使い広原氏が説明。 <p>議題 3：沖縄の観光業を取り巻く環境について（意見交換）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲宗根が追加資料を使い、観光業界に対する考えの現状結果を報告。資料③との結果も踏まえ委員と意見交換を行った。 <p>感想・意見等</p> <p>(山城委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日、南部商業高校の前を通っており部活や通学の様子を見ているが、県内の高校でもこれほど結果が異なるのかと感じた。とても貴重な良いデータだと思う。 ・この結果と後半でのアンケートを踏まえた結果や、各高校のなかでの良い傾向や不足している情報などを分析して今後の取り組みが変わってくるのか？ <p>(仲宗根)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このプログラムは国の事業により日本全国で通用することを基本としているので「全国の高校生」という部分で考えていく必要がある。今回のアンケートでは同じ沖縄県内の高校生でも項目によって大きく結果が異なった。これをどう捉えるかは 1 つの大きな課題である。 ・もし両校で情報の伝わり方が異なり、現実とのギャップが生じているのであればその点は改善して伝えることができる。それでも後半のアンケートでこのような結果となった場合、プログラム構築の枠組み自体を検討する必要がある。この点も 1 つ考えながら進めていきたいと考えている。 <p>(高橋委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結果の数字を含め、非常に興味深い。自身にとっても役に立つデータである。 ・この事業とは別で南部商業高校や併設のやえせ高等支援学校で接客マナー講師やビジネスマナーコンテストの審査員を務めている。キャリア教育の分野として、この事業と合わせてやっていると非常に良いと思った。 ・数字を見てみると、現実が見えている一方で夢心地的な部分もあり、理想と現実がボンヤリしていると感じた。逆に言うとまだまだ夢が多く、現実とそうではない部分など見えていないところも多いと思うので、この事業で観光業の魅力をしっかりと伝えることができれば数字は変わってくると思っている。私自身、講師として授業を行う際は、マナーの話をネタにキャリアの話や観光業界の仕事の楽しさを必ず伝えるようにしている。特に小学生からてき面に変わってくるのでそういった点からやっていくことが本当に良いのではと思っている。 ・人材の話についてだが先日、キャリア教育の機会で自動車業界の方と一緒にあった。その方はコロナ禍以前、レストランサービスで務めており人材流出の実例を見た。観光業界からポロポロと人

	<p>材が抜けてしまっているのは本当に強く感じている。私たちからも他の業界から観光業へ人を呼ぶことも大切なのではと思う一方、人材不足は仕方のない部分もあるので外国人や障がい者採用などチャンネルを増やし働き手を増やすことは重要だと人事担当として感じる。</p> <p>(仲宗根)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門学校は K P I を踏まえると 95%以上が観光系に就職していたが、入学から卒業までに就職への意識が大きく変化していくのか。それとも年齢的なのなのか。感じる部分を聞かせてほしい。 <p>(宮城委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学してくる学生は早い場合、高校 1 年生から仕事に興味を持っているので卒業まで 5 年程関わる。学科によって就職する業界の方向性も決まっている。業界の魅力や辛い点なども含めて話をする点や現場でのインターンシップなどのプログラムが確立していることを踏まえると、積極性や人前で話ができるようになったという人間性的なものは劇的な変化が見られることはあると思うが、職業意識における劇的な変化はあまりないかもしれない。 ・エアライン系学科で 100%の業界占有という今回の結果を踏まえると入学前からオープンキャンパスなどでしっかりと話ができることにより、モチベーションの維持につながると感じる。 <p>(内間委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・K P I より 95%の専門学生が希望する業界に進むということは、進むことでさらに魅力を感じてもらえる。観光業にまだ興味を持っていない子どもたちが興味を持ち専門学校に進み、業界へ進んでいくとなれば、現在の高校生向けプログラムがいかに大切であると実感した。 ・学校の授業で専門的な知識を学んでいると思う。企業で行う実習では受け入れる側によって専門学生の業界志望度を大きく左右すると思う。観光業の魅力を伝える実習期間にできれば業界、企業に行きたい気持ちも上がると考えると企業の実習を受け入れる責任感をすごく感じる。 ・当社の人材確保について話をする、今年の辞退率は下がった。プライダル業界を希望し来ていると思っているが、辞退するする子の多くが金融や保険といった県内大手を選び同業他社はあまりいなかった。安定という点を比較された場合、どうしても負けてしまうという現状は今までと変わっていない。また親に反対されて辞退するケースも数名いた。 ・来年、入社する子から専門学校と大学卒業者の初任給を統一した。高校生が大学進学理由の 1 つとして初任給の違いがあると思う。しかし結局は就活で同じレベルで見えていくので初任給の段階で分ける必要は無いと思った。しかし昇給で差が出るかもしれない。企業ができる 1 つとして、専門学校と大学の収入差を変えることで専門性を高める学生が増えたり、専門学校を希望する子も上がると思う。 <p>(高橋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当社でも統一した。現場から見ると専門学生が戦力になっていると肌で感じる。やはり専門知識を学んでいる専門学生に比べると大卒の育成は時間を必要とする。正当な評価をしてほしいと伝えた。 <p>(宮城)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このような業界の動きは難しいと思っていたので、大卒とは違う部分が武器になるように学生指導を行ってきたい。
--	---

	<p>(金城委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・採用では希望人数が集まらないのが現状。入社後3～4年目が次のステップを考えるボーダーラインとなることが多いので、そこをどう乗り越えてもらうかが課題となっている。 ・コロナ禍により旅行や空港に行く機会が減ったことでグランドスタッフの働く姿を見ることが少なくなったことや、大変そうといったイメージなどで航空業界へ興味を持つ子が薄れたと感じる。 ・興味、関心を持ってもらうことが先だと考え、学生に向けたエアポート教室を通じ職業紹介や空港見学を行っている。専門学校や大学生を対象としたインターンシップでは、体験を通じて仕事の内容や面白さを知ってもらえていると感じる。ジョブシャドウイングやインターンシップの大切さを感じている。 ・専門学校を希望する子はその業界に興味を持って来ていると思うので、その前段階である高校、中学、さらに小学生に向けた航空教室などで興味を持ってもらう取り組みを今後、展開していければと考えている。 ・追加の資料によると、沖縄で観光業の果たす役割は高いと答えている割合が高いにも関わらず、実際に働かせたいと思えない割合が高い原因は何か。どの部分がそうさせているのか気になる。当社でも辞退する方がいるが、理由として航空業界の同業種にて取捨選択しているケースを感じる。このギャップは何なのか気になった。 <p>(内間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意識が高い子ほど、業界や給与面を気にしていない場合が多い。就職活動が遅かった人は給与面などで判断する割合が高いかもしれないが、やはりキャリア意識の高い子ほど、給与や土日休みといった点はそのままで考えていないというのが高い印象。自分の持つ志が1番発揮できる企業、業界がどこなのかという点に軸を持っている場合、業界にはこだわっていないのではないかと。 <p>(金城)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの高校生、専門学生がエアポートスクールの受講に来るが、中には興味が低い子もいる。もともと目指していたというより、何となく来たという場合もあり少し残念な気持ちにもなるが、中学校からも職業体験などの問い合わせが来ている現状があるので、まずは興味を持ってもらうことが先だと思う。何でも出来ることはやっていきたい。 <p>(立石委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡でもコロナ禍に航空業界を目指す学生が減少したが、現在は回復傾向にある。企業の人材不足は両県ともに同じだと感じた。 ・静岡の伊豆半島は有数の温泉地で老舗旅館が多いが、地元の若者はそこに就職せずに出て行ってしまうので都内を中心とした県外から人を呼んでいる現状がある。私の勤務する静岡市から沖縄や伊豆は「非日常」であり憧れがある。しかし地元の人からするとそれは「日常」となっているのではないかと。静岡県内には高級クラスのホテルが少なく、沖縄には多い点を見るとそれが日常で当たり前になっている部分が「憧れ」を持つという部分で少し難しい点だと思った。 ・私たちの取組みとして「憧れ」を持たせる目的で1年生の6月に都内の外資系ホテルを巡る研修を行っている。これが学習や就職へのモチベーションに繋がっていると感じる。コロナ禍により現在の中高生は修学旅行や家族旅行の機会が減り、観光業を知るチャンスやきっかけを失った子たち
--	--

	<p>へ職業を伝える講話は重要である。一方で人材不足の印象が先に出てしまっていることが1つの大きな課題とも思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの結果からも沖縄の高校生は働く意欲や自身の可能性を社会に活かしたいという熱い希望があるが、人材不足＝誰でもよいのではという考えもある。職業や就業価値の低下を感じるので、観光業に関する職業の価値をどう高めていくかが重要と思う。 ・人材不足の部分が強く出してしまう企業のお話もあったので、学生に業界のさらなる拡大と人材の必要性を伝え、職業価値の高めて憧れを持ってもらえる内容にして欲しいと願っている。 <p>(仲宗根)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体を通じて、今後のプログラム構築に関する要望や意見はないか？ <p>(田村委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果で保育士や美容師の業界に関して聞いてみたいという意見が多かった。観光業を目指して進学した高校生がなぜ観光業以外の業種に目を向けているのか考えていかないと観光系の学校や業界に進んでくれないと考えてしまう。ぜひヒアリングしてほしい。 ・例えば、高校時代のインターンシップを通じて観光業の魅力を実感したかのか、受け入れ企業の不足で保育園など他の業界に触れたことがきっかけで目を向けるようになったのかなど資料を集めてもらえると今後の参考になると思う。 <p>(仲宗根)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前、観光系学科を持つ高校の先生に観光業以外の進路を選択する理由を尋ねたところ、高校選択時に学校の雰囲気や制服が良い、学校が活発であるという理由で選んだ生徒もいるとのことであった。その中には、インターンシップ等で観光業界の魅力をしっかり伝えることができれば、興味を持つ可能性がある生徒がいると思った。観光系の学科だから観光業界を目指しているという前提を外し、情報発信の範囲を広げるなども含めて進めていきたいと思う。 <p>(知花委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今あったような理由で高校を選択している1年生がいる点を踏まえ、現場でも観光業に関する授業内容だけでは不足してしまうと感じている。現在、高校では職業に関する講話の終了後、具体的な進路を決定していく校内ガイダンスを実施する取り組みを行っている。はじめに高校生は「観光」「美容」「保育」といった自身が興味のある話を選択して聞くので、伝える側がその職業の魅力や価値をしっかりと伝えていく必要がある。 ・Z世代と呼ばれる子どもたちは自分に興味のある情報が中心になりがちである。ITやICTの情報分析も興味や関心により限られた情報しか送ってこない。他の情報量が不足している状態で職業別講話を受講し、新たに知ることや興味を持つ。これが観光業界から他の業界へ進むきっかけやその逆になる状態が続いていると思う。コロナ禍の影響を強く受ける子どもたちに対して、この業界で学ぶ価値や将来の活躍できる姿を伝えられていることが業界への高い就職実績となっている。この点を高校生や中学生に落とし込めると、職業選択の幅も広がるのではないかと。今までの手段は通用しない。オープンキャンパスでは学校のPRより、その業界で学ぶ楽しさや卒業後活躍がキャリア構築の第一段階であることを伝えている。この説明を通じて職業に関する興味が広がると思う。
--	--

・マルチメディアやテレビを通じて観光業を伝える取り組みはとても良いが、コロナ禍での空港利用者の減少、ホテルのキャンセルといった負のイメージが保護者層に強くインプットされてしまい、再度そのような状況になった場合、仕事がなくなってしまうかもという話が保護者からあったと高校生から聞いたことがある。このようなイメージを払拭していかないと観光業はどんどん低迷してしまうので、こちらから興味を持ってもらえる取り組みを積極的に発信していきたいと思う。

・今後の予定について（仲宗根）

① 実証授業

（具志川商業高校）

2023年 5月25日（木） グランドハンドリング （実施済）

2023年 7月20日（木） グランドスタッフ・キャビンアテンダント （実施済）

2023年 10月26日（木） プライダル・ホテル系

2023年 1月18日（木） 語学・留学系

2023年 3学期 観光業の魅力について（1年生対象）

（南部商業高校）

2023年 7月10日（月） 観光業の魅力について（1年生対象/実施済）

② 第2回 プログラム検討委員会（予定）

日程：2023年11月17日（金）15:00～17:00

会場：インターナショナルリゾートカレッジ

その他：本日の参加お礼（仲宗根）

以上 委員会を終了する。

Zoomにて参加した立石委員と、会場の様子



文部科学省事業 令和5年度「専修学校による地域産業中核人材養成事業」	
第2回 プログラム検討委員会 議事録	
開催日時	2023年11月17日(金) 15:00~17:00
会場並びに開催方法	インターナショナルリゾートカレッジ 701教室 (一部、ZOOM 利用によるリモート方式)
出席者	<p>(プログラム検討委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県教育庁県立学校教育課 産業教育班 指導主事 外間 勝 ・沖縄県立員志川商業高等学校 教諭 金城 寛史 ・学校法人 静岡理科大学 静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教務課長 立石 公平 ・学校法人KBC学園 インターナショナルリゾートカレッジ 教務部長 田村 明子 教務課長 宮城 良之 教務課長 新里 玲子 就職課主任 細谷 麻衣 ・株式会社国際旅行社 取締役総務部長 山城 秀康 ・タビック沖縄株式会社 ユインチホテル南城 管理部 戦略人事 次長 高橋 俊博 ・沖縄ワタベウエディング株式会社 人事総務グループ 人材開発チーム マネージャー 内間 ゆり絵 ・JALSスカイエアポート沖縄株式会社 地域事業推進室 室長 金城 かおり ・学校法人KBC学園 地域創生室 支援部 部長 仲宗根 真 玉城 薫 東 知範 <p>(教材制作)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式会社 穴吹カレッジサービス 広原 敬幸 <p>(議事録作成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校法人KBC学園 地域創生室 支援部 部長 仲宗根 真
議題	<p>議事</p> <p>議題1 令和5年度実証授業取組(中間報告)</p> <p>議題2 観光人材育成の為の産学連携について(意見交換)</p>
配布資料	<p>配布資料</p> <p>資料① 実証授業報告書概略版 員志川商業高校</p> <p>資料② 実証授業報告書概略版 南部商業高校</p> <p>資料③ 2023年度高校生の職業意識調査(3高校プログラム前)報告書</p> <p>資料④ 令和2年3月_進路指導に関する総合的実態調査第一次報告書(抜粋版)</p> <p>出展: 国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター キャリア教育に関する総合的研究 第一次報告書 令和2年3月</p>
会議概要	仲宗根よりスケジュール、配布資料の確認後、知花の挨拶を代読後に委員を紹介。議題1にて仲宗根より令和5年度実証授業取組(中間報告)を行う。議題2で観光人材育成の為の産学連携について各委員と意見交換を行った。最後に今後の予定を確認して終了。

目次	<p>議題 1：令和 5 年度実証授業取組（中間報告）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲宗根より資料①～②を使い、これまで実施した実証授業の結果を報告 <p><u>質問・意見等</u></p> <p>（外間委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職業イメージ変容調査の見方について教えてほしい。結果は「後」の数字から「前」の数字を引いた数値と考えてよいのか。 <p>（仲宗根）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はい。同じ内容の質問を授業実施前と実施後に行い、どのように変化したかを比べている。資料②の南部商業高校の結果は、授業後のアンケートが一部回収できなかったため、前後の総数が変わってしまっている。 <p>※アンケートの集計を行った広原より、資料を使い補足の説明を行った。</p> <p>※今回はダイレクト版を資料として使用したので、後日に全データの結果を準備することとなった。</p> <p>議題 2：観光人材育成の為の産学連携について（意見交換）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲宗根より資料③～④を使い説明 <p><u>質疑・応答等</u></p> <p>（仲宗根）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校ではインターンシップをどのように捉え、学生へ指導しているのか聞かせてほしい。 <p>（立石委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校ではインターンシップをカリキュラムに含んでおらず、夏休みに希望者のみ参加している。やる気のある学生が多いということで、沖縄のホテルにも協力してもらったこともある。 ・教育的視点を忘れない、ということを大切にしている。内定がもらえるかもしれないという考え方は一切持たず、受け入れてもらう企業の人事担当者とも就職は別と考えてもらい受け入れてもらっている。 ・学生には目標シートを作成してもらい、自分の立てた目標が達成できたかや期間中の行動などをすべて含めて企業には評価してもらい、終了後に学校で振り返りを行う。また今まで学んできたことを現場で確認することを目標としてやってきたので、インターンシップ先に就職した学生は 1 人か 2 人程度で違うホテルに就職するのが現状であった。この点は企業も理解してくれているので問題ない。 ・専門学生はある程度の知識とスキルを持ち合わせている場合が多いので、インターンシップというよりヘルプ的な要因として見られてしまう部分がある。そうなると教育的視点が失われてしまうのでその点をもっとカバーすることが私たちの中にはある。なぜそうしたかという、インターンシップを開始した頃、多くの学生が泣きながら電話をしてくたり、途中で辞めたいということが結構あった。振り返りやヒアリングを行うと、事前学習がしっかりできていなかった。対策として、事前学習の指導書を作成して社会人としての基本など 3 コマ程度の時間を使って行った。また学校が学生と企
----	---

	<p>業の間に入り、話ができていた企業とのみインターンシップを行った。独特の方法かもしれないが、学生がこの職業は「いいな」と感じる確認が結構できたと思う。違う業界へ就職を希望する学生がほぼいなくなった。やはり教育的視点を忘れないことが一番のポイントかと思う。</p> <p>(仲宗根)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改善方法や改善した点についてもう少し教えてもらいたい。 <p>(立石)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生に希望だけを持たせないようにした。また現場の方々は日々のオペレーションを回すことが必死になってしまい育成という考えが低いことも多いので、人事担当を通して現場のマネージャーにもしっかり話をしてもらった。そして目的を理解し了承してくれた企業と行った。また期間中にホテルに顔を出し、直接現場のマネージャーに挨拶をするようにした。現場と私たちの思惑を一致させることが重要かと思う。 <p>(仲宗根)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門高校としてインターンシップのとらえ方や課題を教えてもらいたい。 <p>(外間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領が新しくなったタイミングでインターンシップの代わりに探究学習という授業でも構わないということになり、普通科を中心に探究学習という方法が増えている。専門高校ではインターンシップを行うこととなっているが、具志川商業高校の「具商デパート」などインターンシップと同等の取組みがあればよいということになっている。 ・沖縄県の就職を担当しているがコロナ禍の影響でインターンシップが2～3年行えない状況が続いたことで積極的に就職活動に取り組める生徒と、将来やりたいことがわからない、卒業後に何をしたいかわからないといった生徒の二極化が進んでいると感じる。就職の決定率を全国と比較すると、年度末にはほぼ同等になるが開始直後の9月、10月末では30ポイントほど離れてしまっている。先ほどのアンケートで「はっきりと決まっている」という結果が低いのも、取り組みやキャリア開発が遅れているのだろうと感じる。コロナ禍の影響でもうしばらく苦勞と思う。 ・コロナ禍により休みがちになってしまい、出席日数や単位保留などから卒業することが第一になってしまうことも原因となっている。元々、県外に比べると取り組みが遅く、自分で出来なくなっている子は今まで以上に手がかかってしまうという印象がある。 <p>(山城委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生のインターンシップ受け入れは数年前まではあったが現在は無い。もしそのような機会があれば、現状を踏まえ我々のできることをあれば連携してやってみたいと思った。 ・以前は仲介業者から受け入れの時期や人数といった打診があった。コロナ禍の影響かと思うが最近では機会が無いと感じる。 <p>(仲宗根)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門学生と異なり、インターンシップの事前学習が少なく、期間も3日～4日と短い高校生を受け入れられる素地のようなものはあるのか？ <p>(山城)</p>
--	---

	<p>・インターンシップを事業計画に組み込んでいないが、社員に目的意識をもって行ってもらうことで全然違うと思う。また受け入れ側のメリットとして、今行っている職種のたな卸しや高校生に伝えることで職業の理解が深まると思っている。</p> <p>(高橋委員)</p> <p>・当社では高校生のインターンシップは積極的に行っているものの1つ。私が窓口として受け入れているがプログラムも含め形が出来上がっているので、一言伝えると全てが回るようにしている。コロナ禍前が多く、小学生から高校生までを含めると30件くらいは受け入れていたがコロナ後は半減して15件くらいになった。</p> <p>・現場もしっかり理解してくれている。就労体験も大事だが、子どもたちには「働いている人を見てね」と言っている。うちで働いている人がどのような気持ち、顔つき、身ぶりをしているかを見ることが一番の勉強になるのでぜひやってほしいということを伝えると効果がある。また職員にもいい意味でプレッシャーになる。</p> <p>・南部商業高校は近隣にある学校の1つで、いろいろな授業に入らせてもらっている。また併設のやえせ支援学校もかなり受け入れており、学校といろいろ協力しながらやれているので関係性が築き始めていると思う。コロナ禍で難しくなっているので、逆に頼ってもらえることは有難い。</p> <p>・現場から高校生の対応に困ったという声も特にない。お世話をしているという感じで対応してくれ、現場からも「ありがとう」「助かったよ」という雰囲気で作ってくれるので、その辺りは上手できていくかと思う。高校生にも、どんどんインタビューしてねと言っている。</p> <p>・インターンシップに来る高校生に必ず課題を出して、ただ来るのではなく当社の良さや弱点を見つけ、対策を提案してもらって一生懸命にやってくれる。だいたい、スタッフ同士が仲良く風通しが良い会社という答えが多いので、これを繰り返すことは大丈夫と思いつつ質問しなさいと言っている。このような方法で進めている。</p> <p>(内間委員)</p> <p>・山城委員と同様、企業や仲介業者から依頼があった場合に受け入れているが、学校から直接の依頼はほとんどない。仲介業者を通じて中学生が来ることが多く、高校生は年に1度あるか。</p> <p>・高校生はブライダル関係に興味を持っていると思うが、中学生は「自宅が近い」や「行ったことがある」といった理由の方が多く印象。ただ女の子が多いので何かしら興味を持って来てきているのではと思う。</p> <p>(仲宗根)</p> <p>・「何となく興味があるが、これを仕事にする」というまでに達していないという場合、「ウェディング業を仕事にするとはどういうことか」といった話をする機会もインターンシップ期間中にあるのか？</p> <p>(内間)</p> <p>・どちらかという話をするというより、一緒に体験してもらって感覚で理解してもらおう。どう感じるかはそれぞれだと思う。職業を知る前に、まずは結婚式の良さを知ってもらうことが最初の入口だと思うので職場見学まで行かなくても結婚式を見てもらい、今後このような業界で働きたいなと感じてもらうこともインターンシップ受け入れの1つのゴールになると思う。あまり職業訓練という点にはこだわっていない。</p>
--	--

	<p>・インターンシップ終了後に再度、質問を受けた経験はないが、新卒採用の志望動機に知ったきっかけは中学生での職業体験や、高校生の時にキャリアの授業で現場の人が来ていたといったことが書かれていることがたまにある。何かしらのきっかけになれていたら嬉しい。</p> <p>(金城かおり委員)</p> <p>・採用担当の部署は別になるが、インターンシップの受け入れは行っている。中心は専門学生や大学生で、高校生は現場見学という方法で空港カウンターの見学などの受け入れはしていた。今月、学校からダイレクトに依頼があり初めて自身の部署で中学生の職場体験を受け入れた。興味を持って来た生徒だったので積極的に質問してくれた。まだ中学生なので遠足気分な点もあったがすごく喜んでもらえ、将来目指したいという感想もあったので非常に手ごたえを感じた。</p> <p>(仲宗根)</p> <p>・今年、貝志川商業高からの依頼で空港系の業種が1番人気なので早い時期に授業を行ってほしいという希望があった。興味を持っている高校生が多いと感じたが、質問や職場見学といった話はあまりないのか？</p> <p>(金城かおり)</p> <p>・直接依頼を受けることは全くないわけではないが、そこまで多くない。今回の中学生も直接連絡あったのでかなり驚いている。高校生の採用も行っているので全くないわけではないが、やはり専門学生や大学生が中心。</p> <p>・高校生の場合、学校の先生を通じての問い合わせがあると聞いている。専門学校や大卒より高卒で入社してくる社員は少ないが、自身が現場にいた頃の印象からすると高卒で入ってきた子たちが働き方も活発だと感じている。個人としては高校生向けに積極的に見学などを通じて現場を知ってもらい、入社してもらえればと思う。</p> <p>(仲宗根)</p> <p>・私たちがインターンシップ前に高校生にヒアリングを行い、その内容を企業に伝えてリクエストに応えてもらうことは可能なのか？</p> <p>(高橋)</p> <p>・大いにあると思う。受け入れる現場からマイナスの部分も言ってほしい。入社後の離職の方が問題だと思うので、そういった点も含め頑張って働いているところをぜひ知ってほしい。正直に言っていると現場には伝えている。</p> <p>(田村委員)</p> <p>・専門学生でもそうだがインターンシップでよく感じる点として、現場でさせてもらえると思っていた内容と実際の内容が異なるというギャップが職業イメージの悪化になると考えている。可能であれば高校生にインターンシップ前にイメージの聞き取りを行い、共有させてもらったほうが現場もやりやすいと思う。またイメージと異なる点があれば、事前に先生が高校生に伝えることで「こういうものなのか」と受け入れやすくなると思う。事前の聞き取りが学校側で可能ならやってもらい、私たち専門学校にも教えてもらいたい。そうすることで職業講話もやりやすくなる。</p> <p>(外間)</p>
--	--

	<p>・全員には難しいが、アンケート形式であれば工夫して出来ると思う。希望ではあるが、観光系の企業と観光系の学科がつながり、ツアー系、ホテル系など毎週違う観光系の企業でインターンシップができ、自身の興味ある分野を知ると離職も無くなるのではと聞いていて思った。</p> <p>・希望ではあるが、名護で務めていた時、地元のツアー系やネオパーク、ホテルなどを4週間交代にインターンシップさせてもらった。各地域でこのような取り組みができると地元の企業を知ることにもつながり、良いのではないかとと思う。</p> <p>(内間)</p> <p>・高校生からリクエストがあった場合、対応することは可能。私たちとしても高校生との接点が少ないので、そのような依頼がきたらやってあげたい。</p> <p>(仲宗根)</p> <p>・インターンシップ後のフォローアップや事後研修、聞き取りなどで工夫している点を教えてほしい。</p> <p>(立石)</p> <p>・事後面談はモチベーションに繋がっていくのでとても重視している。現場の方、特に若いスタッフの発言はやはり影響を及ぼす。どのような思いを持っているか、愚痴などもあると思うがその先にどういうやりがいがあるのかという点を感じてきてくれるといいなと思う。</p> <p>・学生たちも、現場はいいところばかりではないことを当然分かっている。すべてを見たらうで大変だけれどやりがいを感じられた。働いていた人たちはすごいチームワークを持ってお客様のためにやっていたというフィードバックが多い。一方、現実的にしょうがない部分もあるが愚痴ばかりで終わってしまっているところもある。企業からは評価シートをもらっているので、事後面談をすることで弱点やもっと伸ばしていく必要がある点、良かった点をフィードバックすることは大きい。9月以降の学校生活や学習に繋げることが1つの流れになっている。</p> <p>(仲宗根)</p> <p>・実施後に企業へのフィードバックはあるのか？</p> <p>(立石)</p> <p>・個人の感情的なものに関しては行わないが、課題等に関してデータがある場合には少々話をすることもある。学生の感じ方は元々持っている考え方が原因ともいえるので、そういった点で指導を行うことは私たちの役割であり、しっかりやっています。</p> <p>(高橋)</p> <p>・環境や感情という点で、繁忙期のインターンシップは外してもらいたい。ここに来ると先ほどのような状況に繋がると思う。慣れているとはいえ、現場も無理という反応になるのでそこを外してもらうことが大事かと思う。</p> <p>※ 仲宗根より、さまざまな形で観光業界を盛り上げる事例として、小学生向けのSDGsと関連させた高橋委員と山城委員の取組みと、同じく高専連携事業を行っている日本航空大学校北海道と帯広北高校の取組みを使い紹介。高校生が「リアル」を体験できる取り組みに向けた意見と協力を委員にお願いした。</p> <p>(宮城委員・細谷委員)</p>
--	--

	<p>・ちょうど企業の方とこの話題になった。この事業でもこのようなことは可能なか？</p> <p>(仲宗根)</p> <p>・我々も事業の予算でこのような取り組みができることを初めて知った。国の事業は報告書にしてまとめ、公表する義務があるので詳細がわかったら情報共有したい。</p> <p>・次年度は事業の 4 年目に入る。より企業と高校、専門学校を繋ぐ点に踏み込んでいきたいと思ってこの事例を紹介させてもらった。</p> <p>※ 教材開発を行っている広原氏より、今後のインターンシップやイベントの取組みに対する提案と行い、次年度の方向性や考えを委員と共有した。</p> <p>(立石)</p> <p>・取組みを 1 つ紹介させてほしい。私たち法人の静岡理工科大学では 2 つの併設高校があり、毎回、中学生向けの学校説明会で私たち専門学校グループのブースを出している。この高校に進んだ後こういう専門学校があるよといったところではあるが、多くの中学生と保護者が足を運んでくれる。実際、中学生の時に高校の説明会に行き私たちの専門学校を知って入学してきたという学生が結構多い。私たちの職業は知ってもらえないと見てもらえない業界ですので、若いうちからこの学校に進学するとこのような進路があるといった自分のキャリアとまではないが、この専門学校に入学してこのような職業を見つけるんだといった流れを中学生では難しいが、いろいろな情報を与えてあげる保護者が知ってくれるだけでだいぶ違ってくると感じているので情報として共有してもらいたい。</p> <p>(仲宗根)</p> <p>・我々もこの事業は中学生へのアプローチまで考えている。外間委員、具志川商業高の金城寛史委員にも参加してもらっているので、今後の中学生のアプローチで我々の協力できることがあれば企業の協力を得ながら考えていきたいと思っている。</p> <p>(金城寛史委員)</p> <p>・具志川商業高校では台湾との授業交流を行っているが、その中でコロナ禍の影響を感じている。実際に人と人との直接的な交流がない中、生徒自身が客観的に自身を見るという認知能力が学力も含め見えないうちで落ちており、いろいろなところに影響を与えている。インターンシップや体験学習、専門学校との将来を含めた紹介などそういった授業は生徒の目を開かせ視野を広げる、自分を見る力を育てるという部分でもの凄くプラスになっていくのかなという感覚がある。</p> <p>・今後はコロナ禍が明けて様々なインバウンドの交流や観光業界に対するさまざまな行事や活動が盛んになってくるので、そこで高校現場が何をできるのか、タイアップしながらどのように生徒を育てていくのかなどお互い相談しながらやっていければと思う。</p> <p>・今後の予定について (仲宗根)</p> <p>① 実証授業予定 (具志川商業高校)</p> <p>2023 年 1 月 18 日 (木) 語学・留学系 2023 年 3 学期 観光業の魅力について (1 年生対象)</p>
--	---

	<p>(南部商業高校)</p> <p>2023年 12月以降 観光系職業理解 (2年生対象)</p> <p>2023年 3学期 観光業の魅力について (1年生対象)</p> <p>(県内中学校職業体験イベント)</p> <p>2023年 11月 27日 (月) 国頭村立国頭中学校 (バーテンダー体験)</p> <p>2023年 11月 29日 (水) 西原町立西原中学校 (エアライン系職業体験)</p> <p>2023年 11月 30日 (木) 浦添市立神森中学校 (エアライン系職業体験)</p> <p>2023年 12月 11日 (金) ”</p> <p>第3回 プログラム検討委員会 (予定)</p> <p>日程: 2024年 1月 19日 (金) 15:00~17:00</p> <p>会場: インターナショナルリゾートカレッジ</p> <p>その他: 本日の参加お礼 (仲宗根)</p> <p>以上 委員会を終了する。</p>
--	--

Zoomにて参加した委員と、会場の様子



文部科学省事業 令和5年度「専修学校による地域産業中核人材養成事業」	
第3回 プログラム検討委員会 議事録	
開催日時	2024年1月19日(金) 15:00~17:00
会場並びに開催方法	インターナショナルリゾートカレッジ 701教室 (一部、ZOOM利用によるリモート方式)
出席者	<p>(プログラム検討委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校法人 静岡理工科大学 静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校 教務課長 立石 公平 ・学校法人 KBC学園 インターナショナルリゾートカレッジ 教務部長 田村 明子 教務課長 宮城 良之 教務課長 新里 玲子 教務課長 吉原 亜矢子 就職課主任 細谷 麻衣 ・株式会社国際旅行社 取締役総務部長 山城 秀康 ・タピック沖縄株式会社 ユインチホテル南城 サポートチーム 戦略人事 次長 高橋 俊博 ・沖縄ワタベウェディング株式会社 社長室 室長 上本 貴史 ・学校法人 KBC学園 地域創生室 支援部 部長 仲宗根 真 玉城 薫 東 知範 <p>(教材制作)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式会社 穴吹カレッジサービス 中村 多恵 広原 敬幸 <p>(オブザーバー)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【有識者会議】 株式会社 日経 BP コンサルティング ビジネスサポート本部 本部長 高橋 健太郎 ・【有識者会議事務局】 株式会社 日経 BP 総合研究所 ソリューションユニット プランニングセールス1部 岩居 浩朗 <p>(議事録作成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校法人 KBC学園 地域創生室 支援部 部長 仲宗根 真
議題	<p>議 事</p> <p>議題1 令和5年度 事業報告 について</p> <p>議題2 令和6年度 事業計画について</p> <p>議題3 事業後半に向けて観光人材育成の為の産学連携 (意見交換)</p>
配布資料	<p>配布資料</p> <p>資料① 令和5年度実績報告書(高専接続)</p> <p>資料② 令和6年度事業計画書(高専接続)</p> <p>資料 2023年度第3回プログラム検討委員名簿(変更後)</p>
会議概要	<p>仲宗根よりスケジュール、配布資料の確認後、新しく参加した上本委員と事業に有識者として関わる日経BP高橋氏と岩居氏を紹介。議題1にて仲宗根より令和5年度実績報告を行い、委員より今年度の感想を伺った。議題2で令和6年度事業計画について説明し、議題3にて日経BP高橋氏より「高校の実態調査」に関する集計結果について発表してもらった。その後、委員より意見や感想を伺い、今後の予定を確認して終了。</p>

目 次	<p>議題 1：令和 5 年度実績報告書（高専接続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲宗根より資料①を使い報告 <p><u>感想・質問等</u></p> <p>（高橋委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時系列でこれまでの流れを見せてもらい、柔軟的で計画的に進めているという印象を受けた。私もキャリア教育に関しては別のラインで関わらせてもらっており、今日の午前中は支援学校に行っていた。また来週も南部商業高校で授業を行い、振り返り最後となるコンテストの審査員も務める。これがすごく立体的に見えてきており非常に良いと思った。 ・1年生に向けた「働くって何？」という点を入れたのは非常に良いと思った。私にも高校1年生の子もいる。具体的な点よりも、まずは「働く」といったところをきっちりとしていくプログラムを柔軟に進めている点が次年度に向け、またいろいろ動きがあるのではと素直に思った。 ・ホテルマンの仕事紹介で当社は「アクティビティ」分野という本流を少し外れた「王道」ではない仕事の紹介であった。今後はフロントサービスや料理サービスといった最前線の仕事などで手伝わしてもらえると、見方も変わってくるのではないかと思った。 <p>（仲宗根）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、宿泊や料理の部門に関するインタビュー動画も撮影したいと考えている。また員志川商業高校の1年生に対し、3月14日に授業を行う予定である。その様子は別途報告させて頂きたいと思う。 <p>（山城委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラムを受ける前と受けた後が指標的で提示されて、その効果が図れるところは今後も興味深い。我々もどのようなお手伝いができるか大変興味を持っている。 ・高橋委員からもあったよう「働く」といった点を掘り下げて職業との組み合わせや関連性というところで、どのように考え方が変わったかなどアンケート等があればその結果に対して企業として手伝えるところがあると思った。 <p>（上本委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アウトプット用の動画は非常に良いと思う。当社でも大学生がアルバイトに来た際、これから行う業務内容を1つひとつ、1～2分程度の動画で見せると書面に比べ理解度が非常に高いことがわかった。動画の活用はとても良いと思った。 ・田村委員とも高校生に向けた出前講座等を実施している。我々の仕事が能動的に認識してもらえるよう業界団体としての取組みを一緒に行っていければと思っている。 <p>（新里委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年、高校で授業を行っているが対象となる高校生は毎回違う。私たちも受講する高校生の興味や反応を見てアップデートしながら実施している。今回、初めて南部商業高校で実施させてもらった。同様の学科であっても地域の特徴や対象となる専攻など似ているようで異なる点があると肌で感じた。今後、南部商業高校に合わせて内容をアップデートしていきたいと感じた。 <p>（田村委員）</p>
-----	---

- ・ここ数年で感じることは、高校生たちは働くことに興味を持ってきていて、働く際の気持ちややりがいといった点にとっても興味を持っている。コロナ禍が落ち着いたことで前向きに考えてくれる高校生がとて多いと感じる。
- ・新里委員と同様、学校によって考え方や認識の違いが見えてきている。同様の内容ではなく、学校ごとに変える必要があると思った。K P I なども含め、離職率が課題であると思っているのでこれらが目に見える形で改善されていくことを願いながら今後も実施していきたい。
(立石委員)
- ・一步一步、地道であるが着実に進んでいる。この調子で行ければよいと思う。就学生や高校生の価値観を知ることができ、とても良い機会になっている。6年という事業の中で価値観は日々変化していくと思うのでここを敏感に感じ取ることが重要。この価値観を取り入れながら生み出すことができればより高い効果に繋がると思う。
- ・先日、東京より講師を招いて今の若者を考える研修を行った。例えば東京では「映える」という表現から「自然体」という流行に変わっている。そのような1つひとつに教育も含めたポイントがあると思う。このプログラムは高校生や中学生など幅広い層に関係する機会が多いので、様々な価値観に対し敏感となることが重要かと思っている。

議題2：令和6年度事業計画書（高専接続）

- ・仲宗根より資料②を使い説明

質疑・応答等

(新里)

- ・高専連携ではあるがそこに関連する中学校のラインも出来ると、より興味深い結果になるのではと思った。

(仲宗根)

- ・近年、沖縄でも中高の連携が見られるようになってきている。既に中学生が進学先として興味のある高校に話を聞きに行く取り組みがあるので、ここをうまく活用できないか考えている。我々専門学校を持っている、観光業界の魅力を伝える取り組みやノウハウを高校側に提供することができるので、これらの点中心に高校と連携しながら進めていきたい。

議題3：事業後半に向けて観光人材育成の為の産学連携（意見交換）

- ・日経 B P 高橋氏より PP を使い「高校の実態調査」について集計結果を発表

質疑・応答等

(上本)

- ・沖縄と他県の傾向の違いに関するデータはあるか？

(日経 B P 高橋)

	<p>・調査対象が膨大となっているため、まだそこまでの結果は出せていない。都道府県別のデータはあるので時間はかかるが見ていきたいと思っている。例えば沖縄や新潟など専門学校への進学率が高い県は、首都圏と比較すると全然違う傾向があると思うのでそこを見ていきたいと考えている。またローデータベースで分析していくと興味深い結果が出るのではないかなと思う。</p> <p>(高橋)</p> <p>・この調査結果データは提供してもらえるか？</p> <p>(日経 B P 高橋)</p> <p>・関係者に限定して何らかの方法で公開を考えている。</p> <p>(高橋)</p> <p>・調査データから企業と連携したいという強い思いがあった。学校の先生たちから「時間が無い」という声はよく聞かすが、我々も同様に企業側も時間が無いことを理由になかなか前進できていないところもある。現場でもせっかくなってきたインターンシップ生がアルバイトのようになってしまい、ただ疲れて帰っていくといった良くない影響も聞くことがある。企業によってはインターンシップ受け入れのノウハウを持ち合わせていないところもあると思うので、我々の持っているノウハウで人事をサポートしながら現場と連携していければと思う。</p> <p>・観光人材を広げるという点に関して、我々は一企業ではあるがノウハウを横展開していき業界で取り組んでいかないといけない。インターンシップなど学生の受け入れは非常に大切で重要だとアンケート結果から感じた。今後の実装に向けてぜひ協力させて頂きたい。</p> <p>(山城)</p> <p>・アンケートの結果の説明はデータに基づいており興味深かった。この中でも我々が納得いく結果と、また意外なものもあった。本事業がデータに基づき、不足している部分を補える可能性があることを十分後押しできる数値が出ていると感じる。業界、また一企業としてどのように協力できるか持ち帰り、次年度に向けて当社でも検討してみたい。</p> <p>(上本)</p> <p>・高校現場で気になっている点は、先生方のメンタル疲弊が全国的に高い点である。学校現場と企業側が連携していきたいという考えがどこかでスタックしているかもしれない。全体の調査だけでなく、実際に先生たちの話が聞ける機会があれば良いのではと思った。高校生の受け入れといった点ではもちろん協力していく。</p> <p>・若い人たちが生き生きとしていかなければ、婚姻率や出生率の減少など影響が出てくると思う。希望ある未来を大人が示していかなければいけないと思っている。</p> <p>(立石)</p> <p>・自分たちの学校だけが良いというわけではなく、企業、中高の先生たちと連携し一体となり若い人たちを育てていくという認識、具体的な行動を起こしていくべきだと改めてこの事業を通じて感じている。</p> <p>・高校でのキャリア教育、進路指導が社会で活躍する役割を果たしているかというアンケートについて、社会人の回答結果を見ると専門学校として高校へキャリア教育の支援を提案することは1つの方法だと思っている。立場的に募集的観点で先走ってしまいそうになるが、それは結果論として私たちができる最大限のことは若い子たちにやってあげたいと改めて思った。</p>
--	---

	<p>・今後の予定について（仲宗根）</p> <p>① 実証授業予定 （具志川商業高校） 2023年1月18日（木）語学・留学系（2年生対象 4回目） 2023年3月14日（木）「働くって何」授業（1年生対象） （南部商業高校） 2024年1月29日（月）ホテル・ブライダルの仕事（2年生対象 3回目）</p> <p>第1回 プログラム検討委員会（予定） 日程：2024年7月12日（金）15:00～17:00 会場：インターナショナルリゾートカレッジ</p> <p>その他：本日の参加お礼（仲宗根） 以上 委員会を終了する。</p>
--	---

Zoomにて参加した委員と、会場の様子



Slide: Account Reader (64/62)
 ID: 90929286 452510
 情報発表 (英) ... 86事業計画書 (英) * PowerPoint スライド ... 様上先生より参考書...

●「導入高校」及び「連携企業」を増やす
 事業終了後もコーディネーターが高校及び企業を訪問し、導入高校、連携企業を増やしていく。また、観光以外の分野や専門学科を持たない普通高校とも高専連携ができないか検討していく。

令和5年度文部科学省委託
「専修学校による地域産業中核人材養成事業による委託事業」

沖縄・観光分野における
有機的高専連携プログラム開発・実証事業

令和5年度 事業報告書

令和6年2月
学校法人KBC学園 インターナショナルリゾートカレッジ
〒901-0155 沖縄県那覇市金城5-8-60